

Service Pack for ProLiant コンポーネントリリースノート, v2017.10.1

[BIOS - システムROM](#)

[ドライバー - チップセット](#)

[ドライバー - ネットワーク](#)

[ドライバー - セキュリティ](#)

[ドライバー - ストレージ](#)

[ドライバー - ストレージコントローラー](#)

[ドライバー - ストレージファイバーチャネルおよびチャイバーチャネルオーバーイーサーネット](#)

[ドライバー - ストレージテープ](#)

[ドライバー - システム](#)

[ドライバー - システムマネジメント](#)

[ドライバー - ビデオ](#)

[ファームウェア](#)

[ファームウェア - ブレードインフラストラクチャ](#)

[ファームウェア - フレームインフラストラクチャ](#)

[ファームウェア - Lights-Outマネジメント](#)

[ファームウェア - ネットワーク](#)

[ファームウェア - NVDIMM](#)

[ファームウェア - パワーマネジメント](#)

[ファームウェア - SASストレージディスク](#)

[ファームウェア - SATAストレージディスク](#)

[ファームウェア - ストレージコントローラー](#)

[ファームウェア - ストレージファイバーチャネル](#)

[ファームウェア - ストレージテープ](#)

[ファームウェア - スイッチ](#)

[ファームウェア - システム](#)

[ソフトウェア - Lights-Outマネジメント](#)

[ソフトウェア - マネジメント](#)

[ソフトウェア - ネットワーク](#)

[ソフトウェア - ストレージコントローラー](#)

[ソフトウェア - ストレージファイバーチャネル](#)

[ソフトウェア - ストレージファイバーチャネルHBA](#)

[ソフトウェア - システムマネジメント](#)

BIOS - システムROM

[先頭](#)

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10 (U38) サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: cp033184.compsig; cp033184.exe

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9 (U19) サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033756.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9システムROM - U19

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPEデュアルSDカード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPEデュアルSDカード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9(I36)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-i36-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9 システムROM - I36

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリリース:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

NVIDIA Quadro P6000グラフィックスカードのサポートがHPE ProLiant WS460c Gen9で追加されました。

既知の問題点:

なし

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-i38-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン 2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant BL660c Gen9 システムROM - I38

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン 2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL120 Gen9 (P86)サーバ

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p86-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン 2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9(U20)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u20-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!**重要な注意:**

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant DL160/DL180 Gen9 システムROM - U20

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPEデュアルSDカード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevisionがROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUMバージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPEデュアルSDカード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL20 Gen9(U22)サーバ

バージョン: 2.50_10-02-2017 (クリティカル)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u22-2.50_2017_10_02-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen9 システムROM - U22

リリースバージョン:

2.50_10-02-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.50_10-02-2017

以前のリビジョン:

2.30_06-15-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

多数の複雑な同時マイクロアーキテクチャー条件が予測不能なシステム動作の原因となるインテルプロセッサの問題に対処しました。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処した、これらのプロセッサ用のアップデートされたバージョンのインテルのマイクロコードを含んでいます。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、アップデートされたマイクロコードを含まないプロセッサを使用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

多数の複雑な同時マイクロアーキテクチャ条件が予測不能なシステム動作の原因となるインテルプロセッサの問題に対処しました。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処した、これらのプロセッサ用のアップデートされたバージョンのインテルのマイクロコードを含んでいます。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、アップデートされたマイクロコードを含まないプロセッサを使用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL380 Gen10(U30)サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u30-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u30-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.rpm

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリが表示されるという問題に対処しました。こ

の問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL380 Gen9/DL360 Gen9 (P89)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p89-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360/DL380 Gen9 システムROM - P89

リリースバージョン:

2.42_04-25-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.22_07-18-2016

以前のリビジョン:

2.40_02-17-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のPCIe拡張カードの熱サポートを追加しました。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

NVIDIA P4000 GPGPUをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10(U34)サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u34-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u34-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10システムROM - U34

リリースバージョン:

1.20_08-18-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.20_08-18-2017

以前のリビジョン:

1.00_06-01-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

動的消費電力上限のサポートの追加 この機能は、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ブート時間最適化メニューから有効にできます。このサポートには、Power Management Controllerファームウェアバージョン1.0.4およびIntegrated Lights-Out(iLO)ファームウェアバージョン1.15以降が必要です。

HPE Core Boostテクノロジーのサポートを追加しました。この機能を使用するには、HPE Innovation Engineファームウェア0.1.2.6以降が必要です。

LLCデッドライン割り当てのためのBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングのオプションが新しく追加されました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

古くなったAからSに対応する新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングオプションを追加しました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

パフォーマンスが最適でなくなることがある不均衡なメモリ構成を検出して報告するためのサポートが追加されました。メモリ取り付け規則と推奨事項について詳しくは、メモリ取り付けガイドラインを参照してください。

現在Intelが観察しているプロセッサの問題に基づいて、XPTプリフェッチをデフォルトで無効に設定するXPTプリフェッチ用の新しい自動オプションがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに追加されました。このオプションを有効にすると(このオプションを強制的に有効に設定すると)、レイテンシパフォーマンスが向上する可能性があります。Intelによると、XPTプリフェッチが有効になっている場合は、まれに安定性の問題が発生する可能性があります。

HPE128GB Smartメモリ Load Reduced DIMM (LRDIMM)のサポートを追加しました。

最新のGPUアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

システムユーティリティのための言語翻訳(英語以外のモード)をアップデートしました。

修正された問題点:

内蔵UEFIシェルrestclientユーティリティがネットワーク TLS(HTTPS)サポートの属性を適切に構成しないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに誤った管理者パスワードが入力された後もUEFIまたはレガシーブート順序が変更されるという問題に対処しました。

ドライブがコントローラーに接続されていないときに組み込みAHCI SATAコントローラーがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)PCIデバイスメニューに正しく表示されないという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューで、オプションデバイス構成ページからの構成設定の保存が正しく保存されないという問題に対処しました。この問題は、1つのネットワークアダプタカードで見られました。

取り付けられたバッテリーでサポートできるよりも多くのデバイスが取り付けられている場合に、システムROMがHPE Smartバッテリーストレージサブシステムの構成エラーを正しく報告しないという問題に対処しました。

直接接続されたNVMeハードディスクドライブで構成されたプラットフォームがシステムユーティリティページから正しくない場所(ボックスおよびベイの場所)を報告するという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューでオプションのPCIeアダプターの正しい名前が表示されないという問題に対処しました。

シャーシの電源装置情報が業界標準SMBIOSレコードから適切に報告されないという問題に対処しました。

システムがレガシーブートモードで構成された場合にIntegrated Lights Out(iLO)リモートコンソールキーボードとマウスが正しく機能しないという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには存在しません。

HPEジッターパフォーマンス機能の設定をIntegrated Lights Out Webインターフェイスから正しく変更できないという問題に対処しました。

バッテリーが実際には故障しているときにHPE Smartバッテリーが充電中だとシステムから報告される問題に対処しました。システムがSmartバッテリーの問題点を報告している場合、このシステムROMをフラッシュすることをお勧めします。

TrusteTd Platform Module(TPM)ビジビリティのTPMオプションがRESTful APIを通じて構成できないという問題に対処しました。

OS起動前環境からレガシーブートモードでDIRなどの文字を繰り返し入力するとシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードのシステムまたはオペレーティングシステムを起動したシステムには影響しません。

PCIe最大ペイロードサイズが正しくプログラムされていないという理由で、Dialogicアダプターなどの特定のサードパーティPCIeアダプターが正しく機能しないという問題に対処しました。

x16スロットPCIeライザーおよび3スロットx8ライザーがサーバー内に存在するとき、特定のNVMeデバイスが検出されないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ネットワークオプションメニューからデバイス上のネットワークブートが無効にされたとき、ネットワークブートオプションが依然としてレガシーブート順序内にエントリを表示するという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには影響しません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューでTABキーを使用する場合にシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。

DIMM構成が無効な場合にBIOSが正しく識別せずシステムを停止するという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)エネルギー効率ターボ設定が"退行している"という問題を処理しました。構成設定が有効に設定されている場合、機能は実際には無効になっていました。無効に設定されている場合、機能は実際には有効になっていました。

S100i SW RAIDコントローラーから故障したRAIDボリュームを修理しようとすると、サーバーがロックアップして赤色の画面が表示されるという問題に対処しました。

BIOSが正しく構成されていても、RESTful APIでBIOS設定が正しく適用されていないと報告されるという問題に対処しました。

Trusted Platform Module(TPM)がインストールされているとき、システムがウォームリセット後のブート中に反応しなくなり、通常はブランク画面が表示されるという問題に対処しました。オプションのTPMを含むシステムで再起動の問題が見られる場合は、このリビジョン以降へシステムROMを有効にすることを強くお勧めします。

サーバーの再起動時にシステムが413 Innovation Engine認証エラーを誤って報告するという非常にまれに生じる問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電源オンロゴの無効化機能のサポートを無効にしました。

内蔵Diagnosticsを有効または無効にするプラットフォーム構成(RBSU)オプションを削除しました。内蔵Diagnosticsはこのサーバーでサポートされていないのでメニューオプションは必要なく、機能がしません。

システムユーティリティから内蔵Diagnosticsサポートが削除されました。

Intel Platform Trust Technology(Intel PTT)と呼ばれるチップセットファームウェアベースのTrusted Platform Module(TPM)のサポートが削除されました。この機能は安定性の問題からサポートされなくなりました。Intelはこの機能のサポートを推奨していません。これをサポートするには、ユーザーは個別のHPE TPMオプションを代わりにインストールする必要があります。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

内蔵UEFIシェルrestclientユーティリティがネットワーク TLS(HTTPS)サポートの属性を適切に構成しないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに誤った管理者パスワードが入力された後もUEFIまたはレガシーブート順序が変更されるという問題に対処しました。

ドライブがコントローラーに接続されていないときに組み込みAHCI SATAコントローラーがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)PCIデバイスメニューに正しく表示されないという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューで、オプションデバイス構成ページからの構成設定の保存が正しく保存されないという問題に対処しました。この問題は、1つのネットワークアダプタカードで見られました。

取り付けられたバッテリーでサポートできるよりも多くのデバイスが取り付けられている場合に、システムROMがHPE Smartバッテリーストレージサブシステムの構成エラーを正しく報告しないという問題に対処しました。

直接接続されたNVMeハードディスクドライブで構成されたプラットフォームがシステムユーティリティページから正しくない場所(ボックスおよびベイの場所)を報告するという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューでオプションのPCIeアダプターの正しい名前が表示されないという問題に対処しました。

シャーシの電源装置情報が業界標準SMBIOSレコードから適切に報告されないという問題に対処しました。

システムがレガシーブートモードで構成された場合にIntegrated Lights Out(iLO)リモートコンソールキーボードとマウスが正しく機能しないという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには存在しません。

HPEジッターパフォーマンス機能の設定をIntegrated Lights Out Webインターフェイスから正しく変更できないという問題に対処しました。

バッテリーが実際には故障しているときにHPE Smartバッテリーが充電中だとシステムから報告される問題に対処しました。システムがSmartバッテリーの問題点を報告している場合、このシステムROMをフラッシュすることをお勧めします。

Truste Platform Module(TPM)ビジビリティのTPMオプションがRESTful APIを通じて構成できないという問題に対処しました。

OS起動前環境からレガシーブートモードでDIRなどの文字を繰り返し入力するとシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードのシステムまたはオペレーティングシステムを起動したシステムには影響しません。

PCIe最大ペイロードサイズが正しくプログラムされていないという理由で、Dialogicアダプターなどの特定のカードパーティPCIeアダプターが正しく機能しないという問題に対処しました。

x16スロットPCIeライザーおよび3スロットx8ライザーがサーバー内に存在するとき、特定のNVMeデバイスが検出されないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ネットワークオプションメニューからデバイス上のネットワークブートが無効にされたとき、ネットワークブートオプションが依然としてレガシーブート順序内にエントリを表示するという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには影響しません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューでTABキーを使用する場合にシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。

DIMM構成が無効な場合にBIOSが正しく識別せずシステムを停止するという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)エネルギー効率ターボ設定が"実行している"という問題を処理しました。構成設定が有効に設定されている場合、機能は実際には無効になっていました。無効に設定されている場合、機能は実際には有効になっていました。

S100i SW RAIDコントローラーから故障したRAIDボリュームを修理しようとすると、サーバーがロックアップして赤色の画面が表示されるという問題に対処しました。

BIOSが正しく構成されていても、RESTful APIでBIOS設定が正しく適用されていないと報告されるという問題に対処しました。

Trusted Platform Module(TPM)がインストールされているとき、システムがウォームリセット後のブート中に反応しなくなり、通常はブランク画面が表示されるという問題に対処しました。オプションのTPMを含むシステムで再起動の問題が見られる場合は、このリビジョン以降システムROMを有効にすることを強くお勧めします。

サーバーの再起動時にシステムが413 Innovation Engine認証エラーを誤って報告するという非常にまれに生じる問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電源オンロゴの無効化機能のサポートを無効にしました。

内蔵Diagnosticsを有効または無効にするプラットフォーム構成 (RBSU) オプションを削除しました。内蔵Diagnosticsはこのサーバーでサポートされていないのでメニューオプションは必要なく、機能がしません。

システムユーティリティから内蔵Diagnosticsサポートが削除されました。

Intel Platform Trust Technology(Intel PTT)と呼ばれるチップセットファームウェアベースのTrusted Platform Module(TPM)のサポートが削除されました。この機能は安定性の問題からサポートされなくなりました。Intelはこの機能のサポートを推奨していません。これをサポートするには、ユーザーは個別のHPE TPMオプションを代わりにインストールする必要があります。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL560 Gen9(P85)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p85-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen9 システムROM - P85

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL580 Gen9 (U17)サーバー

バージョン: 2.50_10-01-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u17-2.50_2017_10_01-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL580 Gen9 システムROM - U17

リリースバージョン:

2.50_10-01-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.44_09-12-2017

以前のリビジョン:

2.44_09-12-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E7 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E7 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答しなくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のリビジョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E7 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E7 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答しなくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のリビジョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9 (U15)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u15-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant ML110 Gen9(P99)サーバ

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p99-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン 2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen9 システムROM - P99

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

チップセットSATAコントローラーにハードドライブが接続されていない状態でサーバーが構成されているときに、音響を改善するためにシステムの温度管理を強化しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant ML150 Gen9(P95)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p95-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant ML150 Gen9 システムROM - P95

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

チップセットSATAコントローラーにハードドライブが接続されていない状態でサーバーが構成されているときに、音響を改善するためにシステムの温度管理を強化しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant ML30 Gen9(U23)サーバー

バージョン: 2.50_10-02-2017 (クリティカル)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u23-2.50_2017_10_02-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen9 システムROM - U23

リリースバージョン:

2.50_10-02-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.50_10-02-2017

以前のリビジョン:

2.30_06-15-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

チップセットSATAコントローラーにハードドライブが接続されていない状態でサーバーが構成されているときに、音響を改善するためにシステムの温度管理を強化しました。

修正された問題点:

多数の複雑な同時マイクロアーキテクチャー条件が予測不能なシステム動作の原因となるインテルプロセッサの問題に対処しました。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処した、これらのプロセッサ用のアップデートされたバージョンのインテルのマイクロコードを含んでいます。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、アップデートされたマイクロコードを含まないプロセッサを使用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

多数の複雑な同時マイクロアーキテクチャー条件が予測不能なシステム動作の原因となるインテルプロセッサの問題に対処しました。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処した、これらのプロセッサ用のアップデートされたバージョンのインテルのマイクロコードを含んでいます。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、アップデートされたマイクロコードを含まないプロセッサを使用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

チップセットSATAコントローラーにハードドライブが接続されていない状態でサーバーが構成されているときに、音響を改善するためにシステムの温度管理を強化しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant ML350 Gen9(P92)サーバ

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p92-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen9 システムROM - P92

リリースバージョン:

2.42_04-25-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.40_02-17-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のPCIe拡張カードの熱サポートを追加しました。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

チップセットSATAコントローラーにハードドライブが接続されていない状態でサーバーが構成されているときに、音響を改善するためにシステムの温度管理を強化しました。

(U14)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u14-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン 2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9 システムROM - U14

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答しなくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のバージョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9(U13)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u13-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9 システムROM - U13

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL230k Gen10 (U37)サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u37-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u37-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL230k Gen10システムROM - U37

リリースバージョン:

1.20_08-18-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.20_08-18-2017

以前のリビジョン:

1.02_06-14-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

動的消費電力上限のサポートの追加 この機能は、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ブート時間最適化メニューから有効にできます。このサポートには、Power Management Controllerファームウェアバージョン1.0.4およびIntegrated Lights-Out(iLO)ファームウェアバージョン1.15以降が必要です。

HPE Core Boostテクノロジーのサポートを追加しました。この機能を使用するには、HPE Innovation Engineファームウェア0.1.2.6以降が必要です。

LLCデッドライン割り当てのためのBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングのオプションが新しく追加されました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

古くなったAからSに対応する新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングオプションを追加しました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

パフォーマンスが最適でなくなる可能性がある不均衡なメモリ構成を検出して報告するためのサポートが追加されました。メモリ取り付け規則と推奨事項について詳しくは、メモリ取り付けガイドラインを参照してください。

現在Intelが観察しているプロセッサの問題に基づいて、XPTプリフェッチをデフォルトで無効に設定するXPTプリフェッチ用の新しい自動オプションがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに追加されました。このオプションを有効にすると(このオプションを強制的に有効に設定すると)、レイテンシパフォーマンスが向上する可能性があります。Intelによると、XPTプリフェッチが有効になっている場合は、まれに安定性の問題が発生する可能性があります。

HPE128GB SmartメモリLoad Reduced DIMM (LRDIMM)のサポートを追加しました。

最新のGPUアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

システムユーティリティのための言語翻訳(英語以外のモード)をアップデートしました。

修正された問題点:

内蔵UEFIシェルrestclientユーティリティがネットワーク TLS(HTTPS)サポートの属性を適切に構成しないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに誤った管理者パスワードが入力された後もUEFIまたはレガシーブート順序が変更されるという問題に対処しました。

ドライブがコントローラーに接続されていないときに組み込みAHCI SATAコントローラーがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)PCIデバイスメニューに正しく表示されないという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューで、オプションデバイス構成ページからの構成設定の保存が正しく保存されないという問題に対処しました。この問題は、1つのネットワークアダプタカードで見られました。

取り付けられたバッテリーでサポートできるよりも多くのデバイスが取り付けられている場合に、システムROMがHPE Smartバッテリーストレージサブシステムの構成エラーを正しく報告しないという問題に対処しました。

直接接続されたNVMeハードディスクドライブで構成されたプラットフォームがシステムユーティリティページから正しくない場所(ボックスおよびベイの場所)を報告するという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューでオプションのPCIeアダプターの正しい名前が表示されないという問題に対処しました。

シャーシの電源装置情報が業界標準SMBIOSレコードから適切に報告されないという問題に対処しました。

シャーシのファームウェアバージョンが、システム情報ページまたはIntegrated Lights Out(iLO)Webインターフェイスから正しく報告されないという問題に対処しました。

シャーシ情報のための業界標準SMBIOSタイプ3レコードがシャーシのシリアル番号を正しく報告しないという問題に対処しました。

システムがレガシーブートモードで構成された場合にIntegrated Lights Out(iLO)リモートコンソールキーボードとマウスが正しく機能しないという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには存在しません。

HPEジッターパフォーマンス機能の設定をIntegrated Lights Out Webインターフェイスから正しく変更できないという問題に対処しました。

バッテリーが実際には故障しているときにHPE Smartバッテリーが充電中だとシステムから報告される問題に対処しました。システムがSmartバッテリーの問題点を報告している場合、このシステムROMをフラッシュすることをお勧めします。

Truste Platform Module(TPM)ビジビリティのTPMオプションがRESTful APIを通じて構成できないという問題に対処しました。

OS起動前環境からレガシーブートモードでDIRなどの文字を繰り返し入力するとシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードのシステムまたはオペレーティングシステムを起動したシステムには影響しません。

PCIe最大ペイロードサイズが正しくプログラムされていないという理由で、Dialogicアダプターなどの特定のカードパーティPCIeアダプターが正しく機能しないという問題に対処しました。

x16スロットPCIeライザーおよび3スロットx8ライザーがサーバー内に存在するとき、特定のNVMeデバイスが検出されないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ネットワークオプションメニューからデバイス上のネットワークブートが無効にされたとき、ネットワークブートオプションが依然としてレガシーブート順序内にエントリを表示するという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには影響しません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューでTABキーを使用する場合にシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。

DIMM構成が無効な場合にBIOSが正しく識別せずシステムを停止するという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)エネルギー効率ターボ設定が"退行している"という問題を処理しました。構成設定が有効に設定されている場合、機能は実際には無効になっていました。無効に設定されている場合、機能は実際には有効になっていました。

S100i SW RAIDコントローラーから故障したRAIDボリュームを修理しようとすると、サーバーがロックアップして赤色の画面が表示されるという問題に対処しました。

BIOSが正しく構成されていても、RESTful APIでBIOS設定が正しく適用されていないと報告されるという問題に対処しました。

Trusted Platform Module(TPM)がインストールされているとき、システムがウォームリセット後のブート中に反応しなくなり、通常はブランク画面が表示されるという問題に対処しました。オプションのTPMを含むシステムで再起動の問題が見られる場合は、このリビジョン以降へシステムROMを有効にすることを強くお勧めします。

サーバーの再起動時にシステムが413 Innovation Engine認証エラーを誤って報告するという非常にまれに生じる問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電源オンロゴの無効化機能のサポートを無効にしました。

Intel Platform Trust Technology(Intel PTT)と呼ばれるチップセットファームウェアベースのTrusted Platform Module(TPM)のサポートが削除されました。この機能は安定性の問題からサポートされなくなりました。Intelはこの機能のサポートを推奨していません。これをサポートするには、ユーザーは個別のHPE TPMオプションを代わりにインストールする必要があります。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

拡張

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL260a Gen9/XL2x260w (U24)サーバー

バージョン: 1.50_09-25-2017 (**推奨**)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u24-1.50_2017_09_25-1.1.i386.rpm

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムが修正不能なマシンチェックエラー後に反応しなくなるという非常にまれに生じる問題に対処しました。

システムで一部のブート時に修正可能なメモリエラーが発生するという問題に対処しました。訂正済みメモリエラーが高い割合で発生するユーザーは、ハードウェアを交換する前にシステムROMのこのバージョンにアップデートすることを推奨します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)構成メニューのHPE Dynamic Smartアレイ B140iオプションのサポートを追加しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)構成メニューのメモリオプションに、クラスターモデルおよびオンパッケージ高帯域幅メモリキャッシュサイズのメニューのサポートを追加しました。

インテルOmni-Pathファブリックを内蔵したインテルXeon Phiプロセッサのサポートを追加しました。

XL2x260wサーバーのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL450 Gen9(U21)サーバ

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u21-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン 2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant XL450 Gen9 システムROM - U21

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL730f/XL740f/XL750f Gen9(U18)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u18-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant XL730f/XL740f/XL750f Gen9 システムROM - U18

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正**重要な注意:**

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9 (U19)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033758.zip

重要な注意!**重要な注意:**

なし

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9システムROM - U19

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPEデュアルSDカード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9 (I36) サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033726.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9 システムROM - I36

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しまし

た。 iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。 この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、 Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。 この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

NVIDIA Quadro P6000グラフィックスカードのサポートがHPE ProLiant WS460c Gen9で追加されました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant BL660c Gen9(I38)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033742.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL120 Gen9 (P86)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033772.zip

重要な注意!**重要な注意:**

なし

提供名:

HPE ProLiant DL120 Gen9 システムROM - P86

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.1、5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9 (U20) サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033761.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL160/DL180 Gen9 システムROM - U20

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しまし

た。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL20 Gen9(U22)サーバー

バージョン: 2.50_10-02-2017 (クリティカル)

ファイル名: CP033645.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen9 システムROM - U22

リリースバージョン:

2.50_10-02-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.50_10-02-2017

以前のリビジョン:

2.30_06-15-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

多数の複雑な同時マイクロアーキテクチャー条件が予測不能なシステム動作の原因となるインテルプロセッサの問題に対処しました。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処した、これらのプロセッサ用のアップデートされたバージョンのインテルのマイクロコードを含んでいます。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、アップデートされたマイクロコードを含まないプロセッサを使用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.5、ESXi 6.0、ESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、および5.5用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

多数の複雑な同時マイクロアーキテクチャ条件が予測不能なシステム動作の原因となるインテルプロセッサの問題に対処しました。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処した、これらのプロセッサ用のアップデートされたバージョンのインテルのマイクロコードを含んでいます。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、アップデートされたマイクロコードを含まないプロセッサを使用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL380 Gen9/DL360 Gen9 (P89)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033716.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360/DL380 Gen9 システムROM - P89

リリースバージョン:

2.42_04-25-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.22_07-18-2016

以前のリビジョン:

2.40_02-17-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のPCIe拡張カードの熱サポートを追加しました。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle" から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

NVIDIA P4000 GPGPUをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL560 Gen9(P85)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033745.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen9 システムROM - P85

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL580 Gen9 (U17)サーバー

バージョン: 2.50_10-01-2017 (オプション)

ファイル名: CP033585.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL580 Gen9 システムROM - U17

リリースバージョン:

2.50_10-01-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.44_09-12-2017

以前のリビジョン:

2.44_09-12-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E7 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E7 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答しなくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のリビジョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.5、ESXi 6.0、ESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、および5.5用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E7 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E7 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答しなくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のレビジョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小レビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9 (U15)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033769.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9 システムROM - U15

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、5.5およびESXi 6.0の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。 iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。 この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。 この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant ML110 Gen9(P99)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033751.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen9 システムROM - P99

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

チップセットSATAコントローラーにハードドライブが接続されていない状態でサーバーが構成されているときに、音響を改善するためにシステムの温度管理を強化しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant ML150 Gen9(P95)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033736.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML150 Gen9 システムROM - P95

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPEデュアルSDカード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

チップセットSATAコントローラーにハードドライブが接続されていない状態でサーバーが構成されているときに、音響を改善するためにシステムの温度管理を強化しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant ML30 Gen9(U23)サーバー

バージョン: 2.50_10-02-2017 (クリティカル)

ファイル名: CP033648.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen9 システムROM - U23

リリースバージョン:

2.50_10-02-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.50_10-02-2017

以前のリビジョン:

2.30_06-15-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

チップセットSATAコントローラーにハードドライブが接続されていない状態でサーバーが構成されているときに、音響を改善するためにシステムの温度管理を強化しました。

修正された問題点:

多数の複雑な同時マイクロアーキテクチャー条件が予測不能なシステム動作の原因となるインテルプロセッサの問題に対処しました。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処した、これらのプロセッサ用のアップデートされたバージョンのインテルのマイクロコードを含んでいます。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、アップデートされたマイクロコードを含まないプロセッサを使用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。
- ESXi 5.5、ESXi 6.0、ESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。
- 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、および5.5用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

多数の複雑な同時マイクロアーキテクチャー条件が予測不能なシステム動作の原因となるインテルプロセッサの問題に対処しました。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処した、これらのプロセッサ用のアップデートされたバージョンのインテルのマイクロコードを含んでいます。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、アップデートされたマイクロコードを含まないプロセッサを使用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

チップセットSATAコントローラーにハードドライブが接続されていない状態でサーバーが構成されているときに、音響を改善するためにシステムの温度管理を強化しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant ML350 Gen9(P92)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033748.zip

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen9 システムROM - P92

リリースバージョン:

2.42_04-25-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.40_02-17-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のPCIe拡張カードの熱サポートを追加しました。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

チップセットSATAコントローラーにハードドライブが接続されていない状態でサーバーが構成されているときに、音響を改善するためにシステムの温度管理を強化しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9 (U14)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033724.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9 システムROM - U14

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPEデュアルSDカード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答なくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のRiビジョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant XL450 Gen9(U21)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033764.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL450 Gen9 システムROM - U21

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9(U13)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033754.zip

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9 システムROM - U13

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。

5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9 (I36)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033725.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9 システムROM - I36

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

NVIDIA Quadro P6000グラフィックスカードのサポートがHPE ProLiant WS460c Gen9で追加されました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant BL660c Gen9 (I38)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033740.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant BL660c Gen9 システムROM - I38

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL160

Gen9/DL180 Gen9 (U20)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033759.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL160/DL180 Gen9 システムROM - U20

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL20 Gen9 (U22)サーバー

バージョン: 2.50_10-02-2017 (クリティカル)

ファイル名: cp033643.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen9 システムROM - U22

リリースバージョン:

2.50_10-02-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.50_10-02-2017

以前のリビジョン:

2.30_06-15-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

多数の複雑な同時マイクロアーキテクチャー条件が予測不能なシステム動作の原因となるインテルプロセッサの問題に対処しました。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処した、これらのプロセッサ用のアップデートされたバージョンのインテルのマイクロコードを含んでいます。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、アップデートされたマイクロコードを含まないプロセッサを使用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

多数の複雑な同時マイクロアーキテクチャー条件が予測不能なシステム動作の原因となるインテルプロセッサの問題に対処しました。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処した、これらのプロセッサ用のアップデートされたバージョンのインテルのマイクロコードを含んでいます。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、アップデートされたマイクロコードを含まないプロセッサを使用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL380 Gen10 (U30)サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: cp033549.compsig; cp033549.exe

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL380 Gen9/DL360 Gen9 (P89)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033714.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360/DL380 Gen9 システムROM - P89

リリースバージョン:

2.42_04-25-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.22_07-18-2016

以前のリビジョン:

2.40_02-17-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のPCIe拡張カードの熱サポートを追加しました。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

NVIDIA P4000 GPGPUをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10 (U34)サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: cp033595.compsig; cp033595.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10システムROM - U34

リリースバージョン:

1.20_08-18-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.20_08-18-2017

以前のリビジョン:

1.00_06-01-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

動的消費電力上限のサポートの追加 この機能は、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ブート時間最適化メニューから有効にできます。このサポートには、Power Management Controllerファームウェアバージョン1.0.4およびIntegrated Lights-Out(iLO)ファームウェアバージョン1.15以降が必要です。

HPE Core Boostテクノロジーのサポートを追加しました。この機能を使用するには、HPE Innovation Engineファームウェア0.1.2.6以降が必要です。

LLCデッドライン割り当てのためのBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングのオプションが新しく追加されました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

古くなったAからSに対応する新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングオプションを追加しました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

パフォーマンスが最適でなくなることがある不均衡なメモリ構成を検出して報告するためのサポートが追加されました。メモリ取り付け規則と推奨事項について詳しくは、メモリ取り付けガイドラインを参照してください。

現在Intelが観察しているプロセッサの問題に基づいて、XPTプリフェッチをデフォルトで無効に設定するXPTプリフェッチ用の新しい自動オプションがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに追加されました。このオプションを有効にすると(このオプションを強制的に有効に設定すると)、レイテンシパフォーマンスが向上する可能性があります。Intelによると、XPTプリフェッチが有効になっている場合は、まれに安定性の問題が発生する可能性があります。

HPE128GB SmartメモリLoad Reduced DIMM (LRDIMM)のサポートを追加しました。

最新のGPUアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

システムユーティリティのための言語翻訳(英語以外のモード)をアップデートしました。

修正された問題点:

内蔵UEFIシェルrestclientユーティリティがネットワーク TLS(HTTPS)サポートの属性を適切に構成しないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに誤った管理者パスワードが入力された後もUEFIまたはレガシーブート順序が変更されるという問題に対処しました。

ドライブがコントローラーに接続されていないときに組み込みAHCI SATAコントローラーがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)PCIデバイスメニューに正しく表示されないという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューで、オプションデバイス構成ページからの構成設定の保存が正しく保存されないという問題に対処しました。この問題は、1つのネットワークアダプタカードで見られました。

取り付けられたバッテリーでサポートできるよりも多くのデバイスが取り付けられている場合に、システムROMがHPE Smartバッテリーストレージサブシステムの構成エラーを正しく報告しないという問題に対処しました。

直接接続されたNVMeハードディスクドライブで構成されたプラットフォームがシステムユーティリティページから正しくない場所(ボックスおよびベイの場所)を報告するという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューでオプションのPCIeアダプターの正しい名前が表示されないという問題に対処しました。

シャーシの電源装置情報が業界標準SMBIOSレコードから適切に報告されないという問題に対処しました。

システムがレガシーブートモードで構成された場合にIntegrated Lights Out(iLO)リモートコンソールキーボードとマウスが正しく機能しないという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには存在しません。

HPEジッターパフォーマンス機能の設定をIntegrated Lights Out Webインターフェイスから正しく変更できないという問題に対処しました。

バッテリーが実際には故障しているときにHPE Smartバッテリーが充電中だとシステムから報告される問題に対処しました。システムがSmartバッテリーの問題点を報告している場合、このシステムROMをフラッシュすることをお勧めします。

TrusteTd Platform Module(TPM)ビジビリティのTPMオプションがRESTful APIを通じて構成できないという問題に対処しました。

OS起動前環境からレガシーブートモードでDIRなどの文字を繰り返し入力するとシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードのシステムまたはオペレーティングシステムを起動したシステムには影響しません。

PCIe最大ペイロードサイズが正しくプログラムされていないという理由で、Dialogicアダプターなどの特定のサードパーティPCIeアダプターが正しく機能しないという問題に対処しました。

x16スロットPCIeライザーおよび3スロットx8ライザーがサーバー内に存在するとき、特定のNVMeデバイスが検出されないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ネットワークオプションメニューからデバイス上のネットワークブートが無効にされたとき、ネットワークブートオプションが依然としてレガシーブート順序内にエントリを表示するという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには影響しません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューでTABキーを使用する場合にシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。

DIMM構成が無効な場合にBIOSが正しく識別せずシステムを停止するという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)エネルギー効率ターボ設定が"退行している"という問題を処理しました。構成設定が有効に設定されている場合、機能は実際には無効になっていました。無効に設定されている場合、機能は実際には有効になっていました。

S100i SW RAIDコントローラーから故障したRAIDボリュームを修理しようとすると、サーバーがロックアップして赤色の画面が表示されるという問題に対処しました。

BIOSが正しく構成されていても、RESTful APIでBIOS設定が正しく適用されていないと報告されるという問題に対処しました。

Trusted Platform Module(TPM)がインストールされているとき、システムがウォームリセット後のブート中に反応しなくなり、通常はブランク画面が表示されるという問題に対処しました。オプションのTPMを含むシステムで再起動の問題が見られる場合は、このリビジョン以降へシステムROMを有効にすることを強くお勧めします。

サーバーの再起動時にシステムが413 Innovation Engine認証エラーを誤って報告するという非常にまれに生じる問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電源オンロゴの無効化機能のサポートを無効にしました。

内蔵Diagnosticsを有効または無効にするプラットフォーム構成(RBSU)オプションを削除しました。内蔵Diagnosticsはこのサーバーでサポートされていないのでメニューオプションは必要なく、機能がしません。

システムユーティリティから内蔵Diagnosticsサポートが削除されました。

Intel Platform Trust Technology(Intel PTT)と呼ばれるチップセットファームウェアベースのTrusted Platform Module(TPM)のサポートが削除されました。この機能は安定性の問題からサポートされなくなりました。Intelはこの機能のサポートを推奨していません。これをサポートするには、ユーザーは個別のHPE TPMオプションを代わりにインストールする必要があります。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

内蔵UEFIシェルrestclientユーティリティがネットワーク TLS(HTTPS)サポートの属性を適切に構成しないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに誤った管理者パスワードが入力された後もUEFIまたはレガシーブート順序が変更されるという問題に対処しました。

ドライブがコントローラーに接続されていないときに組み込みAHCI SATAコントローラーがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)PCIデバイスメニューに正しく表示されないという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューで、オプションデバイス構成ページからの構成設定の保存が正しく保存されないという問題に対処しました。この問題は、1つのネットワークアダプタカードで見られました。

取り付けられたバッテリーでサポートできるよりも多くのデバイスが取り付けられている場合に、システムROMがHPE Smartバッテリーストレージサブシステムの構成エラーを正しく報告しないという問題に対処しました。

直接接続されたNVMeハードディスクドライブで構成されたプラットフォームがシステムユーティリティページから正しくない場所(ボックスおよびベイの場所)を報告するという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューでオプションのPCIeアダプターの正しい名前が表示されないという問題に対処しました。

シャーシの電源装置情報が業界標準SMBIOSレコードから適切に報告されないという問題に対処しました。

システムがレガシーブートモードで構成された場合にIntegrated Lights Out(iLO)リモートコンソールキーボードとマウスが正しく機能しないという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには存在しません。

HPEジッターパフォーマンス機能の設定をIntegrated Lights Out Webインターフェイスから正しく変更できないという問題に対処しました。

バッテリーが実際には故障しているときにHPE Smartバッテリーが充電中だとシステムから報告される問題に対処しました。システムがSmartバッテリーの問題点を報告している場合、このシステムROMをフラッシュすることをお勧めします。

Truste Platform Module(TPM)ビジビリティのTPMオプションがRESTful APIを通じて構成できないという問題に対処しました。

OS起動前環境からレガシーブートモードでDIRなどの文字を繰り返し入力するとシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードのシステムまたはオペレーティングシステムを起動したシステムには影響しません。

PCIe最大ペイロードサイズが正しくプログラムされていないという理由で、Dialogicアダプターなどの特定のサードパーティPCIeアダプターが正しく機能しないという問題に対処しました。

x16スロットPCIeライザーおよび3スロットx8ライザーがサーバー内に存在するとき、特定のNVMeデバイスが検出されないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ネットワークオプションメニューからデバイス上のネットワークブートが無効にされたとき、ネットワークブートオプションが依然としてレガシーブート順序内にエントリを表示するという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには影響しません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューでTABキーを使用する場合にシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。

DIMM構成が無効な場合にBIOSが正しく識別せずシステムを停止するという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)エネルギー効率ターボ設定が"実行している"という問題を処理しました。構成設定が有効に設定されている場合、機能は実際には無効になっていました。無効に設定されている場合、機能は実際には有効になっていました。

S100i SW RAIDコントローラーから故障したRAIDボリュームを修理しようとする、サーバーがロックアップして赤色の画面が表示されるという問題に対処しました。

BIOSが正しく構成されていても、RESTful APIでBIOS設定が正しく適用されていないと報告されるという問題に対処しました。

Trusted Platform Module(TPM)がインストールされているとき、システムがウォームリセット後のブート中に反応しなくなり、通常はブランク画面が表示されるという問題に対処しました。オプションのTPMを含むシステムで再起動の問題が見られる場合は、このリビジョン以降システムROMを有効にすることを強くお勧めします。

サーバーの再起動時にシステムが413 Innovation Engine認証エラーを誤って報告するという非常にまれに生じる問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電源オンロゴの無効化機能のサポートを無効にしました。

内蔵Diagnosticsを有効または無効にするプラットフォーム構成 (RBSU) オプションを削除しました。内蔵Diagnosticsはこのサーバーでサポートされていないのでメニューオプションは必要なく、機能がしません。

システムユーティリティから内蔵Diagnosticsサポートが削除されました。

Intel Platform Trust Technology(Intel PTT)と呼ばれるチップセットファームウェアベースのTrusted Platform Module(TPM)のサポートが削除されました。この機能は安定性の問題からサポートされなくなりました。Intelはこの機能のサポートを推奨していません。これをサポートするには、ユーザーは個別のHPE TPMオプションを代わりにインストールする必要があります。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL560 Gen9 (P85)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033743.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen9 システムROM - P85

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL580 Gen9 (U17)サーバー

バージョン: 2.50_10-01-2017 (オプション)

ファイル名: cp033586.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL580 Gen9 システムROM - U17

リリースバージョン:

2.50_10-01-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.44_09-12-2017

以前のリビジョン:

2.44_09-12-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E7 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E7 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答なくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のリビジョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E7 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E7 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答しなくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のレビジョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小レビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL60

Gen9/DL80 Gen9 (U15)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033767.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9 システムROM - U15

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルレビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリリース:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant ML110 Gen9 (P99)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033749.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen9 システムROM - P99

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

チップセットSATAコントローラーにハードドライブが接続されていない状態でサーバーが構成されているときに、音響を改善するためにシステムの温度管理を強化しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant ML150 Gen9 (P95)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033734.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPEデュアルSDカード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムの温度のロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHP RESTful API HPE BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant ML30 Gen9 (U23)サーバー

バージョン: 2.50_10-02-2017 (クリティカル)

ファイル名: cp033646.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen9 システムROM - U23

リリースバージョン:

2.50_10-02-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.50_10-02-2017

以前のリビジョン:

2.30_06-15-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

チップセットSATAコントローラーにハードドライブが接続されていない状態でサーバーが構成されているときに、音響を改善するためにシステムの温度管理を強化しました。

修正された問題点:

多数の複雑な同時マイクロアーキテクチャー条件が予測不能なシステム動作の原因となるインテルプロセッサの問題に対処しました。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処した、これらのプロセッサ用のアップデートされたバージョンのインテルのマイクロコードを含んでいます。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、アップデートされたマイクロコードを含まないプロセッサを使用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

多数の複雑な同時マイクロアーキテクチャー条件が予測不能なシステム動作の原因となるインテルプロセッサの問題に対処しました。このリビジョンのシステムROMは、この問題に対処した、これらのプロセッサ用のアップデートされたバージョンのインテルのマイクロコードを含んでいます。この問題は、HPE ProLiantサーバーに固有のものではなく、アップデートされたマイクロコードを含まないプロセッサを使用するすべてのシステムに影響があります。このリビジョンのシステムROMは、潜在的で深刻な問題に対応しているため、このシステムROMアップグレードは、重要な修正と考えられます。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

チップセットSATAコントローラーにハードドライブが接続されていない状態でサーバーが構成されているときに、音響を改善するためにシステムの温度管理を強化しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant ML350 Gen9 (P92)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033746.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen9 システムROM - P92

リリースバージョン:

2.42_04-25-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.40_02-17-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のPCIe拡張カードの熱サポートを追加しました。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

チップセットSATAコントローラーにハードドライブが接続されていない状態でサーバーが構成されているときに、音響を改善するためにシステムの温度管理を強化しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9 (U14)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033721.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9 システムROM - U14

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPEデュアルSDカード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答しなくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のバージョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9 (U13)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033752.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9 システムROM - U13

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPEデュアルSDカード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL230k Gen10 (U37)サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: cp033599.compsig; cp033599.exe

重要な注意!**重要な注意:**

なし

提供名:

HPE ProLiant XL230k Gen10システムROM - U37

リリースバージョン:

1.20_08-18-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.20_08-18-2017

以前のリビジョン:

1.02_06-14-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

動的消費電力上限のサポートの追加 この機能は、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ブート時間最適化メニューから有効にできます。このサポートには、Power Management Controllerファームウェアバージョン1.0.4およびIntegrated Lights-Out(iLO)ファームウェアバージョン1.15以降が必要です。

HPE Core Boostテクノロジーのサポートを追加しました。この機能を使用するには、HPE Innovation Engineファームウェア0.1.2.6以降が必要です。

LLCデッドライン割り当てのためのBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングのオプションが新しく追加されました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

古くなったAからSに対応する新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングオプションを追加しました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

パフォーマンスが最適でなくなることがある不均衡なメモリ構成を検出して報告するためのサポートが追加されました。メモリ取り付け規則と推奨事項について詳しくは、メモリ取り付けガイドラインを参照してください。

現在Intelが観察しているプロセッサの問題に基づいて、XPTプリフェッチをデフォルトで無効に設定するXPTプリフェッチャ用の新しい自動オプションがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに追加されました。このオプションを有効にすると(このオプションを強制的に有効に設定すると)、レイテンシパフォーマンスが向上する可能性があります。Intelによると、XPTプリフェッチャが有効になっている場合は、まれに安定性の問題が発生する可能性があります。

HPE128GB Smartメモリ Load Reduced DIMM (LRDIMM)のサポートを追加しました。

最新のGPUアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

システムユーティリティのための言語翻訳(英語以外のモード)をアップデートしました。

修正された問題点:

内蔵UEFIシェルrestclientユーティリティがネットワーク TLS(HTTPS)サポートの属性を適切に構成しないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに誤った管理者パスワードが入力された後もUEFIまたはレガシーブート順序が変更されるという問題に対処しました。

ドライブがコントローラーに接続されていないときに組み込みAHCI SATAコントローラーがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)PCIデバイスメニューに正しく表示されないという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューで、オプションデバイス構成ページからの構成設定の保存が正しく保存されないという問題に対処しました。この問題は、1つのネットワークアダプタカードで見られました。

取り付けられたバッテリーでサポートできるよりも多くのデバイスが取り付けられている場合に、システムROMがHPE Smartバッテリーストレージサブシステムの構成エラーを正しく報告しないという問題に対処しました。

直接接続されたNVMeハードディスクドライブで構成されたプラットフォームがシステムユーティリティページから正しくない場所(ボックスおよびベイの場所)を報告するという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューでオプションのPCIeアダプターの正しい名前が表示されないという問題に対処しました。

シャーシの電源装置情報が業界標準SMBIOSレコードから適切に報告されないという問題に対処しました。

シャーシのファームウェアリビジョンが、システム情報ページまたはIntegrated Lights Out(iLO)Webインターフェイスから正しく報告されないという問題に対処しました。

シャーシ情報のための業界標準SMBIOSタイプ3レコードがシャーシのシリアル番号を正しく報告しないという問題に対処しました。

システムがレガシーブートモードで構成された場合にIntegrated Lights Out(iLO)リモートコンソールキーボードとマウスが正しく機能しないという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには存在しません。

HPEジッターパフォーマンス機能の設定をIntegrated Lights Out Webインターフェイスから正しく変更できないという問題に対処しました。

バッテリーが実際には故障しているときにHPE Smartバッテリーが充電中だとシステムから報告される問題に対処しました。システムがSmartバッテリーの問題点を報告している場合、このシステムROMをフラッシュすることをお勧めします。

TrusteTd Platform Module(TPM)ビジビリティのTPMオプションがRESTful APIを通じて構成できないという問題に対処しました。

OS起動前環境からレガシーブートモードでDIRなどの文字を繰り返し入力するとシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードのシステムまたはオペレーティングシステムを起動したシステムには影響しません。

PCIe最大ペイロードサイズが正しくプログラムされていないという理由で、Dialogicアダプターなどの特定のサードパーティPCIeアダプターが正しく機能しないという問題に対処しました。

x16スロットPCIeライザーおよび3スロットx8ライザーがサーバー内に存在するとき、特定のNVMeデバイスが検出されないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ネットワークオプションメニューからデバイス上のネットワークブートが無効にされたとき、ネットワークブートオプションが依然としてレガシーブート順序内にエントリを表示するという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには影響しません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューでTABキーを使用する場合にシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。

DIMM構成が無効な場合にBIOSが正しく識別せずシステムを停止するという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)エネルギー効率ターボ設定が"退行している"という問題を処理しました。構成設定が有効に設定されている場合、機能は実際には無効になっていました。無効に設定されている場合、機能は実際には有効になっていました。

S100i SW RAIDコントローラーから故障したRAIDボリュームを修理しようとする、サーバーがロックアップして赤色の画面が表示されるという問題に対処しました。

BIOSが正しく構成されていても、RESTful APIでBIOS設定が正しく適用されていないと報告されるという問題に対処しました。

Trusted Platform Module(TPM)がインストールされているとき、システムがウォームリセット後のブート中に反応しなくなり、通常はブランク画面が表示されるという問題に対処しました。オプションのTPMを含むシステムで再起動の問題が見られる場合は、このリビジョン以降システムROMを有効にすることを強くお勧めします。

サーバーの再起動時にシステムが413 Innovation Engine認証エラーを誤って報告するという非常にまれに生じる問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電源オンロゴの無効化機能のサポートを無効にしました。

Intel Platform Trust Technology(Intel PTT)と呼ばれるチップセットファームウェアベースのTrusted Platform Module(TPM)のサポートが削除されました。この機能は安定性の問題からサポートされなくなりました。Intelはこの機能のサポートを推奨していません。これをサポートするには、ユーザーは個別のHPE TPMオプションを代わりにインストールする必要があります。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

拡張

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL450 Gen9 (U21)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033762.exe

重要な注意!**重要な注意:**

なし

提供名:

HPE ProLiant XL450 Gen9 システムROM - U21

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10 (U38) サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u38-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u38-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.rpm

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9 (U19) サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u19-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9システムROM - U19

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPEデュアルSDカード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正**重要な注意:**

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

拡張

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10 (U40) サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u40-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u40-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.rpm

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143P

ロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant BL460c Gen10 (I41)サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-i41-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-i41-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen10システムROM - I41

リリースバージョン:

1.20_08-18-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.20_08-18-2017

以前のリビジョン:

1.00_06-01-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

動的消費電力上限のサポートの追加 このサポートには、Power Management Controllerファームウェアバージョン1.0.4およびIntegrated Lights-Out(iLO)ファームウェアバージョン1.15以降が必要です。

HPE Core Boostテクノロジーのサポートを追加しました。この機能を使用するには、HPE Innovation Engineファームウェア0.1.2.6以降が必要です。

LLCデッドライン割り当てのためのBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングのオプションが新しく追加されました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

古くなったAからSに対応する新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングオプションを追加しました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

パフォーマンスが最適でなくなることがある不均衡なメモリ構成を検出して報告するためのサポートが追加されました。メモリ取り付け規則と推奨事項について詳しくは、メモリ取り付けガイドラインを参照してください。

現在Intelが観察しているプロセッサの問題に基づいて、XPTプリフェッチをデフォルトで無効に設定するXPTプリフェッチャ用の新しい自動オプションがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに追加されました。このオプションを有効にすると(このオプションを強制的に有効に設定すると)、レイテンシパフォーマンスが向上する可能性があります。Intelによると、XPTプリフェッチャが有効になっている場合は、まれに安定性の問題が発生する可能性があります。

HPE128GB SmartメモリLoad Reduced DIMM (LRDIMM)のサポートを追加しました。

最新のGPUアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

システムユーティリティのための言語翻訳(英語以外のモード)をアップデートしました。

修正された問題点:

内蔵UEFIシェルrestclientユーティリティがネットワーク TLS(HTTPS)サポートの属性を適切に構成しないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに誤った管理者パスワードが入力された後もUEFIまたはレガシーブート順序が変更されるという問題に対処しました。

ドライブがコントローラーに接続されていないときに組み込みAHCI SATAコントローラーがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)PCIデバイスメニューに正しく表示されないという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューで、オプションデバイス構成ページからの構成設定の保存が正しく保存されないという問題に対処しました。この問題は、1つのネットワークアダプタカードで見られました。

取り付けられたバッテリーでサポートできるよりも多くのデバイスが取り付けられている場合に、システムROMがHPE Smartバッテリーストレージサブシステムの構成エラーを正しく報告しないという問題に対処しました。

直接接続されたNVMeハードディスクドライブで構成されたプラットフォームがシステムユーティリティページから正しくない場所(ボックスおよびベイの場所)を報告するという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューでオプションのPCIeアダプターの正しい名前が表示されないという問題に対処しました。

システムがレガシーブートモードで構成された場合にIntegrated Lights Out(iLO)リモートコンソールキーボードとマウスが正しく機能しないという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには存在しません。

HPEジッターパフォーマンス機能の設定をIntegrated Lights Out Webインターフェイスから正しく変更できないという問題に対処しました。

バッテリーが実際には故障しているときにHPE Smartバッテリーが充電中だとシステムから報告される問題に対処しました。システムがSmartバッテリーの問題点を報告している場合、このシステムROMをフラッシュすることをお勧めします。

Trustetd Platform Module(TPM)ビジビリティのTPMオプションがRESTful APIを通じて構成できないという問題に対処しました。

OS起動前環境からレガシーブートモードでDIRなどの文字を繰り返し入力するとシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードのシステムまたはオペレーティングシステムを起動したシステムには影響しません。

PCIe最大ペイロードサイズが正しくプログラムされていないという理由で、Dialogicアダプターなどの特定のカードパーティPCIeアダプターが正しく機能しないという問題に対処しました。

x16スロットPCIeライザーおよび3スロットx8ライザーがサーバー内に存在するとき、特定のNVMeデバイスが検出されないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ネットワークオプションメニューからデバイス上のネットワークブートが無効にされたとき、ネットワークブートオプションが依然としてレガシーブート順序内にエントリを表示するという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには影響しません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューでTABキーを使用する場合にシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。

DIMM構成が無効な場合にBIOSが正しく識別せずシステムを停止するという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)エネルギー効率ターボ設定が"実行している"という問題を処理しました。構成設定が有効に設定されている場合、機能は実際には無効になっていました。無効に設定されている場合、機能は実際には有効になっていました。

S100i SW RAIDコントローラーから故障したRAIDボリュームを修理しようとする、サーバーがロックアップして赤色の画面が表示されるという問題に対処しました。

BIOSが正しく構成されていても、RESTful APIでBIOS設定が正しく適用されていないと報告されるという問題に対処しました。

Trusted Platform Module(TPM)がインストールされているとき、システムがウォームリセット後のブート中に反応しなくなり、通常はブランク画面が表示されるという問題に対処しました。オプションのTPMを含むシステムで再起動の問題が見られる場合は、このリビジョン以降へシステムROMを有効にすることを強くお勧めします。

サーバーの再起動時にシステムが413 Innovation Engine認証エラーを誤って報告するという非常にまれに生じる問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電源オンロゴの無効化機能のサポートを無効にしました。

内蔵Diagnosticsを有効または無効にするプラットフォーム構成 (RBSU) オプションを削除しました。内蔵Diagnosticsはこのサーバーでサポートされていないのでメニューオプションは必要なく、機能がしません。

システムユーティリティから内蔵Diagnosticsサポートが削除されます。

Intel Platform Trust Technology(Intel PTT)と呼ばれるチップセットファームウェアベースのTrusted Platform Module(TPM)のサポートが削除されました。この機能は安定性の問題からサポートされなくなりました。Intelはこの機能のサポートを推奨していません。これをサポートするには、ユーザーは個別のHPE TPMオプションを代わりにインストールする必要があります。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

拡張

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL360 Gen10 (U32)サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u32-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u32-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360 Gen10システムROM - U32

リリースバージョン:

1.20_08-18-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.20_08-18-2017

以前のリビジョン:

1.00_06-01-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

動的消費電力上限のサポートの追加 この機能は、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ブート時間最適化メニューから有効にできます。このサポートには、Power Management Controllerファームウェアバージョン1.0.4およびIntegrated Lights-Out(iLO)ファームウェアバージョン1.15以降が必要です。

HPE Core Boostテクノロジーのサポートを追加しました。この機能を使用するには、HPE Innovation Engineファームウェア0.1.2.6以降が必要です。

LLCデッドライン割り当てのためのBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングのオプションが新しく追加されました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

古くなったAからSに対応する新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングオプションを追加しました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

パフォーマンスが最適でなくなることがある不均衡なメモリ構成を検出して報告するためのサポートが追加されました。メモリ取り付け規則と推奨事項について詳しくは、メモリ取り付けガイドラインを参照してください。

現在Intelが観察しているプロセッサの問題に基づいて、XPTプリフェッチをデフォルトで無効に設定するXPTプリフェッチ用の新しい自動オプションがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに追加されました。このオプションを有効にすると(このオプションを強制的に有効に設定すると)、レイテンシパフォーマンスが向上する可能性があります。Intelによると、XPTプリフェッチが有効になっている場合は、まれに安定性の問題が発生する可能性があります。

HPE128GB SmartメモリLoad Reduced DIMM (LRDIMM)のサポートを追加しました。

最新のGPUアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

システムユーティリティのための言語翻訳(英語以外のモード)をアップデートしました。

修正された問題点:

内蔵UEFIシェルrestclientユーティリティがネットワーク TLS(HTTPS)サポートの属性を適切に構成しないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに誤った管理者パスワードが入力された後もUEFIまたはレガシーブート順序が変更されるという問題に対処しました。

ドライブがコントローラーに接続されていないときに組み込みAHCI SATAコントローラーがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)PCIデバイスメニューに正しく表示されないという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューで、オプションデバイス構成ページからの構成設定の保存が正しく保存されないという問題に対処しました。この問題は、1つのネットワークアダプタカードで見られました。

取り付けられたバッテリーでサポートできるよりも多くのデバイスが取り付けられている場合に、システムROMがHPE Smartバッテリーストレージサブシステムの構成エラーを正しく報告しないという問題に対処しました。

直接接続されたNVMeハードディスクドライブで構成されたプラットフォームがシステムユーティリティページから正しくない場所(ボックスおよびベイの場所)を報告するという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューでオプションのPCIeアダプターの正しい名前が表示されないという問題に対処しました。

シャーシの電源装置情報が業界標準SMBIOSレコードから適切に報告されないという問題に対処しました。

システムがレガシーブートモードで構成された場合にIntegrated Lights Out(iLO)リモートコンソールキーボードとマウスが正しく機能しないという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには存在しません。

HPEジッターパフォーマンス機能の設定をIntegrated Lights Out Webインターフェイスから正しく変更できないという問題に対処しました。

バッテリーが実際には故障しているときにHPE Smartバッテリーが充電中だとシステムから報告される問題に対処しました。システムがSmartバッテリーの問題点を報告している場合、このシステムROMをフラッシュすることをお勧めします。

Trusttd Platform Module(TPM)ビジビリティのTPMオプションがRESTful APIを通じて構成できないという問題に対処しました。

OS起動前環境からレガシーブートモードでDIRなどの文字を繰り返し入力するとシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードのシステムまたはオペレーティングシステムを起動したシステムには影響しません。

PCIe最大ペイロードサイズが正しくプログラムされていないという理由で、Dialogicアダプターなどの特定のサードパーティPCIeアダプターが正しく機能しないという問題に対処しました。

x16スロットPCIeライザーおよび3スロットx8ライザーがサーバー内に存在するとき、特定のNVMeデバイスが検出されないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ネットワークオプションメニューからデバイス上のネットワークブートが無効にされたとき、ネットワークブートオプションが依然としてレガシーブート順序内にエントリを表示するという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには影響しません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューでTABキーを使用する場合にシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。

DIMM構成が無効な場合にBIOSが正しく識別せずシステムを停止するという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)エネルギー効率ターボ設定が"退行している"という問題を処理しました。構成設定が有効に設定されている場合、機能は実際には無効になっていました。無効に設定されている場合、機能は実際には有効になっていました。

S100i SW RAIDコントローラーから故障したRAIDボリュームを修理しようとすると、サーバーがロックアップして赤色の画面が表示されるという問題に対処しました。

BIOSが正しく構成されていても、RESTful APIでBIOS設定が正しく適用されていないと報告されるという問題に対処しました。

Trusted Platform Module(TPM)がインストールされているとき、システムがウォームリセット後のブート中に反応しなくなり、通常はブランク画面が表示されるという問題に対処しました。オプションのTPMを含むシステムで再起動の問題が見られる場合は、このリビジョン以降システムROMを有効にすることを強くお勧めします。

サーバーの再起動時にシステムが413 Innovation Engine認証エラーを誤って報告するという非常にまれに生じる問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電源オンロゴの無効化機能のサポートを無効にしました。

内蔵Diagnosticsを有効または無効にするプラットフォーム構成(RBSU)オプションを削除しました。内蔵Diagnosticsはこのサーバーでサポートされていないのでメニューオプションは必要なく、機能がしません。

システムユーティリティから内蔵Diagnosticsサポートが削除されます。

Intel Platform Trust Technology(Intel PTT)と呼ばれるチップセットファームウェアベースのTrusted Platform Module(TPM)のサポートが削除されました。この機能は安定性の問題からサポートされなくなりました。Intelはこの機能のサポートを推奨していません。これをサポートするには、ユーザーは個別のHPE TPMオプションを代わりにインストールする必要があります。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant EC200a (U26) サーバー/HPE ProLiant Thin Micro TM200 (U26) サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u26-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

拡張

HPE ProLiant Thin Micro TM200サーバーのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML110 Gen10 (U33)サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u33-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u33-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.rpm

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

拡張

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML350 Gen10 (U41) サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u41-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-u41-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.rpm

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセー

ジとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant XL270d (U25) アクセラレータトレイ

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u25-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE ProLiant XL270dアクセラレータトレイシステムROM - U25

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-13-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

NVIDIA P4、NVIDIA V100、およびAMD MI25グラフィックカードのサーマルサポートを追加しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Synergy 620/680 Gen9 (I40) コンピュータモジュール

バージョン: 2.50_10-01-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-i40-2.50_2017_10_01-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Synergy 620/680 Gen9 システムROM - I40

リリースバージョン:

2.50_10-01-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_09-08-2016

以前のリビジョン:

2.42_04-05-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E7 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E7 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答しなくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のリビジョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E7 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E7 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答しなくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のリビジョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要な

システムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware - HPE ProLiant EC200a (U26) サーバー/HPE ProLiant Thin Micro TM200 (U26) サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033773.zip

拡張

HPE ProLiant Thin Micro TM200サーバーのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware - HPE Synergy 620/680 Gen9 (I40) コンピュートモジュール

バージョン: 2.50_10-01-2017 (オプション)

ファイル名: CP033493.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Synergy 620/680 Gen9 システムROM - I40

リリースバージョン:

2.50_10-01-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_09-08-2016

以前のリビジョン:

2.42_04-05-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E7 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E7 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答しなくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のリビジョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.5、ESXi 6.0、ESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、および5.5用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E7 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E7 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答しなくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のリビジョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant BL460c Gen10 (I41)サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: cp033608.compsig; cp033608.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen10システムROM - I41

リリースバージョン:

1.20_08-18-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.20_08-18-2017

以前のリビジョン:

1.00_06-01-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

動的消費電力上限のサポートの追加 このサポートには、Power Management Controllerファームウェアバージョン1.0.4およびIntegrated Lights-Out(iLO)ファームウェアバージョン1.15以降が必要です。

HPE Core Boostテクノロジーのサポートを追加しました。この機能を使用するには、HPE Innovation Engineファームウェア0.1.2.6以降が必要です。

LLCデッドライン割り当てのためのBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングのオプションが新しく追加されました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

古くなったAからSに対応する新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングオプションを追加しました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

パフォーマンスが最適でなくなることがある不均衡なメモリ構成を検出して報告するためのサポートが追加されました。メモリ取り付け規則と推奨事項について詳しくは、メモリ取り付けガイドラインを参照してください。

現在Intelが観察しているプロセッサの問題に基づいて、XPTプリフェッチをデフォルトで無効に設定するXPTプリフェッチ用の新しい自動オプションがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに追加されました。このオプションを有効にすると(このオプションを強制的に有効に設定すると)、レイテンシパフォーマンスが向上する可能性があります。Intelによると、XPTプリフェッチャが有効になっている場合は、まれに安定性の問題が発生する可能性があります。

HPE128GB SmartメモリLoad Reduced DIMM (LRDIMM)のサポートを追加しました。

最新のGPUアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

システムユーティリティのための言語翻訳(英語以外のモード)をアップデートしました。

修正された問題点:

内蔵UEFIシェルrestclientユーティリティがネットワーク TLS(HTTPS)サポートの属性を適切に構成しないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに誤った管理者パスワードが入力された後もUEFIまたはレガシーブート順序が変更されるという問題に対処しました。

ドライブがコントローラーに接続されていないときに組み込みAHCI SATAコントローラーがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)PCIデバイスメニューに正しく表示されないという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューで、オプションデバイス構成ページからの構成設定の保存が正しく保存されないという問題に対処しました。この問題は、1つのネットワークアダプタカードで見られました。

取り付けられたバッテリーでサポートできるよりも多くのデバイスが取り付けられている場合に、システムROMがHPE Smartバッテリーストレージサブシステムの構成エラーを正しく報告しないという問題に対処しました。

直接接続されたNVMeハードディスクドライブで構成されたプラットフォームがシステムユーティリティページから正しくない場所(ボックスおよびベイの場所)を報告するという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューでオプションのPCIeアダプターの正しい名前が表示されないという問題に対処しました。

システムがレガシーブートモードで構成された場合にIntegrated Lights Out(iLO)リモートコンソールキーボードとマウスが正しく機能しないという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには存在しません。

HPEジッターパフォーマンス機能の設定をIntegrated Lights Out Webインターフェイスから正しく変更できないという問題に対処しました。

バッテリーが実際には故障しているときにHPE Smartバッテリーが充電中だとシステムから報告される問題に対処しました。システムがSmartバッテリーの問題点を報告している場合、このシステムROMをフラッシュすることをお勧めします。

TrusteT Platform Module(TPM)ビジビリティのTPMオプションがRESTful APIを通じて構成できないという問題に対処しました。

OS起動前環境からレガシーブートモードでDIRなどの文字を繰り返し入力するとシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードのシステムまたはオペレーティングシステムを起動したシステムには影響しません。

PCIe最大ペイロードサイズが正しくプログラムされていないという理由で、Dialogicアダプターなどの特定のサードパーティPCIeアダプターが正しく機能しないという問題に対処しました。

x16スロットPCIeライザーおよび3スロットx8ライザーがサーバー内に存在するとき、特定のNVMeデバイスが検出されないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ネットワークオプションメニューからデバイス上のネットワークブートが無効にされたとき、ネットワークブートオプションが依然としてレガシーブート順序内にエントリを表示するという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには影響しません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューでTABキーを使用する場合にシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。

DIMM構成が無効な場合にBIOSが正しく識別せずシステムを停止するという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)エネルギー効率ターボ設定が"退行している"という問題を処理しました。構成設定が有効に設定されている場合、機能は実際には無効になっていました。無効に設定されている場合、機能は実際には有効になっていました。

S100i SW RAIDコントローラーから故障したRAIDボリュームを修理しようとする、サーバーがロックアップして赤色の画面が表示されるという問題に対処しました。

BIOSが正しく構成されていても、RESTful APIでBIOS設定が正しく適用されていないと報告されるという問題に対処しました。

Trusted Platform Module(TPM)がインストールされているとき、システムがウォームリセット後のブート中に反応しなくなり、通常はブランク画面が表示されるという問題に対処しました。 オプションのTPMを含むシステムで再起動の問題が見られる場合は、このリビジョン以降システムROMを有効にすることを強くお勧めします。

サーバーの再起動時にシステムが413 Innovation Engine認証エラーを誤って報告するという非常にまれに生じる問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電源オンロゴの無効化機能のサポートを無効にしました。

内蔵Diagnosticsを有効または無効にするプラットフォーム構成 (RBSU) オプションを削除しました。 内蔵Diagnosticsはこのサーバーでサポートされていないのでメニューオプションは必要なく、機能がしません。

システムユーティリティから内蔵Diagnosticsサポートが削除されます。

Intel Platform Trust Technology(Intel PTT)と呼ばれるチップセットファームウェアベースのTrusted Platform Module(TPM)のサポートが削除されました。この機能は安定性の問題からサポートされなくなりました。Intelはこの機能のサポートを推奨していません。これをサポートするには、ユーザーは個別のHPE TPMオプションを代わりにインストールする必要があります。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143ブ

ロセッサーを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサーモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

拡張

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL120 Gen9 (P86)サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033770.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL120 Gen9 システムROM - P86

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-05-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際には

ログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL360 Gen10 (U32)サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: cp033538.compsig; cp033538.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360 Gen10システムROM - U32

リリースバージョン:

1.20_08-18-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.20_08-18-2017

以前のリリース:

1.00_06-01-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

動的消費電力上限のサポートの追加 この機能は、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ブート時間最適化メニューから有効にできます。このサポートには、Power Management Controllerファームウェアバージョン1.0.4およびIntegrated Lights-Out(iLO)ファームウェアバージョン1.15以降が必要です。

HPE Core Boostテクノロジーのサポートを追加しました。この機能を使用するには、HPE Innovation Engineファームウェア0.1.2.6以降が必要です。

LLCデッドライン割り当てのためのBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングのオプションが新しく追加されました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

古くなったAからSに対応する新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電力およびパフォーマンスチューニングオプションを追加しました。特定のアプリケーションを実行する場合は、この設定をデフォルト値から変更すると、システムパフォーマンスが向上する可能性があります。

パフォーマンスが最適でなくなることがある不均衡なメモリ構成を検出して報告するためのサポートが追加されました。メモリ取り付け規則と推奨事項について詳しくは、メモリ取り付けガイドラインを参照してください。

現在Intelが観察しているプロセッサの問題に基づいて、XPTプリフェッチをデフォルトで無効に設定するXPTプリフェッチ用の新しい自動オプションがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに追加されました。このオプションを有効にすると(このオプションを強制的に有効に設定すると)、レイテンシパフォーマンスが向上する可能性があります。Intelによると、XPTプリフェッチが有効になっている場合は、まれに安定性の問題が発生する可能性があります。

HPE128GB SmartメモリLoad Reduced DIMM (LRDIMM)のサポートを追加しました。

最新のGPUアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

システムユーティリティのための言語翻訳(英語以外のモード)をアップデートしました。

修正された問題点:

内蔵UEFIシェルrestclientユーティリティがネットワーク TLS(HTTPS)サポートの属性を適切に構成しないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューに誤った管理者パスワードが入力された後もUEFIまたはレガシーブート順序が変更されるという問題に対処しました。

ドライブがコントローラーに接続されていないときに組み込みAHCI SATAコントローラーがBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)PCIデバイスメニューに正しく表示されないという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューで、オプションデバイス構成ページからの構成設定の保存が正しく保存されないという問題に対処しました。この問題は、1つのネットワークアダプタカードで見られました。

取り付けられたバッテリーでサポートできるよりも多くのデバイスが取り付けられている場合に、システムROMがHPE Smartバッテリーストレージサブシステムの構成エラーを正しく報告しないという問題に対処しました。

直接接続されたNVMeハードディスクドライブで構成されたプラットフォームがシステムユーティリティページから正しくない場所(ボックスおよびベイの場所)を報告するという問題に対処しました。

システムユーティリティメニューでオプションのPCIeアダプターの正しい名前が表示されないという問題に対処しました。

シャーシの電源装置情報が業界標準SMBIOSレコードから適切に報告されないという問題に対処しました。

システムがレガシーブートモードで構成された場合にIntegrated Lights Out(iLO)リモートコンソールキーボードとマウスが正しく機能しないという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには存在しません。

HPEジッターパフォーマンス機能の設定をIntegrated Lights Out Webインターフェイスから正しく変更できないという問題に対処しました。

バッテリーが実際には故障しているときにHPE Smartバッテリーが充電中だとシステムから報告される問題に対処しました。システムがSmartバッテリーの問題点を報告している場合、このシステムROMをフラッシュすることをお勧めします。

TrusteTd Platform Module(TPM)ビジビリティのTPMオプションがRESTful APIを通じて構成できないという問題に対処しました。

OS起動前環境からレガシーブートモードでDIRなどの文字を繰り返し入力するとシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードのシステムまたはオペレーティングシステムを起動したシステムには影響しません。

PCIe最大ペイロードサイズが正しくプログラムされていないという理由で、Dialogicアダプターなどの特定のサードパーティPCIeアダプターが正しく機能しないという問題に対処しました。

x16スロットPCIeライザーおよび3スロットx8ライザーがサーバー内に存在するとき、特定のNVMeデバイスが検出されないという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)ネットワークオプションメニューからデバイス上のネットワークブートが無効にされたとき、ネットワークブートオプションが依然としてレガシーブート順序内にエントリを表示するという問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードに構成されたシステムには影響しません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)メニューでTABキーを使用する場合にシステムが反応しなくなるという問題に対処しました。

DIMM構成が無効な場合にBIOSが正しく識別せずシステムを停止するという問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)エネルギー効率ターボ設定が"退行している"という問題を処理しました。構成設定が有効に設定されている場合、機能は実際には無効になっていました。無効に設定されている場合、機能は実際には有効になっていました。

S100i SW RAIDコントローラーから故障したRAIDボリュームを修理しようとするとき、サーバーがロックアップして赤色の画面が表示されるという問題に対処しました。

BIOSが正しく構成されていても、RESTful APIでBIOS設定が正しく適用されていないと報告されるという問題に対処しました。

Trusted Platform Module(TPM)がインストールされているとき、システムがウォームリセット後のブート中に反応しなくなり、通常はブランク画面が表示されるという問題に対処しました。オプションのTPMを含むシステムで再起動の問題が見られる場合は、このリビジョン以降へシステムROMを有効にすることを強くお勧めします。

サーバーの再起動時にシステムが413 Innovation Engine認証エラーを誤って報告するという非常にまれに生じる問題に対処しました。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の電源オンロゴの無効化機能のサポートを無効にしました。

内蔵Diagnosticsを有効または無効にするプラットフォーム構成(RBSU)オプションを削除しました。内蔵Diagnosticsはこのサーバーでサポートされていないのでメニューオプションは必要なく、機能がしません。

システムユーティリティから内蔵Diagnosticsサポートが削除されます。

Intel Platform Trust Technology(Intel PTT)と呼ばれるチップセットファームウェアベースのTrusted Platform Module(TPM)のサポートが削除されました。この機能は安定性の問題からサポートされなくなりました。Intelはこ

の機能のサポートを推奨していません。これをサポートするには、ユーザーは個別のHPE TPMオプションを代わりにインストールする必要があります。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant EC200a (U26) サーバー/HPE ProLiant Thin Micro TM200 (U26) サーバー

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033690.exe

拡張

HPE ProLiant Thin Micro TM200サーバーのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML110 Gen10 (U33)サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: cp033610.compsig; cp033610.exe

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

拡張

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML350 Gen10 (U41) サーバー

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: cp033574.compsig; cp033574.exe

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

す。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant XL270d (U25) アクセラレータトレイ

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033765.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL270dアクセラレータトレイシステムROM - U25

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_05-13-2016

以前のリビジョン:

2.30_09-12-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

主要な NIC MACノードが示す場所は、エンクロージャーシャーシマネージャーに適切に報告されない場合があるという問題を処理しました。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

NVIDIA P4、NVIDIA V100、およびAMD MI25グラフィックカードのサーマルサポートを追加しました。

既知の問題点:

なし

Linux用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 480 Gen10(I42)コンピュータモジュール

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-i42-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-i42-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.rpm

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

す。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

Linux用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 480 Gen9 (I37) コンピュータモジュール

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-i37-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE Synergy 480 Gen9 System ROM - I37

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_09-14-2016

以前のリビジョン:

2.20_09-14-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

Linux用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 660 Gen10(I43)コンピュータモジュール

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-i43-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-system-i43-1.22_2017_09_29-1.1.x86_64.rpm

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

Linux用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 660 Gen9 (I39) コンピュータモジュール

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-i39-2.52_2017_10_25-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

2.40_02-17-2017 (B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.40_02-17-2017と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.40_02-17-2017へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

SUM バージョン7.6.0またはそれ以前のバージョンの場合は、2.40_02-17-2017 (B)の配置に使用されなければいけません。

提供名:

HPE Synergy 660 Gen9 System ROM - I39

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_09-08-2016

以前のリリース:

2.20_09-08-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要な

システムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

VMware用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 480 Gen9 (I37) コンピュータモジュール

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033730.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Synergy 480 Gen9 System ROM - I37

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_09-14-2016

以前のリビジョン:

2.20_09-14-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。
- ESXi 5.5、ESXi 6.0、ESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。
- 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、および5.5用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

VMware用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 660 Gen9 (I39) コンピュータモジュール

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: CP033739.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Synergy 660 Gen9 System ROM - I39

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_09-08-2016

以前のリビジョン:

2.20_09-08-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.5、ESXi 6.0、ESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。

5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、および5.5用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

Windows x64用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 480 Gen10(I42)コンピュータモジュール

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: cp033551.compsig; cp033551.exe

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリがシステムで表示されるという問題に対処しました。こ

の問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

Windows x64用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 480 Gen9 (I37) コンピュータモジュール

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033728.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Synergy 480 Gen9 System ROM - I37

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_09-14-2016

以前のリビジョン:

2.20_09-14-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USBベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

Windows x64用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 620/680 Gen9 (I40) コンピュートモジュール

バージョン: 2.50_10-01-2017 (オプション)

ファイル名: cp033491.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Synergy 620/680 Gen9 システムROM - I40

リリースバージョン:

2.50_10-01-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_09-08-2016

以前のリビジョン:

2.42_04-05-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E7 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E7 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答しなくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のリビジョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E7 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E7 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

取り付けられているHoneywell LCNP4カードで構成されたシステムが、システムブート中に応答を停止することがあるという問題に対処しました。

オプションのHPEデュアル8GB microSD USBデバイスがファームウェアバージョン202で取り付けられている場合に、システムブート中にシステムが応答しなくなる問題に対処しました。この問題は、ファームウェア212以降のリビジョンを使用するHPEデュアル8GB MicroSD USBデバイスで構成されたサーバーには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

Windows x64用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 660 Gen10(I43)コンピュータモジュール

バージョン: 1.22_09-29-2017 (オプション)

ファイル名: cp033536.compsig; cp033536.exe

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)Sub-NUMAクラスタリングオプションが有効になっているときにシステムが最大のパフォーマンス結果を達成しない問題に対処しました。このオプションは、デフォルトで無効になっています。

オペレーティングシステムが長時間実行された後に、システムが誤ってシステム時刻を間違った時刻に"シフト"してしまう問題に対処しました。この問題はMicrosoft Windowsで、Windowsの日付と時刻の設定ページで時刻を自動的に設定するオプションが有効になっている場合に通常発生します。

メモリトレーニングの失敗が発生したときにシステムがインテグレートドマネジメントログ(IML)で不正確なエラーメッセージを報告するという問題に対処しました。トレーニングに問題が起こっているユーザーは、DIMMを置き換える前に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。

バージョン1.20のシステムROMを使用しているとき、iLO AdvancedライセンスがないためにCore Boostテクノロジーが無効になっている(531 - Core Boostテクノロジーに必要なiLOライセンスがない)との誤った起動時メッセージとインテグレートドマネジメントログ(IML)エントリーがシステムで表示されるという問題に対処しました。この問題はバージョン1.00のシステムROMでは発生しません。このIMLエントリーは、Intel Xeon Scalable 6143プロセッサを使用するサーバーでのみ有効です。他のプロセッサモデルが設置されている状態でメッセージおよびIMLエントリーが受信された場合、メッセージは誤っており、システムに悪影響を与えることなく無視できます。

既知の問題点:

なし

Windows x64用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Synergy 660 Gen9 (I39) コンピュータモジュール

バージョン: 2.52_10-25-2017 (オプション)

ファイル名: cp033737.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Synergy 660 Gen9 System ROM - I39

リリースバージョン:

2.40_02-17-2017

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_09-08-2016

以前のリビジョン:

2.20_09-08-2016

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

最新のアダプターをサポートするためにシステムのサーマルロジックを修正しました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HP BIOS属性レジストリ リソースをアップデートしました。

修正された問題点:

サードパーティのUSB 3.0 XHCI アダプターカードがサーバーにインストールされる時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。

システムが、DIMMがIntegrated Management Log (IML)に高い率での修正されたメモリエラーを経験したことを適切に示しているが、DIMMのステータスはiLO GUIでは正常であると誤って報告されるという問題を処理しました。iLO GUIはDIMMのステータスは劣化だと報告します。

USB-ベースのUPSがサーバーUSBポートに装着されている時に、システムブート間にシステムが反応しなくなるという問題を解決しました。この問題は、システムがレガシブートモードに設定されている場合にのみ発生します。

システムが適切な報告を行わず、Integrated Management Log (IML)に対するログエラーがオプションのHPE デュアル SD カード上に検出される問題を解決しました。この問題はシステムがウォームリセットを実行する際にはログのみに影響します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムにIntel Xeon E5 v4プロセッサが取り付けられているときに、プロセッサコア無効が適切に機能しない(誤った数のコアを無効にするなど)の問題に対処しました。この問題は、Intel Xeon E5 v3プロセッサで構成されたシステムには影響しません。

既知の問題点:

なし

拡張

Trusted Platform Module (TPM) 2.0ファームウェアのフラッシュアップデートのサポートを追加しました。オプションのTPM 2.0デバイスで構成されたシステムの場合は、TPMファームウェアをアップデートするために必要なシステムROMの最小リビジョンです。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにHPE RESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

ドライバー - チップセット

[先頭](#)

Windows用AMD Naples Processorの識別子

バージョン: 1.0.0.0 (オプション)

ファイル名: cp031486.compsig; cp031486.exe

拡張

最初のリリース。

Windows用Intel Xeon Processor Scalable Family向け識別子

バージョン: 10.1.2.85 (オプション)

ファイル名: cp030694.compsig; cp030694.exe

拡張

最初のリリース。

ドライバー - ネットワーク

[先頭](#)

Windows Server 2012 R2用HPE Intel ixsbドライバー

バージョン: 3.14.3.0 (オプション)

ファイル名: cp031297.compsig; cp031297.exe

拡張

最初のリリース。

HP Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 11.2.1263.16-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2iscsi-11.2.1263.16-1.rhel6u8.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-11.2.1263.16-1.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi-11.2.1263.16-1.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-11.2.1263.16-1.rhel6u9.x86_64.rpm; README

拡張

この製品はRed Hat Enterprise Linux 7 Update 4およびSUSE Linux Enterprise Server 12 SP3のサポートを追加するためにアップデートされたソースと同期されるようにアップデートされました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC551m デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージドネットワークアダプター
- HP NC551i デュアルポート FlexFabric 10Gb ネットワークアダプター
- HP NC553iデュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージド ネットワークアダプター
- HP NC553m 10Gb デュアルポート FlexFabric コンバージド ネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLB コンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLR-SFP+ コンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554M コンバージドネットワークアダプター
- HP CN1000E Dual Port Converged Network Adapter
- HP CN1100E Converged Network Adapter

HP Emulex 10/20GbE ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 11.2.1263.16-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2net-11.2.1263.16-1.rhel6u8.x86_64.compsig; kmod-be2net-11.2.1263.16-1.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-be2net-11.2.1263.16-1.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-be2net-11.2.1263.16-1.rhel6u9.x86_64.rpm; README

拡張

この製品はRed Hat Enterprise Linux 7 Update 4およびSUSE Linux Enterprise Server 12 SP3のサポートを追加するためにアップデートされたソースと同期されるようにアップデートされました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC550SFP デュアルポート10GbE サーバーアダプター
- HP NC550m デュアルポート Flex-10 10GbE BL-c アダプター
- HP NC551m デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージドネットワークアダプター
- HP NC551i デュアルポート FlexFabric 10Gb ネットワークアダプター
- HP NC552m 10Gb デュアルポート Flex-10 サーバーアダプター
- HP NC552SFP 10Gb デュアルポート Ethernet サーバーアダプター
- HP NC553iデュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージド ネットワークアダプター
- HP NC553m 10Gb デュアルポート FlexFabric コンバージド ネットワークアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 552M ネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLB コンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLR-SFP+ コンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554M コンバージドネットワークアダプター
- HP CN1000E Dual Port Converged Network Adapter
- HP CN1100E Converged Network Adapter

HP Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8 (x86_64)

バージョン: 3.4 (推奨)

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-3.4-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.rhel6u8.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-3.4-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.rhel6u8.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-3.4-

OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.rhel6u8.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-3.4-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.rhel6u8.x86_64.rpm

修正

バージョン3.4で、以下の問題を解決しました。

- もしmlx4_ibモジュールがロードされなかったとき、タイムアウト後の "ethtool" セルフテストが割り込みテストでしばしば失敗していました。
- まれな状況で、非同期のイベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo() によって、システムリブートの間にカーネルパニックが発生することがありました。
- VF netdevsが開いている状態でSR-IOVを無効にしようとすると、オペレーションが失敗しました。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライババージョン3.4は、以下の変更点および新機能を含みます。

- 以下のカーネルモジュールパラメーターを追加しました:
 - mlx4_en_only_mode
 - udev_dev_port_dev_id

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6U8 (x86_64)のカーネルは、次のとおりです。
2.6.32-642.el6 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HP Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9 (x86_64)

バージョン: 4.1 (推奨)

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-4.1-OFED.4.1.1.0.2.1.gc22af88.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.1-OFED.4.1.1.0.2.1.gc22af88.rhel6u9.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.1-OFED.4.1.1.0.2.1.gc22af88.rhel6u9.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.1-OFED.4.1.1.0.2.1.gc22af88.rhel6u9.x86_64.rpm

修正

バージョン4.1で、以下の問題を解決しました。

- IPv6のプロシージャラーが、基となるカーネルでサポートされていないときに呼び出されました。
- カーネル4.11で始まったメモリーリークの問題を修正し、将来のSKBリークの検出を容易にするために、Soft RoCEドライバーに警告メッセージを追加しました。
- Rxeデバイスを仮想(ダミー)デバイスと組み合わせたときに、カーネルのクラッシュがしばしば発生していました。
- IPベースのGIDの損失が原因で、RoCE GIDキャッシュの競合状態がしばしば生じていました。
- 同じホスト上のクライアントとサーバー間のrdma_cm接続は、VLANインターフェイスを介して操作しているときは不可能でした。
- RDMACM接続の接続レートが高いときは、RDMA_CM_EVENT_UNREACHABLEというエラーメッセージが表示されて失敗することがよくありました。
- ページサイズが16KBより大きいシステムでは、SR-IOV(シングルルートI/O仮想化)はサポートされていませんでした。

バージョン4.0で、以下の問題を解決しました。

- SLES12 SP2でドライバーの起動時にカーネルがメモリ不足になることがありました。
- MACアドレス00:00:00:00:00:00でスプーフィングチェックがオンになりました
- Large Receive Offload (LRO)がオンになっていたときにTCPパケットが不適切な方法で受信されました。

- RXリングサイズを大きくするとCQバッファのメモリ割り当てが失敗することがよくありました。
- MLNX_ENドライバーが4KページのARMアーキテクチャーでロードに失敗しました。

バージョン3.4で、以下の問題を解決しました。

- mlx4_ibモジュールがロードされなかった場合、タイムアウト後の "ethtool" セルフテストが割り込みテストで失敗することがありました。
- まれな状況で、非同期のイベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo() によって、システムリブートの間にカーネルパニックが発生することがありました。
- VF netdevsが開いている状態でSR-IOVを無効にしようとすると、操作が失敗しました。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーv4.1は、以下の変更点および新機能を含みます。

- /sys/class/infiniband/mlx5_0/ports/1/hw_counters/ディレクトリの下にある追加のRoCE診断およびECN輻輳カウンターのサポート。
- rx-fcs ethtoolオフロード構成のサポート。通常、パケットのFCSは、アプリケーションソケットバッファ(skb)に送信される前にASICハードウェアによって切り捨てられます。Ethtoolを使用して、rx-fcsが切り捨てられないように設定しながら、分析のためにアプリケーションに渡すことができます。
- DSCP値に基づいてPFCを有効にするためのオプション。この解決方法を使用することで、VLANヘッダーの使用が必須ではなくなります。
- ECNパラメーターは次のディレクトリに移動されています。/sys/kernel/debug/mlx5/ /cc_params/
- mlx_fs_dump(ステアリングルールを読み出し可能な形式で出力するpythonツール)のサポート。
- 名前やIDなどのPCIピア属性を指定する際に、デバイスをオープンし、コンテキストを作成する機能。
- ハイパーバイザー上の検査済みVFを無効する機能。
- ローカルループバックが使用されていないときに、ローカルループバック(ユニキャストおよびマルチキャスト)をmlx5ドライバーによってデフォルトで無効にすることで、パフォーマンスを改善しました。mlx5ドライバーは、ユーザースペースのアプリケーションによって開いた伝送ドメインの数を記録します。複数のユーザースペースの伝送ドメインが開いている場合、ローカルループバックは自動的に有効になります。
- 1パルス/秒(1PPS)のサポート。これは、アダプターがアダプターカードの専用のピンで1パルス/秒を送受信できるようにする時刻同期機能です。
- シャットダウンおよびkexecフローでのドライバーの高速終了のサポート。
- NVMe over Fabrics (NVMeoF)オフロード(ハードウェアの新しいNVMeoF標準ターゲット(サーバー)側の実装)のサポート。
- デフォルトのRoCEモードを変更して、RDMA CMがRoCEv1ではなくRoCEv2で利用できるようにしました。クライアント側とサーバー側で同じRoCEモードをサポートするには、RDMA_CMセッションに両方の側が必要です。そうでない場合、クライアントはサーバーに接続できなくなります。

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン3.4は、以下の変更点および新機能を含みます。

- 以下のカーネルモジュールパラメーターを追加しました:
 - mlx4_en_only_mode
 - udev_dev_port_dev_id

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6 Update 9 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
2.6.32-696.el6 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HP Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3 (x86_64)

バージョン: 3.4 (推奨)

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-3.4-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-3.4-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.rhel7u3.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-3.4-

修正

以下の問題点がバージョン3.4で修正されました。

- もしmlx4_ibモジュールがロードされなかったとき、タイムアウト後の "ethtool" セルフテストが割り込みテストでしばしば失敗していました。
- まれな状況で、非同期のイベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo() によって、システムリブートの間にカーネルパニックが発生することがありました。
- VF netdevsが開いている状態でSR-IOVを無効にしようとすると、オペレーションが失敗しました。

以下の問題が、バージョン3.3 (A) で修正されました。

- インターフェースの名前を変更する際の "mlnx_interface_mgr.sh" スクリプトとudevフロー間の競合状態

以下の問題点がバージョン3.3で修正されました。

- SLES12 SP1でのドライバーロードの問題を修正するために互換性 ocrdma.koモジュールを追加しました。
- /sys/class/infiniband/ /ports/ / で発見されたエラーカウンターが、ConnectX-4 アダプターカード内で正しく機能しませんでした。
- TXキューカウンター形式を:xq_[tc]*[ring/channel]に変更しました。
- RDMA Sniffer機能の問題を修正しました。
- 仮想機能がethtoolファシリティで使用されている場合、エラーメッセージがログに出力されました。
- 物理リンクのダウン時、同じポート上での物理機能から、任意の仮想機能へのトラフィックが欠落していました。

バージョン3.2 (A) での修正:

- "infiniband support"グループにOS配布のRPMがすでにインストールされている場合、RoCEユーザースペースのライブラリーであるRPM "mlnx-ofa_kernel"でインストールに失敗しました。
- 以前のバージョンのMLNX-ENドライバーがすでにインストールされている場合、RoCEドライバーアップグレードが正しく動作しません。これは、Mellanox Ethernet ポートが動作しない原因となります。

バージョン3.2での修正:

- もっとも近い NUMA ノードを、受信側スケーリング用のデフォルトに設定します。
- GROが有効になったときに、プロキシVXLANインターフェイスが正しく処理されないARP要求パケット。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン3.4は、以下の変更点および新機能を含みます。

- 以下のカーネルモジュールパラメーターを追加しました:
 - mlx4_en_only_mode
 - udev_dev_port_dev_id

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.3は、以下の変更点および新機能を含みます。

- 修正のみ。

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.2は、以下の変更点および新機能を含みます。

- ローケットキューペアおよび作業キュー用のFCS分散。
- 受信側の完了時に、L4パケットタイプの表示。
- 作業キュー用のCVLANインサートをサポート

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 3 (x86_64)カーネルは、次の通りです。

3.10.0-514.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 1.8.1-1 (オプション)

ファイル名: bnxt_en-kmp-default-1.8.1_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.8.1_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; bnxt_en-kmp-xen-1.8.1_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-xen-1.8.1_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、多数のRFSフィルターが使用されているときにメモリ破壊が発生するという問題に対処します。

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 1.7.25-1 (オプション)

ファイル名: bnxt_en-kmp-default-1.7.25_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.7.25_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.0.22以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 1.8.1-1 (オプション)

ファイル名: bnxt_en-kmp-default-1.8.1_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.8.1_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; bnxt_en-kmp-default-1.8.1_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.8.1_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、多数のRFSフィルターが使用されているときにメモリ破壊が発生するという問題に対処します。
この製品は、ドライバーのロード中のRoCEドライバーアップデートインターフェイス速度の問題に対処します。

拡張

この製品は、現在ibv_devinfoを使用したファームウェアバージョンのクエリをサポートしています。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 20.6.123.0 (オプション)

ファイル名: cp032643.compsig; cp032643.exe

修正

- この製品は、間違ったMACアドレスがAHSログに表示される原因となる問題を修正します。
- この製品は、間違ったポート速度情報がAHSログに表示される原因となる問題を修正します。
- この製品は、ポート速度がオートネゴシエーションするように変更されたときにリンクが停止する原因となる問題に対処します。
- この製品は、NPARインターフェイスでVMQを作成できないという問題を修正します。
- この製品は、RoCEv2を使用してRoCE接続を確立できないという問題を修正します。

HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2

バージョン: 20.6.1.3 (オプション)

ファイル名: libbnxtre-20.6.1.3-sles12sp2.x86_64.compsig; libbnxtre-20.6.1.3-sles12sp2.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64*、バージョン1.7.25-1以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからlibibverbパッケージを取得できます。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 6

バージョン: 1.8.1-1 (オプション)

ファイル名: kmod-bnxt_en-1.8.1-1.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.8.1-1.rhel6u9.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、多数のRFSフィルターが使用されているときにメモリ破壊が発生するという問題に対処します。
この製品は、ドライバーのロード中のRoCEドライバーアップデートインターフェイス速度の問題に対処します。

拡張

この製品は、現在ibv_devinfoを使用したファームウェアバージョンのクエリをサポートしています。

HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 1.8.1-1 (オプション)

ファイル名: kmod-bnxt_en-1.8.1-1.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.8.1-1.rhel7u3.x86_64.rpm;
kmod-bnxt_en-1.8.1-1.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.8.1-1.rhel7u4.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、多数のRFSフィルターが使用されているときにメモリ破壊が発生するという問題に対処します。
この製品は、ドライバーのロード中のRoCEドライバーアップデートインターフェイス速度の問題に対処します。

拡張

この製品は、現在ibv_devinfoを使用したファームウェアバージョンのクエリをサポートしています。

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Windows Server 2012 R2

バージョン: 20.6.123.0 (オプション)

ファイル名: cp032642.compsig; cp032642.exe

修正

- この製品は、間違ったMACアドレスがAHSログに表示される原因となる問題を修正します。
- この製品は、間違ったポート速度情報がAHSログに表示される原因となる問題を修正します。
- この製品は、ポート速度がオートネゴシエーションするように変更されたときにリンクが停止する原因となる問題に対処します。
- この製品は、NPARインターフェイスでVMQを作成できないという問題を修正します。
- この製品は、RoCEv2を使用してRoCE接続を確立できないという問題を修正します。

HPE Broadcom NX1 1Gbドライバーfor Windows Server x64 Edition

バージョン: 20.6.0.5 (オプション)

ファイル名: cp032617.compsig; cp032617.exe

重要な注意!

HPは、このドライバーでの使用に *HP Broadcom NX1* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.0.0.1以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

このドライバーは、ファームウェアのアップデートによってリンクがダウンする問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 330i アダプター(182D)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 330i アダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i アダプター(3372)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i アダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i-SPIアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター(2133)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター(22E8)

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332T ネットワークアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバ for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 3.137q-1 (オプション)

ファイル名: kmod-tg3-3.137q-1.rhel6u8.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.137q-1.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-tg3-3.137q-1.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.137q-1.rhel6u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらドライバとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.18.14以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

未定

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 330iアダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331iアダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332iアダプター(2133)
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバ for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 3.137s-1 (オプション)

ファイル名: kmod-tg3-3.137q-1.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.137q-1.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-tg3-3.137s-1.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.137s-1.rhel7u4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPは、これらのドライバ用に *HP NX1 Broadcom* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン2.16.4で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 330i アダプター(182D)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 330i アダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i アダプター(3372)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i アダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i-SPIアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター(2133)

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332T ネットワークアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 3.137q-1 (オプション)

ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.137q_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.137q_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; tg3-kmp-default-3.137q_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.137q_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; tg3-kmp-xen-3.137q_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; tg3-kmp-xen-3.137q_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; tg3-kmp-xen-3.137q_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.compsig; tg3-kmp-xen-3.137q_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

これらドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.18.14以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 330iアダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331iアダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332iアダプター(2133)
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 3.137q-1 (オプション)

ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.137q_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.137q_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; tg3-kmp-default-3.137q_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.137q_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; tg3-kmp-xen-3.137q_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; tg3-kmp-xen-3.137q_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm

重要な注意!

これらドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.18.14以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

未定

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 330iアダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331iアダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332iアダプター(2133)

- HP Ethernet 1Gb 2-port 332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 3.137s-1 (オプション)

ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.137q_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.137q_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; tg3-kmp-default-3.137s_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.137s_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

HPは、これらのドライバー用に *HP NX1 Broadcom* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86_64*、バージョン2.16.4で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 330i アダプター(182D)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 330i アダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i アダプター(3372)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i アダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i-SPIアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター(2133)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332T ネットワークアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for VMware vSphere 6.0

バージョン: 2017.07.07 (オプション)

ファイル名: cp032239.compsig; cp032239.zip

ドライバー名およびバージョン:

net-tg3:3.137l.v60.1-1OEM.600.0.0.2494585

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン1.17.15以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vib depot.hp.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331i アダプター

- HP Ethernet 1Gb 4-port 331i-SPIアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332iアダプター(2133)
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2-port 332Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 11.2.1153.23 (オプション)

ファイル名: cp030667.compsig; cp030667.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters - Windows(x64)*、バージョン2017.06.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、iSCSI LUNのバーチャルマシンへのマッピングが初期化されないという問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 11.2.1153.23 (オプション)

ファイル名: cp030668.compsig; cp030668.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters - Windows(x64)*、バージョン2017.06.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、iSCSI LUNのバーチャルマシンへのマッピングが初期化されないという問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 11.2.1153.23 (オプション)

ファイル名: cp030669.compsig; cp030669.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters - Windows(x64)*、バージョン2017.06.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、iSCSI LUNのバーチャルマシンへのマッピングが初期化されないという問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 11.2.1153.13 (オプション)

ファイル名: cp030661.compsig; cp030661.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters - Windows(x64)*、バージョン2017.06.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、Wake on LAN(WOL)マジックパケットでサーバーを起動できない問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 11.2.1153.13 (オプション)

ファイル名: cp030662.compsig; cp030662.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、 *HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters - Windows(x64)*、バージョン2017.06.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、Wake on LAN(WOL)マジックパケットでサーバーを起動できない問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 11.2.1153.13 (オプション)

ファイル名: cp030663.compsig; cp030663.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、 *HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters - Windows(x64)*、バージョン2017.06.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、Wake on LAN(WOL)マジックパケットでサーバーを起動できない問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 11.2.1263.16-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2net-11.2.1263.16-1.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-be2net-11.2.1263.16-1.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-be2net-11.2.1263.16-1.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-be2net-11.2.1263.16-1.rhel7u4.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

HPE Emulex 10/20GbE ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 11.2.1263.16-1 (オプション)

ファイル名: be2net-kmp-default-11.2.1263.16_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-11.2.1263.16_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; be2net-kmp-default-11.2.1263.16_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-11.2.1263.16_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; be2net-kmp-xen-11.2.1263.16_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; be2net-kmp-xen-11.2.1263.16_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; be2net-kmp-xen-11.2.1263.16_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.compsig; be2net-kmp-xen-11.2.1263.16_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; README

拡張

この製品はRed Hat Enterprise Linux 7 Update 4およびSUSE Linux Enterprise Server 12 SP3のサポートを追加するためにアップデートされたソースと同期されるようにアップデートされました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC550SFP デュアルポート10GbE サーバーアダプター
- HP NC550m デュアルポート Flex-10 10GbE BL-c アダプター
- HP NC551m デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージドネットワークアダプター
- HP NC551i デュアルポート FlexFabric 10Gb ネットワークアダプター
- HP NC552m 10Gb デュアルポート Flex-10 サーバーアダプター
- HP NC552SFP 10Gb デュアルポート Ethernet サーバーアダプター
- HP NC553iデュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージド ネットワークアダプター
- HP NC553m 10Gb デュアルポート FlexFabric コンバージド ネットワークアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 552M ネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLB コンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLR-SFP+ コンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554M コンバージドネットワークアダプター
- HP CN1000E Dual Port Converged Network Adapter
- HP CN1100E Converged Network Adapter

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 11.2.1263.16-1 (オプション)

ファイル名: be2iscsi-kmp-default-11.2.1263.16_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-11.2.1263.16_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-default-11.2.1263.16_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-11.2.1263.16_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-xen-11.2.1263.16_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-xen-11.2.1263.16_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-xen-11.2.1263.16_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-xen-11.2.1263.16_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; README

拡張

この製品はRed Hat Enterprise Linux 7 Update 4およびSUSE Linux Enterprise Server 12 SP3のサポートを追加するためにアップデートされたソースと同期されるようにアップデートされました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC551m デュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージドネットワークアダプター
- HP NC551i デュアルポート FlexFabric 10Gb ネットワークアダプター
- HP NC553iデュアルポート FlexFabric 10Gb コンバージド ネットワークアダプター
- HP NC553m 10Gb デュアルポート FlexFabric コンバージド ネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLB コンバージドネットワークアダプター

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554FLR-SFP+ コンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 554M コンバージドネットワークアダプター
- HP CN1000E Dual Port Converged Network Adapter
- HP CN1100E Converged Network Adapter

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 11.2.1226.13-1 (オプション)

ファイル名: be2iscsi-kmp-default-11.2.1226.13_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-11.2.1226.13_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-default-11.2.1226.13_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-11.2.1226.13_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-xen-11.2.1226.13_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-xen-11.2.1226.13_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters - Linux(x64)*、バージョン2017.06.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

TBD

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 11.2.1263.16-1 (オプション)

ファイル名: be2iscsi-kmp-default-11.2.1263.16_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-11.2.1263.16_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-default-11.2.1263.16_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-11.2.1263.16_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 11.2.1263.16-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2iscsi-11.2.1263.16-1.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-11.2.1263.16-1.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi-11.2.1263.16-1.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-11.2.1263.16-1.rhel7u4.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for VMware vSphere 6.0

バージョン: 2017.07.07 (オプション)

ファイル名: cp030635.compsig; cp030635.zip

ドライバー名およびバージョン:

ima-be2iscsi:11.2.1147.5-1OEM.600.0.0.2494585|scsi-be2iscsi:11.2.1147.5-1OEM.600.0.0.2494585

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters for VMware vSphere 6.0*、バージョン2017.06.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、システム起動時に発生するASSERTに対応します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2017.09.25 (オプション)

ファイル名: cp032534.zip

ドライバー名およびバージョン:

elx-esx-libelxima.so:11.2.1238.0-03|elxiscsi:11.2.1238.0-1OEM.650.0.0.4598673

修正

この製品は、HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター上でIPv6 VLANタギングを構成した後で、プロトコルエンドポイント(PE) LUNが欠落するという問題を解決します。

HPE Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 11.2.1226.2-1 (オプション)

ファイル名: be2net-kmp-default-11.2.1226.2_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-11.2.1226.2_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; be2net-kmp-default-11.2.1226.2_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-11.2.1226.2_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; be2net-kmp-xen-11.2.1226.2_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; be2net-kmp-xen-11.2.1226.2_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters - Linux(x64)*、バージョン2017.06.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

TBD

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 11.2.1263.16-1 (オプション)

ファイル名: be2net-kmp-default-11.2.1263.16_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-11.2.1263.16_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; be2net-kmp-default-11.2.1263.16_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-11.2.1263.16_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

HPE Emulex 10/20GbEドライバー for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2017.07.07 (オプション)

ファイル名: cp030639.compsig; cp030639.zip

ドライバー名およびバージョン:

elxnet:11.2.1149.0-10EM.650.0.0.4240417

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters for VMware vSphere 6.5*、バージョン2017.06.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター

- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10GbEドライバー for VMware vSphere 6.0

バージョン: 2017.07.07 (オプション)

ファイル名: cp030637.compsig; cp030637.zip

ドライバー名およびバージョン:

elxnet:11.2.1149.0-1OEM.600.0.0.2768847

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters for VMware vSphere 6.0*、バージョン2017.06.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、伝送完了ステータスが正しく報告されない問題を解決します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 12.14.8.0 (オプション)

ファイル名: cp028837.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.0.0.25またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、アダプター名が含まれているPowerShellコマンドの失敗につながる問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター

- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート367iアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 12.14.8.0 (オプション)

ファイル名: cp028838.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.0.0.25またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

修正

このドライバーは、アダプター名が含まれているPowerShellコマンドの失敗につながる問題に対処しています。

拡張

この製品は、HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i コミュニケーションボードをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート367iアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 12.15.184.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp031179.compsig; cp031179.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.1.0.4以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

TBD

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2-port 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1-port 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366Mアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター

HPE Intel i40eドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 i686

バージョン: 2.0.29-3 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-i40e-2.0.29-3.rhel6u8.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.0.29-3.rhel6u8.x86_64.rpm;
kmod-hp-i40e-2.0.29-3.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.0.29-3.rhel6u9.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 2.0.29-3 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-i40e-2.0.29-3.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.0.29-3.rhel7u3.x86_64.rpm;
kmod-hp-i40e-2.0.29-3.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.0.29-3.rhel7u4.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 2.0.29-3 (オプション)

ファイル名: hp-i40e-kmp-default-2.0.29_3.0.101_63-3.sles11sp4.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-
2.0.29_3.0.101_63-3.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.0.29_3.0.76_0.11-
3.sles11sp3.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.0.29_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.x86_64.rpm; hp-i40e-
kmp-xen-2.0.29_3.0.101_63-3.sles11sp4.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-xen-2.0.29_3.0.101_63-
3.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-xen-2.0.29_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-
xen-2.0.29_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 2.0.19-1 (オプション)

ファイル名: hp-i40e-kmp-default-2.0.19_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.0.19_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.0.19_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.0.19_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-xen-2.0.19_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-xen-2.0.19_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.12.18以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2-port 568iアダプターをサポートします。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568iアダプター

HPE Intel i40eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 2.0.29-3 (オプション)

ファイル名: hp-i40e-kmp-default-2.0.29_k4.4.21_69-3.sles12sp2.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.0.29_k4.4.21_69-3.sles12sp2.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.0.29_k4.4.73_5-3.sles12sp3.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.0.29_k4.4.73_5-3.sles12sp3.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバーfor VMware vSphere 6.0/6.5

バージョン: 2017.09.25 (オプション)

ファイル名: cp031602.compsig; cp031602.zip

ドライバー名およびバージョン:

net-i40e:2.0.6-1OEM.600.0.0.2494585

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページに加え、HPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバー用に *HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン3.0.8で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 1.6.102.0 (オプション)

ファイル名: cp031176.compsig; cp031176.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.1.0.4以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

このドライバーは、最大VMQ割り当てに到達した後の仮想マシンのネットワークから接続性が失われる問題に対処します。

このドライバーは、最大FV割り当てに到達した後の物理機能から接続性が失われる問題に対処します。

このドライバーは、デバイスがget-netadaptervmqから不正な値を報告する可能性がある問題に対処します。

このドライバーは、HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+ アダプターがwake-on-lanに記載されることを回避する問題に対処します。

このドライバーは、HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+ アダプターの仮想機能に接続したときに、仮想マシンが予期せずリブートする問題に対処します。

このドライバーは、無効化-有効化が複数の仮想機能で発行されたときにホストデバイスのyellow-bangにつながる問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+アダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.6.102.0 (オプション)

ファイル名: cp031177.compsig; cp031177.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.1.0.4以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

このドライバーは、最大VMQ割り当てに到達した後の仮想マシンのネットワークから接続性が失われる問題に対処します。

このドライバーは、最大FV割り当てに到達した後の物理機能から接続性が失われる問題に対処します。

このドライバーは、デバイスがget-netadaptervmqから不正な値を報告する可能性がある問題に対処します。

このドライバーは、HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+ アダプターがwake-on-lanに記載されることを回避する問題に対処します。

このドライバーは、HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+ アダプターの仮想機能に接続したときに、仮想マシンが予期せずにリブートする問題に対処します。

このドライバーは、無効化-有効化が複数の仮想機能で発行されたときにホストデバイスのyellow-bangにつながる問題に対処します。

このドライバーは、HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+アダプターまたはHPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプターが高いiSCSI負荷で動作している場合にネットワーク障害を引き起こす問題を解決します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+アダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.6.102.0 (オプション)

ファイル名: cp031178.compsig; cp031178.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.1.0.4以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

このドライバーは、最大VMQ割り当てに到達した後の仮想マシンのネットワークから接続性が失われる問題に対処します。

このドライバーは、最大FV割り当てに到達した後の物理機能から接続性が失われる問題に対処します。

このドライバーは、デバイスがget-netadaptervmqから不正な値を報告する可能性がある問題に対処します。

このドライバーは、HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+ アダプターがwake-on-lanに記載されることを回避する問題に対処します。

このドライバーは、HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+ アダプターの仮想機能に接続したときに、仮想マシンが予期せずにリブートする問題に対処します。

このドライバーは、無効化-有効化が複数の仮想機能で発行されたときにホストデバイスのyellow-bangにつながる問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+アダプター

HPE Intel i40ebドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.6.104.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp032195.compsig; cp032195.exe

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40ebドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.6.104.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp032196.compsig; cp032196.exe

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40evfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 2.0.28-3 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-i40evf-2.0.28-3.rhel6u8.x86_64.compsig; kmod-hp-i40evf-2.0.28-3.rhel6u8.x86_64.rpm;
kmod-hp-i40evf-2.0.28-3.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-hp-i40evf-2.0.28-3.rhel6u9.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40evfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 2.0.28-3 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-i40evf-2.0.28-3.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-hp-i40evf-2.0.28-3.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-hp-i40evf-2.0.28-3.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-hp-i40evf-2.0.28-3.rhel7u4.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40evfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 2.0.28-3 (オプション)

ファイル名: hp-i40evf-kmp-default-2.0.28_3.0.101_63-3.sles11sp4.x86_64.compsig; hp-i40evf-kmp-default-2.0.28_3.0.101_63-3.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-i40evf-kmp-default-2.0.28_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.x86_64.compsig; hp-i40evf-kmp-default-2.0.28_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.x86_64.rpm; hp-i40evf-kmp-xen-2.0.28_3.0.101_63-3.sles11sp4.x86_64.compsig; hp-i40evf-kmp-xen-2.0.28_3.0.101_63-3.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-i40evf-kmp-xen-2.0.28_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.x86_64.compsig; hp-i40evf-kmp-xen-2.0.28_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40evfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 2.0.16-1 (オプション)

ファイル名: hp-i40evf-kmp-default-2.0.16_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; hp-i40evf-kmp-default-2.0.16_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; hp-i40evf-kmp-default-2.0.16_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; hp-i40evf-kmp-default-2.0.16_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; hp-i40evf-kmp-xen-2.0.16_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; hp-i40evf-kmp-xen-2.0.16_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.12.18以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2-port 568iアダプターをサポートします。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568iアダプター

HPE Intel i40evfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 2.0.28-3 (オプション)

ファイル名: hp-i40evf-kmp-default-2.0.28_k4.4.21_69-3.sles12sp2.x86_64.compsig; hp-i40evf-kmp-default-2.0.28_k4.4.21_69-3.sles12sp2.x86_64.rpm; hp-i40evf-kmp-default-2.0.28_k4.4.73_5-3.sles12sp3.x86_64.compsig; hp-i40evf-kmp-default-2.0.28_k4.4.73_5-3.sles12sp3.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel igbドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 5.3.5.9-3 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-igb-5.3.5.9xxz-3.rhel6u8.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-5.3.5.9xxz-3.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-5.3.5.9xxz-3.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-5.3.5.9xxz-3.rhel6u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPは、これらのドライバー用に *HP Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.6.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品はRed Hat Enterprise Linux 7 Update 4およびSUSE Linux Enterprise Server 12 SP3のサポートを追加するためにアップデートされたソースと同期されるようにアップデートされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のHP Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLB アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361T アダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート Gigabit サーバーアダプター
- HP NC362i内蔵デュアルポート BL-c Gigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP NC365T 4ポート Ethernet サーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLR アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 367i アダプター

HPE Intel igbドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 5.3.5.9-3 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-igb-5.3.5.9xxz-3.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-5.3.5.9xxz-3.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-5.3.5.9xxz-3.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-5.3.5.9xxz-3.rhel7u4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPは、これらのドライバー用に *HP Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.6.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のHP Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLB アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361T アダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート Gigabit サーバーアダプター
- HP NC362i内蔵デュアルポート BL-c Gigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP NC365T 4ポート Ethernet サーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLR アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 367i アダプター

HPE Intel igbドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 5.3.5.9-3 (オプション)

ファイル名: hp-igb-kmp-default-5.3.5.9xxz_3.0.101_63-3.sles11sp4.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-5.3.5.9xxz_3.0.101_63-3.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-5.3.5.9xxz_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-5.3.5.9xxz_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-xen-5.3.5.9xxz_3.0.101_63-3.sles11sp4.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-xen-5.3.5.9xxz_3.0.101_63-3.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-xen-5.3.5.9xxz_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-xen-5.3.5.9xxz_3.0.76_0.11-3.sles11sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPは、これらのドライバー用に *HP Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.6.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品はRed Hat Enterprise Linux 7 Update 4およびSUSE Linux Enterprise Server 12 SP3のサポートを追加するためにアップデートされたソースと同期されるようにアップデートされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のHP Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLB アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361T アダプター
- HP NC362i 内蔵デュアルポート Gigabit サーバーアダプター
- HP NC362i内蔵デュアルポート BL-c Gigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP NC365T 4ポート Ethernet サーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLR アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 367i アダプター

HPE Intel igbドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 5.3.5.7-1 (オプション)

ファイル名: hp-igb-kmp-default-5.3.5.7_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-5.3.5.7_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-5.3.5.7_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-5.3.5.7_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-xen-5.3.5.7_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-xen-5.3.5.7_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.12.18以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1-port 364i アダプター
- HP NC365T 4-port Ethernet サーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Mアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 5.3.5.9-3 (オプション)

ファイル名: hp-igb-kmp-default-5.3.5.9xxz_k4.4.21_69-3.sles12sp2.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-5.3.5.9xxz_k4.4.21_69-3.sles12sp2.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-5.3.5.9xxz_k4.4.73_5-3.sles12sp3.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-5.3.5.9xxz_k4.4.73_5-3.sles12sp3.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

HPE Intel igbドライバー for VMware vSphere 6.0/6.5

バージョン: 2017.07.07 (オプション)

ファイル名: cp031278.compsig; cp031278.zip

ドライバー名およびバージョン:

net-igb:5.3.3-1OEM.550.0.0.1331820

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibstdepot.hp.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.4.18以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在VMware vSphere 6.5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 1-port 364i アダプター
- HP NC365T 4-port Ethernet サーバーアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Mアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 5.2.1-4 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-ixgbe-5.2.1-4.rhel6u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.2.1-4.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.2.1-4.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.2.1-4.rhel6u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPは、これらのドライバー用に *HP Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64*、バージョン1.6.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbe ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 5.2.1-4 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-ixgbe-5.2.1-4.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.2.1-4.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.2.1-4.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.2.1-4.rhel7u4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPは、これらのドライバー用に *HP Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.6.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbe ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 5.2.1-4 (オプション)

ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-5.2.1_3.0.101_63-4.sles11sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.2.1_3.0.101_63-4.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.2.1_3.0.76_0.11-4.sles11sp3.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.2.1_3.0.76_0.11-4.sles11sp3.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-xen-5.2.1_3.0.101_63-4.sles11sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-xen-5.2.1_3.0.101_63-

4.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-xen-5.2.1_3.0.76_0.11-4.sles11sp3.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-xen-5.2.1_3.0.76_0.11-4.sles11sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

HPは、これらのドライバー用に *HP Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.6.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbe ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 5.0.7-1 (オプション)

ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-5.0.7_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.0.7_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.0.7_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.0.7_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-xen-5.0.7_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-xen-5.0.7_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.12.18以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2をサポートしています。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560SFP+ アダプター

- HP Ethernet 10Gb 2-port 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 5.2.1-4 (オプション)

ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-5.2.1_k4.4.21_69-4.sles12sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.2.1_k4.4.21_69-4.sles12sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.2.1_k4.4.73_5-4.sles12sp3.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.2.1_k4.4.73_5-4.sles12sp3.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター

HPE Intel ixgbevfdriver for Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 4.2.1-4 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-ixgbevfd-4.2.1-4.rhel6u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevfd-4.2.1-4.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevfd-4.2.1-4.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevfd-4.2.1-4.rhel6u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPは、これらのドライバー用に *HP Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.6.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbevfdriver for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 4.2.1-4 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-ixgbevfd-4.2.1-4.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevfd-4.2.1-4.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevfd-4.2.1-4.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevfd-4.2.1-4.rhel7u4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPは、これらのドライバー用に *HP Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.6.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 4.2.1-4 (オプション)

ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-4.2.1_3.0.101_63-4.sles11sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.2.1_3.0.101_63-4.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.2.1_3.0.76_0.11-4.sles11sp3.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.2.1_3.0.76_0.11-4.sles11sp3.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-xen-4.2.1_3.0.101_63-4.sles11sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-xen-4.2.1_3.0.101_63-4.sles11sp4.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-xen-4.2.1_3.0.76_0.11-4.sles11sp3.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-xen-4.2.1_3.0.76_0.11-4.sles11sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPは、これらのドライバー用に *HP Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.6.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 4.0.5-1 (オプション)

ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-4.0.5_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.0.5_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.0.5_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.0.5_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-xen-4.0.5_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-xen-4.0.5_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.12.18以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2をサポートしています。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 4.2.1-4 (オプション)

ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-4.2.1_k4.4.21_69-4.sles12sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.2.1_k4.4.21_69-4.sles12sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.2.1_k4.4.73_5-4.sles12sp3.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.2.1_k4.4.73_5-4.sles12sp3.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター

HPE Intel ixnドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 3.9.58.9103 (B) (オプション)

ファイル名: cp032561.compsig; cp032561.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.0.0.25またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

拡張

このコンポーネントは、インテルX540チップセットを使用してネットワークアダプターをサポートしなくなりました。これらのデバイスは、現在 *Windows*用*HPE Intel ixt*ドライバー 製品でサポートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHP Intel ixnネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター

このコンポーネントは、以下のHP Intel ixtネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixnドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 3.9.58.9103 (B) (オプション)

ファイル名: cp032562.compsig; cp032562.exe

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に *HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.0.0.25またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨します。

拡張

このコンポーネントは、インテルX540チップセットを使用してネットワークアダプターをサポートしなくなりました。これらのデバイスは、現在 *Windows*用*HPE Intel ixt*ドライバー 製品でサポートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHP Intel ixnネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター

このコンポーネントは、以下のHP Intel ixtネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

HPE Intel ixnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.0.217.1 (B) (オプション)

ファイル名: cp032563.compsig; cp032563.exe

拡張

このコンポーネントは、インテルX540チップセットを使用してネットワークアダプターをサポートしなくなりました。これらのデバイスは、現在 *Windows*用*HPE Intel ixt*ドライバー 製品でサポートされています。

HPE Intel ixtドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 3.9.58.9103 (オプション)

ファイル名: cp032564.compsig; cp032564.exe

拡張

最初のリリース。

HPE Intel ixtドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 3.9.58.9103 (オプション)

ファイル名: cp032565.compsig; cp032565.exe

拡張

最初のリリース。

HPE Intel ixtドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.0.215.1 (オプション)

ファイル名: cp032566.compsig; cp032566.exe

拡張

最初のリリース。

HPE Intel vxnドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 1.0.15.4 (オプション)

ファイル名: cp032567.compsig; cp032567.exe

拡張

最初のリリース。

HPE Intel vxnドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.0.16.1 (オプション)

ファイル名: cp032568.compsig; cp032568.exe

拡張

最初のリリース。

HPE Intel vxnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 2.0.210.0 (オプション)

ファイル名: cp032569.compsig; cp032569.exe

拡張

最初のリリース。

HPE Mellanox CX3ドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 5.35.12978.0 (オプション)

ファイル名: cp031850.compsig; cp031850.exe

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP Mellanox CX3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10G 2-port 546FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10G 2-port 546SFP+アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+QSFP アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+FLR-QSFP アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+M アダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2-port 544+FLR-QSFP アダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2-port 544+M アダプター
- HP InfiniBand QDR/EN 10Gb Dual Port 544FLR-QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb Dual Port544QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb Dual Port 544FLR-QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb Dual Port 544Mアダプター
- HP InfiniBand QDR/EN 10Gb Dual Port 544Mアダプター
- HP Infiniband QDR/Ethernet 10Gb 2P 544i アダプター

HPE Mellanox CX3ドライバーfor Windows Server 2012

バージョン: 5.35.12978.0 (オプション)

ファイル名: cp031560.compsig; cp031560.exe

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、下記のHPE Mellanox CX3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10G 2-port 546FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10G 2-port 546SFP+アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+QSFP アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+FLR-QSFP アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+M アダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2-port 544+FLR-QSFP アダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2-port 544+M アダプター
- HP InfiniBand QDR/EN 10Gb Dual Port 544FLR-QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb Dual Port 544QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb Dual Port 544FLR-QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb Dual Port 544Mアダプター
- HP InfiniBand QDR/EN 10Gb Dual Port 544Mアダプター
- HP Infiniband QDR/Ethernet 10Gb 2P 544i アダプター

HPE Mellanox CX3ドライバーfor Windows Server 2012 R2

バージョン: 5.35.12978.0 (オプション)

ファイル名: cp031561.compsig; cp031561.exe

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、下記のHPE Mellanox CX3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10G 2-port 546FLR-SFP+アダプター
- HP Ethernet 10G 2-port 546SFP+アダプター

- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+QSFP アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+FLR-QSFP アダプター
- HP InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2-port 544+M アダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2-port 544+FLR-QSFP アダプター
- HP InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2-port 544+M アダプター
- HP InfiniBand QDR/EN 10Gb Dual Port 544FLR-QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb Dual Port 544QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb Dual Port 544FLR-QSFPアダプター
- HP InfiniBand FDR/EN 10/40Gb Dual Port 544Mアダプター
- HP InfiniBand QDR/EN 10Gb Dual Port 544Mアダプター
- HP Infiniband QDR/Ethernet 10Gb 2P 544i アダプター

HPE Mellanox CX4LXドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 1.60.16216.0 (オプション)

ファイル名: cp031093.compsig; cp031093.exe

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター

HPE Mellanox CX4LXドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.60.16216.0 (オプション)

ファイル名: cp031094.compsig; cp031094.exe

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター

HPE Mellanox CX4LXドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.60.16216.0 (オプション)

ファイル名: cp031092.compsig; cp031092.exe

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 25Gb 2-port 640FLR-SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1-port 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2-port 840QSFP28アダプター

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP4 AMD64/EM64T)

バージョン: 3.4 (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-3.4-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.1.sles11sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-3.4-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.1.sles11sp4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-3.4_3.0.101_63-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.sles11sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-3.4_3.0.101_63-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.sles11sp4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-xen-3.4_3.0.101_63-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.sles11sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-xen-3.4_3.0.101_63-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.sles11sp4.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン3.4で修正されました。

- もしmlx4_ibモジュールがロードされなかったとき、タイムアウト後の "ethtool" セルフテストが割り込みテストでしばしば失敗していました。
- まれな状況で、非同期のイベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo() によって、システムリブートの間にカーネルパニックが発生することがありました。
- VF netdevsが開いている状態でSR-IOVを無効にしようとすると、オペレーションが失敗しました。

以下の問題が、バージョン3.3 (A) で修正されました。

- インターフェースの名前を変更する際の "mlnx_interface_mgr.sh" スクリプトとudevフロー間の競合状態

以下の問題点がバージョン3.3で修正されました。

- SLES12 SP1でのドライバーロードの問題を修正するために互換性 ocrdma.koモジュールを追加しました。
- /sys/class/infiniband/ /ports/ / で発見されたエラーカウンターが、ConnectX-4 アダプターカード内で正しく機能しませんでした。
- TXキューカウンター形式を:xq_[tc]*[ring/channel]に変更しました。
- RDMA Sniffer機能の問題を修正しました。
- 仮想機能がethtoolファシリティで使用されている場合、エラーメッセージがログに出力されました。
- 物理リンクのダウン時、同じポート上での物理機能から、任意の仮想機能へのトラフィックが欠落していました。

バージョン3.2 (A) での修正:

- "infiniband support"グループにOS配布のRPMがすでにインストールされている場合、RoCEユーザースペースのライブラリーであるRPM "mlnx-ofa_kernel"でインストールに失敗しました。
- 以前のバージョンのMLNX-ENドライバーがすでにインストールされている場合、RoCEドライバーアップグレードが正しく動作しません。これは、Mellanox Ethernet ポートが動作しない原因となります。

バージョン3.2での修正:

- もっとも近い NUMA ノードを、受信側スケーリング用のデフォルトに設定します。
- GROが有効になったときに、プロキシVXLANインターフェイスが正しく処理されないARP要求パケット。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン3.4は、以下の変更点および新機能を含みます。

- 以下のカーネルモジュールパラメーターを追加しました:
 - mlx4_en_only_mode
 - udev_dev_port_dev_id

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.3は、以下の変更点および新機能を含みます。

- 修正のみ。

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.2は、以下の変更点および新機能を含みます。

- ローパケットキューペアおよび作業キュー用のFCS分散。
- 受信側の完了時に、L4パケットタイプの表示。

- 作業キュー用のCVLANインサートをサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server SP4 (AMD64/EM64T)カーネルは、次のとおりです。

3.0.101-63-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

3.0.101-63-xen -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 11 SP3 (AMD64/EM64T)

バージョン: 3.4 (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-3.4-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.1.sles11sp3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-3.4-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.1.sles11sp3.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-3.4_3.0.76_0.11-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.sles11sp3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-3.4_3.0.76_0.11-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.sles11sp3.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-xen-3.4_3.0.76_0.11-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.sles11sp3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-xen-3.4_3.0.76_0.11-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.sles11sp3.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン3.4で修正されました。

- もしmlx4_ibモジュールがロードされなかったとき、タイムアウト後の "ethtool" セルフテストが割り込みテストでしばしば失敗していました。
- まれな状況で、非同期のイベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo() によって、システムリブートの間にカーネルパニックが発生することがありました。
- VF netdevsが開いている状態でSR-IOVを無効にしようとすると、オペレーションが失敗しました。

以下の問題が、バージョン3.3 (A) で修正されました。

- インターフェースの名前を変更する際の "mlnx_interface_mgr.sh" スクリプトとudevフロー間の競合状態

以下の問題点がバージョン3.3で修正されました。

- SLES12 SP1でのドライバーロードの問題を修正するために互換性 ocrdma.koモジュールを追加しました。
- /sys/class/infiniband/ /ports/ / で発見されたエラーカウンターが、ConnectX-4 アダプターカード内で正しく機能しませんでした。
- TXキューカウンター形式を:xq_[tc]*[ring/channel]に変更しました。
- RDMA Sniffer機能の問題を修正しました。
- 仮想機能がethtoolファシリティで使用されている場合、エラーメッセージがログに出力されました。
- 物理リンクのダウン時、同じポート上での物理機能から、任意の仮想機能へのトラフィックが欠落していました。

バージョン3.2 (A) での修正:

- "infiniband support"グループにOS配布のRPMがすでにインストールされている場合、RoCEユーザースペースのライブラリーであるRPM "mlnx-ofa_kernel"でインストールに失敗しました。
- 以前のバージョンのMLNX-ENドライバーがすでにインストールされている場合、RoCEドライバーアップグレードが正しく動作しません。これは、Mellanox Ethernet ポートが動作しない原因となります。

バージョン3.2での修正:

- もっとも近い NUMA ノードを、受信側スケーリング用のデフォルトに設定します。
- GROが有効になったときに、プロキシVXLANインターフェイスが正しく処理されないARP要求パケット。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン3.4は、以下の変更点および新機能を含みます。

- 以下のカーネルモジュールパラメーターを追加しました:
 - mlx4_en_only_mode
 - udev_dev_port_dev_id

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.3は、以下の変更点および新機能を含みます。

- 修正のみ。

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.2は、以下の変更点および新機能を含みます。

- ローパケットキューペアおよび作業キュー用のFCS分散。
- 受信側の完了時に、L4パケットタイプの表示。
- 作業キュー用のCVLANインサートをサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server SP3(AMD64/EM64T)カーネルは、次のとおりです。

3.0.76-0.11-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

3.0.76-0.11-xen -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP1 (AMD64/EM64T)

バージョン: 3.4 (推奨)

ファイル名: mlx4-ofa_kernel-3.4-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.1.sles12sp1.x86_64.compsig; mlx4-ofa_kernel-3.4-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.1.sles12sp1.x86_64.rpm; mlx4-ofa_kernel-kmp-default-3.4_k3.12.49_11-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.sles12sp1.x86_64.compsig; mlx4-ofa_kernel-kmp-default-3.4_k3.12.49_11-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.sles12sp1.x86_64.rpm; mlx4-ofa_kernel-kmp-xen-3.4_k3.12.49_11-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.sles12sp1.x86_64.compsig; mlx4-ofa_kernel-kmp-xen-3.4_k3.12.49_11-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.sles12sp1.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン3.4で修正されました。

- もしmlx4_ibモジュールがロードされなかったとき、タイムアウト後の "ethtool" セルフテストが割り込みテストでしばしば失敗していました。
- まれな状況で、非同期のイベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo() によって、システムリブートの間にカーネルパニックが発生することがありました。
- VF netdevsが開いている状態でSR-IOVを無効にしようとすると、オペレーションが失敗しました。

以下の問題が、バージョン3.3 (A) で修正されました。

- インターフェースの名前を変更する際の "mlx4_interface_mgr.sh" スクリプトとudevフロー間の競合状態

以下の問題点がバージョン3.3で修正されました。

- SLES12 SP1でのドライバーロードの問題を修正するために互換性 ocrdma.koモジュールを追加しました。
- /sys/class/infiniband/ /ports/ / で発見されたエラーカウンターが、ConnectX-4 アダプターカード内で正しく機能しませんでした。
- TXキューカウンター形式を:xq_[tc]*[ring/channel]に変更しました。
- RDMA Sniffer機能の問題を修正しました。
- 仮想機能がethtoolファシリティーで使用されている場合、エラーメッセージがログに出力されました。
- 物理リンクのダウン時、同じポート上での物理機能から、任意の仮想機能へのトラフィックが欠落していました。

バージョン3.2 (A) での修正:

- "infiniband support"グループにOS配布のRPMがすでにインストールされている場合、RoCEユーザースペースのライブラリーであるRPM "mlnx-ofa_kernel"でインストールに失敗しました。
- 以前のバージョンのMLNX-ENドライバーがすでにインストールされている場合、RoCEドライバーアップグレードが正しく動作しません。これは、Mellanox Ethernet ポートが動作しない原因となります。

バージョン3.2での修正:

- もっとも近い NUMA ノードを、受信側スケーリング用のデフォルトに設定します。
- GROが有効になったときに、プロキシVXLANインターフェイスが正しく処理されないARP要求パケット。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン3.4は、以下の変更点および新機能を含みます。

- 以下のカーネルモジュールパラメーターを追加しました:
 - mlx4_en_only_mode
 - udev_dev_port_dev_id

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.3は、以下の変更点および新機能を含みます。

- 修正のみ。

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.2は、以下の変更点および新機能を含みます。

- ローケットキューペアおよび作業キュー用のFCS分散。
- 受信側の完了時に、L4パケットタイプの表示。
- 作業キュー用のCVLANインサートをサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 12 SP1(AMD64/EM64T)カーネルは、次のとおりです。

3.12.49-11-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

3.12.49-11-xen -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP2 (AMD64/EM64T)

バージョン: 3.4 (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-3.4-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.1.sles12sp2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-3.4-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.1.sles12sp2.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-3.4_k4.4.21_69-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.sles12sp2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-3.4_k4.4.21_69-OFED.3.4.2.1.5.1.ged26eb5.sles12sp2.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン3.4で修正されました。

- もしmlx4_ibモジュールがロードされなかったとき、タイムアウト後の "ethtool" セルフテストが割り込みテストでしばしば失敗していました。
- まれな状況で、非同期のイベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo() によって、システムリブートの間にカーネルパニックが発生することがありました。
- VF netdevsが開いている状態でSR-IOVを無効にしようとすると、オペレーションが失敗しました。

以下の問題が、バージョン3.3 (A) で修正されました。

- インターフェイスの名前を変更する際の "mlnx_interface_mgr.sh" スクリプトとudevフロー間の競合状態

以下の問題点がバージョン3.3で修正されました。

- SLES12 SP1でのドライバーロードの問題を修正するために互換性 ocrdma.koモジュールを追加しました。
- /sys/class/infiniband/ /ports/ / で発見されたエラーカウンターが、ConnectX-4 アダプターカード内で正しく機能していませんでした。
- TXキューカウンター形式を:xq_[tc]*[ring/channel]に変更しました。
- RDMA Sniffer機能の問題を修正しました。
- 仮想機能がethtoolファシリティで使用されている場合、エラーメッセージがログに出力されました。
- 物理リンクのダウン時、同じポート上での物理機能から、任意の仮想機能へのトラフィックが欠落していました。

バージョン3.2 (A) での修正:

- "infiniband support"グループにOS配布のRPMがすでにインストールされている場合、RoCEユーザースペースのライブラリーであるRPM "mlnx-ofa_kernel"でインストールに失敗しました。
- 以前のバージョンのMLNX-ENドライバーがすでにインストールされている場合、RoCEドライバーアップグレードが正しく動作しません。これは、Mellanox Ethernet ポートが動作しない原因となります。

バージョン3.2での修正:

- もっとも近い NUMA ノードを、受信側スケーリング用のデフォルトに設定します。
- GROが有効になったときに、プロキシVXLANインターフェイスが正しく処理されないARP要求パケット。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン3.4は、以下の変更点および新機能を含みます。

- 以下のカーネルモジュールパラメーターを追加しました:
 - mlx4_en_only_mode
 - udev_dev_port_dev_id

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.3は、以下の変更点および新機能を含みます。

- 修正のみ。

HPE Mellanox RoCEドライバーv3.2は、以下の変更点および新機能を含みます。

- ローパケットキューペアおよび作業キュー用のFCS分散。
- 受信側の完了時に、L4パケットタイプの表示。
- 作業キュー用のCVLANインサートをサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 SP2 (AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。

4.4.21-69-default - (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50GbEマルチファンクションドライバーfor VMware vSphere 6.0

バージョン: 2017.09.25 (オプション)

ファイル名: cp032576.compsig; cp032576.zip

ドライバー名およびバージョン:

qedentv:2.0.7.2-1OEM.600.0.0.2768847

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vibspot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含む

zipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE QLogic FastLinQ*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン4.0.18以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、VFが有効の場合にASSERTが発生するという問題を解決します。

この製品は、NPAR EPモードをサポートしていないカードが使用されているときにシステムがハングするという問題を解決します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 4x25Gb 1ポート 620QSFP28 アダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50GbEマルチファンクションドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2017.09.25 (オプション)

ファイル名: cp032577.compsig; cp032577.zip

ドライバー名およびバージョン:

qedentv:3.0.7.2-1OEM.650.0.0.4598673

修正

この製品は、VFが有効の場合にASSERTが発生するという問題を解決します。

この製品は、NPAR EPモードをサポートしていないカードが使用されているときにシステムがハングするという問題を解決します。

HPE QLogic FastLinQ RoCEドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 SP1

バージョン: 8.18.6.0-1 (オプション)

ファイル名: qlgc-libqedr-8.18.6.0-1.sles12sp1.x86_64.compsig; qlgc-libqedr-8.18.6.0-1.sles12sp1.x86_64.rpm;
README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE QLogic FastLinQ 10/25/50GbE Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64*、バージョン8.18.22.0-1以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbsパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからlibibverbsパッケージを取得できます。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 522FLR-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE Ethernet 4x25Gb 1-port 620QSFP28 アダプター

- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 622FLR-SFP28 コンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 6810C 25/50Gb Ethernetアダプター

HPE QLogic FastLinQ RoCEドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2

バージョン: 8.18.6.0-1 (オプション)

ファイル名: qlgc-libqedr-8.18.6.0-1.sles12sp2.x86_64.compsig; qlgc-libqedr-8.18.6.0-1.sles12sp2.x86_64.rpm;
README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE QLogic FastLinQ 10/25/50GbE Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64*、バージョン8.18.22.0-1以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbsパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからlibibverbsパッケージを取得できます。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 522FLR-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE Ethernet 4x25Gb 1-port 620QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 622FLR-SFP28 コンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 6810C 25/50Gb Ethernetアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbE マルチファンクションドライバーfor Windows Server x64 Editions

バージョン: 7.13.115.0 (オプション)

ファイル名: cp032608.compsig; cp032608.exe

重要な注意!

HPは、これらのドライバー用に *HP Broadcom* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Windows Server x64 Editions*、バージョン4.0.1.11以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

サポートされていないカタログファイルは、このドライバーパッケージから削除されました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP Broadcom 10/20GbEマルチファンクションネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC532i デュアルポート 10GbE マルチファンクション BL-cアダプター
- HP NC532m デュアルポート 10GbE マルチファンクション BL-cアダプター

- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLR-SFP+ アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 530T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-T アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLB アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLB アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64

バージョン: 7.14.29-1 (オプション)

ファイル名: kmod-netxtreme2-7.14.29-1.rhel6u8.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.29-1.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2-7.14.29-1.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.29-1.rhel6u9.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、VxLANオフロードが4.8+カーネル上で機能しないという問題に対処します。
この製品は、iSCSI I/O中にbnx2iエラーがLinuxコンソール上に表示されるという問題に対処します。

拡張

この製品は現在、bnx2x用の新しいモジュールパラメータ"use_random_vf_mac"を提供しています。これを設定した場合、ランダムな強制ローカルMACアドレスで仮想関数を作成できます。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP BladeSystemデュアルNC370iマルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC371i内蔵PCI-XマルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC373F PCI ExpressマルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC373T PCI ExpressマルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC373i内蔵マルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC373m PCI Expressデュアルポート マルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC374m PCIeマルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC380T PCI Expressデュアルポート マルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC382mデュアルポート1GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC382T PCI ExpressデュアルポートGigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 530M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター
- HP NC532i デュアルポート 10GbE マルチファンクション BL-cアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-T アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバ for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 7.14.29-1 (オプション)

ファイル名: kmod-netxtreme2-7.14.29-1.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.29-1.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2-7.14.29-2.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.29-2.rhel7u4.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、VxLANオフロードが4.8+カーネル上で機能しないという問題に対処します。
この製品は、iSCSI I/O中にbnx2iエラーがLinuxコンソール上に表示されるという問題に対処します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

この製品は現在、bnx2x用の新しいモジュールパラメータ"use_random_vf_mac"を提供しています。これを設定した場合、ランダムな強制ローカルMACアドレスで仮想関数を作成できます。

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバ for SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64

バージョン: 7.14.29-1 (オプション)

ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.14.29_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.29_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-default-7.14.29_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.29_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-xen-7.14.29_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-xen-7.14.29_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-xen-7.14.29_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-xen-7.14.29_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、VxLANオフロードが4.8+カーネル上で機能しないという問題に対処します。
この製品は、iSCSI I/O中にbnx2iエラーがLinuxコンソール上に表示されるという問題に対処します。

拡張

この製品は現在、bnx2x用の新しいモジュールパラメータ"use_random_vf_mac"を提供しています。これを設定した場合、ランダムな強制ローカルMACアドレスで仮想関数を作成できます。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP BladeSystemデュアルNC370iマルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC371i内蔵PCI-XマルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC373F PCI ExpressマルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC373T PCI ExpressマルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC373i内蔵マルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC373m PCI Expressデュアルポート マルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC374m PCIeマルチファンクションGigabitサーバー アダプター
- HP NC380T PCI Expressデュアルポート マルチファンクションGigabitサーバー アダプター

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC382mデュアルポート1GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC382T PCI ExpressデュアルポートGigabitサーバーアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 530M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター
- HP NC532i デュアルポート 10GbE マルチファンクション BL-cアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-T アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバ for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 7.14.29-1 (オプション)

ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.14.29_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.29_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-default-7.14.29_k4.4.73_5-2.sles12sp3.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.29_k4.4.73_5-2.sles12sp3.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、VxLANオフロードが4.8+カーネル上で機能しないという問題に対処します。
この製品は、iSCSI I/O中にbnx2iエラーがLinuxコンソール上に表示されるという問題に対処します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

この製品は現在、bnx2x用の新しいモジュールパラメータ"use_random_vf_mac"を提供しています。これを設定した場合、ランダムな強制ローカルMACアドレスで仮想関数を作成できます。

HPE QLogic NX2 10/20GbEマルチファンクションドライバ for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 7.14.19-1 (オプション)

ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.14.19_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.19_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-default-7.14.19_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.19_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-xen-7.14.19_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-xen-7.14.19_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.19.22以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2820C Ethernetアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 10/20GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 6.0/6.5

バージョン: 2017.10.06 (クリティカル)

ファイル名: cp033461.compsig; cp033461.zip

ドライバー名およびバージョン:

```
net-cnic:2.713.30.v60.6-1OEM.600.0.0.2494585|misc-cnic-register:1.713.30.v60.1-1OEM.600.0.0.2494585|net-bnx2:2.2.6b.v60.2-1OEM.600.0.0.2494585|net-bnx2x:2.713.30.v60.9-1OEM.600.0.0.2494585|scsi-bnx2i:2.713.30.v60.5-1OEM.600.0.0.2494585|scsi-bnx2fc:1.713.30.v60.6-1OEM.600.0.0.2494585
```

重要な注意!

This component is intended to be used by HPE applications. It is a zip file that contains the same driver deliverable available from the vmware.com and the HPE vibsdepot.hpe.com webpages, plus an HPE specific CP0xxxxx.xml file.

HPE recommends the firmware provided in *HPE QLogic NX2 Online Firmware Upgrade Utility for VMware*, version 1.19.5 or later, for use with this driver.

修正

このドライバーは、アダプターハードウェアが動作不能になる原因となる、サポートされているアダプターのファームウェアに関する問題を解決します。詳しくは、カスタマーアドバイザリ http://h20566.www2.hp.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00027591en_usを参照してください

この製品は、大量のエラーメッセージが記録される問題を解決します。

この製品は、VLANで仮想マシン間の失われる接続が解決します。

この製品は、VXLAN RXフィルター障害を引き起こす問題を解決します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLB Adapter

- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+ Adapter
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T Adapter
- HP NC532m Dual Port 10GbE Multifunction BL-c Adapter
- HP Ethernet 10Gb 2-port 533FLR-T Adapter
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+ Adapter
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534M Adapter
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 536FLB Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLB Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630M Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 631M Adapter
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2820C Ethernet Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 Linux iSCSI オフロードIOデーモン for SUSE Linux Enterprise Server 11 SP3 x86_64

バージョン: 2.11.5.1-1 (オプション)

ファイル名: iscsiui0-2.11.5.1-1.sles11sp3.x86_64.compsig; iscsiui0-2.11.5.1-1.sles11sp3.x86_64.rpm

修正

この製品は、イニシエーターがDHCPサーバーからIPv6 DHCPアドレスを取得できないという問題に対処します。

拡張

この製品は、現在1Kより大きなpingパケットサイズをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLR-SFP+ アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLB アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLB アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 Linux iSCSI オフロードIOデーモン for SUSE Linux Enterprise Server 12 SP1 x86_64

バージョン: 2.11.4.3-1 (オプション)

ファイル名: iscsiui0-2.11.4.3-1.sles12sp1.x86_64.compsig; iscsiui0-2.11.4.3-1.sles12sp1.x86_64.rpm

修正

TBD

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Flex-10 10Gb 2-port 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 Linux iSCSIオフロードIOデーモン for SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 x86_64

バージョン: 2.11.5.1-1 (オプション)

ファイル名: iscsiui0-2.11.5.1-1.sles11sp4.x86_64.compsig; iscsiui0-2.11.5.1-1.sles11sp4.x86_64.rpm

修正

この製品は、イニシエーターがDHCPサーバーからIPv6 DHCPアドレスを取得できないという問題に対処します。

拡張

この製品は、現在1Kより大きなpingパケットサイズをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530FLR-SFP+ アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLB アダプター

- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLB アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 Linux iSCSIオフロードIOデーモンfor Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8 x86_64

バージョン: 2.11.5.1-1 (オプション)

ファイル名: iscsiuiio-2.11.5.1-1.rhel6u8.x86_64.compsig; iscsiuiio-2.11.5.1-1.rhel6u8.x86_64.rpm

修正

この製品は、イニシエーターがDHCPサーバーからIPv6 DHCPアドレスを取得できないという問題に対処します。

拡張

この製品は、現在1Kより大きなpingパケットサイズをサポートしています。

HPE QLogic NX2 Linux iSCSIオフロードIOデーモンfor Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3 x86_64

バージョン: 2.11.5.1-1 (オプション)

ファイル名: iscsiuiio-2.11.5.1-1.rhel7u3.x86_64.compsig; iscsiuiio-2.11.5.1-1.rhel7u3.x86_64.rpm

修正

この製品は、イニシエーターがDHCPサーバーからIPv6 DHCPアドレスを取得できないという問題に対処します。

拡張

この製品は、現在1Kより大きなpingパケットサイズをサポートしています。

HPE QLogic NX2 Linux iSCSIオフロードIOデーモンfor SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2 x86_64

バージョン: 2.11.4.3-1 (オプション)

ファイル名: iscsiuiio-2.11.4.3-1.sles12sp2.x86_64.compsig; iscsiuiio-2.11.4.3-1.sles12sp2.x86_64.rpm

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Flex-10 10Gb 2-port 530FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530FLR-SFP+アダプター
- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP NC532m Dual Port 10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE Synergy 10Gb 2-port 2820C Converged Network Adapter
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE QLogic NX2 Linux iSCSIオフロードIOデーモンfor SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2 x86_64

バージョン: 2.11.5.1-1 (オプション)

ファイル名: iscsiui0-2.11.5.1-1.sles12sp2.x86_64.compsig; iscsiui0-2.11.5.1-1.sles12sp2.x86_64.rpm

修正

この製品は、イニシエーターがDHCPサーバーからIPv6 DHCPアドレスを取得できないという問題に対処します。

拡張

この製品は、現在1Kより大きなpingパケットサイズをサポートしています。

net-mstカーネルモジュールドライバーコンポーネント for VMware 6.0

バージョン: 2016.12.22 (推奨)

ファイル名: cp031540.compsig; cp031540.zip

ドライバー名およびバージョン:

MEL_bootbank_nmst:4.6.0.101-1OEM.600.0.0.2768847

修正

Gen10 Snap1用の4.6.0.101の初期バージョンです

拡張

MSTバージョン4.6.0.101

net-mstカーネルモジュールドライバーコンポーネント for VMware 6.5

バージョン: 2016.12.22 (推奨)

ファイル名: cp031541.compsig; cp031541.zip

ドライバー名およびバージョン:

MEL_bootbank_nmst:4.6.0.101-1OEM.650.0.0.4598673

修正

Gen10 Snap1用の4.6.0.101の初期バージョンです

拡張

MSTバージョン4.6.0.101

nmlx4_enドライバコンポーネント for VMware 6.0

バージョン: 2016.07.19 (推奨)

ファイル名: cp030479.zip; cp030479_part1.compsig; cp030479_part2.compsig

ドライバ名およびバージョン:

MEL_bootbank_nmlx4-core:3.15.5.5-1OEM.600.0.0.2768847

MEL_bootbank_nmlx4-en:3.15.5.5-1OEM.600.0.0.2768847

MEL_bootbank_nmlx4-rdma:3.15.5.5-1OEM.600.0.0.2768847

修正

修正:

- RX および TX内でVLAN タグ Priority Code Point (PCP) が正しく動作しない問題を修正しました。
- RDMA モジュールが削除されなかった場合のインストール中のPSOD ケースを修正しました。
- マネジメントインターフェイスポートタイプフィールド (nmlx-_en_MgmtIFPortType)が誤った値を報告しました。

拡張

3.15.5.5での変更内容:

- VXLANハードウェアオフロードのサポートを追加しました。VXLAN ハードウェアオフロードは従来型のオフロードが、カプセル化されたトラフィックで実行するのを可能にします。ConnectX®-3 Proでは、データセンターのオペレーターが物理NICパフォーマンスからオーバーレイネットワークレイヤーを切り離すことができるため、新しいネットワークアーキテクチャーでネイティブパフォーマンスを達成できるようになります。
- 管理インターフェイスのサポートを追加しました。
- **ハードウェアパフォーマンス**
 - 1G
 - 10G
 - 40G
- Large Send Offload(TCPセグメンテーションオフロード)
- WoL(サポートされているハードウェア上でのみ)
- RSSキュー
- 複数Tx/Rxリング
- NetQueueのサポート
- パススルーを修正
- シングル/デュアルポート
- MSI-X

nmlx4_enドライバコンポーネント for VMware 6.5

バージョン: 2016.08.17 (推奨)

ファイル名: cp030693.zip; cp030693_part1.compsig; cp030693_part2.compsig

ドライバ名およびバージョン:

MEL_bootbank_nmlx4-core:3.15.5.5-1OEM.600.0.0.2768847

MEL_bootbank_nmlx4-en:3.15.5.5-1OEM.600.0.0.2768847

MEL_bootbank_nmlx4-rdma:3.15.5.5-1OEM.600.0.0.2768847

修正

修正:

- RX および TX内でVLAN タグ Priority Code Point (PCP) が正しく動作しない問題を修正しました。
- RDMA モジュールが削除されなかった場合のインストール中のPSOD ケースを修正しました。
- マネジメントインターフェイスポートタイプフィールド (nmlx-_en_MgmtIFPortType)が誤った値を報告しました。

拡張

3.15.5.5の変更内容:

- VXLANハードウェアオフロードのサポートを追加しました。VXLAN ハードウェアオフロードは従来型のオフロードが、カプセル化されたトラフィックで実行するのを可能にします。ConnectX®-3 Proでは、データセンターのオペレーターが物理NICパフォーマンスからオーバーレイネットワークレイヤーを切り離すことができるため、新しいネットワークアーキテクチャーでネイティブパフォーマンスを達成できるようになります。
- 管理インターフェイスのサポートを追加しました。
- **ハードウェアパフォーマンス**
 - 1G
 - 10G
 - 40G
- Large Send Offload(TCPセグメンテーションオフロード)
- WoL(サポートされているハードウェア上でのみ)
- RSSキュー
- 複数Tx/Rxリング
- NetQueueのサポート
- パススルーを修正
- シングル/デュアルポート
- MSI-X

nmlx5_enドライバーコンポーネント for VMware 6.0

バージョン: 2016.07.29 (**推奨**)

ファイル名: cp030575.compsig; cp030575.zip

ドライバー名およびバージョン:

MEL_bootbank_nmlx5-core:4.15.8.8-10EM-600.0.0.2768847

修正

修正:

- ESXi5.5で - ConnectX-4 / ConnectX-4 Lxポートが多いサーバーを使用している場合、一部のインターフェイスがesxcfg-nics -lリストに表示されません。これは、すべてのインターフェイスをロードするためのMSI-Xリソースがない場合に発生します。
- SR-IOVが有効でmax_vfsが0でない場合、新しいフィルターが適用されません。
- "8" のConnectX-4のLxポートまでサポートする "supported_num_ports" をnmlx5_coreに新しいモジュールパラメーターが追加されました。
- 64以上のCPUコア搭載のマシン上でドライバーをロードすることを妨げる問題を修正しました。

拡張

4.15.8.8での修正:

- ConnectX-5/ConnectX-5 Exアダプターカードのサポートを追加しました。
注: ConnectX-5/ConnectX-5 Exカードは現在ベータレベルです。

nmlx5_enドライバーコンポーネント for VMware 6.5

バージョン: 2016.07.29 (**推奨**)

ファイル名: cp030579.compsig; cp030579.zip

ドライバー名およびバージョン:

MEL_bootbank_nmlx5-core:4.16.8.8-10EM.650.0.0.4598673

修正

4.16.8.8での修正:

- リングサイズを8192に設定した後、アダプターカードがダウン状態から動けなくなる問題を修正しました。

拡張

バージョン4.16.8.8の新機能および変更:

- ConnectX-5/ConnectX-5 Exアダプターカードのサポートを追加しました。
注:ConnectX-5/ConnectX-5 Exカードは現在ベータレベルです。

Red Hat Enterprise Linux 6 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.22.3.0-1 (オプション)

ファイル名: kmod-qlgc-fastlinq-8.22.3.0-1.rhel6u8.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.22.3.0-1.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-qlgc-fastlinq-8.22.3.0-1.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.22.3.0-1.rhel6u9.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、EEEをオフに設定した後で、"ethtool --show-eee"でEEEステータスがサポート対象外として表示されるという問題に対処します。

この製品は、操作の一部が失敗した場合でも、NVM読み取り/書き込みの処理が継続するという問題に対処します。

この製品は、WoLが"ethtool"コマンドで無効にされた後、有効なままになっているという問題に対処します。

この製品は、オートネゴシエーションがNVMで無効になっているときに"ethtool"でこれを有効にできるという問題に対処します。

拡張

この製品は、現在/sys/module/qed/parametersでの読み取りパーミッションによるqedモジュールパラメータの公開をサポートしています。

Red Hat Enterprise Linux 6アップデート8向けHPE QLogic FastLinQ RoCEライブラリ

バージョン: 8.20.1.0-1 (オプション)

ファイル名: qlgc-libqedr-8.20.1.0-1.rhel6u8.x86_64.compsig; qlgc-libqedr-8.20.1.0-1.rhel6u8.x86_64.rpm; README

修正

このライブラリは、rstreamアプリケーションの停止を招く問題に対処します。

Red Hat Enterprise Linux 6アップデート9 x86_64のためのHPE QLogic NX2 Linux iSCSIオプロードIOデーモン

バージョン: 2.11.5.1-1 (オプション)

ファイル名: iscsiui0-2.11.5.1-1.rhel6u9.x86_64.compsig; iscsiui0-2.11.5.1-1.rhel6u9.x86_64.rpm

修正

この製品は、イニシエーターがDHCPサーバーからIPv6 DHCPアドレスを取得できないという問題に対処します。

拡張

この製品は、現在1Kより大きなpingパケットサイズをサポートしています。

Red Hat Enterprise Linux 6アップデート9向けHPE QLogic FastLinQ RoCEライブラリ

バージョン: 8.20.1.0-1 (オプション)

ファイル名: qlgc-libqedr-8.20.1.0-1.rhel6u9.x86_64.compsig; qlgc-libqedr-8.20.1.0-1.rhel6u9.x86_64.rpm;
README

修正

このライブラリは、rstreamアプリケーションの停止を招く問題に対処します。

Red Hat Enterprise Linux 6アップデート9用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 20.6.3.3 (オプション)

ファイル名: libbnxtre-20.6.3.3-rhel6u9.x86_64.compsig; libbnxtre-20.6.3.3-rhel6u9.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、現在ibv_devinfoを使用したファームウェアバージョンのクエリをサポートしています。

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4 x86_64用HPE QLogic NX2 Linux iSCSIオフロード IO Daemon

バージョン: 2.11.5.1-1 (オプション)

ファイル名: iscsiui0-2.11.5.1-1.rhel7u4.x86_64.compsig; iscsiui0-2.11.5.1-1.rhel7u4.x86_64.rpm

拡張

最初のリリース。

Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.22.3.0-1 (オプション)

ファイル名: kmod-qlgc-fastlinq-8.22.3.0-1.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.22.3.0-1.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-qlgc-fastlinq-8.22.3.0-1.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.22.3.0-1.rhel7u4.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、EEEをオフに設定した後で、"ethtool --show-eee"でEEEステータスがサポート対象外として表示されるという問題に対処します。

この製品は、操作の一部が失敗した場合でも、NVM読み取り/書き込みの処理が継続するという問題に対処します。

この製品は、WoLが"ethtool"コマンドで無効にされた後、有効なままになっているという問題に対処します。

この製品は、オートネゴシエーションがNVMで無効になっているときに"ethool"でこれを有効にできるという問題に対処します。

拡張

この製品は、現在/sys/module/qed/parametersでの読み取りパーミッションによるqedモジュールパラメータの公開をサポートしています。

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

Red Hat Enterprise Linux 7アップデート3向けHPE QLogic FastLinQ RoCEライブラリ

バージョン: 8.20.1.0-1 (オプション)

ファイル名: qlgc-libqedr-8.20.1.0-1.rhel7u3.x86_64.compsig; qlgc-libqedr-8.20.1.0-1.rhel7u3.x86_64.rpm;
README

修正

このライブラリは、rstreamアプリケーションの停止を招く問題に対処します。

Red Hat Enterprise Linux 7アップデート3用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 20.6.3.3 (オプション)

ファイル名: libbnxtre-20.6.3.3-rhel7u3.x86_64.compsig; libbnxtre-20.6.3.3-rhel7u3.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、現在ibv_devinfoを使用したファームウェアバージョンのクエリをサポートしています。

Red Hat Enterprise Linux 7アップデート4用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 20.6.3.3 (オプション)

ファイル名: libbnxt_re-20.6.3.3-rhel7u4.x86_64.compsig; libbnxt_re-20.6.3.3-rhel7u4.x86_64.rpm; README

拡張

最初のリリース。

SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4向けHPE QLogic FastLinQ RoCEライブラリ

バージョン: 8.20.1.0-1 (オプション)

ファイル名: qlgc-libqedr-8.20.1.0-1.sles11sp4.x86_64.compsig; qlgc-libqedr-8.20.1.0-1.sles11sp4.x86_64.rpm;
README

修正

このライブラリは、rstreamアプリケーションの停止を招く問題に対処します。

SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 20.6.3.3 (オプション)

ファイル名: libbnxtre-20.6.3.3-sles11sp4.x86_64.compsig; libbnxtre-20.6.3.3-sles11sp4.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、現在ibv_devinfoを使用したファームウェアバージョンのクエリをサポートしています。

SUSE Linux Enterprise Server 11 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバ

バージョン: 8.22.3.0-1 (オプション)

ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.22.3.0_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-
default-8.22.3.0_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-xen-8.22.3.0_3.0.101_63-
1.sles11sp4.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-xen-8.22.3.0_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

HPEは、これらのドライバー用に HPE QLogic FastLinQ オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ
for Linux x86_64、バージョン1.0.18以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、EEEをオフに設定した後で、"ethtool --show-eee"でEEEステータスがサポート対象外として表示されるという問題に対処します。

この製品は、操作の一部が失敗した場合でも、NVM読み取り/書き込みの処理が継続するという問題に対処します。

この製品は、WoLが"ethtool"コマンドで無効にされた後、有効なままになっているという問題に対処します。

この製品は、オートネゴシエーションがNVMで無効になっているときに"ethtool"でこれを有効にできるという問題に対処します。

拡張

この製品は、現在/sys/module/qed/parametersでの読み取りパーミッションによるqedモジュールパラメータの公開をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 4x25Gb 1ポート 620QSFP28 アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2向けHPE QLogic FastLinQ RoCEライブラリ

バージョン: 8.20.1.0-1 (オプション)

ファイル名: qlgc-libqedr-8.20.1.0-1.sles12sp2.x86_64.compsig; qlgc-libqedr-8.20.1.0-1.sles12sp2.x86_64.rpm;
README

修正

このライブラリは、rstreamアプリケーションの停止を招く問題に対処します。

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3 x86_64用HPE QLogic NX2 Linux iSCSIオフロード IOデーモン

バージョン: 2.11.5.1-1 (オプション)

ファイル名: iscsiuiio-2.11.5.1-1.sles12sp3.x86_64.compsig; iscsiuiio-2.11.5.1-1.sles12sp3.x86_64.rpm

拡張

最初のリリース。

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 20.6.3.3 (オプション)

ファイル名: libbnxt_re-20.6.3.3-sles12sp3.x86_64.compsig; libbnxt_re-20.6.3.3-sles12sp3.x86_64.rpm;
README

拡張

最初のリリース。

SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバ

バージョン: 8.22.3.0-1 (オプション)

ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.22.3.0_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-

default-8.22.3.0_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.22.3.0_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.22.3.0_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

HPEは、これらのドライバー用に HPE QLogic FastLinQ オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64、バージョン1.0.18以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、EEEをオフに設定した後で、"ethtool --show-eee"でEEEステータスがサポート対象外として表示されるという問題に対処します。

この製品は、操作の一部が失敗した場合でも、NVM読み取り/書き込みの処理が継続するという問題に対処します。

この製品は、WoLが"ethtool"コマンドで無効にされた後、有効なままになっているという問題に対処します。

この製品は、オートネゴシエーションがNVMで無効になっているときに"ethtool"でこれを有効にできるという問題に対処します。

拡張

この製品は、現在/sys/module/qed/parametersでの読み取りパーミッションによるqedモジュールパラメータの公開をサポートしています。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 4x25Gb 1ポート 620QSFP28 アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50GbEドライバ

バージョン: 8.18.22.0-1 (オプション)

ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.18.22.0_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.18.22.0_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.18.22.0_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.18.22.0_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-xen-8.18.22.0_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-xen-8.18.22.0_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.1.29以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、HPE Ethernet 4x25Gb 1-ポート620QSFP28アダプターの4ポートのうち2つのポートで「ethtool -T」に障害が発生するという問題に対応します。

この製品は、ifconfig ethX down コマンドが、「Link Down(リンクがダウンしています)」メッセージdmesgにより表示されるメッセージをログ記録しないという問題に対応します。

この製品は、悪意のあるVFドライバーが"VPORT_STOP"を使用したassert()の失敗の原因の可能性となっている問題に対応します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2をサポートしています。

この製品は、HPE Synergy 6810C 25/50Gb イーサネットアダプターをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 522FLR-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE Ethernet 4x25Gb 1-port 620QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 622FLR-SFP28 コンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 6810C 25/50Gb Ethernetアダプター

SUSE Linux Enterprise Server Server 12 SP2用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 20.6.3.3 (オプション)

ファイル名: libbnxtre-20.6.3.3-sles12sp2.x86_64.compsig; libbnxtre-20.6.3.3-sles12sp2.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、現在ibv_devinfoを使用したファームウェアバージョンのクエリをサポートしています。

VMware ESX 6.0 MSTドライバー オフラインバンドル for Mellanoxアダプター

バージョン: 4.6.0.101 (推奨)

ファイル名: MLNX-NMST-ESX-6.0.0-4.6.0.101.zip

修正

VM60 nmst 4.6.0.101の初回バージョン

VMware ESX 6.5 MSTドライバー オフラインバンドル for Mellanoxアダプター

バージョン: 4.6.0.101 (推奨)

ファイル名: MLNX-NMST-ESX-6.5.0-4.6.0.101.zip

修正

VM65 nmst 4.6.0.101の初回バージョン

VMware vSphere 6.0/6.5用HPE Intel ixgbeドライバー

バージョン: 2017.09.25 (オプション)

ファイル名: cp031606.compsig; cp031606.zip

ドライバー名およびバージョン:

net-ixgbe:4.5.2-1OEM.600.0.0.2494585

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibstdepot.hp.com Webページから利用可能な同じドライバーと、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン3.1.9以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター

Windows Server 2016用HPE Intel ixsドライバー

バージョン: 4.1.4.0 (オプション)

ファイル名: cp031298.compsig; cp031298.exe

拡張

最初のリリース。

Windows Server x64 Edition用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.22.6.0 (オプション)

ファイル名: cp032443.compsig; cp032443.exe

修正

- この製品は、iwarpトラフィックの実行中にデバイスマネージャーがハングするという問題に対処します。
- この製品は、RDMAを有効にするとWindows停止エラー(BSOD)が発生するという問題に対処します。
- この製品は、iWARPトラフィックを停止しているときにBSODが発生するという問題に対処します。
- この製品は、NPARモードを有効にした後にBSODが発生するという問題に対処します。
- この製品は、VBDドライバーを無効にしたり有効にしたりしているときにBSODが発生するという問題に対処します。
- この製品は、VMSwitchでSR-IOV機能を使用できないという問題に対処します。
- この製品は、サポートされているアダプターのアドバンスプロパティにWake-On-LANパラメーターが表示されないという問題に対処します。
- ドライバー-INFは仮想機能の正しい最大数を表示するようにアップデートされました。
- この製品により、今後はアドバンスプロパティにVMMQ Max QPが表示されなくなります。

ドライバー - セキュリティ

[先頭](#)

AMD Secure Processorドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 4.1.0.0 (オプション)

ファイル名: cp031963.compsig; cp031963.exe

拡張

最初のリリース。

AMD Secure Processorドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.1.0.0 (オプション)

ファイル名: cp032712.compsig; cp032712.exe

拡張

最初のリリース。

ドライバー - ストレージ

[先頭](#)

Dynamic SmartアレイP741m B140iコントローラードライバーfor 64ビットMicrosoft Windows Server 2012/2016 Editions

バージョン: 62.12.0.64 (推奨)

ファイル名: cp028631.exe

拡張

不必要なメッセージをフィルターで取り除き、重要なデータのみを保持するために光学デバイスからのデバッグ出力を削減します。

Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 SW RAIDドライバーfor Windows Server 2012 R2およびWindows Server 2016

バージョン: 62.0.32.64 (推奨)

ファイル名: cp032846.compsig; cp032846.exe

拡張

次のGen10サーバーのサポートを追加しました。

- HPE ProLiant XL190r Gen10サーバー
- HPE ProLiant XL170r Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL180 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL160 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL580 Gen10サーバー
- HPE ProLiant ML110 Gen10サーバー
- HPE ProLiant ML350 Gen10サーバー
- HPE ProLiant XL450 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL120 Gen10サーバー

ドライバー - ストレージコントローラー

[先頭](#)

HP Dynamic Smartアレイ B140i コントローラードライバー for VMware vSphere 6.0 (ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2016.04.18 (推奨)

ファイル名: cp028914.zip

ドライバー名およびバージョン:

scsi-hpdsa:5.5.0.52-1OEM.550.0.0.1331820

重要な注意!

このコンポーネントは、HPアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHP vibsdepot.hp.com Webページから利用可能なドライバーに加えHP特有のCPXXXX.xmlファイルを含むzipです。

修正

ドライバのバージョンは、HPSSAの期待する動作と正しいバージョンの表示を可能にするためにHPSSAへ報告する方法を変更します。

拡張

不必要なメッセージをフィルターで取り除き、重要なデータのみを保持するために光学デバイスからのデバッグ出力を削減します。

注: VMware ドライバー コンポーネントのバージョン 2016.04.18 には、HPDSA ドライバーのバージョン 5.5.0.52-1が含まれています

HP Dynamic Smartアレイコントローラードライバー for VMware vSphere 6.0 (バンドルファイル)

バージョン: 5.5.0.52-1 (**推奨**)

ファイル名: hpdsa.zip

修正

ドライバのバージョンは、HPSSAの期待する動作と正しいバージョンの表示を可能にするためにHPSSAへ報告する方法を変更します。

拡張

不必要なメッセージをフィルターで取り除き、重要なデータのみを保持するために光学デバイスからのデバッグ出力を削減します。

HPE Dynamic Smartアレイコントローラードライバー for VMware vSphere 6.5 (バンドルファイル)

バージョン: 5.5.0.54-1 (**推奨**)

ファイル名: hpdsa-5.5.0.54.zip

拡張

VMware vSphere 6.5 のサポートを追加しました。

HPE Dynamic SmartアレイB140iコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.5(ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2016.10.21 (**推奨**)

ファイル名: cp031035.zip

ドライバー名およびバージョン:

scsi-hpdsa:5.5.0.54-1OEM.550.0.0.1331820

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibstdepot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

拡張

VMware vSphere 6.5 のサポートを追加しました。

HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 12(AMD64/EM64T)

バージョン: 15.10.05.00-4 (**推奨**)

ファイル名: lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.05.00-4.sles12sp2.x86_64.rpm

拡張

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 12(AMD64/EM64T)カーネルは、次の通りです。

3.12.28-4 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

3.12.49-11.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T)SP1とさらに将来のerrata。

4.4.21-69-default - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (AMD64/EM64T) SP2とさらに将来のerrata

HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバーfor 64-bit Microsoft Windows Server 2016 Edition

バージョン: 2.68.64.2 (B) (**オプション**)

ファイル名: cp032270.exe

重要な注意！

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

拡張

バージョン2.68.64.2(B)に実施された変更:

- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0へ
注:システムが以前にコンポーネントバージョン2.68.64.2(A)をインストールされている場合、2.68.64.2(B)にアップデートする必要はありません。

バージョン2.68.64.2(A)の機能改善/新しい機能:

以下のサポートを追加しました。

- Microsoft Windows Server 2016 - Server Core および Server with a Desktop.
- コンポーネントパッケージを改訂しました。この変更によるドライバー機能への変更はありません。システムが以前にドライバーバージョン2.68.64.2にアップデートされている場合、2.68.64.2(A) にアップデート

する必要はありません。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません

HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバーfor Microsoft Windows Server 2012 64-ビットEdition

バージョン: 2.68.64.0 (B) (推奨)

ファイル名: cp032610.exe

拡張

バージョン2.68.64.0(B)で実装された変更:

- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0へ
注:ドライバーバージョン2.68.64.0が以前にインストールされている場合は、2.68.64.0(B)にアップデートする必要はありません。

バージョン2.68.64.0の機能改善/新しい機能:

- すべての LSI_sas2 Windowsデバイスのバージョンコントロールを更新

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバーfor Microsoft Windows Server 2012 R2 64-bit Editions

バージョン: 2.68.64.1 (B) (オプション)

ファイル名: cp032453.exe

拡張

バージョン 2.68.64.1(B)に実施された変更:

- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0へ
注:システムが以前にドライバーバージョン2.68.64.1 にアップデートされている場合、2.68.64.1(B)にアップデートする必要はありません。

バージョン2.68.64.1の機能改善/新しい機能:

- Windows 8.1およびWindows Server 2012R2へのサポートをビルドスクリプトに追加しました。
- Add build support for new 新しいWindowsイベントロギングにビルドサポートを追加しました。
- ビルドの間のデフォルトドライバー・ビルドパラメーターの自動選択にサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

HPE ProLiant Smartアレイ HPCISSS3コントローラードライバー for 64ビットMicrosoft Windows Server 2012/2012 R2/2016 Editions

バージョン: 100.20.0.64 (推奨)

ファイル名: cp032801.exe

修正

このリリースでは、以下の問題が解決されています。

- > 512 GBのメモリとSmart Pathを有効にしてサーバーが構成されているときに、オペレーティングシステムが応答しなくなります。
- RAIDボリュームにより構成されたHPE Smartアレイコントローラーで、WindowsオペレーティングシステムがI/Oタイムアウトの発生後にLUNリセットを実行すると、ブルースクリーンが発生する場合があります。

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバー for VMware vSphere 6.5 (バンドルファイル)

バージョン: 2.0.18-1 (推奨)

ファイル名: VMW-ESX-6.5.0-nhpsa-2.0.18-6004969.zip

修正

Synergy D3940ストレージモジュールのベイ1にSATAドライブを持つHPE Synergy Gen9コンピュートモジュールで"nhpsa"ドライバーを実行した場合に重複するSCSI IDが見られるという問題を解決しました。

詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリを参照してください：

http://h20566.www2.hp.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00009526en_us

拡張

以下のサポートを追加しました。

- HPE SmartアレイP830コントローラー
- HPE SmartアレイP830iコントローラー

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバー for VMware vSphere 6.5(ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2017.09.25 (推奨)

ファイル名: cp032480.zip

ドライバー名およびバージョン:

nhpsa:2.0.18-1OEM.650.0.0.4598673

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

Synergy D3940ストレージモジュールのベイ1にSATAドライブを持つHPE Synergy Gen9コンピュートモジュールで"nhpsa"ドライバーを実行した場合に重複するSCSI IDが見られるという問題を解決しました。

詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリを参照してください：

http://h20566.www2.hp.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00009526en_us

拡張

以下のサポートを追加しました。

HPE SmartアレイP830コントローラー
HPE SmartアレイP830iコントローラー

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.0 (バンドルファイル)

バージョン: 6.0.0.128-1 (A) **(推奨)**

ファイル名: hpsa-6.0.0.128-5996683.zip

修正

バージョン6.0.0.128-1では以下の問題が解決されました

新しいVSANmodeモジュールパラメーターを追加します。このパラメーターが有効になっているときに、RAIDモードで動作しているすべてのコントローラーのHPE Smart Path機能をオフにして、論理ディスクのキューの深さを調整してVSAN操作と互換性を持たせます。

拡張

バージョン6.0.0.128-1(A)には次の変更が含まれています

以下のサポートを追加しました。

HPE SmartアレイP830コントローラー
HPE SmartアレイP830iコントローラー

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.0 (ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2017.09.25 (A) **(推奨)**

ファイル名: cp033242.zip

ドライバー名およびバージョン:

scsi-hpsa:6.0.0.128-1OEM.600.0.0.2494585

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 vmware.comおよびHPE vibsdepot.hp.com Webページに加え、HPE特有のCPXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。 <http://vibsdepot.hp.com/>

修正

バージョン2017.09.25では以下の問題が解決されました

新しいVSANmodeモジュールパラメーターを追加します。このパラメーターが有効になっているときに、RAIDモードで動作しているすべてのコントローラーのHPE Smart Path機能をオフにして、論理ディスクのキューの深さを

調整してVSAN操作と互換性を持たせます。

拡張

バージョン2017.09.25(A)には次の変更が含まれています

以下のサポートを追加しました。

HPE SmartアレイP830コントローラー
HPE SmartアレイP830iコントローラー

HPE SmartアレイGen10コントローラードライバーfor Windows Server 2012 R2およびWindows Server 2016

バージョン: 63.32.0.64 (A) (**推奨**)

ファイル名: cp032849.compsig; cp032849.exe

拡張

次のGen10サーバーのサポートを追加しました。

- HPE ProLiant XL190r Gen10サーバー
- HPE ProLiant XL170r Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL180 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL160 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL580 Gen10サーバー
- HPE ProLiant ML110 Gen10サーバー
- HPE ProLiant ML350 Gen10サーバー
- HPE ProLiant XL450 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL120 Gen10サーバー

Red Hat Enterprise Linux (64-bit)用HPE H2xx SAS/SATAバスアダプタードライバー

バージョン: 15.10.05.00-6 (**推奨**)

ファイル名: kmod-mpt2sas-15.10.04.00-10.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.05.00-6.rhel6u9.x86_64.rpm

拡張

Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

2.6.32-642.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8(64-bit)およびfuture errata kernels for update 8。

2.6.32-696.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9(64-bit)およびfuture errata kernels for update 9。

注:HPE H221ホストバスアダプターは、Gen9サーバーのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしていません。

Red Hat Enterprise Linux 6 (64-bit)用HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバ

バージョン: 1.0.4-101 (A) (**推奨**)

ファイル名: kmod-smartpqi-1.0.4-101.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-1.0.4-101.rhel6u9.x86_64.rpm

拡張

次のGen10サーバーのサポートを追加しました。

HPE ProLiant XL190r Gen10サーバー
HPE ProLiant XL170r Gen10サーバー
HPE ProLiant DL180 Gen10サーバー
HPE ProLiant DL160 Gen10サーバー
HPE ProLiant DL580 Gen10サーバー
HPE ProLiant ML110 Gen10サーバー
HPE ProLiant ML350 Gen10サーバー
HPE ProLiant XL450 Gen10サーバー
HPE ProLiant DL120 Gen10サーバー

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このドライrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

2.6.32-696.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9(64-bit)およびfuture errata kernels for update 9。

Red Hat Enterprise Linux 6(64-bit)用HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードライバー

バージョン: 1.2.10-120 (推奨)

ファイル名: kmod-hpdsa-1.2.10-120.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-120.rhel6u9.x86_64.rpm

修正

以下の問題が解決されました。

HPE Dynamic SmartアレイB140iコントローラーおよび128個のCPU(コア)以上で構成されたシステムで、システム障害イベントが発生します。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

2.6.32-642.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8(64-bit)およびfuture errata kernels for update 8。

2.6.32-696.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9(64-bit)およびfuture errata kernels for update 9。

Red Hat Enterprise Linux 6(64-bit)用HPE ProLiant Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバ

バージョン: 3.4.20-110 (推奨)

ファイル名: kmod-hpsa-3.4.20-110.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.20-110.rhel6u9.x86_64.rpm

修正

状況によりSmartPathが有効にされないことがあります。

拡張

以下のサポートを追加しました。

HPE SmartアレイP830コントローラー

HPE SmartアレイP830iコントローラー

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このドライバーディスクでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 6 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

2.6.32-642.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 8(64-bit)およびfuture errata kernels for update 8。

2.6.32-696.el6 - Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9(64-bit)およびfuture errata kernels for update 9。

Red Hat Enterprise Linux 7(64-bit)用HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードライバー

バージョン: 1.2.10-123 (推奨)

ファイル名: kmod-hpdsa-1.2.10-123.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-123.rhel7u4.x86_64.rpm

修正

以下の問題が解決されました。

HPE Dynamic SmartアレイB140iコントローラーおよび128個のCPU(コア)以上で構成されたシステムで、システム障害イベントが発生します。

拡張

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

3.10.0-514.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3(64-bit)および future errata kernels for update 3。

3.10.0-693.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4 (64-bit)およびfuture errata kernels for update 4。

Red Hat Enterprise Linux 7(64-bit)用HPE H2xx SAS/SATAバスアダプタードライバー

バージョン: 15.10.06.00-5 (推奨)

ファイル名: kmod-mpt2sas-15.10.05.00-3.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.06.00-5.rhel7u4.x86_64.rpm

拡張

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

3.10.0-514.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3(64-bit)および future errata kernels for update 3。

3.10.0-693.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4 (64-bit)およびfuture errata kernels for update 4。

注:このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

Red Hat Enterprise Linux 7(64-bit)用HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 1.1.2-120 (推奨)

ファイル名: kmod-smartpqi-1.1.2-120.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-1.1.2-120.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-smartpqi-1.1.2-120.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-1.1.2-120.rhel7u4.x86_64.rpm

拡張

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4のサポートを追加しました。

次のGen10サーバーのサポートを追加しました。

- HPE ProLiant XL190r Gen10サーバー
- HPE ProLiant XL170r Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL180 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL160 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL580 Gen10サーバー
- HPE ProLiant ML110 Gen10サーバー
- HPE ProLiant ML350 Gen10サーバー
- HPE ProLiant XL450 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL120 Gen10サーバー

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux7 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

3.10.0-514.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3(64-bit)および future errata kernels for update 3。

3.10.0-693.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4 (64-bit)およびfuture errata kernels for update 4。

Red Hat Enterprise Linux 7(64-bit)用HPE ProLiant Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 3.4.20-113 (A) (推奨)

ファイル名: kmod-hpsa-3.4.20-113.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.20-113.rhel7u4.x86_64.rpm

修正

バージョン3.4.20-113では以下の問題が解決されました

- 重いIOが実行されているマルチパス構成では、1つのパスに障害が発生した場合、コントローラーがアクティブなパスにすべてのトラフィックを切り替えることができません。

- 状況によりSmartPathが有効にされないことがあります。

拡張

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4のサポートを追加しました。

バージョン3.4.20.113(A)には次の変更が含まれています

以下のサポートを追加しました。

HPE SmartアレイP830コントローラー
HPE SmartアレイP830iコントローラー

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

3.10.0-514.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3(64-bit)および future errata kernels for update 3。

3.10.0-693.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4 (64-bit)およびfuture errata kernels for update 4。

SUSE LINUX Enterprise Server 11(64-bit)用HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードライバー

バージョン: 1.2.10-120 (推奨)

ファイル名: hpdsa-kmp-default-1.2.10-120.sles11sp3.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-default-1.2.10-120.sles11sp4.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-xen-1.2.10-120.sles11sp3.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-xen-1.2.10-120.sles11sp4.x86_64.rpm

修正

以下の問題が解決されました。

HPE Dynamic SmartアレイB140iコントローラーおよび128個のCPU(コア)以上で構成されたシステムで、システム障害イベントが発生します。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 11 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

3.0.76-0.11.1 - SUSE LINUX Enterpriseサーバー11 SP 3 (64-bit)およびfuture errata kernels for SP 3。

3.0.101-63-default - SUSE LINUX Enterpriseサーバー11 SP 4 (64-bit)およびfuture errata kernels for SP 4。

SUSE LINUX Enterprise Server 11(64-bit)用HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバ

バージョン: 1.0.4-101 (A) (推奨)

ファイル名: smartpqi-kmp-default-1.0.4-101.sles11sp4.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-1.0.4-101.sles11sp4.x86_64.rpm; smartpqi-kmp-xen-1.0.4-101.sles11sp4.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-xen-1.0.4-101.sles11sp4.x86_64.rpm

拡張

次のGen10サーバーのサポートを追加しました。

- HPE ProLiant XL190r Gen10サーバー
- HPE ProLiant XL170r Gen10サーバー

- HPE ProLiant DL180 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL160 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL580 Gen10サーバー
- HPE ProLiant ML110 Gen10サーバー
- HPE ProLiant ML350 Gen10サーバー
- HPE ProLiant XL450 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL120 Gen10サーバー

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーディスクでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 11 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

3.0.101-63-default - SUSE LINUX Enterpriseサーバー11 SP 4 (64-bit)およびfuture errata kernels for SP 4。

SUSE LINUX Enterprise Server 11(64-bit)用HPE ProLiant Smartアレイコントローラー (64-bit)ドライバー

バージョン: 3.4.20-110 (推奨)

ファイル名: hpsa-kmp-default-3.4.20-110.sles11sp3.x86_64.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.20-110.sles11sp4.x86_64.rpm; hpsa-kmp-xen-3.4.20-110.sles11sp3.x86_64.rpm; hpsa-kmp-xen-3.4.20-110.sles11sp4.x86_64.rpm

修正

状況によりSmartPathが有効にされないことがあります。

拡張

以下のサポートを追加しました。

HPE SmartアレイP830コントローラー
HPE SmartアレイP830iコントローラー

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーディスクでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 11 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

3.0.76-0.11.1 - SUSE LINUX Enterpriseサーバー11 SP 3 (64-bit)およびfuture errata kernels for SP 3。

3.0.101-63-default - SUSE LINUX Enterpriseサーバー11 SP 4 (64-bit)およびfuture errata kernels for SP 4。

SUSE LINUX Enterprise Server 12(64-bit)用HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードライバー

バージョン: 1.2.10-123 (推奨)

ファイル名: hpdsa-kmp-default-1.2.10-123.sles12sp2.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-default-1.2.10-123.sles12sp3.x86_64.rpm

修正

以下の問題が解決されました。

HPE Dynamic SmartアレイB140iコントローラーおよび128個のCPU(コア)以上で構成されたシステムで、システム障害イベントが発生します。

拡張

SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP3のサポートが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

4.4.21-69-デフォルト- SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP2 plus future errata。

4.4.73-5.1 - SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP3 plus future errata。

SUSE LINUX Enterprise Server 12(64-bit)用HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードライバー

バージョン: 1.2.10-115 (A) (推奨)

ファイル名: hpdsa-kmp-default-1.2.10-115.sles12sp1.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-default-1.2.10-115.sles12sp2.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-xen-1.2.10-115.sles12sp1.x86_64.rpm

修正

1.2.10-115(A)に実施された変更:

- コンポーネント展開のためにバージョン管理を変更しました。
- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0.へ
注: システムが以前にコンポーネントバージョン1.2.10-115にアップデートされている場合、1.2.10-115(A)にアップデートする必要はありません。

バージョン1.2.10-115で解決した問題:

- 以前のドライバーがパニックを起こす問題を解決しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このドライバーディスクセットでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

3.12.49-11.1- SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP1 plus future errata。

4.4.21-69-デフォルト- SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP2 plus future errata。

SUSE LINUX Enterprise Server 12(64-bit)用HPE ProLiant Gen10 Smartアレイ(64-bit)ドライバー

バージョン: 1.1.2-120 (推奨)

ファイル名: smartpqi-kmp-default-1.1.2-120.sles12sp2.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-1.1.2-120.sles12sp2.x86_64.rpm; smartpqi-kmp-default-1.1.2-120.sles12sp3.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-1.1.2-120.sles12sp3.x86_64.rpm

拡張

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3のサポートを追加しました。

次のGen10サーバーのサポートを追加しました。

- HPE ProLiant XL190r Gen10サーバー
- HPE ProLiant XL170r Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL180 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL160 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL580 Gen10サーバー

- HPE ProLiant ML110 Gen10サーバー
- HPE ProLiant ML350 Gen10サーバー
- HPE ProLiant XL450 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL120 Gen10サーバー

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

4.4.21-69-デフォルト- SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP2 plus future errata。

4.4.73-5.1 - SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP3 plus future errata。

SUSE LINUX Enterprise Server 12(64-bit)用HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 1.0.4-101 (推奨)

ファイル名: smartpqi-kmp-default-1.0.4-101.sles12sp2.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-1.0.4-101.sles12sp2.x86_64.rpm

修正

- HPE P/E-Class SR Gen10コントローラー用の初期ドライバーリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

4.4.21-69-デフォルト- SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP2 plus future errata。

SUSE LINUX Enterprise Server 12(64-bit)用HPE ProLiant Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 3.4.20-100 (推奨)

ファイル名: hpsa-kmp-default-3.4.20-100.sles12sp1.x86_64.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.20-100.sles12sp2.x86_64.rpm; hpsa-kmp-xen-3.4.20-100.sles12sp1.x86_64.rpm

修正

以下を修正しました。

重度なIOを実行しているマルチパス構成では、ひとつのパスに障害が発生したときに、コントローラーが、アクティブパスへのすべてのトラフィックを切り替えないことがあります。

拡張

Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0へ

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

3.12.49-11.1- SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP1 plus future errata。

4.4.21-69-デフォルト- SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP2 plus future errata。

SUSE LINUX Enterprise Server 12(64-bit)用HPE ProLiant Smartアレイコントローラー (64-bit)ドライバー

バージョン: 3.4.20-113 (A) (推奨)

ファイル名: hpsa-kmp-default-3.4.20-113.sles12sp2.x86_64.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.20-113.sles12sp3.x86_64.rpm

修正

バージョン3.4.20-113では以下の問題が解決されました

- 重いIOが実行されているマルチパス構成では、1つのパスに障害が発生した場合、コントローラーがアクティブなパスにすべてのトラフィックを切り替えることができません。
- 状況によりSmartPathが有効にされないことがあります。

拡張

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3のサポートを追加しました。

バージョン3.4.20.113(A)には次の変更が含まれています

以下のサポートを追加しました。

HPE SmartアレイP830コントローラー
HPE SmartアレイP830iコントローラー

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

4.4.21-69-デフォルト- SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP2 plus future errata。

4.4.73-5.1 - SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP3 plus future errata。

SUSE LINUX Enterprise Server 11(64-bit)用HPE H2xx SAS/SATAバスアダプタードライバー

バージョン: 15.10.04.00-5 (B) (推奨)

ファイル名: lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.02.00-6.sles11sp3.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.04.00-5.sles11sp4.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-xen-15.10.02.00-6.sles11sp3.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-xen-15.10.04.00-5.sles11sp4.x86_64.rpm

拡張

バージョン15.10.04.00-5(B)に実施された変更:

- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0へ
注:システムが以前にドライバーバージョン15.10.04.00-5(A)にアップデートされている場合15.10.04.00-5(B)にアップデートする必要はありません。

バージョン15.10.04.00-5(A)の機能改善/新しい機能:

- HPE デジタル署名を RPM パッケージに追加し、カーネルオブジェクトを含めました。その他の機能変更はドライバーに行われていません。ドライバーバージョン 15.10.04.00-5 がターゲットシステムにインストールされている場合、ドライバーバージョン 15.10.04.00-5(A)へアップデートする必要はありません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このドライバーディスクでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 11 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

3.0.76-0.11.1- SUSE LINUX Enterpriseサーバー11 SP 3 (64-bit) plus future errata.

3.0.101-63-デフォルト - SUSE LINUX Enterpriseサーバー11 SP 4 (64-bit) plus future errata.

注:このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

SUSE LINUX Enterprise Server 12(64-bit)用HPE H2xx SAS/SATAバスアダプタードライバー

バージョン: 15.10.04.00-7 (B) (推奨)

ファイル名: lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.04.00-7.sles12sp1.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-xen-15.10.04.00-7.sles12sp1.x86_64.rpm

拡張

バージョン15.10.04.00-7(B)に実施された変更:

- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0へ

注:システムが以前にドライバーバージョン15.10.04.00-7(A) にアップデートされている場合15.10.04.00-7(B)にアップデートする必要はありません。

バージョン15.10.04.00-7(A)の機能改善/新しい機能:

- HPE デジタル署名を RPM パッケージに追加し、カーネルオブジェクトを含めました。その他の機能変更はドライバーに行われていません。ドライバーバージョン 15.10.04.00-7 がターゲットシステムにインストールされている場合、ドライバーバージョン 15.10.04.00-7(A)へアップデートする必要はありません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

3.12.49-11.1- SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP1 plus future errata.

注:このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

SUSE LINUX Enterprise Server 12(64-bit)用HPE H2xx SAS/SATAバスアダプタードライバー

バージョン: 15.10.06.00-6 (推奨)

ファイル名: lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.06.00-2.sles12sp2.x86_64.rpm; lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.06.00-6.sles12sp3.x86_64.rpm

拡張

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2およびSP3のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

4.4.21-69-デフォルト- SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP2 plus future errata.

4.4.73-5.1 -SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP3 plus future errata.

注:このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

vSphere 6.0用HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプター(64-bit)ドライバー(ドライバーコンポーネント)。

バージョン: 2016.03.21 (A) (オプション)

ファイル名: cp031478.compsig; cp031478.zip

ドライバー名およびバージョン:

scsi-mpt2sas:15.10.06.00-10EM.550.0.0.1331820

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibstdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

バージョン2016.03.21(A)に実施された変更:

- コンポーネント展開のためにバージョン管理を変更しました。
- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0へ
注:システムが以前にコンポーネントバージョン2016.03.21にアップデートされている場合、2016.03.21(A)にアップデートする必要はありません。

バージョン2016.03.21で解決した問題:

- なし

拡張

バージョン2016.03.21(A)に実施された変更:

- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0へ
注:システムが以前にコンポーネントバージョン2016.03.21にアップデートされている場合、2016.03.21(A)にアップデートする必要はありません。

バージョン2016.03.21の機能改善/新しい機能:

- VMWare ESXi 6.0更新1へのサポートが追加されました

サポートしているデバイスおよび機能

注:HPE H221ホストバスアダプターは、Gen9サーバーのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしていません。

vSphere 6.5用HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプター(64-bit)ドライバー

バージョン: 15.10.07.00-1 (A) (オプション)

ファイル名: mpt2sas-15.10.07.00-esxi5.5-4778920.zip

修正

バージョン15.10.07.00-1(A)実施された変更:

- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0.へ
注:システムが以前にドライバーバージョン15.10.07.00-1にアップデートされている場合、15.10.07.00-1(A)にアップデートする必要はありません。

バージョン15.10.07.00-1で解決した問題:

- VMware vSphere 6.5.ののドライブのインストールに関するマイナートラブルを修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

注:HPE H221ホストバスアダプターは、Gen9サーバーのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしていません。

vSphere 6.5用HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプター(64-bi)ドライバー(ドライバーコンポーネント)。

バージョン: 2017.01.20 (A) (オプション)

ファイル名: cp032277.zip

ドライバー名およびバージョン:

scsi-mpt2sas:15.10.07.00-1OEM.550.0.0.1331820

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibstdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

バージョン2017.01.20(A)実施された変更:

- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0.へ
注:システムが以前にコンポーネントバージョン2017.01.20にアップデートされている場合、2017.01.20(A)にアップデートする必要はありません。

バージョン2017.01.20で解決した問題:

- VMware vSphere 6.5.ののドライブのインストールに関するマイナートラブルを修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

注:HPE H221ホストバスアダプターは、Gen9サーバーのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしていません。

**ドライバー - ストレージファイバーチャネルおよびチャイバーチャネル
オーバーイーサネット**

先頭

**HPE Emulex(BRCM) CNAおよびメザニンCNA向けSUSE Linux Enterprise Server 12 FCoE
ドライバーキット**

バージョン: 11.2.1226.2 (推奨)

ファイル名: brcmfcoe-kmp-default-11.2.1226.2_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-11.2.1226.2_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; brcmfcoe-kmp-default-11.2.1226.2_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-11.2.1226.2_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; brcmfcoe-kmp-xen-11.2.1226.2_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-xen-11.2.1226.2_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

Fibre Channel over Ethernet(ファイバーチャネル・オーバー・イーサネット: FCoE)向け新しい別のOut-of-Box(OOB)ドライバー用初期ドライバーです。ドライバーバージョン11.2.1226.2

下記のカードのサポートを追加しました:

- Linuxデバイスドライバー仕様。
- FWインストールライブラリv0.81 - ドライバーのサポート

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 シリーズ:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPE Emulex(BRCM) CNAおよびメザニンCNA向けSUSE Linux Enterprise Server 12 FCoEドライバークット

バージョン: 11.2.1263.16 (推奨)

ファイル名: brcmfcoe-kmp-default-11.2.1263.16_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-11.2.1263.16_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; brcmfcoe-kmp-default-11.2.1263.16_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-11.2.1263.16_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバークットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

ドライバーバージョン11.2.1263.16にアップデートしました

Sles12sp3のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 シリーズ:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPE Emulex(BRCM) CNAおよびメザニンCNA用Red Hat Enterprise Linux 6 Server(x86-64)CoEドライバーキット

バージョン: 11.2.1263.16 (推奨)

ファイル名: kmod-brcmfcoe-11.2.1263.16-1.rhel6u8.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-11.2.1263.16-1.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-brcmfcoe-11.2.1263.16-1.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-11.2.1263.16-1.rhel6u9.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

ドライバーバージョン11.2.1263.16にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 シリーズ:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPE Emulex(BRCM) CNAおよびメザニンCNA用Red Hat Enterprise Linux 7 Server FCoEドライバーキット

バージョン: 11.2.1263.16 (推奨)

ファイル名: kmod-brcmfcoe-11.2.1263.16-1.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-11.2.1263.16-1.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-brcmfcoe-11.2.1263.16-1.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-11.2.1263.16-1.rhel7u4.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

ドライバーバージョン11.2.1263.16にアップデートしました

Rhel7u4のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 シリーズ:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPE Emulex(BRCM)CNAおよびメザニンCNA向けSUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) FCoEドライバーキット

バージョン: 11.2.1263.16 (推奨)

ファイル名: brcmfcoe-kmp-default-11.2.1263.16_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-

default-11.2.1263.16_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; brcmfcoe-kmp-default-11.2.1263.16_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-11.2.1263.16_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; brcmfcoe-kmp-trace-11.2.1263.16_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-trace-11.2.1263.16_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; brcmfcoe-kmp-trace-11.2.1263.16_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-trace-11.2.1263.16_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; brcmfcoe-kmp-xen-11.2.1263.16_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-xen-11.2.1263.16_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; brcmfcoe-kmp-xen-11.2.1263.16_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-xen-11.2.1263.16_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 シリーズ:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPE Qlogic HBAおよびメザニンHBA用Red Hat Enterprise Linux 6 Server(x86-64)FCドライバーキット

バージョン: 8.07.00.50.06.0-k4 (推奨)

ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-8.07.00.50.06.0_k4-1.rhel6u8.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-8.07.00.50.06.0_k4-1.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-qlgc-qla2xxx-8.07.00.50.06.0_k4-1.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-8.07.00.50.06.0_k4-1.rhel6u9.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

注記:QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

このドライバーバージョンでは、以下が解決しました。

- 照会応答が複数のスキャッター/収集要素にまたがってスヌーピングします。

拡張

バージョン8.07.00.50.06.0-k4に更新しました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic HBAおよびメザニンHBA用Red Hat Enterprise Linux 7 Server FCドライバーキット

バージョン: 8.07.00.50.07.0-k4 (推奨)

ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-8.07.00.50.07.0_k4-1.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-8.07.00.50.07.0_k4-1.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-qlgc-qla2xxx-8.07.00.50.07.0_k4-1.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-8.07.00.50.07.0_k4-1.rhel7u4.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

注: QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。"hpqlgc" ドライバーからのアップデートがサポートされています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

このドライバーバージョンでは、以下が解決しました。

- 照会応答が複数のスキャッター/収集要素にまたがってスヌーピングします。

拡張

ドライバーをバージョン8.07.00.50.07.0-k4に更新しました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Qlogic HBAおよびメザニンHBA用SUSE Linux Enterprise Server

11(AMD64/EM64T)FCドライバーキット

バージョン: 8.07.00.50.11.3-k3 (b) (推奨)

ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.50.11.3_k3_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.50.11.3_k3_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-xen-8.07.00.50.11.3_k3_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-xen-8.07.00.50.11.3_k3_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

注: QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。"hpqlgc" ドライバーからのアップデートがサポートされています。

修正

このドライバーバージョンでは、以下が解決しました。

- 照会応答が複数のスキャッター/収集要素にまたがってスヌーピングします。

拡張

ドライバーをバージョン8.07.00.50.11.3-k3にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPアダプターをサポートします。

- HP FC1142SR 4Gb PCIeホストバスアダプター
- HP FC1242SR 4Gb PCIe DCホストバスアダプター
- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- QLogic QMH2562 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- QLogic QMH2462 4Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP QMH2672 16Gb FC HBA for c-Class BladeSystem
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 526FLR-SFP+アダプター
- HP CN1000Q デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1ポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1100Q 16Gb 1P FC HBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic HBAおよびメザニンHBA用SUSE Linux Enterprise Server 12 FCドライバーキット

バージョン: 8.07.00.50.12.0-k3 (推奨)

ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.50.12.0_k3_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.50.12.0_k3_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.50.12.2_k3_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.50.12.2_k3_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-xen-8.07.00.50.12.0_k3_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-xen-8.07.00.50.12.0_k3_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

注: QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。"hpqlgc" ドライバーからのアップデートがサポートされています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

This driver version resolves the following:

- Increase the driver login retry count to 30.
- Mark Data Integrity Field (DIF) errors from target as re-tryable errors.
- Reduced excessive debug print during 27xx fwdump.
- Avoid crashing on null cred pointer in exit_creds().
- Fixed mbx pointer error in classic fwdump.
- Added check for different type of Register State Change Notification (RSCN).
- Fixed improper fcport_count accounting.

- Corrected supported Fibre Channel (FC) speed for sysfs.
- Corrected supported Fibre Channel (FC) speed for Fabric Device Management Interface (FDMI) / Remote Desktop Protocol (RDP).

拡張

Updated to version 8.07.00.50.12.0-k3

- Implement LUN level Data Integrity Field (DIF) for 3PAR array on RHEL 6, RHEL7. SLES12
- Simplified printk format for portid's
- Set Fabric Login (FLOGI) retry in additional firmware options for Point to Point (P2P/N2N) mode.

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic HBAおよびメザニンHBA用SUSE Linux Enterprise Server 12 FCドライバーキット

バージョン: 8.07.00.50.12.2-k4 (**推奨**)

ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.50.12.2_k4_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.50.12.2_k4_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.50.12.3_k4_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-8.07.00.50.12.3_k4_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

注: QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。"hpqlgc" ドライバーからのアップデートがサポートされています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

このドライバーバージョンでは、以下が解決しました。

- 照会応答が複数のスキャッター/収集要素にまたがってスヌーピングします。

拡張

バージョン8.07.00.50.12.2-k4にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキット for QLogic Storportドライバー for Windows Server 2012 R2および2012 R2

バージョン: 9.2.5.20 (推奨)

ファイル名: cp032437.compsig; cp032437.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

このドライバーバージョンでは、以下が解決しました。

- Remote Desktop Protocol (RDP)が速度性能を印刷する。
- ファイバーチャネル(FC)ストレージが接続されているとファイバーチャネル(FC)ドライバーw32ドライバーのインストールプロセスが完了しない。
- Windowsドライバーのアップグレード/ダウングレードの際にWindowsが予期せず終了する。
- マルチパス入出力(MPIO)構成によって生成されたWindowsメモリダンプ。

拡張

ドライバーをバージョン9.2.5.20に更新しました

- Original Equipment Manufacturer (OEM)のサービス品質(QOS)メモリを初期化しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキット for QLogic Storportドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 9.2.5.20 (推奨)

ファイル名: cp032438.compsig; cp032438.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

このドライバーバージョンでは、以下が解決しました。

- Remote Desktop Protocol (RDP)が速度性能を印刷する。
- ファイバーチャネル(FC)ストレージが接続されているとファイバーチャネル(FC)ドライバーw32ドライバーのインストールプロセスが完了しない。
- Windowsドライバーのアップグレード/ダウングレードの際にWindowsが予期せず終了する。
- マルチパス入出力(MPIO)構成によって生成されたWindowsメモリダンプ。

拡張

ドライバーをバージョン9.2.5.20に更新しました

- Original Equipment Manufacturer (OEM)のサービス品質(QOS)メモリを初期化しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキット for x64 Emulex Storportドライバー

バージョン: 11.2.139.0 (b) (推奨)

ファイル名: cp032472.compsig; cp032472.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン11.2.139.0にアップデートしました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
elxdrv-fc-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FC-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

```
C:\Users\Administrator\Documents\Emulex\Drivers\FC-version\x64\win2012
```

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

LPe16000(16Gb)(FC):

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000(16Gb/32Gb)FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA

- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPEストレージファイバーチャネルオーバーイーサーネットアダプターキット for x64 Emulex Storportドライバー

バージョン: 11.2.1135.0 (b) (推奨)

ファイル名: cp032471.compsig; cp032471.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン11.2.1135.0にアップデートしました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012
```

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

XE100 シリーズ:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64) FCドライバーキットfor HPE Emulex HBAおよびメザニンHBA

バージョン: 11.2.307.13 (推奨)

ファイル名: kmod-elx-lpfc-11.2.307.13-1.rhel6u8.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-11.2.307.13-1.rhel6u8.x86_64.rpm; kmod-elx-lpfc-11.2.307.13-1.rhel6u9.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-11.2.307.13-1.rhel6u9.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>

2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

ドライバーバージョン11.2.307.13

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000(16Gb/32Gb)FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

Red Hat Enterprise Linux 7 Server FCドライバーキットfor HPE Emulex HBAおよびメザニンHBA

バージョン: 11.2.307.13 (推奨)

ファイル名: kmod-elx-lpfc-11.2.307.13-1.rhel7u3.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-11.2.307.13-1.rhel7u3.x86_64.rpm; kmod-elx-lpfc-11.2.307.13-1.rhel7u4.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-11.2.307.13-1.rhel7u4.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

ドライバーバージョン11.2.307.13

Rhel7.4のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000(16Gb/32Gb)FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) FCドライバーキットfor HPE Emulex HBAおよびメガニンHBA

バージョン: 11.2.307.13 (推奨)

ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-11.2.307.13_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-11.2.307.13_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-default-11.2.307.13_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-11.2.307.13_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-trace-11.2.307.13_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-trace-11.2.307.13_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-trace-11.2.307.13_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-trace-11.2.307.13_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-xen-11.2.307.13_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-xen-11.2.307.13_3.0.101_63-1.sles11sp4.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-xen-11.2.307.13_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-xen-11.2.307.13_3.0.76_0.11-1.sles11sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>

2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

ドライバーバージョン11.2.307.13

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000(16Gb/32Gb)FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

SUSE Linux Enterprise Server 12 FCドライバーキットfor HPE Emulex HBAおよびメザニン HBA

バージョン: 11.2.254.6 (**推奨**)

ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-11.2.254.6_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-11.2.254.6_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-default-11.2.254.6_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-11.2.254.6_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-xen-11.2.254.6_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-xen-11.2.254.6_k3.12.49_11-1.sles12sp1.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

ファイバーチャネル向けの別のOut-of-Box(OOB)ドライバー用初期ドライバーです。 ドライバーバージョン 11.2.254.6

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000 (16Gb/32Gb) FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

SUSE Linux Enterprise Server 12 FCドライバーキットfor HPE Emulex HBAおよびメザニン HBA

バージョン: 11.2.307.13 (推奨)

ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-11.2.307.13_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-11.2.307.13_k4.4.21_69-1.sles12sp2.x86_64.rpm; elx-lpfc-kmp-default-11.2.307.13_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-11.2.307.13_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

ドライバーバージョン11.2.307.13

Sles12sp3のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000(16Gb/32Gb)FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

ドライバー - ストレージテープ

先頭

HPE StoreEverテープ ドライバー for Microsoft Windows

バージョン: 4.2.0.0 (推奨)

ファイル名: cp030019.exe

拡張

- 新しいLTOテープドライブ ドライバーバージョン1.0.9.1
 - Microsoft Windows Server 2016 x64のサポートを追加しました。
- 新しいMSLライブラリーと1/8 G2テープオートローダードライバーバージョン3.0.0.4
 - Microsoft Windows Server 2016 x64のサポートを追加しました。
- 新しいESL G3テープライブラリー ドライバーバージョン7.5.8.3
 - Microsoft Windows Server 2016 x64のサポートを追加しました。
- 古いドライバーが必要な場合は、このドライバーインストーラーの旧バージョンを使用してください。
- オペレーティングシステムのサポートとドライバーのバージョンについては以下の表を参照してください。
 - **太字**- 新しいドライバーバージョン
 - * - 未サポート

	Microsoft Windowsクライアントオペレーティングシステム				
ドライバー説明 (HPおよびHPEブランドの製品がサポートされます)	7 x86	7 x64	8 x64	8.1 x64	10 x64
LTOテープドライブ - (LTO-7ドライブはバージョン1.0.9.1を必要とします)	1.0.9.1	1.0.9.1	1.0.9.1	1.0.9.1	1.0.9.1
MSL6480テープライブラリーfor 1/8 G2 テープオートローダー MSL2024テープライブラリー MSL4048テープライブラリー MSL8096テープライブラリー	3.0.0.0	3.0.0.0	3.0.0.0	3.0.0.3	3.0.0.4
DATテープドライブ	1.7.1.0	1.7.1.0	1.7.1.0	1.7.2.0	*
USB大容量ストレージコントローラー - (DAT 72と160のみ)	6.07.2010	6.07.2010	7.00.2012	8.00.2014	*

	Microsoft Windowsサーバーオペレーティングシステム			
ドライバー説明 (HPおよびHPEブランドの製品がサポートされます)	Server 2008 R2 x64	Server 2012 x64	Server 2012 R2 x64	Server 2016 x64
LTOテープドライブ - (LTO-7ドライブはバージョン1.0.9.1を必要とします)	1.0.9.1	1.0.9.1	1.0.9.1	1.0.9.1
MSL6480テープライブラリーfor 1/8 G2 テープオートローダー MSL2024テープライブラリー MSL4048テープライブラリー MSL8096テープライブラリー	3.0.0.0	3.0.0.0	3.0.0.3	3.0.0.4
ESL G3テープライブラリ	7.5.7.1	7.5.8.1	7.5.8.2	7.5.8.3
ESL Eテープライブラリ	1.5.1.0	1.5.1.1	*	*
DATテープドライブ	1.7.1.0	1.7.1.0	1.7.2.0	*
USB大容量ストレージコントローラー - (DAT 72と160のみ)	6.07.2010	7.00.2012	8.00.2014	*

ドライバー - システム

[先頭](#)

HP HPE NVDIMM-N ドライバー for Microsoft Windows Server 2012および2012 R2

バージョン: 2.0.0.2 (推奨)

ファイル名: cp031329.compsig; cp031329.exe

拡張

これらのNVDIMM-NドライバーはMicrosoft Windows Server 2012および2012 R2を実行する限定されたHPEサーバー上での永続的メモリに関するサポートを可能にします。

- HPE 16GB NVDIMMデバイスのサポートを追加しました。

- ブロックセクターサイズを512バイトから4096バイトに変更しました。古いデータを保存する必要がある場合には、アクセスできないようにしてバックアップしなければなりません。

HPEサーバー上の永続的メモリに関する詳しい情報については、下記のリンクを参照願います。

- <https://www.hpe.com/us/en/servers/management.html>
- <http://h20195.www2.hpe.com/V2/GetDocument.aspx?docname=4AA6-4681ENW&cc=us&lc=en>

ドライバー - システムマネジメント

[先頭](#)

HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interfaceドライバー for Windows X64

バージョン: 3.10.0.0 (J) (オプション)

ファイル名: cp028042.exe

重要な注意!

ProLiant Support Packバージョン9.00がリリースされたときに、チャンネルインターフェイスドライバーが独自のコンポーネントに分割されました。以前、ドライバーは、*iLO 3* マネジメントコントローラードライバークパッケージのコンポーネントの一部でした。

拡張

HP ProLiant WS460c Gen9上のWindows8.1の下でインストールをサポートするためにアップデートしました。

iLO 3/4チャンネルインターフェイスドライバー for Windows Server 2008 および Windows Server 2012 R2

バージョン: 3.30.0.0 (オプション)

ファイル名: cp029394.exe

重要な注意!

ProLiant Support Packバージョン9.00がリリースされたときに、チャンネルインターフェイスドライバーが独自のコンポーネントに分割されました。以前、ドライバーは、*iLO 3* マネジメントコントローラードライバークパッケージのコンポーネントの一部でした。

修正

ドライバーを再起動した場合、ドライバーで作成された作業項目が適切に終了していることを確認してください

iLO 3/4チャンネルインターフェイスドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 3.30.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030671.exe

拡張

Windows Server 2016をサポートする最初のリリースです。

iLO 3/4マネジメントコントローラードライバークパッケージ for Windows Server 2016

バージョン: 3.30.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030672.exe

事前要件

このコンポーネントの前に *HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows Server 2016*(バージョン3.4.0.0以降)をインストールする必要があります。

拡張

Windows Server 2016をサポートする最初のリリースです。

iLO 3/4 マネージメントコントローラードライバパッケージ for Windows Server 2008から2012 R2

バージョン: 3.30.0.0 (オプション)

ファイル名: cp029429.exe

事前要件

このコンポーネントの前に *HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows Server 2008 to Server 2012 R2*(バージョン3.4.0.0以降)をインストールする必要があります。チャンネルインターフェイスドライバーは、以前はこのコンポーネントに含まれていましたが、現在は別々にインストールされます。

拡張

ProLiant System Shutdown サービスで提供されたサポートは、ProLiant Monitor サービスへ統合されました。ProLiant System Shutdown サービスは、システムのサービスリスト内で個別項目としては表示されません。

iLO 5 チャンネルインターフェイスドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 4.0.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030976.compsig; cp030976.exe

拡張

最初のリリース。

iLO 5 チャンネルインターフェイスドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.0.0.0 (オプション)

ファイル名: cp030977.compsig; cp030977.exe

拡張

最初のリリース。

Windows用HPE ProLiant Gen9チップセット識別子

バージョン: 10.1.2.77 (オプション)

ファイル名: cp030228.exe

拡張

Windows Server 2016のサポートを追加しました。

ドライバー - ビデオ

[先頭](#)

Matrox G200eHビデオコントローラードライバー for Windows Server 2012および2012 R2

バージョン: 9.15.1.184 (オプション)

ファイル名: cp032302.exe

拡張

9.15.1.174リリースと比較してビデオ性能が改善されました。

Matrox G200eHビデオコントローラードライバー for Windows Server 2016

バージョン: 9.15.1.184 (オプション)

ファイル名: cp032303.exe

拡張

9.15.1.174リリースと比較してビデオ性能が改善されました。

Matrox G200eH3ビデオコントローラードライバー for Windows Server 2016

バージョン: 9.15.1.184 (オプション)

ファイル名: cp032305.compsig; cp032305.exe

拡張

最初のリリース。

Windows Server 2012 R2用Matrox G200eH3ビデオコントローラードライバー

バージョン: 9.15.1.184 (オプション)

ファイル名: cp032304.compsig; cp032304.exe

拡張

最初のリリース。

ファームウェア

[先頭](#)

オンラインフラッシュコンポーネント for Windows x64 - NVMeバックプレーンPICファームウェア

バージョン: 8.4 (B) (オプション)

ファイル名: cp032381.exe

事前要件

iLO 4バージョン2.50以降が必要です。

拡張

- Service Pack for ProLiantバージョン2017.07.0をサポートするためにアップデートされました

注:システムが以前にバージョン8.4にアップデートされている場合、8.4 (B)にアップデートする必要はありません。

Linux用オンラインフラッシュコンポーネント - NVMeバックプレーンPICファームウェア

バージョン: 8.4 (B) (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/firmware-nvmebackplane-8.4-2.1.i386.rpm

事前要件

iLO 4バージョン2.50以降が必要です。

拡張

- Service Pack for ProLiantバージョン2017.07.0をサポートするためにアップデートされました

注:システムが以前にバージョン8.4にアップデートされている場合、8.4 (B)にアップデートする必要はありません。

Synergy 10/20 Gb インターコネクトリンクモジュール

バージョン: 1.08 (推奨)

ファイル名: RPMS/i586/hp-firmware-icmlm-1.08-1.1.i586.rpm

拡張

この製品は次のインターコネクトモジュールに関するファームウェアバージョン1.08を含んでいます。

- 10 Gb インターコネクトリンクモジュール
- 20 Gb インターコネクトリンクモジュール

Synergy 10Gb Pass-Thru モジュール

バージョン: 1.08 (推奨)

ファイル名: RPMS/i586/hp-firmware-icmpt-1.08-1.1.i586.rpm

修正

リリースノートを参照してください

Synergy用バーチャルコネクト SE 16Gb FC モジュール

バージョン: 1.05.24 (推奨)

ファイル名: RPMS/i586/hp-firmware-icmvc16gbfc-1.05.24-1.1.i586.rpm

重要な注意!

これは、RPM内のファイルをラップします。 *.ipeファイルをインストールすることはありません。

修正

リリースノートを参照してください。

VMware 用オンラインフラッシュコンポーネント - NVMeバックプレーンPICファームウェア

バージョン: 8.4 (B) (オプション)

ファイル名: CP031381.zip

重要な注意!

- ファームウェアバージョン8.4を既にインストールしている場合、8.4 (B)へアップデートする必要はありません。

事前要件

iLO 4バージョン2.50以降が必要です。

拡張

- Service Pack for ProLiantバージョン2017.07.0をサポートするためにアップデートされました

注:システムが以前にバージョン8.4にアップデートされている場合、8.4 (B)にアップデートする必要はありません。

ファームウェア - ブレードインフラストラクチャ

[先頭](#)

ファームウェア for HPE Synergy Virtual Connect SE 40 Gb F8 Module

バージョン: 1.1.1.1003 (オプション)

ファイル名: hpe_icm_fv1.pkg; package.json; pininstall.sh

拡張

これらの拡張機能をサポートするには、OneView 3.10.00以上が必要です

- HPE 3PAR Storage Direct Attachへのサポート

オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administratorファームウェアコンポーネント for Linux

バージョン: 4.70 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-oa-4.70-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

このバージョンが提供する文書化された修正や強化された機能がシステムに有用である場合、このファームウェアのバージョンに更新します。

重要な注意

- **ファームウェアアップグレード**
 - Starting OA 4.50のリリースを開始するにあたって、ファームウェアのイメージの信頼性を強化するために標準化されたコード署名と認証のメカニズムが導入されています。
 - ファームウェアのROMイメージを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
 - ファームウェアバージョンが3.50以前のOAに関して、まずOAを3.50にアップグレードし、それからOA 4.50以降へのアップグレードを続けます。
 - Smart コンポーネントを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
 - HPE Smart コンポーネントに依存するOAファームウェアのアップグレードメカニズム (例:EFM)は、この変更に影響を受けません。SmartコンポーネントはOA 4.50以降へのアップグレードを行う前に、OA 3.50への中間アップグレードを行います。
- **EFM**
 - OAは4 GB以下のサイズのSPP ISOイメージだけをサポートします。エンクロージャーDVD形式で直接保存されているか、付随したUSBキーか、特定のURL経由で遠隔でマウントされているかのどれかとなります。もしISO イメージが4 GBを越える場合、CLI SHOW FIRMWARE MANAGEMENT コマンドは ISO URL ステータスを "不正な URL."と表示します。
 - SPP ISOイメージが4 GB以上である場合、OA EFMブレードファームウェアの更新プロセスには不要なコンポーネントを除外したカスタムISOイメージを作成する必要があります。 カスタムISOには、少なくともHPE ProLiant BLシリーズのサーバー用ファームウェアコンポーネントだけは含める必要があります。(カスタムISO画像を作成するためにHP SUMを使用しているときは、コンポーネントの種

類としてファームウェアを選択し、サーバーの種類としてHPE ProLiant BLシリーズを選択してください。)OA EFM機能に交換性があるカスタムISO画像の作成の情報については、*HPE BladeSystem Onboard Administrator* ユーザーガイドをご覧ください。HP SUM に関する詳しい情報はHP Smart Update Managerのオンラインヘルプまたは次で見つけることができます。
www.hpe.com/info/hpsum/documentation.

■ FIPS

- [OA 3.71は、http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProgress.pdf](http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProgress.pdf)(英語)にある140-2 In Process Listで参照されるようにFIPSのアクティブ評価中です。

■ IPv6

- DHCPv6の有効化またはSLAACエンクロージャーIPv6設定の有効化がOnboard Administrator上で無効にされている場合、それらそれぞれの構成に基づいて、これらのアドレスが自動的に期限切れになるまで、エンクロージャー内のiLOのそれぞれのDHCPv6またはSLAACアドレスは保持されます。iLOのマニュアルリセットはすぐにこれらのアドレスを解放します。

事前要件

Onboard Administrator Smartコンポーネントは、32ビット実行可能バイナリを含みます。その結果、OA Smartコンポーネントがインストールされ、実行されるクライアントオペレーティングシステムは、32ビット実行可能ファイルのネイティブサポートを持つか、インストールされた32ビット互換ライブラリを持つ必要があります。

修正

全般

- OAの "iLO all update"コマンドが、ブレードが最大数あるエンクロージャーで失敗する問題が修正されました。
- エンクロージャーにファンを再度取り付けしたときに、警告アラートが誤って送信された問題を解決しました。
- 560MアダプターMezzコントローラーのポートマッピング情報が正しく表示されない問題が修正されました。
- IPv6のみの環境でOAフェイルオーバーが発生した場合、リモートSyslogのロギングが失敗する問題を解決しました。
- 保証外の緊急ブレーキを回避するためにOAを再起動したときにサーバーを電源調整状態から通常の電源状態に戻すようにOAを拡張しました。
- まれな状況下で、アクティブおよびスタンバイOAが同じIPアドレスを持つことがある問題を修正しました。
- ブレードの再起動時にGen9サーバーのホスト名がクリアされる問題を解決しました。
- OAモジュールがリセットされてからOneViewがサーバーを更新するまで、エンクロージャー内のサーバーブレードがOAファームウェアバージョン 4.60を使用し、そしてHPE OneViewにより管理されている状態で、パワーオンが遅延する問題に対処しました。

セキュリティ

以下のセキュリティの脆弱性が修正されました。

- CVE-2016-5387- リモートの攻撃者が、HTTP要求で作成されたプロキシヘッダーを介して、アプリケーションの送信HTTPトラフィックを任意のプロキシサーバーにリダイレクトする可能性のある脆弱性を修正しました。
- CVE-2016-2183- 64ビットブロックサイズのTLS暗号に対する脆弱性を修正しました。リモート攻撃者が長時間の暗号化セッションに対する攻撃によってクリアテキストデータを簡単に入手できるようにします
- CVE-2016-6515 - パスワード認証にパスワードの長さを制限しなかったOpenSSHの脆弱性を修正しました。リモートの攻撃者が長い文字列でサービス拒否を引き起こす可能性があります。
- CVE-2015-8215 - MTU値の変更を検証しない脆弱性IPv6スタックを修正しました。コンテキスト依存の攻撃者がサービス拒否を引き起こす可能性があります。
- Onboard Administratorがバッファオーバーフローに対して脆弱であった問題を解決しました。
- OAにHSTS [HTTP strict transport security]サポートを追加しました。
- 認証後のsshdプロセスでメモリ破損の脆弱性を解決しました。

問題点および解決策

ブラウザ

- OA GUIはChromeのバージョン43.0.2357.10から44.0.2383ではアクセスできません。この問題は、Chrome(またはWebKit)の"回帰"によって発生しています。FirefoxやInternet Explorerなどの代替のブラウザを使用するか、別のバージョンのChromeを試す必要があります。
- iLOホスト名を使用したOAからのSSO-to-iLO接続は、Windows 8のMicrosoft Internet Explorer 11で失敗します。OA Web GUIセッションがホスト名を使用してロードされている場合は、Internet Explorer 10またはInternet Explorer 11 OA Web GUIからSSOを使用してiLOウィンドウを開こうとすると、目的の新しいウィンドウではなくOA Web GUIウィンドウにiLOページが読み込まれる可能性があります。この問題はInternet Explorerのバグであると判断され、Internet Explorerの将来のリリースまたはアップデートで修正される予定です。この問題を回避するには、IPアドレスを使用してOA Web GUIをロードするか、Internet Explorerの設定で適切なゾーンの保護モードをオフにします。この問題はInternet Explorerブラウザのみで発生します。

FIPS

2048ビット未満のサイズの証明書は、OA 4.20以降のOAファームウェアによって強制されるFIPS要件に準拠していません。OAファームウェアバージョン4.40以降を実行しているOAがFIPSモードON/DEBUGで動作し、以前のバージョンのOAファームウェアを実行しているときにインストールされた1024ビットのLDAP証明書で構成されている場合、非準拠の証明書が存在するためにFIPSモードON/DEBUGは劣化状態で動作しているとみなされます。このFIPS-劣化モードで動作している間に、OA GUIのネットワークアクセス> FIPSタブからFIPSモードをオフに設定しようとすると失敗し、選択したFIPSモードが既に有効になっているというエラーメッセージが表示されます。非準拠の証明書が削除されると、FIPS-劣化モードの動作ステータスはクリアされ、FIPSモードはGUIインターフェイスから正常にOFFに設定できます。OA CLIコマンドSET FIPS MODE OFFを使用すると、OAにインストールされている非準拠の1024ビットLDAP証明書を使用しても、FIPSモードをオフに設定できます。

IRC

Gen10 Blade用の.net IRCコンソールを開くことができない、Gen9 Bladesも同じ問題があります。JavaアプリレットとWebstartはロードされますが、仮想メディアのマウントは失敗します。回避策として、ターミナルクライアントにインストールされているIRCアプリケーション(HP Lights-Outスタンドアロンリモートコンソール)を使用してIRCを起動することです。

EFM

Gen 10 BladeでEFMを使用するには、HPSUM 8.0.0でカスタムSPP ISOを作成する際にオプション/フィルター" *Make Bootable ISO file*"および" *Enclosure Firmware Management*"を選択してください。詳細については、HPSUM 8.0.0ユーザーガイドを参照してください。

拡張

Onboard Administrator 4.70は、以下の機能強化に対するサポートを提供します:

ハードウェアの追加

- BL460c Gen 10
- HPE 10GbEパススルーモジュール
- HPE Integrity BL8x0c i6サーバーブレードの認定サポート

特徴: **追加と変更**

全般

- Gen 10サーバーおよびiLO5の機能が追加されました。
- iLO5の拡張されたKVM機能のサポートが追加されました。
- サーバーのブートオプションにHTTPブートオプションのサポートが追加されました。
- HPE 10GbE Pass-Thruインターコネクモジュールのサポートを追加。
- HPE Integrity BL8x0c i6サーバーブレードの認定サポートを追加。
- HPEブランディングガイドラインを調整するために、GUI、CLI、Smart コンポーネント、ヘルプファイル、URL、製品名などのブランド名を変更しました。

- エンクロージャーに電源の冗長性が復元されたことを示す新しいSNMPトラップが追加されました。
- 拡張された "SHOW ENCLOSURE TEMP"コマンド出力は、インターコネクトモジュールの現在、注意、クリティカルな温度のしきい値などの温度表示を表示します。
- Onboard Administratorから送信されたトラップのsysNameフィールドをDNSホスト名に設定するための規定が追加されました。

セキュリティ

- CNSA承認アルゴリズムのサポートと新しいセキュリティモード - TOP_SECRETを追加しました。
- FIPS OFFモードで暗号/プロトコルを有効/無効にする機能が追加されました。
- SHA-2証明書を使用して、HPE内蔵Remote Support機能とHPEサポートデータセンター間の安全な通信をサポートしました。

オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administratorファームウェアコンポーネント for Windows

バージョン: 4.70 (オプション)

ファイル名: cp030712.exe

重要な注意!

このバージョンが提供する文書化された修正や強化された機能がシステムに有用である場合、このファームウェアのバージョンに更新します。

重要な注意

■ ファームウェアアップグレード

- Starting OA 4.50のリリースを開始するにあたって、ファームウェアのイメージの信頼性を強化するために標準化されたコード署名と認証のメカニズムが導入されています。
- ファームウェアのROMイメージを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
 - ファームウェアバージョンが3.50以前のOAに関して、まずOAを3.50にアップグレードし、それからOA 4.50以降へのアップグレードを続けます。
- Smart コンポーネントを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
 - HPE Smart コンポーネントに依存するOAファームウェアのアップグレードメカニズム (例: EFM)は、この変更に影響を受けません。SmartコンポーネントはOA 4.50以降へのアップグレードを行う前に、OA 3.50への中間アップグレードを行います。

■ EFM

- OAは4 GB以下のサイズのSPP ISOイメージだけをサポートします。エンクロージャーDVD形式で直接保存されているか、付随したUSBキーか、特定のURL経由で遠隔でマウントされているかのどれかとなります。もしISO イメージが4 GBを越える場合、CLI SHOW FIRMWARE MANAGEMENT コマンドは ISO URL ステータスを "不正な URL."と表示します。
- SPP ISOイメージが4 GB以上である場合、OA EFMブレードファームウェアの更新プロセスには不要なコンポーネントを除外したカスタムISOイメージを作成する必要があります。 カスタムISOには、少なくともHPE ProLiant BLシリーズのサーバー用ファームウェアコンポーネントだけは含める必要があります。(カスタムISO画像を作成するためにHP SUMを使用しているときは、コンポーネントの種類としてファームウェアを選択し、サーバーの種類としてHPE ProLiant BLシリーズを選択してください。)OA EFM機能に交換性があるカスタムISO画像の作成の情報については、 *HPE BladeSystem Onboard Administrator ユーザーガイド*をご覧ください。HP SUM に関する詳しい情報はHP Smart Update Managerのオンラインヘルプまたは次で見つけることができます。
www.hpe.com/info/hpsum/documentation.

■ FIPS

- [OA 3.71は](http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProcess.pdf)、<http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProcess.pdf>(英語)にある140-2 In Process Listで参照されるようにFIPSのアクティブ評価中です。

■ IPv6

- DHCPv6の有効化またはSLAACエンクロージャーIPv6設定の有効化がOnboard Administrator上で無効にされている場合、それらそれぞれの構成に基づいて、これらのアドレスが自動的に期限切れになるまで、エンクロージャー内のiLOのそれぞれのDHCPv6またはSLAACアドレスは保持されます。 iLOのマニュアルリセットはすぐにこれらのアドレスを解放します。

事前要件

Onboard Administrator Smartコンポーネントは、32ビット実行可能バイナリを含みます。その結果、OA Smartコンポーネントがインストールされ、実行されるクライアントオペレーティングシステムは、32ビット実行可能ファイルのネイティブサポートを持つか、インストールされた32ビット互換ライブラリを持つ必要があります。

修正

全般

- OAの "iLO all update" コマンドが、ブレードが最大数あるエンクロージャーで失敗する問題が修正されました。
- エンクロージャーにファンを再度取り付けしたときに、警告アラートが誤って送信された問題を解決しました。
- 560Mアダプター-Mezzコントローラーのポートマッピング情報が正しく表示されない問題が修正されました。
- IPv6のみの環境でOAフェイルオーバーが発生した場合、リモートSyslogのロギングが失敗する問題を解決しました。
- 保証外の緊急ブレーキを回避するためにOAを再起動したときにサーバーを電源調整状態から通常の電源状態に戻すようにOAを拡張しました。
- まれな状況下で、アクティブおよびスタンバイOAが同じIPアドレスを持つことがある問題を修正しました。
- ブレードの再起動時にGen9サーバーのホスト名がクリアされる問題を解決しました。
- OAモジュールがリセットされてからOneViewがサーバーを更新するまで、エンクロージャー内のサーバーブレードがOAファームウェアバージョン 4.60を使用し、そしてHPE OneViewにより管理されている状態で、パワーオンが遅延する問題に対処しました。

セキュリティ

以下のセキュリティの脆弱性が修正されました:

- CVE-2016-5387- リモートの攻撃者が、HTTP要求で作成されたプロキシヘッダーを介して、アプリケーションの送信HTTPトラフィックを任意のプロキシサーバーにリダイレクトする可能性のある脆弱性を修正しました。
- CVE-2016-2183- 64ビットブロックサイズのTLS暗号に対する脆弱性を修正しました。リモート攻撃者が長時間の暗号化セッションに対する攻撃によってクリアテキストデータを簡単に入手できるようにします
- CVE-2016-6515 - パスワード認証にパスワードの長さを制限しなかったOpenSSHの脆弱性を修正しました。リモートの攻撃者が長い文字列でサービス拒否を引き起こす可能性があります。
- CVE-2015-8215 - MTU値の変更を検証しない脆弱性IPv6スタックを修正しました。コンテキスト依存の攻撃者がサービス拒否を引き起こす可能性があります。
- Onboard Administratorがバッファオーバーフローに対して脆弱であった問題を解決しました。
- OAにHSTS [HTTP strict transport security]サポートを追加しました。
- 認証後のsshdプロセスでメモリ破損の脆弱性を解決しました。

問題点および解決策

ブラウザ

- OA GUIはChromeのバージョン43.0.2357.10から44.0.2383ではアクセスできません。この問題は、Chrome(またはWebKit)の"回帰"によって発生しています。FirefoxやInternet Explorerなどの代替のブラウザを使用するか、別のバージョンのChromeを試す必要があります。
- iLOホスト名を使用したOAからのSSO-to-iLO接続は、Windows 8のMicrosoft Internet Explorer 11で失敗します。OA Web GUIセッションがホスト名を使用してロードされている場合は、Internet Explorer 10またはInternet Explorer 11 OA Web GUIからSSOを使用してiLOウィンドウを開こうとすると、目的の新しいウィンドウではなくOA Web GUIウィンドウにiLOページが読み込まれる可能性があります。この問題はInternet Explorerのバグであると判断され、Internet Explorerの将来のリリースまたはアップデートで修正される予定です。この問題を回避するには、IPアドレスを使用してOA Web GUIをロードするか、Internet Explorerの設定で適切なゾーンの保護モードをオフにします。この問題はInternet Explorerブラウザのみで発生します。

FIPS

2048ビット未満のサイズの証明書は、OA 4.20以降のOAファームウェアによって強制されるFIPS要件に準拠していません。OAファームウェアバージョン4.40以降を実行しているOAがFIPSモードON/DEBUGで動作し、以前のバージョンのOAファームウェアを実行しているときにインストールされた1024ビットのLDAP証明書で構成されている場合、非準拠の証明書が存在するためにFIPSモードON/DEBUGは劣化状態で動作しているとみなされます。このFIPS-劣化モードで動作している間に、OA GUIのネットワークアクセス> FIPSタブからFIPSモードをオフに設定しようとすると失敗し、選択したFIPSモードが既に有効になっているというエラーメッセージが表示されます。非準拠の証明書が削除されると、FIPS-劣化モードの動作ステータスはクリアされ、FIPSモードはGUIインターフェイスから正常にOFFに設定できます。OA CLIコマンドSET FIPS MODE OFFを使用すると、OAにインストールされている非準拠の1024ビットLDAP証明書を使用しても、FIPSモードをオフに設定できます。

IRC

Gen10 Blade用の.net IRCコンソールを開くことができない、Gen9 Bladesも同じ問題があります。JavaアプレットとWebstartはロードされますが、仮想メディアのマウントは失敗します。回避策として、ターミナルクライアントにインストールされているIRCアプリケーション(HP Lights-Outスタンドアロンリモートコンソール)を使用してIRCを起動することです。

EFM

Gen 10 BladeでEFMを使用するには、HPSUM 8.0.0でカスタムSPP ISOを作成する際にオプション/フィルター" *Make Bootable ISO file*"および" *Enclosure Firmware Management*"を選択してください。詳細については、HPSUM 8.0.0ユーザーガイドを参照してください。

拡張

Onboard Administrator 4.70は、以下の機能強化に対するサポートを提供します：

ハードウェアの追加

- BL460c Gen 10
- HPE 10GbEパススルーモジュール
- HPE Integrity BL8x0c i6サーバーブレードの認定サポート

特徴：追加と変更

全般

- Gen 10サーバーおよびiLO5の機能が追加されました。
- iLO5の拡張されたKVM機能のサポートが追加されました。
- サーバーのブートオプションにHTTPブートオプションのサポートが追加されました。
- HPE 10GbE Pass-Thruインターコネクトモジュールのサポートを追加。
- HPE Integrity BL8x0c i6サーバーブレードの認定サポートを追加。
- HPEブランディングガイドラインを調整するために、GUI、CLI、Smart コンポーネント、ヘルプファイル、URL、製品名などのブランド名を変更しました。
- エンクロージャーに電源の冗長性が復元されたことを示す新しいSNMPトラップが追加されました。
- 拡張された "SHOW ENCLOSURE TEMP"コマンド出力は、インターコネクトモジュールの現在、注意、クリティカルな温度のしきい値などの温度表示を表示します。
- Onboard Administratorから送信されたトラップのsysNameフィールドをDNSホスト名に設定するための規定が追加されました。

セキュリティ

- CNSA承認アルゴリズムのサポートと新しいセキュリティモード - TOP_SECRETを追加しました。
- FIPS OFFモードで暗号/プロトコルを有効/無効にする機能が追加されました。
- SHA-2証明書を使用して、HPE内蔵Remote Support機能とHPEサポートデータセンター間の安全な通信をサポートしました。

HPE BladeSystem c-Class Virtual Connectファームウェア、Ethernet plus 8 Gb 20ポートおよび8/16 Gb 24ポートFC Editionコンポーネント for Linux

バージョン: 4.50 (推奨)

ファイル名: CP028427.md5; CP028427.scexe; RPMS/i386/hp-firmware-vceth-4.50-1.1.i386.rpm

事前要件

前提条件が記載されているHPE Virtual Connect Release Notesの最新版は、以下のURLで入手できます:

<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>

修正

解決された問題の最新情報は、以下のURLにあるHPE Virtual Connect Release Notesに記載されています:

<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>

拡張

機能改善の最新情報は、以下のURLにあるHPE Virtual Connect Release Notesに記載されています:

<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>

サポートしているデバイスおよび機能

HPE Flex-10 10Gb Virtual Connect Ethernetモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24ポートモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 20ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect Flex-10/10Dモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8モジュール for HP BladeSystem c-Class

HPE Virtual Connect 16Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE BladeSystem c-Class Virtual Connectファームウェア、Ethernet plus 8Gb 20ポートおよび8/16 Gb 24ポートFC Editionコンポーネントfor Windows

バージョン: 4.50 (推奨)

ファイル名: cp028428.exe

事前要件

最新のHPE Virtual Connect Release Notesは前提条件を含んでいて、以下のURLにあります。

<http://www.hp.com/go/vc/manuals> <http://www.hpe.com/info/vc/manuals>

修正

解決された問題の最新情報は、以下のURLにあるHPE Virtual Connect Release Notesに記載されています:

<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>

拡張

機能改善の最新情報は、以下のURLにあるHPE Virtual Connect Release Notesに記載されています:

<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>

サポートしているデバイスおよび機能

HPE Flex-10 10Gb Virtual Connect Ethernetモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24ポートモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 20ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect Flex-10/10Dモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8モジュール for HP BladeSystem c-Class

HPE Virtual Connect 16Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Synergy Frame Linkモジュールファームウェア向けSmartコンポーネント

バージョン: 2.01.00 (オプション)

ファイル名: RPMS/i586/firmware-em-2.01.00-1.1.i586.rpm

重要な注意!

- フレームリンクファームウェアバージョン2.00.00(以降)へアップグレードする前に、HPE OneView 3.10(以降)をインストールする必要があります。これは、HPE OneViewの非互換性によるもので、フレームリンクファームウェアスマートコンポーネントが正しく動作しなくなります。

修正

- ファームウェアアップデートの失敗を招き、完全な復元に手動リブートが必要になる可能性があるファームウェアアップグレード中に、フレームリンクモジュールでエラーが発生することがあるという問題を修正しました。
- 8つ以上の証明書(ルート証明書と中間証明書を含む)を伴うCA署名証明書チェーンのユーザーインストール後、フレームリンクモジュールがHPE OneViewと通信できない可能性があるという問題を修正しました。この問題は、SynergyコンソールからOneViewへの接続が失敗する原因になっていました。フレームステータスイベントもOneViewで配信およびアップデートされません。
- 周囲温度が摂氏0度未満の極限的な動作環境で、フレームリンクモジュールが予期せずシャットダウンする可能性があるという問題を修正しました。
- HPE iLO連携のマルチキャストアナウンスメント間隔のiLO設定が無効、30秒、または60秒に設定されているときに、HPE OneViewが、HPE SynergyコンピュートモジュールのiLO通信タイムアウトを示す可能性があるという問題を修正しました。

拡張

- CNSA Suite Bのサポートを追加しました。
- HPE OneView内でのフレームリンクモジュールIDのユーザー検証を許可するために、フレームリンクモジュールSSLホスト証明書とSSH公開キーの指紋の表示を、Synergyコンソールに追加しました。

HPE Synergy Frame Linkモジュールファームウェア向けUSB Recovery Image

バージョン: 2.01.00 (オプション)

ファイル名: FLM.tars

重要な注意!

- フレームリンクファームウェアバージョン2.00.00へアップグレードする前に、HPE OneView 3.10をインストールする必要があります。これは、HPE OneViewの非互換性のためです。

修正

- ファームウェアアップデートの失敗を招き、完全な復元に手動リブートが必要になる可能性があるファームウェアアップグレード中に、フレームリンクモジュールでエラーが発生することがあるという問題を修正しました。
- 8つ以上の証明書(ルート証明書と中間証明書を含む)を伴うCA署名証明書チェーンのユーザーインストール後、フレームリンクモジュールがHPE OneViewと通信できない可能性があるという問題を修正しました。この問題は、SynergyコンソールからOneViewへの接続が失敗する原因になっていました。フレームステータスイベントもOneViewで配信およびアップデートされません。
- 周囲温度が摂氏0度未満の極限的な動作環境で、フレームリンクモジュールが予期せずシャットダウンする可能性があるという問題を修正しました。
- HPE iLO連携のマルチキャストアナウンスメント間隔のiLO設定が無効、30秒、または60秒に設定されているときに、HPE OneViewが、HPE SynergyコンピュートモジュールのiLO通信タイムアウトを示す可能性があるという問題を修正しました。

拡張

- CNSA Suite Bのサポートを追加しました。
- HPE OneView内でのフレームリンクモジュールIDのユーザー検証を許可するために、フレームリンクモジュールSSLホスト証明書とSSH公開キーの指紋の表示を、Synergyコンソールに追加しました。

HPE Virtual Connect SE 40Gb F8 Module for Synergyファームウェアインストールパッケージ

バージョン: 1.1.1.1003 (オプション)

ファイル名: RPMS/i586/hp-firmware-icmvc40gbf8-1.1.1.1003-1.1.i586.rpm

重要な注意!

このパッケージはファームウェアバージョン1.1.1を含みます

事前要件

OneView 3.10.00

OneViewに関する詳細は以下にアクセスしてください:<https://www.hpe.com/us/en/integrated-systems/software.html>

拡張

これらの拡張機能をサポートするには、OneView 3.10.00以上が必要です

- HPE 3PAR Storage Direct Attachへのサポート

サポートしているデバイスおよび機能

HPE Synergy VC SE 40GB F8モジュール

Smartコンポーネントfor HPE Synergy D3940 ストレージモジュールファームウェア

バージョン: 2.07 (B) (オプション)

ファイル名: RPMS/i586/firmware-synergy-d3940-storage-module-2.07-2.1.i586.rpm

拡張

- Service Pack for ProLiantバージョン2017.07.0をサポートするためにアップデートされました

注:システムが以前にバージョン2.07にアップデートされている場合、2.07 (B)にアップデートする必要はありません。

ファームウェア - フレームインフラストラクチャ

[先頭](#)

Smartコンポーネント for HPE Synergy 12Gb SAS Connection Module Firmware

バージョン: 1.2.4.0 (オプション)

ファイル名: RPMS/i586/firmware-synergy-12gb-connection-module-1.2.4.0-1.1.i586.rpm

修正

- 非常に多数のゾングループの作成中にHPE OneViewがタイムアウトになったり、古い情報が表示されたりするという問題を修正しました。

拡張

- ドライブのサンタイズ機能のサポートを追加しました。

ファームウェア - Lights-Outマネジメント

[先頭](#)

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Integrated Lights-Out 4

バージョン: 2.55 (推奨)

ファイル名: CP032487.scexe; RPMS/i386/hp-firmware-ilo4-2.55-1.1.i386.rpm

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)

サポートされているネットワークの機能

IPv6静的アドレス割り当て

IPv6 SLAACアドレス割り当て

IPv6静的ルート割り当て

IPv6静的デフォルトゲートウェイ入力

DHCPv6ステートフルアドレス割り当て

DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP設定

Integrated Remote Console (統合リモートコンソール)。

OAシングルサインオン

HP-SIMシングルサインオン

Webサーバー

SSHサーバー

SNTPクライアント

DDNSクライアント

RIBCL over IPv6

SNMP

アラートメール

リモートSyslog

WinDBGサポート

IPv6接続を経由したCPQLOCFGおよびHPLOMIG

スクリプト化可能な仮想メディア

CLI/RIBCL Key Import over IPv6

LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証

iLO連携

本リリースにおいてIPv6によりサポートされないネットワークの機能

共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
組み込みリモートサポート (ERS)

事前要件

iLOスクリプティングインターフェイスのIPv6サポートの追加は、いくつかのiLOユーティリティの新しいバージョンの使用を要求します。これらのユーティリティの以前のバージョンを使用している顧客は新しいバージョンにアップグレードしなければなりません。

- HPQLOCFG v5.1
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.0.0
- HPONCFG Windows 5.1.0
- HPONCFG Linux 5.1.0
- LOCFG v5.0.0
- HPLOMIG 5.1.0

修正

このバージョンでは以下の問題が解決されます。

- ストレージバッテリーの充電による誤った障害をマスクしました。
- ストレージバッテリーに対するセル電圧分離の障害前警告を実装しました。
- iLO RESTful API出力に誤った電源装置の情報が表示されることがある。
- クエリ中にグループの追加と削除を繰り返し行くと、iLO連携グループの認証エラーが発生することがある。
- トランスミッターがアクションを再試行するために待機すると同時にDELETEおよびCREATEサブスクリプションが実行されるとき、iLO RESTful APIイベントサブスクリプションが失われる可能性があります。
- CAC Smartcardの認証中に、iLO RESTful APIが、誤って大文字が含まれているセッションURIを返す。
- 特定の状況で、IELのGET中にRestサーバーが使用できなくなる。
- iLO Webインターフェイス言語パックが英語にリダイレクトする。
- iLO RESTful API出力のテキストにしきい値の上限値が下限値として示される。
- KCSホストirqが有効になっていない場合、Linux openipmiドライバーが受信メッセージキューをポーリングしない。
- iLO RESTful APIのEthernetInterfacesリンクはsystem/1ルートリソースの下にある必要があり、OEMセッションにあってはなりません。
- SNMPv3エンジンブートがiLOのリセット時にインクリメントしない。
- IPMI FRU読み取りが長すぎる応答に対して誤った完了コードを返す。
- IPMIのGet PEF Capabilities機能がテーブルエントリの合計数ではなく有効なテーブルエントリの数を返す。
- ブートモードUEFI/レガシーのワントタイムの変更についてのIPMIブート設定オプションが修正されました。
- 外部プロバイダーアレイに不良ペイロードのパッチを適用すると、iLO RESTサーバーが一時停止する。
- systems/1/のGETでiLO REST APIが500内部エラーを返し、One Viewプロファイルの適用に失敗する。
- IPv6の使用中にiLO RESTful APIイベントが誤った「ホスト」ヘッダーを送信する。
- 2.50または2.54よりも前からのアップデート後にiLO時間が未設定になる。

拡張

このバージョンは、以下の機能と改善を追加しました。

- 自己署名SSL証明書を再生成できるようになりました。
- 新しいiLO RESTful APIコマンドによって、次にホストの電源を切る際に補助電源サイクルを使用できます。
- THERM_TRIPイベント、OS_STOP_SHUTDOWN、OS_NMI、ACPI、PCI-Eバスエラー、およびCPUエラーログをSELに追加しました。
- クリティカルイベントに、IML情報を含むOEMタイプのSELイベントが追加されました。
- 内蔵メディアの接続と診断の信頼性を向上させました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Integrated Lights-Out 5

バージョン: 1.15 (推奨)

ファイル名: CP032359.scexe; RPMS/x86_64/firmware-ilo5-1.15-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-ilo5-1.15-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)

サポートされているネットワークの機能

IPv6静的アドレス割り当て

IPv6 SLAACアドレス割り当て

IPv6静的ルート割り当て

IPv6静的デフォルトゲートウェイ入力

DHCPv6ステートフルアドレス割り当て

DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP設定

Integrated Remote Console (統合リモートコンソール)。

OAシングルサインオン

HP-SIMシングルサインオン

Webサーバー

SSHサーバー

SNTPクライアント

DDNSクライアント

RIBCL over IPv6

SNMP

アラートメール

リモートSyslog

WinDBGサポート

IPv6接続を経由したCPQLOCFGおよびHPLMIG

スクリプト化可能な仮想メディア

CLI/RIBCL Key Import over IPv6

LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証

iLO連携

本リリースにおいてIPv6によりサポートされないネットワークの機能

共有ネットワークポート接続経由のIPv6

IPMI

NETBIOS-WINS

Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート

組み込みリモートサポート (ERS)

事前要件

最高のパフォーマンス、IPv6のサポート、TLS v1.1以降のサポートを得るには、次のバージョンのiLOユーティリティが必要です。

- HPQLOCFG v5.1
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.0.0
- HPONCFG Windows 5.1.0
- HPONCFG Linux 5.1.0
- LOCFG v5.0.0
- HPLMIG 5.1.0

注記:iLO High Security、FIPS、およびSuiteBのセキュリティ状態をサポートするには、アップデートされたユーティリティおよびシステムライブラリーが必要です。

HPONCFG Windowsユーティリティ

は、SuiteBのセキュリティ状態を現在サポートしていません。

拡張

- iLO backup and restore—This feature allows you to restore the iLO configuration on a system with the same hardware configuration as the system that was backed up. For example, you could use this feature if the system board is replaced, an accidental or incorrect configuration change occurred, or iLO was set to the factory default settings. This feature is not meant to duplicate a configuration and apply it to a different iLO system.
- AMD platform support
- Support for diffie-hellman-group-exchange-sha256.
- Support for multiple destination AlertMail email addresses. Enter the addresses separated by a semicolon.
- iLO RESTful API features:
 - Aux Power Reset
 - Jitter Control features to get and set Jitter Control Mode and Frequency
- New iLO RESTful API properties to bridge the gap between RIBCL and iLO RESTful API features:
 - High Efficiency Mode
 - Encryption-related properties and Cache Module Serial Number
 - Login Security Banner
 - Current Power on Time (provides the time since the system was last powered on).
 - Persistent Mouse/Keyboard Enabled
- New iLO RESTful API events for NVDIMM Init Error and Runtime Firmware Authentication Error.

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi -HPE Integrated Lights-Out 4

バージョン: 2.55 (推奨)

ファイル名: CP032489.compsig; CP032489.zip

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)

サポートされているネットワークの機能

IPv6静的アドレス割り当て

IPv6 SLAACアドレス割り当て

IPv6静的ルート割り当て

IPv6静的デフォルトゲートウェイ入力

DHCPv6ステートフルアドレス割り当て

DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP設定

Integrated Remote Console (統合リモートコンソール)。

OAシングルサインオン

HP-SIMシングルサインオン

Webサーバー

SSHサーバー

SNTPクライアント

DDNSクライアント

RIBCL over IPv6

SNMP

アラートメール

リモートSyslog

WinDBGサポート

IPv6接続を経由したCPQLOCFGおよびHPLOMIG

スクリプト化可能な仮想メディア

CLI/RIBCL Key Import over IPv6

LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証

iLO連携

本リリースにおいてIPv6によりサポートされないネットワークの機能

共有ネットワークポート接続経由のIPv6

IPMI

NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
組み込みリモートサポート (ERS)

事前要件

iLOスクリプティングインターフェイスのIPv6サポートの追加は、いくつかのiLOユーティリティの新しいバージョンの使用を要求します。これらのユーティリティの以前のバージョンを使用している顧客は新しいバージョンにアップグレードしなければなりません。

- HPQLOCFG v5.1
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.0.0
- HPONCFG Windows 5.1.0
- HPONCFG Linux 5.1.0
- LOCFG v5.0.0
- HPLOMIG 5.1.0

修正

このバージョンでは以下の問題が解決されます。

- ストレージバッテリーの充電による誤った障害をマスクしました。
- ストレージバッテリーに対するセル電圧分離の障害前警告を実装しました。
- iLO RESTful API出力に誤った電源装置の情報が表示されることがある。
- クエリ中にグループの追加と削除を繰り返し行くと、iLO連携グループの認証エラーが発生することがある。
- トランスミッターがアクションを再試行するために待機すると同時にDELETEおよびCREATEサブスクリプションが実行されるとき、iLO RESTful APIイベントサブスクリプションが失われる可能性があります。
- CAC Smartcardの認証中に、iLO RESTful APIが、誤って大文字が含まれているセッションURIを返す。
- 特定の状況で、IELのGET中にRestサーバーが使用できなくなる。
- iLO Webインターフェイス言語パックが英語にリダイレクトする。
- iLO RESTful API出力のテキストにしきい値の上限値が下限値として示される。
- KCSホストirqが有効になっていない場合、Linux openipmiドライバーが受信メッセージキューをポーリングしない。
- iLO RESTful APIのEthernetInterfacesリンクはsystem/1ルートリソースの下にある必要があり、OEMセッションにあってはなりません。
- SNMPv3エンジンブートがiLOのリセット時にインクリメントしない。
- IPMI FRU読み取りが長すぎる応答に対して誤った完了コードを返す。
- IPMIのGet PEF Capabilities機能がテーブルエントリの合計数ではなく有効なテーブルエントリの数を返す。
- ブートモードUEFI/レガシーのワントタイムの変更についてのIPMIブート設定オプションが修正されました。
- 外部プロバイダーアレイに不良ペイロードのパッチを適用すると、iLO RESTサーバーが一時的に停止する。
- systems/1/のGETでiLO REST APIが500内部エラーを返し、One Viewプロファイルの適用に失敗する。
- IPv6の使用中にiLO RESTful APIイベントが誤った「ホスト」ヘッダーを送信する。
- 2.50または2.54よりも前からのアップデート後にiLO時間が未設定になる。

拡張

このバージョンは、以下の機能と改善を追加しました。

- 自己署名SSL証明書を再生成できるようになりました。
- 新しいiLO RESTful APIコマンドによって、次にホストの電源を切る際に補助電源サイクルを使用できます。
- THERM_TRIPイベント、OS_STOP_SHUTDOWN、OS_NMI、ACPI、PCI-Eバスエラー、およびCPUエラーログをSELに追加しました。
- クリティカルイベントに、IML情報を含むOEMタイプのSELイベントが追加されました。
- 内蔵メディアの接続と診断の信頼性を向上させました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64- HPE Integrated Lights-Out 4

バージョン: 2.55 (推奨)

ファイル名: cp032488.exe

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)

サポートされているネットワークの機能

IPv6静的アドレス割り当て

IPv6 SLAACアドレス割り当て

IPv6静的ルート割り当て

IPv6静的デフォルトゲートウェイ入力

DHCPv6ステートフルアドレス割り当て

DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP設定

Integrated Remote Console (統合リモートコンソール)。

OAシングルサインオン

HP-SIMシングルサインオン

Webサーバー

SSHサーバー

SNTPクライアント

DDNSクライアント

RIBCL over IPv6

SNMP

アラートメール

リモートSyslog

WinDBGサポート

IPv6接続を経由したCPQLOCFGおよびHPLMIG

スクリプト化可能な仮想メディア

CLI/RIBCL Key Import over IPv6

LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証

iLO連携

本リリースにおいてIPv6によりサポートされないネットワークの機能

共有ネットワークポート接続経由のIPv6

IPMI

NETBIOS-WINS

Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート

組み込みリモートサポート (ERS)

事前要件

iLOスクリプティングインターフェイスのIPv6サポートの追加は、いくつかのiLOユーティリティの新しいバージョンの使用を要求します。これらのユーティリティの以前のバージョンを使用している顧客は新しいバージョンにアップグレードしなければなりません。

- HPQLOCFG v5.1
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.0.0
- HPONCFG Windows 5.1.0
- HPONCFG Linux 5.1.0
- LOCFG v5.0.0
- HPLMIG 5.1.0

修正

このバージョンでは以下の問題が解決されます。

- ストレージバッテリーの充電による誤った障害をマスクしました。
- ストレージバッテリーに対するセル電圧分離の障害前警告を実装しました。
- iLO RESTful API出力に誤った電源装置の情報が表示されることがある。

- クエリ中にグループの追加と削除を繰り返し行うと、iLO連携グループの認証エラーが発生することがある。
- トランスミッターがアクションを再試行するために待機すると同時にDELETEおよびCREATEサブスクリプションが実行されるとき、iLO RESTful APIイベントサブスクリプションが失われる可能性があります。
- CAC Smartcardの認証中に、iLO RESTful APIが、誤って大文字が含まれているセッションURIを返す。
- 特定の状況で、IELのGET中にRestサーバーが使用できなくなる。
- iLO Webインターフェイス言語パックが英語にリダイレクトする。
- iLO RESTful API出力のテキストにしきい値の上限値が下限値として示される。
- KCSホストirqが有効になっていない場合、Linux openipmiドライバーが受信メッセージキューをポーリングしない。
- iLO RESTful APIのEthernetInterfacesリンクはsystem/1ルートリソースの下にある必要があり、OEMセッションにあってはなりません。
- SNMPv3エンジンブートがiLOのリセット時にインクリメントしない。
- IPMI FRU読み取りが長すぎる応答に対して誤った完了コードを返す。
- IPMIのGet PEF Capabilities機能がテーブルエントリの合計数ではなく有効なテーブルエントリの数を返す。
- ブートモードUEFI/レガシーのワントタイムの変更についてのIPMIブート設定オプションが修正されました。
- 外部プロバイダーアレイに不良ベイロードのパッチを適用すると、iLO RESTサーバーが一時停止する。
- systems/1/のGETでiLO REST APIが500内部エラーを返し、One Viewプロファイルの適用に失敗する。
- IPv6の使用中にiLO RESTful APIイベントが誤った「ホスト」ヘッダーを送信する。
- 2.50または2.54よりも前からのアップデート後にiLO時間が未設定になる。

拡張

このバージョンは、以下の機能と改善を追加しました。

- 自己署名SSL証明書を再生成できるようになりました。
- 新しいiLO RESTful APIコマンドによって、次にホストの電源を切る際に補助電源サイクルを使用できます。
- THERM_TRIPイベント、OS_STOP_SHUTDOWN、OS_NMI、ACPI、PCI-Eバスエラー、およびCPUエラーログをSELに追加しました。
- クリティカルイベントに、IML情報を含むOEMタイプのSELイベントが追加されました。
- 内蔵メディアの接続と診断の信頼性を向上させました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64- HPE Integrated Lights-Out 5

バージョン: 1.15 (推奨)

ファイル名: cp032360.compsig; cp032360.exe

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)

サポートされているネットワークの機能

IPv6静的アドレス割り当て

IPv6 SLAACアドレス割り当て

IPv6静的ルート割り当て

IPv6静的デフォルトゲートウェイ入力

DHCPv6ステートフルアドレス割り当て

DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP設定

Integrated Remote Console (統合リモートコンソール)。

OAシングルサインオン

HP-SIMシングルサインオン

Webサーバー

SSHサーバー

SNTPクライアント

DDNSクライアント

RIBCL over IPv6

SNMP

アラートメール

リモートSyslog
WinDBGサポート
IPv6接続を経由したCPQLOCFGおよびHPLOMIG
スクリプト化可能な仮想メディア
CLI/RIBCL Key Import over IPv6
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
本リリースにおいてIPv6によりサポートされないネットワークの機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
組み込みリモートサポート (ERS)

事前要件

最高のパフォーマンス、IPv6のサポート、TLS v1.1以降のサポートを得るには、次のバージョンのiLOユーティリティが必要です。

- HPQLOCFG v5.1
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.0.0
- HPONCFG Windows 5.1.0
- HPONCFG Linux 5.1.0
- LOCFG v5.0.0
- HPLOMIG 5.1.0

注記:iLO High Security、FIPS、およびSuiteBのセキュリティ状態をサポートするには、アップデートされたユーティリティおよびシステムライブラリーが必要です。

HPONCFG Windowsユーティリティ

は、SuiteBのセキュリティ状態を現在サポートしていません。

拡張

- iLO backup and restore—This feature allows you to restore the iLO configuration on a system with the same hardware configuration as the system that was backed up. For example, you could use this feature if the system board is replaced, an accidental or incorrect configuration change occurred, or iLO was set to the factory default settings. This feature is not meant to duplicate a configuration and apply it to a different iLO system.
- AMD platform support
- Support for diffie-hellman-group-exchange-sha256.
- Support for multiple destination AlertMail email addresses. Enter the addresses separated by a semicolon.
- iLO RESTful API features:
 - Aux Power Reset
 - Jitter Control features to get and set Jitter Control Mode and Frequency
- New iLO RESTful API properties to bridge the gap between RIBCL and iLO RESTful API features:
 - High Efficiency Mode
 - Encryption-related properties and Cache Module Serial Number
 - Login Security Banner
 - Current Power on Time (provides the time since the system was last powered on).
 - Persistent Mouse/Keyboard Enabled
- New iLO RESTful API events for NVDIMM Init Error and Runtime Firmware Authentication Error.

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4デバイス - VMware ESXi 6.0

バージョン: 1.0.1 (推奨)

ファイル名: CP030284.compsig; CP030284.zip

修正

FWバージョン12.18.2030での修正:

- Multihostで双方向トラフィックの10% BW劣化の原因となる問題を修正しました。
- CQEジッピングアグレッシブモードタイマーを9000に増加しました。
- IPoIB強化QPをERRまたはRST状態に移動すると、QPCのservice_typeおよびpm_stateが破損します。
- vport状態がトグル (ダウン/アップ) に設定されているときにRoCE IPv4 QPをMCGに添付すると、そのMCGにリストされているQPがトラフィックを受信するのが妨げられます。
- 制限イベントのSRQをアーミングする場合、デバイスは、context_index=0のイベントを発行する場合があります。
- 時々、UD QPをエラー状態からRTSに移動すると、QPが再度エラー状態に入ります。
- IPoIB強化トラフィックでPkeyチェックを実行する場合、Pkeyメンバーシップビットは無視されます。
- トラフィックの送信中にレートリミッターを停止するとアダプターカードがハングすることがあります。
- Privileged Vport egress信号は、Vport が有効でない場合ブロックされません
- InfiniBandでは、PFダイレクトパススルーはサポートされていません(PF FLRがサポートされていないため)
- Set().pkeyでの無効化がない場合、Pkeyチェックが正しく行われません。
- HCA madレスポンスに一致するPkeyではなく受信パケットPkeyを含む原因となる問題を修正しました。
- PCIe Txコンフィギュレーションを変更しました。
- ソフトウェアがECNパラメーター (min_rate、max_rate、rate_to_set_on_first_cnp) の値を>32768に設定するのを防止する問題を修正しました。
- QDR速度までサポートするデバイスに特定の銅ケーブルで接続されている場合、リンク速度がDDRとして立ち上がる問題を修正しました。
- 物理カウンターがリセットするのを防止する問題を修正しました。物理カウンターは最初のドライバー開始にリセットされるようになりました。
- サードパーティーで可能性のあるネゴシエーション問題を修正しました。
- 56GbEリンクがエラーで立ち上がるまれな問題を修正しました。
- modify_scheduling_contextコマンドを実行する場合、フィールドは予約されていますが検証の実行にscheduling_context.element_typeが考慮される問題を修正しました。
- refカウンターはmax_average_bw != 0 (limited) 毎に増加する設計ですが、eSwitch max_average_bw refカウンターはmax_average_bwの設定値に関わらず、TEARDOWN_HCA/ FLR VFで減少する問題を修正しました。
- UEFI 起動サイクル中に、WinPE がロードされている間、まれにシステムが動かなくなることがあります。(OS WinPE、システムDL160)
- untagged および prio-tagged パケットを取得する Single FTE(match_value.vlan_tag = 0 および match_value.vid = 0 にFTEを与えることで)は現在サポートされていません。
- ファームウェアをフラッシュすると、サーバーの再起動が必要になります。ファームウェアは、最初のフラッシュ後、サーバーを再起動していない限り、二度目のフラッシュはできません。
- vportの状態がDOWNでパケットがローカルループバックに送信された場合、sx_snifferツールは機能しません。
- リンクがFDR 1xを起こすときにシンボルエラーとしてバブルが発生するという問題を修正しました。
- Clause 74 Fire-Code FEC が有効である場合、FC_correctable カウンターおよび FC_uncorrectable カウンターが増加する、エラーが修正されたFCがあります。
- 最新のポートオーナーホストがドライバーを再起動した後、いくつかのPort Control Registerは、デフォルト値に戻りません。
- UDPパケットが予約されたUDP宛先ポートを持つときにRXがハングする原因となる問題を修正しました。
- ホストごとのDMACレポートのマッピングを修正しました。
- ファームウェアがハングする原因となるPCIからのEEHエラーを修正しました。
- リンクcontrol2において、PCIe target_link_speedのデフォルト値をGen3に設定しました。
- トラフィックがリンクスピードの0.1%より小さいときにLEDの点滅を妨げるという問題を修正しました。
- VF_LOG_BAR_SIZEのmlxconfig構成が無視され、5(32MB)に設定される問題を修正しました。
- VLウエイト 0でSMを構成し、その上でトラフィックを実行しているときに、一部のVLでアンロード中にドライバーが時折ハングする原因となる問題を修正しました。

- Packet-Pacingが有効なときにサーバーがスタンバイモードになると、ファームウェアがハングおよびドライバーのコールトレースを引き起こすことがあります。
- 複数の送信元から単一の送信先へのトラフィック送信の場合に予期しないQoS機能の原因となる問題を修正しました。
- WQEフェッチにおけるPCIエラーを受信した時DCにおいてRXトラフィックがしばしば停止する原因に関する問題点を修正しました。
- インテルのITPインジェクションエラーテスト中に発生したOOB接続の問題を修正しました。
- IEEE Auto-Negotiationにおいて、25G FireCode FEC と25G Reed-Solomon FECのビットが逆になっているという問題を解決しました。
- RoCE v2の宛先ポートでUDPパケットが到着して、データがDCトランスポートサービスに一致した時にRXが停止するという問題を解決しました。
- IOPXサーマルダイオードが不安定な状態にならないようにする保護機能を追加し、ConnectX-4 Lx 25GE OCP カード上のUEFIのIPv6 PXEブートの失敗を防止しました。
- 物理ポートTLVをポート2に問い合わせおよび書き込むためにシングルポートデバイスに生じる問題を解決しました。
- PCIe Secondary Bus Resetを使用して動作のために mlxfwreset を有効にします。
- 不適切なリンク設定の結果として、リンクのフラッピングが発生する問題を修正しました。
- 有効な Clause91 FEC で 50 G を実行する場合に、間違った整列マーカが使用される問題を修正しました。
- 5 (32 MB) から1 (2MB) までの VF (SR-IOV) の既定のBARのサイズを減らしました。
- FlexBootにレガシー割り込みサポートを追加しました。
- 16GhzでEMIクロスマージンをサポートするためにTX構成を修正しました。
- ビットエラーレートが10G/40Gリンク上で最適ではないことがあります。
- 100G自動ネゴシエーションの間に発生するリンクトレーニングフローの不安定が修正されました。
- RESETにQPを移動し、RTSに戻すときに、コマンドのハングを引き起こすまれな問題を修正しました。
- パケットの喪失シナリオ下のRDMA READ帯域幅が改善されました。
- ibdiagnetツールで必要とされるpnat = 1 in HCA access_regコマンドに対するサポートを追加しました。
- LLDP OCBB応答の修正: 戻り値が現在はasciiです。
- PXEサイクルの間にまれに生じるNMI問題が修正されました。
- ステアリングハッシュテーブルの静的サイズを、128から最大32Kエントリまで増加しました。
- 100Gb/sケーブルの使用中に生じるモジュール温度の誤計算を防止しました (OPN:MFA1A00-Cxxx for 100GbEおよびMFA1A00-Exxx for IB EDR)。
- qkey/pkey違反カウンターをport_info mad経由でリセットしている場合に、デバイスのハングを引き起こす問題が修正されました。
- OCBBレポートのMTUサイズが変更されました。 現在MTUサイズは、パケットヘッダーを含んでいません。
- パイプのバランスをステアリングするUnicast RXステアリングをone hop下げました。
- 50倍以上のポートタイプTLVの非揮発性構成はシステムハングの原因となります。
- Clause 91 RS FEC がアクティブな場合の25G および 50G リンク問題を修正しました。
- 次回のドライバーロードの失敗または送信不能をもたらすFLRのSwitchX キャッシュの存在しない無効化を追加しました。
- Vport カウンターがローカルループバックパケットを計算できなかった問題を修正しました。 現在パケットは、セルフループバック防止によりフィルタリングされています
- INTxがPowerKVM上でPFパススルーを可能にすることを未サポートと報告しました。
- SR-IOVイーサネットは、ポートにつき最大18 VFをサポートします。
- VportカウンターはVportを横切るトラフィックのみをカウントする必要があるが、ローカル (内部) ループバックパケットがVportカウンターによりカウントされることを許すことを修正しました。
- 不適切なドライバーアンロードの後、ドライバーのロードまたはリポート時のTXトラフィック送信を妨げる問題を修正しました。
- ステアリング API前のBMC MAC のキャストリングを修正しました。
- PCI MTUを考慮するためにPCI書き込みフローを修正しました。 この修正はフローの中のNOPの必要性を排除し、PPCでのさらに大きなPCI MTUとなります。
この読み取りに対するシングルキュー制限は、与えられた時間内の読み取り要求数のハードウェア限度によるものです。
- Connect-IB または ConnectX-4 HCA上で有効化された「ラージバー」 (4Gデコーディング上)で実行するシステムで期待通りにFlexBoot が動作しないことがあるケースを修正しました。
- 単一ポートNIC用PLDMサポートを修正しました。 現在、ポートの関連センサー/状態は、単一ポートに対してのみ報告されます。

拡張

ファームウェアバージョン12.18.2030:

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1-port 840QSFP28アダプター)

825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2-port 840QSFP28アダプター)

バージョン12.18.2030の新機能および変更:

- SFP内で論理リンクインジケータをBaseTモジュールを追加し、ピアポートがダウンしている場合は論理リンクを無効にしました。
- 25GbE SFP光学モジュールでの10GbEサポートを追加しました。
- mlxlinkツールがPHYリンクステータスのデータを収集し、リンクダウンの理由とリンクに関連した追加の情報を提供できるようにします。
- イーサネットでのリンクトレーニング中のTXコンフィギュレーションレスポンスおよび動きを有効にしました。
- レーンレート12.89Gbのサポートを追加しました。
- パケットが転送せずにトラフィッククラス (TC) 転送キューの先頭にいる時間を制限します。古いパケットは破棄されます。デフォルトでTCはリンクレベルフロー制御に従うようになっています。
- UARページサイズは現在4KBに設定されていて、システムページのサイズが決定するものではありません。
- 以下のパフォーマンスを改善しました:
 - ユーザーアクセスリージョン(UAR)からのドアベル
 - ユーザーアクセスリージョン(UAR)からの割り込みのクリア
- 追加のトランスポートカウンターのサポートを追加しました。
- DCでのODPのサポートを追加しました。
- DC用に送信されたパケットでのスキッター・ツー・CQEを有効にしました。
- CQ modifyコマンドでのモデレーション期間変更を有効にしました。
- SR-IOVにおけるvportごとの最小/最大レート制限に関するサポートを追加しました。
- UEFIシェルとOS間のネットワークトラフィックを有効にしました。
- PFが自身のVFのRoCEを強制無効化できるようにしました。
- 2つの新しいアクセスレジスタを追加しました。
 - 管理機能マスキレジスタ
 - ポート機能マスキレジスタフィールド詳しくは、PRMを参照してください。
- VNICがそのローカルループバックトラフィックの有効/無効を制御できるようにしました。
- 受信RDMAフローテーブルをオープンし、RoCEトラフィックを宛先QPIに転送するオプションを追加しました。
- マルチホスト LIDベースのルーティングのサポートを追加します。この機能は次の属性を持つ新しいOpenSMを必要とします。(v4.7.1 以上で MLNX_OFED 3.3-2.0.0.0に付随)
 - qos TRUE
 - lmc 2(ファブリックにquadホストがなければ、lmcを1に設定できます)
 - virt_enabled 2 注: マルチホストLIDベースのルーティングはINIのみによって構成されます。デフォルトは0です。
- 耐障害性RoCEとは不可逆なネットワーク(フローコントロールが可能になっていないネットワーク)上でフローコントロールを可能にする必要なくRoCEにトラフィックを送る機能です。この機能はスイッチとホストの両方でECNを可能にすることにより、実現されます。
- L3/L4ヘッダーに基づく、Multi PF Switch layer(MPFs)におけるロードバランシングを可能にします。
- 同じHCAを使用する別々のホスト間の分離を可能にしました。すべてのホストはリブートができ、ドライバは停止することができ、FLR信号は個別に送ることが可能です。
- PFごとのVFの数を64から95に増やしました。注: VF数を増加させる場合は、次の制限を考慮してください:
 $server_total_bar_size \geq (num_pfs) * (2 \log_pf_uar_bar_size + 2 \log_vf_uar_bar_size * total_vfs)$
 $server_total_msix \geq (num_pfs) * (num_pf_msix + num_vfs_msix * total_vfs)$ 注: ドライバーによりサポートされたVFの最大数に関しては、ドライバーのリリースノートかユーザーマニュアルを参照してください。
- [InfiniBand のみ] SR-IOV/マルチホスト環境における複数のVLに関するサポートを追加しました。注: VLの数はNVCONFIGによって構成することができます。デフォルトのVL数は4VLです。
- InfiniBandにおけるQPLレート制限に関するサポートを追加しました。

- ポートフラップカウンターに関するサポートを追加しました。
- パフォーマンスを向上させるためにすべての入力バッファサイズを制限します。 KSMはKey Length My Virtual Address (KLMs) を固定メモリサイズとするために使用されます。
- この入力(null_mkey) は現存しないKLM/KSM入力を示すために用いられます。 それにアクセスすると、デバイスにページフォールトイベントを発生させます。
- PLDM ファームウェアはDMTF spec DSP0267 (draft 9)に基づきます。 この機能はMCTPに関するPLDM protocol (over PCIe)を用いて、ファームウェアや拡張ROMイメージのアップグレードを可能にします。 そうすることにより、サポートBMCはOSベースのツールを使用することなくファームウェアの問い合わせとアップグレードを行うことができます。
- 新しい物理レイヤー統計カウンターグループを追加しました。 新しいグループはBERカウンター、FECエラーコレクション、クリアタイムそして追加の物理レイヤカウンターを含みます。 詳しくは、『イーサネットアダプタープログラミングマニュアル(PRM)』を参照してください。
- ユーザーが時間無制限で特定のリンクをアップした状態に設定することを可能にします。 このモードは3つの状態を持ちます。
 - Aux power(スタンバイ)
 - Reboot/boot/driver unloaded -サーバーがアクティブでドライバーがアップされていない
 - Driver is up - 少なくとも1つのドライバーがアップされている(init HCAと終了またはFLRの間の時間)
- ユーザーアクセスリジョン(UAR)からのDoorbellに関するサポートを追加しました。
- [ベータ] SR-IOVにおける機能ごとの最大レート制限に関するサポートを追加しました。
- ユーザーが、受信ポートが利用できないとき(停止状態にある)にアダプターカードにxの後の停止の送信を止めるように構成させることを許可します。
- [ベータ] 新しいパフォーマンスカウンターに関するサポートを追加しました。
- DCBX は、ピアに直接接続される構成情報を交換するDCBデバイスにより使用されます。 DCBX では、2つのリンクピア間のパラメーターを交換するために Link Layer Discovery Protocol (LLDP)を使用します。 詳しくは、PRMを参照してください。
- ドライバーがリスタートしたまたはホストがリブートされた時に、ネットワークポートレジスターがデフォルト値に戻ることを許可します。
- ネットワークリンクアップモードを追加しました。 新しいモードはネットワークリンクをいつ上げるかを決定します。 新しいモード:
 - keep_eth_link_up
 - keep_ib_link_up
 - keep_link_up_on_boot
 - keep_link_up_on_standby
- [Beta] Explicit Congestion Notification(ECN)は、インターネットプロトコルおよび伝送制御プロトコルへの拡張機能です。 ECN では、パケットが低下することなくネットワーク輻輳のエンドツーエンド通知が可能になります。
- PFごとのVFの数を32から64に増やしました。 注: VF数を増加させる場合は、次の制限を考慮してください:

$$\text{server_total_bar_size} \geq (\text{num_pfs}) * (2 \log_{\text{pf_uar_bar_size}} + 2 \log_{\text{vf_uar_bar_size}} * \text{total_vfs})$$

$$\text{server_total_msix} \geq (\text{num_pfs}) * (\text{num_pf_msix} + \text{num_vfs_msix} * \text{total_vfs})$$
- [Beta] RoCE Link Aggregationは、フェイルオーバーおよびリンクの集約機能を提供します。 このモードでは、2つの物理ポートがあり、アプリケーション層に露出している1つのIBポートです。 詳しくは、PRMを参照してください。
- Mellanox Accelerated Switching And Packet Processing(ASAP2)Directテクノロジーにより、修正されていないOVS control-planeを維持しつつ、Mellanox ConnectX-4/ConnectX-4 Lx NICハードウェア(Mellanox Embedded SwitchまたはeSwitch)のOVS data-planeを処理することで、OVSをオフロードできるようになります。 ASAP2 Direct でサポートされる現在のアクションには、VLAN push/pop またはVXLAN encap/decap に伴うパッシング、マッチング、フォーワード、ドロップ、およびパケット/バイトベースのHW フロー統計が含まれています。
- Virtual Extensible LAN (VXLAN) は、大規模クラウドコンピューティングの設置に関連するスケラビリティの問題を改善するネットワーク仮想化テクノロジーです。 Ethernet + IP + UDP フレーム内のEthernetフレームをトンネリングします。 Mellanox では、ハードウェアのVXLAN カプセル化および非カプセル化を実装します。
- [Beta] DCBX は、ピアに直接接続される構成情報を交換するDCBデバイスにより使用されます。 DCBX では、2つのリンクピア間のパラメーターを交換するために Link Layer Discovery Protocol (LLDP)を使用します。 詳しくは、PRMを参照してください。
- ユーザーは、Frame Check Sequence (FCS) をスキップするか、またはFCS機能をチェックするかどうか制御できます。

- [Beta] Send Queues (SQ/ Send queue of QP) では、特定のSW定義フローで徐々にレートを管理できるよう、個別にレートを制限できます。レート制限フローでは、転送レートが評価されたり、次のパケットが転送に合わせて計画される前に、いくつかのパケットを転送できます。
- デバイスがSerDes チューニング目的で異なるPRBS パターンを作成できる新しいPHYテストモード。詳しくは、PRMLレジスタ:PPAOS、PPTT、PPRT を参照してください。
- PCIを介したMCTPホスト管理のサポートを追加しました
- mlxfwreset後のOCBB/OCSDメモリーポインター復元のサポートを追加しました。
- SMBUSおよびPCI間のMCTPメディア移行のサポートを追加しました。
- VPD読み取り専用タグにv1、v3、v6タグを追加しました。
- IPoIBチェックサムおよびLSOオフロードサポートを追加しました。
- ソフトウェアによるRQのFCSを分散またはストリップを可能にします。
- パケットの作成を記録します。タイムスタンプサービスは、データが特定の時間以前に存在していた証拠のアサーションをサポートします。
- イーサネットリンクの特定クラスのトラフィックに一時停止機能を適用します。
- カスタムポートカウンターは、RDMA 送信/受信の統計およびエラーに関する明確な指示をユーザーに提供します。
- Link Layer Discovery Protocol(LLDP)は、インターネットプロトコルスイートにおけるベンダー中立型のリンクレイヤープロトコルで、ネットワークデバイスがIEEE 802 LAN上でその識別、機能、および近隣ノード情報を伝達するために使用されます。このプロトコルは、IEEE 802.1ABで正式に定義されています。
- 現在、ConnectX-4アダプターでは、10GigE、25GigE、40GigE、50GigE、100GigEに加えて、1Gb/sおよび56GbEイーサネット接続をサポートしています。
- フローステアリングの統計とエラーの明確な指示を提供します。
- WQEのEth Segment内にインライン化されているパケットヘッダーの最小量です。
- フローテーブルには、すべてのマッチフィールドワイルドカードを表示するテーブルミスフローエントリーが含まれることがあります。パケットとフローテーブル内のフローエントリーが一致しないと、テーブルミスになります。テーブルミスの動作は、テーブル構成によって異なります。フローテーブル内のテーブルミスフローエントリーでは、不一致のパケットを処理する方法を指定できます。
- アダプターPCIeインターフェイスを複数かつ独立したPCIeインターフェイスに分割することにより、複数のコンピュータまたはストレージホストを単一のインターコネクトアダプターに接続することができるようになります。
- Single Root IO Virtualization (SR-IOV) - 物理的なPCIeデバイスがPCIeバスを介してそれ自体を複数回提示することを可能にする技術。
- オフロードにHCAを使用し、コーディング計算を確実に行います。
- アップグレードするファームウェアに管理者がタイムスタンプを追加できるようにし、ひとつのホストがファームウェアのアップグレードを試行し、別のホストがダウングレードを試行する、というような状況を回避します。これは、複数の不要なサーバーリブートが必要になる原因となります。詳細については、MFT ユーザーマニュアルを参照してください。
- 変更に含まれるのは以下：
 1. リンク再トレーニング (スピードなど)に必要なポート構成を変更しました。
 2. PAOS ダウン。
 3. PAOSアップ。この変更は有効にするためのトグルへのリンクと新しい構成を生じます。この変更は有効にするためのトグルへのリンクと新しい構成を生じます。
- Flint ユーティリティでは、ファームウェアイメージの非永続セクションのMD5チェックサムを実行できます。詳細については、MFTユーザーマニュアルを参照してください。
- Electromagnetic Induction (EMI)コンプライアンスのためのTX信号の整合性を改善しました。 Rev. 12
- Large Receive Offload(LRO)
- Large Send Offload(LSO)
- Receive-Side Scaling(RSS)
- Global Pause
- RoCEv1.0/RoCEv2.0
- フローステアリング
- スニファイイーサネット
- レートリミッター(ベータレベル)
- マルチパケットWQE
- 最小帯域幅保証(ETS)
- Explicit Congestion Notification(ECN)
- Priority Flow Control (PFC)
- PCIe Function Level Reset(FLR)

- 電源管理L2/L3フローサポート
- セルフループバックサポート
- 伝送ドメインサポート
- CQ2EQ再マッピング
- 下記のコマンドのサポートを追加しました:
- MODIFY/QUERY_ESW_VPORT_CONTEXT
- QUERY/MODIFY_CONG_STATUS
- QUERY/MODIFY_CONG_PARAMS
- QUERY_CONG_STATISTICS
- ADD/DELETE_VXLAN_UDP_DPORT
- VXLAN/NVGREステートレスオフロード。このリリースでは、この機能はWindows経由でのみサポートされています。
- SR-IOV EN(ベータレベル)
- CQE Zip圧縮
- Dynamically Connected(DC)伝送
- Wake-on-Lane/Standby
- FlexBoot/UEFIサポート
- 光学モジュール熱感知サポート
- PLDMコマンドサポート
- Clause 73(DME)のネゴシエーション中の堅牢性の向上
- 非揮発性構成(NVConfig)。完全なリストについては、
- ポート管理を有効化。現在、ひとつのポートをEthernetとして設定し、ひとつをInfiniBandとして設定できるようになりました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - VMware ESXi 6.0

バージョン: 1.0.5 (推奨)

ファイル名: CP030127.compsig; CP030127.zip

修正

2.40.5030および2.40.5072での修正:

- 送信の完了をブロックするドライバー開始時におけるファームウェアとハードウェアの競合を修正しました。
- ファームウェアに、Close_port コマンドを実行している時にドライバーにlink_downイベントを送らないようにさせるという問題を解決しました。
- まれなケースでAuto Senseが正しいプロトコルの検出に失敗する問題を修正しました。
- WCS ConnectX4メザニンカードをPikes peak FPGAに接続するときのシグナル整合性の問題を修正しました。
- 破損したDMEページを、オートネゴシエーションフローの開始時に短時間だけ伝送するオプションを追加しました。
- ファームウェアによるPortRcvDataVLExtended / PortXmitDataVLExtendedのカウンターの間違っただけレポートを修正しました。
- 送信が混雑しているときに、ファームウェアのパケットインジェクターがパケットを切断する原因となるまれな問題を修正しました。
- IEEE clause 72 Link TrainingにおいてTXリクエストに対する応答が最高10ミリ秒かかる原因となっていた問題を修正しました。
- QPがバースト制御限度状態から抜け出せない原因となる、2つのirisc間の競合を修正しました。
- QPがエラーの状態にあったとき、ファームウェアが一度に多数のエラーCQEを生成して、cmdifの応答性を非常に遅くする原因となります。上記の状態を防ぐために、エラーCQEの数が一度に16個に制限されました。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファに反映されない原因となる問題を修正しました。
- loopbackトラフィックで実行すると破損するibdumpの問題を修正しました。

- ファームウェアがQPをファームウェアの所有者として取ってから、他のファームウェアフローが同じQPを所有しているかどうかを確認せずに、ハードウェア所有者に解放する問題を修正しました。
- ケーブルの接続を解除した後、ポートのリンクタイプがETHであるにも関わらずリンクタイプがIBとして表される問題を修正しました。
- スイッチへの接続に関係なく、カウントが開始して0xFFに達する、port 2 (Switch-IBのport 2に接続されている)のHCA PoerXmitWaitカウンターに関連した問題を修正しました。
- ECN が有効な場合の完了エラーの問題を修正しました。 ECNの使用は、完了キュー (CQ)の順序エラーの原因でした。
- UDPの長さの計算を修正しました。 CNPパケットの内に誤った UDP の長さは、ICRCの計算ミスの原因でした。
- ケーブルが接続されていない場合、ケーブル情報MAD内で誤って戻されたステータスを修正しました。
- 物理機能内でFLRを開始する場合の障害インスタンスを修正しました。
- VLANのNC-SI の準拠を有効にするために、INI内のHigh Rate Steeringモードを無効にしました。
- NO-DRAM-NICモードで実行するときに、パフォーマンスの低下を引き起こしたパフォーマンスの問題を修正しました。
- IPv4トラフィックの上のRDPがドロップする原因となったデフォルトのハードウェア構成問題を修正しました。
- ネットワークに対し仮想機能が一時停止フレームを注入するのを回避しました。
- MLNX_OEMコマンドGET_TEMPが、max_tempフィールドに誤った値を返しました。
- メッセージMTUサイズがQP.mtuより大きかったときに、TXトラフィックが停止する原因となった問題を修正しました。
- セクターの数が1に設定され、セクターがゼロにされたときに、NVCONFIGが失敗する原因となった問題を修正しました。
- 重複した "read request from middle" の処理での競合を修正しました。
- SR-IOV VPIでのIBトラフィックの不足の原因となった問題を修正しました。
- TLVに非有効な情報を満たしたときに、NVRAMがスタックする原因となった問題を修正しました。
- APMが、QPのポートマッピングを変更したときに、内部ファームウェアエラーの原因となった問題を修正しました。
- QP代替コンテキストを処理する際に、ファームウェアの内部エラーの原因となった問題を修正しました。
- ソフトウェアが、デバイスのMACアドレスのいずれかに等しいMACアドレスを持つポーズフレームを送信しようとしたときに、パケット送信がスタックする原因となった問題を修正しました。
- NICによりいずれかの種類の0x600により誤ってドロップされたETHパケットを修正しました。
- NC-SIが有効化されている場合に、ポートで高プライオリティブロードキャストルールが検知された後、宛先にブロードキャストトラフィックが到達のを回避するというケースを修正しました。
- ステアリングルールでRSS QPのアップデートに失敗するという問題を修正しました。
- ポートがInfiniScale IV QDR Switchに対してSDRとして使用される問題を修正しました。
- 読み取りリクエストを再送信したときに発生するBad Opcodeシーケンスステータスの完了エラーのレアケースを修正しました。
- 実際の帯域幅がVM QoSのユーザー設定と一致しないという問題を修正しました。
- ドライバーの初期化中に、BMCへの通信が失われるというレアケースを修正しました。
- リンクが開かない原因となるケーブル読み取りに伴う問題を解決しました。
- 最大EQN数を1024に設定しました。
- 読み取り障害の原因となるVPD initフローに伴う問題を修正しました。
- RXサイズ統計カウンターの問題が報告されない問題を修正しました。
- この第1のRead応答は、暗黙ACKとして処理されませんでした。
- Cisco Nexus3064およびArista-7050Sで長くかかっていた40GbEアップタイムを低減しました。
- A0-DMFS設定との無作為検出モードの互換性を修正しました。
- NC-SIが有効化および構成されているときの無作為検出モードの互換性を修正しました。
- チャネルID 0x1f障害に伴うOEM tempコマンド(set/get)の送信/受信を修正しました。
- 他のポートのインターフェイス状態を変更するときにポート上でパケットがドロップする原因となる問題を修正しました。
- 再起動サイクル中に、長くかかっていた管理通信ロスおよびSOLハングを修正しました。
- 通信ロスの原因となるBMCへのインバウンドトラフィックの不正処理を修正しました。
- ドライバーを介してポートインターフェイスを閉じるときの管理リンクロスを修正しました。
- EEPROM読み取り遅延の下人となるエキスパンダープレゼンスのファームウェアにおける障害表示を修正しました。
- 他のポートからケーブルを取り外したときにポート上でリングダウンする原因となる問題を修正しました。
- 長さゼロのパケットがハードウェアキューでスタックするというレアケースを修正しました。

- InfiniBand輻輳制御パケット(CNP)がハードウェアでハングする原因となる問題を修正しました。
- チャネルリセット後にAENが送信される原因となる問題を修正しました。
- QoS設定が既定に復元され、帯域幅の落ち込みの原因となることを回避する問題を修正しました。
- 10GbEベースのデバイスで不定期に長くかかっていたリンクアップタイムを修正しました。
- i2cスレーブアドレス0x51からのケーブル読み取りを回避する問題を修正しました。
- PMオフリクエスト伝送およびack受け入れフローにおけるデッドロックの可能性を修正しました。
- 不定期な幅低下の原因となるアライメントステートマシンに伴う問題を修正しました。
- 輻輳制御が有効化され稼働している間(EQC/QCN)に送信キューがハングする問題を修正しました。
- 再伝送を伴うRDMA SEN/WRITEトラフィックを稼働しているときに受信するベンダーシンドローム0x77での予測外の作業完了シンドロームを修正しました。
- 無効なLinkSpeedEnabled値を受信したときに、SetPortInfoが良好状態に戻す原因となる問題を修正しました。
- デキューアルポートSFPPモジュールカードが自動的にエキスパンダーにマップされる原因となる問題を修正しました。ファームウェアがドライバーにより選択されたステアリングモードを上書きするという問題を修正しました。
- リンクが起動したときに発生する無効な戻り感知結果を修正しました。
- ケーブルを取り外したときに検出が遅延する原因となる問題を修正しました。
- AUTOに設定したときに、リンクタイプがETHとして遅延する原因となる問題を修正しました。
- Wake Upシグナルの2usグリッチを修正しました。
- IBDumpの稼働時のパフォーマンス低下を修正しました。
- 有効化/無効化テスト中のEQ phase0で不定期に発生するリンクトレイニングタイムアウトです。
- strict帯域幅モードの機能を向上しました。
- PortRcvPktsカウンターが常にゼロ値を表示するという問題を修正しました。
- SecureHostモードでのSETメソッドを用いたGMP MADの処理に伴う問題を修正しました。
- Global Multicastフィルターを構成するときにMCGサイズを不正に使用する原因となる問題を修正しました。
- 不定期に第2ポートのTX障害の原因となる第1ポートを無効にしています。
- 報告されたリンクステータスの不一致を修正しました。スイッチが起動していることが認識されているにもかかわらず、アダプターでは、リンクがダウンしていると報告されています。
- SCM5 Switchブレードに伴う不定期な40GbEリンク障害を修正しました。
- MADでの不正なFDR10速度報告を修正しました。
- QDRに対してFDR10を設定するときにポートが開くのを回避するという問題を修正しました。
- Aristaスイッチに対する不定期なリンク障害を修正しました。
- 最後に認識されたPSNの代わりに、メッセージの第1のPSNから再電送が開始されました。
- インラインファームウェア書き込み中にGeneralInfoMadを受信したときにファームウェアがハングします。
- L1フローの調整およびしきい値のチューニング。
- PERST_ assertion中にまれに発生するハング問題を郵政しました。
- phase3中に不正な係数が報告されました。
- リセットのタイミングが不正な動作の原因となる問題を修正しました。
- ステアリングオプションの欠落を修正しました。
- 長くかかっていたタイムアウト問題を修正しました。
- driver-lessモードでのNVRAM書き込み問題を修正しました。
- auxモードでの40GbEリンクサポートを修正しました。
- 存在しないチャンネルIDでコマンドをドロップしました。
- 拡張速度報告における問題を修正しました。
- トラップ257/8での不正なQP報告を修正しました。
- 誤った不正なq_keyエラーメッセージの原因となる問題を修正しました。
- Pause Frame opcodeの不一致を修正しました。
- PCIeエラー検知における通信ロスを修正しました。
- SELECT/DESELECT PACKAGEコマンドの不正なチャンネル値を修正しました。
- 応答パケットに余分な4バイトが含まれる原因となる問題を修正しました。
- Set Linkをサポートされていない速度で使用しているときに戻される不正な理由コード値を修正しました。
- BMCにより指定された不正なMACアドレスからの保護を追加しました。PERST_ deassertion後の不正なTXパルスを除去しました。
- SR-IOVが有効化されているときのFLR機能ビットの矛盾を修正しました。
- デバイスがPCIe関連エラーを報告しないという問題を修正しました。
- ConnectX-3からSX6036へのセットアップでリンクがDDRに構成されているときに、SDRリンクが代わりに確立されています。
- VXLANが不正な規定UDPポートを使用しました。UDPポート番号が4789に変更されました。

- VXLANのUDP宛先ポートの不正な設定を修正しました。
- IPMI/NC-SIを有効化してDMSモードに移行するときの内部エラーの原因を修正しました。
- 0.5m FDRケーブルを使用して接続されたFDRカードのバックツーバックセットアップでは、リンクがFDRの代わりにFDR10として確立されることがあります。
- PCIレガシー割り込みを伴う作業に関連する問題を修正しました。
- ソフトウェアにより埋め込まれたショートパケットのチェックサム計算が不正です。
- MFTフリントツールを使用した後でPCIe構成スペースを読み取ったため、デバイスがcrashしました。
- IPMIを介した不定期なパケット損失を修正しました。
- MADを開いているEyeで報告された不正な値を修正しました。
- L1状態からのリンクネゴシエーションおよびリンク移行中の不定期なリンク幅低下を修正しました。
- 調整シグナル検知しきい値を修正しました。
- LLRがアクティブの時にPortExtendedSpeedsCounters MADが誤って増加しました。
- TXパラメーターの構成時に、レーンリバーサルが考慮されませんでした。
- Flex- Bootアドレスが指定されたときのROLの工場出荷時MAC使用を修正しました。
- FlexBootアドレスが指定されたときのPauseフレームの工場出荷時MAC使用を修正しました。
- WOL/ROLパケット間でデバイスが違いません。
- 機能しなかったPortInfo MADの一連の拡張フィールドを修正しました。
- theib_128b_llrのMLPNネゴシエーションに準拠してLLRセルサイズを調整しました。
- 最大速度制限がstandbyモードのみでなく完全なpowerモードでもアクティブでした。
- InfiniBand Path移行がGRHで動作しませんでした。
<http://webdev01:8080/commit/ConnectX.git/a9c37ee4c31038f2c1179d4d9e79c9337e0ab5c7>
- MGM書き込み後に読み取ったため、不正な数値カウントを戻しました。
- ドライバーにより指定されたRSSハッシュキーの破損を修正しました。
- QoSレートリミットBWオフセットを修正しました。
- FDR10 speed_en reportingを修正しました。
- 長くかかっていた管理リンク通信口スを修正しました。
- コマンド結果では、両方のリンクタイプが同時にアクティブであることが報告されています。 phyタイプとポート感知間の衝突を修正しました。 QUERY_HCAコマンドの不正なコアクロック周波数報告を修正しました。
- 56GbEが有効化されているときの不定期なリンク障害を修正しました。
- 最大Eyeマージンをプロトコルに従って修正しました。
- perfqueryでは、ConnectX®-3 VPIモードで不正なエラーシンボルが報告されました: IB, ETH。
- ConnectX-3Pro デュアルポートQDRおよびFDR/FDR10スイッチセットアップ環境では、MC2207312-030 AOCでシンボルエラーが発生することがあります。
- MC2207126-004銅ケーブルでFDRスイッチに接続されたポートConnectX-3ProデュアルポートQDRでシンボルエラーが発生しました。
- LLRが有効なInfiniBand FDRリンクからLLRなしのInfiniBandリンクへ切り替わる場合、ドライバーの再起動が必要です(例:SwitchX® とGD4036との間)。
- まれに、40GbEに平行検出を実行しているときにアダプターカードのリンクアップが失敗することがあります。
- Automatic Path Migration(APM)では、Alternate Pathからの新しいMGIDがアップデートされませんでした。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.40.5030にアップデートされました。

644161-B21
 644160-B21
 649282-B21
 649281-B21
 649283-B21
 764282-B21
 764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.40.5072にアップデートされました。

764283-B21
764284-B21
764285-B21

ファームウェアバージョン2.40.5030での新機能:

- MADセンシングやNCSI/IPMI OEMコマンドに関する温度しきい値の高/低デフォルトを追加しました。
- user_mtuのサイズをファームウェアに示す「set port」 コマンドに新しいコマンドを追加しました。
- ファームウェアが内部QPで受信されたパケットを落としたり、WQEプロセッサフェッチングを使用不可にすることを確認する保護メカニズムを追加しました。
- イーサネットリンクダウンカウンターを追加しました。
- Ethertypeに基づき、キューを受け取るためのステアリングパケットを有効にしました
- 追加のレート値のサポートを追加しました。
- エラーの原因となる送信 WQE キャッシュ検索の繰り返し数を計算するカウンター。
- Flint ユーティリティでは、ファームウェアイメージの非永続セクションのMD5チェックサムを実行できません。
- PRMを介した新しいパフォーマンスとバックプレッシャーカウンターコマンド(詳しくはPRMを参照してください)
- マルチキャスト/ユニキャストのスニファールールのサポート(詳しくはPRMを参照してください)
- VLANカプセル化のVLANのサポート(詳しくはPRMを参照してください)
- ソフトウェアによるCQ作成オフロード
- rst2rtsコマンドのサポート
- ファームウェアブートステージ中にTLVを無効化
- 無受信バッファによるパケットドロップをカウントするdiag_rprt PRMコマンドのための新しいカウンター
- Ethernet TXライフタイムサイクルコントロールのサポート(Head of Queue)
- イングレス外部ループバックコントロールを可能にする新しいレジスタ(PPLR)(詳しくはPRMを参照してください)
- フロー制御パケットでネットワークのフラッディングを防止するために、イングレストラフィックストールを追跡するためのウォッチドッグメカニズム
- トラフィックがなくても一定のトラフィックLED表示の原因となったINIにより制御される新しいLEDスキーム。
- 同じポート上での複数のRoCEモード(RoCE v1+v2)サポートを追加: RoCEモードは、現在接続ごとです。
- QP 接続準備時間を強化するために新しいQPコマンド "INIT2RTS_QP" を追加しました。
- FCSチェックを無効化し、FCSをタイムスタンプで置換するスイッチをサポートしました。
- ダイレクトルートパケットのRX ポートの識別子を追加しました。
- 再送信でRDMA書き込み/送信パフォーマンスが改善されました。
- PRM ACCESS_REGコマンドを使用したファームウェア書き込み/クエリーを有効化しました。
- VAM向けのサポートを追加しました。
- 有効な不良ケーブルEEPROMがドライバーに報告されています。
- Platform Level Data Model(PLDM)サイドバンドプロトコルのサポートを追加しました。
- プライオリティベースA0-DMFSモードのサポートを追加しました(詳しくはPRMを参照してください)。
- ドライバーによるUnicast/Multicastループバック無効化のサポートが追加されました。(詳しくはPRMを参照してください)
- ハッシュ計算からソースIPを削除しました(詳しくはPRMを参照してください)
- 最大2KBまでのインライン受信モードのサポートを追加しました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) デバイス - VMware ESXi 6.5

バージョン: 1.0.0 (推奨)

ファイル名: CP031449.compsig; CP031449.zip

修正

2.40.5030および2.40.5072の修正:

- 送信の完了をブロックするドライバー開始時におけるファームウェアとハードウェアの競合を修正しました。

- ファームウェアに、Close_port コマンドを実行している時にドライバーにlink_downイベントを送らないようにさせるという問題を解決しました。
- まれなケースでAuto Senseが正しいプロトコルの検出に失敗する問題を修正しました。
- WCS ConnectX4メザニンカードをPikes peak FPGAに接続するときのシグナル整合性の問題を修正しました。
- 破損したDMEページを、オートネゴシエイションフローの開始時に短時間だけ伝送するオプションを追加しました。
- ファームウェアによるPortRcvDataVLExtended / PortXmitDataVLExtendedのカウンターの間違っただけのレポートを修正しました。
- 送信が混雑しているときに、ファームウェアのパケットインジェクターがパケットを切断する原因となるまれな問題を修正しました。
- IEEE clause 72 Link TrainingにおいてTXリクエストに対する応答が最高10ミリ秒かかる原因となっていた問題を修正しました。
- QPがバースト制御限度状態から抜け出せない原因となる、2つのirisc間の競合を修正しました。
- QPがエラーの状態にあったとき、ファームウェアが一度に多数のエラーCQEを生成して、cmdifの応答性を非常に遅くする原因となります。上記の状態を防ぐために、エラーCQEの数が一度に16個に制限されました。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファに反映されない原因となる問題を修正しました。
- loopbackトラフィックで実行すると破損するibdumpの問題を修正しました。
- ファームウェアがQPをファームウェアの所有者として取ってから、他のファームウェアフローが同じQPを所有しているかどうかを確認せずに、ハードウェア所有者に解放する問題を修正しました。
- ケーブルの接続を解除した後、ポートのリンクタイプがETHであるにも関わらずリンクタイプがIBとして表される問題を修正しました。
- スイッチへの接続に関係なく、カウントが開始して0xFFに達する、port 2 (Switch-IBのport 2に接続されている)のHCA PoerXmitWaitカウンターに関連した問題を修正しました。
- ECN が有効な場合の完了エラーの問題を修正しました。ECNの使用は、完了キュー (CQ)の順序エラーの原因でした。
- UDPの長さの計算を修正しました。CNPパケットの内に誤った UDP の長さは、ICRCの計算ミスの原因でした。
- ケーブルが接続されていない場合、ケーブル情報MAD内で誤って戻されたステータスを修正しました。
- 物理機能内でFLRを開始する場合の障害インスタンスを修正しました。
- VLANのNC-SI の準拠を有効にするために、INI内のHigh Rate Steeringモードを無効にしました。
- NO-DRAM-NICモードで実行するときに、パフォーマンスの低下を引き起こしたパフォーマンスの問題を修正しました。
- IPv4トラフィックの上のRDPがドロップする原因となったデフォルトのハードウェア構成問題を修正しました。
- ネットワークに対し仮想機能が一時停止フレームを注入するのを回避しました。
- MLNX_OEMコマンドGET_TEMPが、max_tempフィールドに誤った値を返しました。
- メッセージMTUサイズがQP.mtuより大きかったときに、TXトラフィックが停止する原因となった問題を修正しました。
- セクターの数が1に設定され、セクターがゼロにされたときに、NVCONFIGが失敗する原因となった問題を修正しました。
- 重複した "read request from middle" の処理での競合を修正しました。
- SR-IOV VPIでのIBトラフィックの不足の原因となった問題を修正しました。
- TLVに非有効な情報を満たしたときに、NVRAMがスタックする原因となった問題を修正しました。
- APMが、QPのポートマッピングを変更したときに、内部ファームウェアエラーの原因となった問題を修正しました。
- QP代替コンテキストを処理する際に、ファームウェアの内部エラーの原因となった問題を修正しました。
- ソフトウェアが、デバイスのMACアドレスのいずれかに等しいMACアドレスを持つポーズフレームを送信しようとしたときに、パケット送信がスタックする原因となった問題を修正しました。
- NICによりいずれかの種類の0x600により誤ってドロップされたETHパケットを修正しました。
- NC-SIが有効化されている場合に、ポートで高プライオリティブロードキャストルールが検知された後、宛先にブロードキャストトラフィックが到達するのを回避するというケースを修正しました。
- ステアリングルールでRSS QPのアップデートに失敗するという問題を修正しました。
- ポートがInfiniScale IV QDR Switchに対してSDRとして使用される問題を修正しました。
- 読み取りリクエストを再送信したときに発生するBad Opcodeシーケンスステータスの完了エラーのレアケースを修正しました。

- 実際の帯域幅がVM QoSのユーザー設定と一致しないという問題を修正しました。
- ドライバーの初期化中に、BMCへの通信が失われるというレアケースを修正しました。
- リンクが開かない原因となるケーブル読み取りに伴う問題を解決しました。
- 最大EQN数を1024に設定しました。
- 読み取り障害の原因となるVPD initフローに伴う問題を修正しました。
- RXサイズ統計カウンターの問題が報告されない問題を修正しました。
- この第1のRead応答は、暗黙ACKとして処理されませんでした。
- Cisco Nexus3064およびArista-7050Sで長くかかっていた40GbEアップタイムを低減しました。
- A0-DMFS設定との無作為検出モードの互換性を修正しました。
- NC-SIが有効化および構成されているときの無作為検出モードの互換性を修正しました。
- チャネルID 0x1f障害に伴うOEM tempコマンド(set/get)の送信/受信を修正しました。
- 他のポートのインターフェイス状態を変更するときにポート上でパケットがドロップする原因となる問題を修正しました。
- 再起動サイクル中に、長くかかっていた管理通信ロスおよびSOLハングを修正しました。
- 通信ロスの原因となるBMCへのインバウンドトラフィックの不正処理を修正しました。
- ドライバーを介してポートインターフェイスを閉じるときの管理リンクロスを修正しました。
- EEPROM読み取り遅延の下人となるエキスパンダープレゼンスのファームウェアにおける障害表示を修正しました。
- 他のポートからケーブルを取り外したときにポート上でリングダウンする原因となる問題を修正しました。
- 長さゼロのパケットがハードウェアキューでスタックするというレアケースを修正しました。
- InfiniBand輻輳制御パケット(CNP)がハードウェアでハングする原因となる問題を修正しました。
- チャネルリセット後にAENが送信される原因となる問題を修正しました。
- QoS設定が既定に復元され、帯域幅の落ち込みの原因となることを回避する問題を修正しました。
- 10GbEベースのデバイスで不定期に長くかかっていたリンクアップタイムを修正しました。
- i2cスレーブアドレス0x51からのケーブル読み取りを回避する問題を修正しました。
- PMオフリクエスト伝送およびack受け入れフローにおけるデッドロックの可能性を修正しました。
- 不定期な幅低下の原因となるアライメントステートマシンに伴う問題を修正しました。
- 輻輳制御が有効化され稼働している間(EQC/QCN)に送信キューがハングする問題を修正しました。
- 再伝送に伴うRDMA SEN/WRITEトラフィックを稼働しているときに受信するベンダーシンドローム0x77での予測外の作業完了シンドロームを修正しました。
- 無効なLinkSpeedEnabled値を受信したときに、SetPortInfoが良好状態に戻す原因となる問題を修正しました。
- デュアルポートSFPPモジュールカードが自動的にエキスパンダーにマップされる原因となる問題を修正しました。ファームウェアがドライバーにより選択されたステアリングモードを上書きするという問題を修正しました。
- リンクが起動したときに発生する無効な戻り感知結果を修正しました。
- ケーブルを取り外したときに検出が遅延する原因となる問題を修正しました。
- AUTOに設定したときに、リンクタイプがETHとして遅延する原因となる問題を修正しました。
- Wake Upシグナルの2 usグリッチを修正しました。
- IBDumpの稼働時のパフォーマンス低下を修正しました。
- 有効化/無効化テスト中のEQ phase0で不定期に発生するリンクトレイニングタイムアウトです。
- strict帯域幅モードの機能を向上しました。
- PortRcvPktsカウンターが常にゼロ値を表示するという問題を修正しました。
- SecureHostモードでのSETメソッドを用いたGMP MADの処理に伴う問題を修正しました。
- Global Multicastフィルターを構成するときにMCGサイズを不正に使用する原因となる問題を修正しました。
- 不定期に第2ポートのTX障害の原因となる第1ポートを無効にしています。
- 報告されたリンクステータスの不一致を修正しました。スイッチが起動していることが認識されているにもかかわらず、アダプターでは、リンクがダウンしていると報告されています。
- SCM5 Switchブレードに伴う不定期な40GbEリンク障害を修正しました。
- MADでの不正なFDR10速度報告を修正しました。
- QDRに対してFDR10を設定するときにポートが開くのを回避するという問題を修正しました。
- Aristaスイッチに対する不定期なリンク障害を修正しました。
- 最後に認識されたPSNの代わりに、メッセージの第1のPSNから再電送が開始されました。
- インラインファームウェア書き込み中にGeneralInfoMadを受信したときにファームウェアがハングします。
- L1フローの調整およびしきい値のチューニング。
- PERST_ assertion中にまれに発生するハング問題を郵政しました。
- phase3中に不正な係数が報告されました。
- リセットのタイミングが不正な動作の原因となる問題を修正しました。

- ステアリングオプションの欠落を修正しました。
- 長くかかっていたタイムアウト問題を修正しました。
- driver-lessモードでのNVRAM書き込み問題を修正しました。
- auxモードでの40GbEリンクサポートを修正しました。
- 存在しないチャンネルIDでコマンドをドロップしました。
- 拡張速度報告における問題を修正しました。
- トラップ257/8での不正なQP報告を修正しました。
- 誤った不正なq_keyエラーメッセージの原因となる問題を修正しました。
- Pause Frame opcodeの不一致を修正しました。
- PCIeエラー検知における通信ロスを修正しました。
- SELECT/DESELECT PACKAGEコマンドの不正なチャンネル値を修正しました。
- 応答パケットに余分な4バイトが含まれる原因となる問題を修正しました。
- Set Linkをサポートされていない速度で使用しているときに戻される不正な理由コード値を修正しました。
- BMCにより指定された不正なMACアドレスからの保護を追加しました。 PERST_ deassertion後の不正なTXパルスを除去しました。
- SR-IOVが有効化されているときのFLR機能ビットの矛盾を修正しました。
- デバイスがPCIe関連エラーを報告しないという問題を修正しました。
- ConnectX-3からSX6036へのセットアップでリンクがDDRに構成されているときに、SDRリンクが代わりに確立されています。
- VXLANが不正な規定UDPポートを使用しました。UDPポート番号が4789に変更されました。
- VXLANのUDP宛先ポートの不正な設定を修正しました。
- IPMI/NC-SIを有効化してDMSモードに移行するときの内部エラーの原因を修正しました。
- 0.5m FDRケーブルを使用して接続されたFDRカードのバックツープックセットアップでは、リンクがFDRの代わりにFDR10として確立されることがあります。
- PCIレガシー割り込みを伴う作業に関連する問題を修正しました。
- ソフトウェアにより埋め込まれたショートパケットのチェックサム計算が不正です。
- MFTフリントツールを使用した後でPCIe構成スペースを読み取ったため、デバイスがcrashしました。
- IPMIを介した不定期なパケット損失を修正しました。
- MADを開いているEyeで報告された不正な値を修正しました。
- L1状態からのリンクネゴシエーションおよびリンク移行中の不定期なリンク幅低下を修正しました。
- 調整シグナル検知しきい値を修正しました。
- LLRがアクティブの時にPortExtendedSpeedsCounters MADが誤って増加しました。
- TXパラメーターの構成時に、レーンリバーサルが考慮されませんでした。
- Flex- Bootアドレスが指定されたときのROLの工場出荷時MAC使用を修正しました。
- FlexBootアドレスが指定されたときのPauseフレームの工場出荷時MAC使用を修正しました。
- WOL/ROLパケット間でデバイスが違いません。
- 機能しなかったPortInfo MADの一連の拡張フィールドを修正しました。
- theib_128b_llrのMLPNネゴシエーションに準拠してLLRセルサイズを調整しました。
- 最大速度制限がstandbyモードのみでなく完全なpowerモードでもアクティブでした。
- InfiniBand Path移行がGRHで動作しませんでした。 <http://webdev01:8080/commit/ConnectX.git/a9c37ee4c31038f2c1179d4d9e79c9337e0ab5c7>
- MGM書き込み後に読み取ったため、不正な数値カウントを戻しました。
- ドライバーにより指定されたRSSハッシュキーの破損を修正しました。
- QoSレートリミットBWオフセットを修正しました。
- FDR10 speed_en reportingを修正しました。
- 長くかかっていた管理リンク通信ロスを修正しました。
- コマンド結果では、両方のリンクタイプが同時にアクティブであることが報告されています。 phyタイプとポート感知間の衝突を修正しました。 QUERY_HCAコマンドの不正なコアクロック周波数報告を修正しました。
- 56GbEが有効化されているときの不定期なリンク障害を修正しました。
- 最大Eyeマージンをプロトコルに従って修正しました。
- perfqueryでは、ConnectX®-3 VPIモードで不正なエラーシンボルが報告されました: IB、ETH。
- ConnectX-3Pro デュアルポートQDRおよびFDR/FDR10スイッチセットアップ環境では、MC2207312-030 AOCでシンボルエラーが発生することがあります。
- MC2207126-004銅ケーブルでFDRスイッチに接続されたポートConnectX-3ProデュアルポートQDRでシンボルエラーが発生しました。
- LLRが有効なInfiniBand FDRリンクからLLRなしのInfiniBandリンクへ切り替えるときおは、ドライバーの再起動が必要です(例: SwitchX® とGD4036との間)。

- まれに、40GbEに平行検出を実行しているときにアダプターカードのリンクアップが失敗することがあります。
- Automatic Path Migration(APM)では、Alternate Pathからの新しいMGIDがアップデートされませんでした。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.40.5030にアップデートされました。

644161-B21
 644160-B21
 649282-B21
 649281-B21
 649283-B21
 764282-B21
 764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.40.5072にアップデートされました。

764283-B21
 764284-B21
 764285-B21

ファームウェアバージョン2.40.5030での新機能:

- MADセンシングやNCSI/IPMI OEMコマンドに関する温度しきい値の高/低デフォルトを追加しました。
- user_mtuのサイズをファームウェアに示す「set port」 コマンドに新しいコマンドを追加しました。
- ファームウェアが内部QPで受信されたパケットを落としたり、WQEプロセッサーフェッチングを使用不可にすることを確認する保護メカニズムを追加しました。
- イーサネットリンクダウンカウンターを追加しました。
- Ethertypeに基づき、キューを受け取るためのステアリングパケットを有効にしました
- 追加のレート値のサポートを追加しました。
- エラーの原因となる送信 WQE キャッシュ検索の繰り返し数を計算するカウンター。
- Flint ユーティリティでは、ファームウェアイメージの非永続セクションのMD5チェックサムを実行できません。
- PRMを介した新しいパフォーマンスとバックプレッシャーカウンターコマンド(詳しくはPRMを参照してください)
- マルチキャスト/ユニキャストのスニファールールのサポート(詳しくはPRMを参照してください)
- VLANカプセル化のVLANのサポート(詳しくはPRMを参照してください)
- ソフトウェアによるCQ作成オフロード
- rst2rtsコマンドのサポート
- ファームウェアブートステージ中にTLVを無効化
- 無受信バッファによるパケットドロップをカウントするdiag_rprt PRMコマンドのための新しいカウンター
- Ethernet TXライフタイムサイクルコントロールのサポート(Head of Queue)
- イングレス外部ループバックコントロールを可能にする新しいレジスター(PPLR)(詳しくはPRMを参照してください)
- フロー制御パケットでネットワークのフラッディングを防止するために、イングレストラフィックストールを追跡するためのウォッチドッグメカニズム
- トラフィックがなくても一定のトラフィックLED表示の原因となったINIにより制御される新しいLEDスキーム。
- 同じポート上での複数のRoCEモード(RoCE v1+v2)サポートを追加: RoCEモードは、現在接続ごとです。
- QP 接続準備時間を強化するために新しいQPコマンド "INIT2RTS_QP" を追加しました。
- FCSチェックを無効化し、FCSをタイムスタンプで置換するスイッチをサポートしました。
- ダイレクトルートパケットのRX ポートの識別子を追加しました。
- 再送信でRDMA書き込み/送信パフォーマンスが改善されました。
- PRM ACCESS_REGコマンドを使用したファームウェア書き込み/クエリーを有効化しました。
- VAM向けのサポートを追加しました。
- 有効な不良ケーブルEEPROMがドライバーに報告されています。
- Platform Level Data Model(PLDM)サイドバンドプロトコルのサポートを追加しました。

- プライオリティベースA0-DMFSモードのサポートを追加しました(詳しくはPRMを参照してください)。
- ドライバーによるUnicast/Multicastループバック無効化のサポートが追加されました。(詳しくはPRMを参照してください)
- ハッシュ計算からソースIPを削除しました(詳しくはPRMを参照してください)
- 最大2KBまでのインライン受信モードのサポートを追加しました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4デバイス - VMware ESXi 6.5

バージョン: 1.0.0 (推奨)

ファイル名: CP031434.compsig; CP031434.zip

修正

FWバージョン12.18.2030での修正:

- Multihostで双方向トラフィックの10% BW劣化の原因となる問題を修正しました。
- CQEジップングアグレッシブモードタイマーを9000に増加しました。
- IPoIB強化QPをERRまたはRST状態に移動すると、QPCのservice_typeおよびpm_stateが破損します。
- vport状態がトグル (ダウン/アップ) に設定されているときにRoCE IPv4 QPをMCGに添付すると、そのMCGにリストされているQPがトラフィックを受信するのが妨げられます。
- 制限イベントのSRQをアーミングする場合、デバイスは、context_index=0のイベントを発行する場合があります。
- 時々、UD QPをエラー状態からRTSに移動すると、QPが再度エラー状態に入ります。
- IPoIB強化トラフィックでPkeyチェックを実行する場合、Pkeyメンバーシップビットは無視されます。
- トラフィックの送信中にレートリミッターを停止するとアダプターカードがハングすることがあります。
- Privileged Vport egress信号は、Vportが有効でない場合ブロックされません
- InfiniBandでは、PFダイレクトパススルーはサポートされていません(PF FLRがサポートされていないため)
- Set().pkeyでの無効化がない場合、Pkeyチェックが正しく行われません。
- HCA madレスポンスに一致するPkeyではなく受信パケットPkeyを含む原因となる問題を修正しました。
- PCIe Txコンフィギュレーションを変更しました。
- ソフトウェアがECNパラメーター (min_rate、max_rate、rate_to_set_on_first_cnp) の値を>32768に設定するのを防止する問題を修正しました。
- QDR速度までサポートするデバイスに特定の銅ケーブルで接続されている場合、リンク速度がDDRとして立ち上がる問題を修正しました。
- 物理カウンターがリセットするのを防止する問題を修正しました。物理カウンターは最初のドライバー開始にリセットされるようになりました。
- サードパーティーで可能性のあるネゴシエーション問題を修正しました。
- 56GbEリンクがエラーで立ち上がるまれな問題を修正しました。
- modify_scheduling_contextコマンドを実行する場合、フィールドは予約されていますが検証の実行にscheduling_context.element_typeが考慮される問題を修正しました。
- refカウンターはmax_average_bw != 0 (limited) 毎に増加する設計ですが、eSwitch max_average_bw refカウンターはmax_average_bwの設定値に関わらず、TEARDOWN_HCA/ FLR VFで減少する問題を修正しました。
- UEFI 起動サイクル中に、WinPE がロードされている間、まれにシステムが動かなくなることがあります。(OS WinPE、システムDL160)
- untagged および prio-tagged パケットを取得する Single FTE(match_value.vlan_tag = 0 および match_value.vid = 0 にFTEを与えることで)は現在サポートされていません。
- ファームウェアをフラッシュすると、サーバーの再起動が必要になります。ファームウェアは、最初のフラッシュ後、サーバーを再起動していない限り、二度目のフラッシュはできません。
- vportの状態がDOWNでパケットがローカルループバックに送信された場合、sx_snifferツールは機能しません。
- リンクがFDR 1xを起こすときにシンボルエラーとしてバブルが発生するという問題を修正しました。
- Clause 74 Fire-Code FEC が有効である場合、FC_correctable カウンターおよび FC_uncorrectable カウンターが増加する、エラーが修正されたFCがあります。
- 最新のポートオーナーホストがドライバーを再起動した後、いくつかのPort Control Registerは、デフォルト値に戻りません。

- UDPパケットが予約されたUDP宛先ポートを持つときにRXがハングする原因となる問題を修正しました。
- ホストごとのDMACレポートのマッピングを修正しました。
- ファームウェアがハングする原因となるPCIからのEEHエラーを修正しました。
- リンクcontrol2において、PCIe target_link_speedのデフォルト値をGen3に設定しました。
- トラフィックがリンクスピードの0.1%より小さいときにLEDの点滅を妨げるという問題を修正しました。
- VF_LOG_BAR_SIZEのmlxconfig構成が無視され、5(32MB)に設定される問題を修正しました。
- VLウエイト 0でSMを構成し、その上でトラフィックを実行しているときに、一部のVLでアンロード中にドライバが時折ハングする原因となる問題を修正しました。
- Packet-Pacingが有効なときにサーバーがスタンバイモードになると、ファームウェアがハングおよびドライバのコールトレースを引き起こすことがあります。
- 複数の送信元から単一の送信先へのトラフィック送信の場合に予期しないQoS機能の原因となる問題を修正しました。
- WQEフェッチにおけるPCIエラーを受信した時DCにおいてRXトラフィックがしばしば停止する原因に関する問題点を修正しました。
- インテルのITPインジェクションエラーテスト中に発生したOOB接続の問題を修正しました。
- IEEE Auto-Negotiationにおいて、25G FireCode FEC と25G Reed-Solomon FECのビットが逆になっているという問題を解決しました。
- RoCE v2の宛先ポートでUDPパケットが到着して、データがDCトランスポートサービスに一致した時にRXが停止するという問題を解決しました。
- IOPXサマルダイオードが不安定な状態にならないようにする保護機能を追加し、ConnectX-4 Lx 25GE OCP カード上のUEFIのIPv6 PXEブートの失敗を防止しました。
- 物理ポートTLVをポート2に問い合わせおよび書き込むためにシングルポートデバイスに生じる問題を解決しました。
- PCIe Secondary Bus Resetを使用して動作のために mlxfwreset を有効にします。
- 不適切なリンク設定の結果として、リンクのフラッピングが発生する問題を修正しました。
- 有効な Clause91 FEC で 50 G を実行する場合に、間違った整列マーカが使用される問題を修正しました。
- 5 (32 MB) から1 (2MB) までの VF (SR-IOV) の既定のBARのサイズを減らしました。
- FlexBootにレガシー割り込みサポートを追加しました。
- 16GhzでEMIクロスマージンをサポートするためにTX構成を修正しました。
- ビットエラーレートが10G/40Gリンク上で最適ではないことがあります。
- 100G自動ネゴシエーションの間に発生するリンクトレーニングフローの不安定が修正されました。
- RESETにQPを移動し、RTSに戻すときに、コマンドのハングを引き起こすまれな問題を修正しました。
- パケットの喪失シナリオ下のRDMA READ帯域幅が改善されました。
- ibdiagnetツールで必要とされるpnat = 1 in HCA access_regコマンドに対するサポートを追加しました。
- LLDP OCBP応答の修正: 戻り値が現在はasciiです。
- PXEサイクルの間にまれに生じるNMI問題が修正されました。
- ステアリングハッシュテーブルの静的サイズを、128から最大32Kエントリまで増加しました。
- 100Gb/sケーブルの使用中に生じるモジュール温度の誤計算を防止しました (OPN:MFA1A00-Cxxx for 100GbEおよびMFA1A00-Exxx for IB EDR)。
- qkey/pkey違反カウンターをport_info mad経由でリセットしている場合に、デバイスのハングを引き起こす問題が修正されました。
- OCBPレポートのMTUサイズが変更されました。 現在MTUサイズは、パケットヘッダーを含んでいません。
- パイプのバランスをステアリングするUnicast RXステアリングをone hop下げました。
- 50倍以上のポートタイプTLVの非揮発性構成はシステムハングの原因となります。
- Clause 91 RS FEC がアクティブな場合の25G および 50G リンク問題を修正しました。
- 次回のドライバーロードの失敗または送信不能をもたらすFLRのSwitchX キャッシュの存在しない無効化を追加しました。
- Vport カウンターがローカルループバックパケットを計算できなかった問題を修正しました。 現在パケットは、セルフループバック防止によりフィルタリングされています
- INTxがPowerKVM上でPFパススルーを可能にすることを未サポートと報告しました。
- SR-IOVイーサネットは、ポートにつき最大18 VFをサポートします。
- VportカウンターはVportを横切るトラフィックのみをカウントする必要があるが、ローカル (内部) ループバックパケットがVportカウンターによりカウントされることを許すことを修正しました。
- 不適切なドライバーアンロードの後、ドライバーのロードまたはリポート時のTXトラフィック送信を妨げる問題を修正しました。
- ステアリング API前のBMC MAC のキャストリングを修正しました。

- PCI MTUを考慮するためにPCI書き込みフローを修正しました。この修正はフローの中のNOPの必要性を排除し、PPCでのさらに大きなPCI MTUとなります。
この読み取りに対するシングルキュー制限は、与えられた時間内の読み取り要求数のハードウェア限度によるものです。
- Connect-IB または ConnectX-4 HCA上で有効化された「ラージバー」(4Gデコーディング上)で実行するシステムで期待通りにFlexBoot が動作しないことがあるケースを修正しました。
- 単一ポートNIC用PLDMサポートを修正しました。現在、ポートの関連センサー/状態は、単一ポートに対してのみ報告されます。

拡張

ファームウェアバージョン12.18.2030:

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1-port 840QSFP28アダプター)

825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2-port 840QSFP28アダプター)

バージョン12.18.2030の新機能および変更:

- SFP内で論理リンクインジケータをBaseTモジュールを追加し、ピアポートがダウンしている場合は論理リンクを無効にしました。
- 25GbE SFP光学モジュールでの10GbEサポートを追加しました。
- mlxlinkツールがPHYリンクステータスのデータを収集し、リンクダウンの理由とリンクに関連した追加の情報を提供できるようにします。
- イーサネットでのリンクトレーニング中のTXコンフィギュレーションレスポンスおよび動きを有効にしました。
- レーンレート12.89Gbのサポートを追加しました。
- パケットが転送せずにトラフィッククラス (TC) 転送キューの先頭にいる時間を制限します。古いパケットは破棄されます。デフォルトでTCはリンクレベルフロー制御に従うようになっています。
- UARページサイズは現在4KBに設定されていて、システムページのサイズが決定するものではありません。
- 以下のパフォーマンスを改善しました:
 - ユーザーアクセスリージョン(UAR)からのドアベル
 - ユーザーアクセスリージョン(UAR)からの割り込みのクリア
- 追加のトランスポートカウンターのサポートを追加しました。
- DCでのODPのサポートを追加しました。
- DC用に送信されたパケットでのスキッター・ツー・CQEを有効にしました。
- CQ modifyコマンドでのモデレーション期間変更を有効にしました。
- SR-IOVにおけるvportごとの最小/最大レート制限に関するサポートを追加しました。
- UEFIシェルとOS間のネットワークトラフィックを有効にしました。
- PFが自身のVFのRoCEを強制無効化できるようにしました。
- 2つの新しいアクセスレジスタを追加しました。
 - 管理機能マスキレジスタ
 - ポート機能マスキレジスタフィールド
 詳しくは、PRMを参照してください。
- VNICがそのローカルループバックトラフィックの有効/無効を制御できるようにしました。
- 受信RDMAフローテーブルをオープンし、RoCEトラフィックを宛先QPIに転送するオプションを追加しました。
- マルチホスト LIDベースのルーティングのサポートを追加します。この機能は次の属性を持つ新しいOpenSMを必要とします。(v4.7.1 以上で MLNX_OFED 3.3-2.0.0.0に付随)
 - qos TRUE
 - lmc 2(ファブリックにquadホストがなければ、lmcを1に設定できます)
 - virt_enabled 2 注: マルチホストLIDベースのルーティングはINIのみによって構成されます。デフォルトは0です。
- 耐障害性RoCEとは不可逆なネットワーク(フローコントロールが可能になっていないネットワーク)上でフローコントロールを可能にする必要なくRoCEにトラフィックを送る機能です。この機能はスイッチとホストの両方でECNを可能にすることにより、実現されます。
- L3/L4ヘッダーに基づく、Multi PF Switch layer(MPFS)におけるロードバランシングを可能にします。
- 同じHCAを使用する別々のホスト間の分離を可能にしました。すべてのホストはリブートができ、ドライバーは停止することができ、FLR信号は個別に送ることが可能です。

- PFごとのVFの数を64から95に増やしました。注: VF数を増加させる場合は、次の制限を考慮してください:
 $server_total_bar_size \geq (num_pfs) * (2log_pf_uar_bar_size + 2log_vf_uar_bar_size * total_vfs)$
 $server_total_msix \geq (num_pfs) * (num_pf_msix + num_vfs_msix * total_vfs)$ 注: ドライバーによりサポートされたVFの最大数に関しては、ドライバーのリリースノートかユーザーマニュアルを参照してください。
- [InfiniBandのみ] SR-IOV/マルチホスト環境における複数のVLに関するサポートを追加しました。注: VLの数はNVCONFIGによって構成することができます。デフォルトのVL数は4VLです。
- InfiniBandにおけるQPLレート制限に関するサポートを追加しました。
- ポートフラップカウンターに関するサポートを追加しました。
- パフォーマンスを向上させるためにすべての入力でバッファサイズを制限します。KSMはKey Length My Virtual Address (KLMs) を固定メモリサイズとするために使用されます。
- この入力(null_mkey) は現存しないKLM/KSM入力を示すために用いられます。それにアクセスすると、デバイスにページフォールトイベントを発生させます。
- PLDM ファームウェアはDMTF spec DSP0267 (draft 9)に基づきます。この機能はMCTPに関するPLDM protocol (over PCIe)を用いて、ファームウェアや拡張ROMイメージのアップグレードを可能にします。そうすることにより、サポートBMCはOSベースのツールを使用することなくファームウェアの問い合わせとアップグレードを行うことができます。
- 新しい物理レイヤー統計カウンターグループを追加しました。新しいグループはBERカウンター、FECエラーコレクション、クリアタイムそして追加の物理レイヤカウンターを含みます。詳しくは、『イーサネットアダプタープログラミングマニュアル(PRM)』を参照してください。
- ユーザーが時間無制限で特定のリンクをアップした状態に設定することを可能にします。このモードは3つの状態を持ちます。
 - Aux power(スタンバイ)
 - Reboot/boot/driver unloaded -サーバーがアクティブでドライバーがアップされていない
 - Driver is up - 少なくとも1つのドライバーがアップされている(init HCAと終了またはFLRの間の時間)
- ユーザーアクセスリージョン(UAR)からのDoorbellに関するサポートを追加しました。
- [ベータ] SR-IOVにおける機能ごとの最大レート制限に関するサポートを追加しました。
- ユーザーが、受信ポートが利用できないとき(停止状態にある)にアダプターカードにxの後の停止の送信を止めるように構成させることを許可します。
- [ベータ] 新しいパフォーマンスカウンターに関するサポートを追加しました。
- DCBX は、ピアに直接接続される構成情報を交換するDCBデバイスにより使用されます。DCBX では、2つのリンクピア間のパラメーターを交換するために Link Layer Discovery Protocol (LLDP)を使用します。詳しくは、PRMを参照してください。
- ドライバーがリスタートしたまたはホストがリブートされた時に、ネットワークポートレジスターがデフォルト値に戻ることを許可します。
- ネットワークリンクアップモードを追加しました。新しいモードはネットワークリンクをいつ上げるかを決定します。新しいモード:
 - keep_eth_link_up
 - keep_ib_link_up
 - keep_link_up_on_boot
 - keep_link_up_on_standby
- [Beta] Explicit Congestion Notification(ECN)は、インターネットプロトコルおよび伝送制御プロトコルへの拡張機能です。ECN では、パケットが低下することなくネットワーク輻輳のエンドツーエンド通知が可能になります。
- PFごとのVFの数を32から64に増やしました。注: VF数を増加させる場合は、次の制限を考慮してください:
 $server_total_bar_size \geq (num_pfs) * (2log_pf_uar_bar_size + 2log_vf_uar_bar_size * total_vfs)$
 $server_total_msix \geq (num_pfs) * (num_pf_msix + num_vfs_msix * total_vfs)$
- [Beta] RoCE Link Aggregationは、フェイルオーバーおよびリンクの集約機能を提供します。このモードでは、2つの物理ポートがあり、アプリケーション層に露出している1つのIBポートです。詳しくは、PRMを参照してください。
- Mellanox Accelerated Switching And Packet Processing(ASAP2)Directテクノロジーにより、修正されていないOVS control-planeを維持しつつ、Mellanox ConnectX-4/ConnectX-4 Lx NICハードウェア(Mellanox Embedded SwitchまたはeSwitch)のOVS data-planeを処理することで、OVSをオフロードできるようになります。ASAP2 Direct でサポートされる現在のアクションには、VLAN push/pop またはVXLAN encap/decap に伴うパッシング、マッチング、フォーワード、ドロップ、およびパケット/バイトベースのHW フロー統計が含まれています。
- Virtual Extensible LAN (VXLAN) は、大規模クラウドコンピューティングの設置に関連するスケラビリティの問題を改善するネットワーク仮想化テクノロジーです。Ethernet + IP + UDP フレーム内のEthernet

フレームをトンネリングします。 Mellanox では、ハードウェアのVXLAN カプセル化および非カプセル化を実装します。

- [Beta] DCBX は、ピアに直接接続される構成情報を交換するDCBデバイスにより使用されます。 DCBX では、2つのリンクピア間のパラメーターを交換するために Link Layer Discovery Protocol (LLDP)を使用します。 詳しくは、PRMを参照してください。
- ユーザーは、Frame Check Sequence (FCS) をスキップするか、またはFCS機能をチェックするかどうか制御できます。
- [Beta] Send Queues (SQ/ Send queue of QP) では、特定のSW定義フローで徐々にレートを管理できるよう、個別にレートを制限できます。 レート制限フローでは、転送レートが評価されたり、次のパケットが転送に合わせて計画される前に、いくつかのパケットを転送できます。
- デバイスがSerDes チューニング目的で異なるPRBS パターンを作成できる新しいPHYテストモード。 詳しくは、PRMレジスタ:PPAOS、PPTT、PPRT を参照してください。
- PCIを介したMCTPホスト管理のサポートを追加しました
- mlxfwreset後のOCBB/OCSDメモリーポインター復元のサポートを追加しました。
- SMBUSおよびPCI間のMCTPメディア移行のサポートを追加しました。
- VPD読み取り専用タグにv1、v3、v6タグを追加しました。
- IPoIBチェックサムおよびLSOオフロードサポートを追加しました。
- ソフトウェアによるRQのFCSを分散またはストリップを可能にします。
- パケットの作成を記録します。 タイムスタンプサービスは、データが特定の時間以前に存在していた証拠のアサーションをサポートします。
- イーサネットリンクの特定クラスのトラフィックに一時停止機能を適用します。
- カスタムポートカウンターは、RDMA 送信/受信の統計およびエラーに関する明確な指示をユーザーに提供します。
- Link Layer Discovery Protocol(LLDP)は、インターネットプロトコルスイートにおけるベンダー中立型のリンクレイヤープロトコルで、ネットワークデバイスがIEEE 802 LAN上でその識別、機能、および近隣ノード情報を伝達するために使用されます。 このプロトコルは、IEEE 802.1ABで正式に定義されています。
- 現在、ConnectX-4アダプターでは、10GigE、25GigE、40GigE、50GigE、100GigEに加えて、1Gb/sおよび56GbEイーサネット接続をサポートしています。
- フローステアリングの統計とエラーの明確な指示を提供します。
- WQEのEth Segment内にインライン化されているパケットヘッダーの最小量です。
- フローテーブルには、すべてのマッチフィールドワイルドカードを表示するテーブルミスフローエントリーが含まれることがあります。 パケットとフローテーブル内のフローエントリーが一致しないと、テーブルミスになります。 テーブルミスの動作は、テーブル構成によって異なります。 フローテーブル内のテーブルミスフローエントリーでは、不一致のパケットを処理する方法を指定できます。
- アダプターPCIeインターフェイスを複数かつ独立したPCIeインターフェイスに分割することにより、複数のコンピュータまたはストレージホストを単一のインターコネクトアダプターに接続することができるようになります。
- Single Root IO Virtualization (SR-IOV) - 物理的なPCIeデバイスがPCIeバスを介してそれ自体を複数回提示することを可能にする技術。
- オフロードにHCAを使用し、コーディング計算を確実に行います。
- アップグレードするファームウェアに管理者がタイムスタンプを追加できるようにし、ひとつのホストがファームウェアのアップグレードを試行し、別のホストがダウングレードを試行する、というような状況を回避します。これは、複数の不要なサーバーリブートが必要になる原因となります。 詳細については、MFT ユーザーマニュアルを参照してください。
- 変更に含まれるのは以下:
 1. リンク再トレーニング (スピードなど)に必要なポート構成を変更しました。
 2. PAOS ダウン。
 3. PAOSアップ。この変更は有効にするためのトグルへのリンクと新しい構成を生じます。この変更は有効にするためのトグルへのリンクと新しい構成を生じます。
- Flint ユーティリティでは、ファームウェアイメージの非永続セクションのMD5チェックサムを実行できます。 詳細については、MFTユーザーマニュアルを参照してください。
- Electromagnetic Induction (EMI)コンプライアンスのためのTX信号の整合性を改善しました。 Rev. 12
- Large Receive Offload(LRO)
- Large Send Offload(LSO)
- Receive-Side Scaling(RSS)
- Global Pause
- RoCEv1.0/RoCEv2.0
- フローステアリング

- スニファイサネット
- レートリミッター(ベータレベル)
- マルチパケットWQE
- 最小帯域幅保証(ETS)
- Explicit Congestion Notification(ECN)
- Priority Flow Control (PFC)
- PCIe Function Level Reset(FLR)
- 電源管理L2/L3フローサポート
- セルフループバックサポート
- 伝送ドメインサポート
- CQ2EQ再マッピング
- 下記のコマンドのサポートを追加しました:
- MODIFY/QUERY_ESW_VPORT_CONTEXT
- QUERY/MODIFY_CONG_STATUS
- QUERY/MODIFY_CONG_PARAMS
- QUERY_CONG_STATISTICS
- ADD/DELETE_VXLAN_UDP_DPORT
- VXLAN/NVGREステートレスオフロード。このリリースでは、この機能はWindows経由でのみサポートされています。
- SR-IOV EN(ベータレベル)
- CQE Zip圧縮
- Dynamically Connected(DC)伝送
- Wake-on-Lane/Standby
- FlexBoot/UEFIサポート
- 光学モジュール熱感知サポート
- PLDMコマンドサポート
- Clause 73(DME)のネゴシエーション中の堅牢性の向上
- 非揮発性構成(NVConfig)。完全なリストについては、
- ポート管理を有効化。現在、ひとつのポートをEthernetとして設定し、ひとつをInfiniBandとして設定できるようになりました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64) for HPE Infiniband FDR 2P 545QSFPアダプター (HP部品番号702211-B21)、 HPE Infiniband FDR 2P 545FLR-QSFP アダプター (HP部品番号702212-B21) および HPE Infiniband FDR 2P 545M アダプター(HP部品番号702213-B21)

バージョン: 1.0.6 (推奨)

ファイル名: firmware-hca-mellanox-infiniband-only-1.0.6-1.1.x86_64.compsig; firmware-hca-mellanox-infiniband-only-1.0.6-1.1.x86_64.rpm

修正

ファームウェアバージョン10.16.1058で、以下の問題を解決しました。:

- SR-IOVを有効にするとシステムのエラーとなる問題を修正しました。
- SRQ制限イベントがトリガーされるとRXがハングするまれな問題を修正しました。
- WQEフェッチにおけるPCIエラーを受信した時DCにおいてRXトラフィックがしばしば停止する原因に関する問題点を修正しました。
- VF_LOG_BAR_SIZEのmlxconfig構成が無視され、5(32MB)に設定される問題を修正しました。
- ファームウェアがハングする原因となるPCIからのEEHエラーを修正しました。
- VLウエイト 0でSMを構成し、その上でトラフィックを実行しているときに、一部のVLでアンロード中にドライバが時折ハングする原因となる問題を修正しました。
- 再送信が起これRXが同じパケットを2回受け取るというケースでDCトランスポートが有効の場合に、アサートがドライバにレポートされる原因となったまれなケースを修正しました
- VFのGUID構成がステアリングテーブルで過負荷のときにVFのvportを有効化/無効化すると、HCAがハングする原因となる問題を修正しました。

ファームウェアバージョン10.16.1038で、以下の問題を解決しました。 :

- RSODバグを修正しました。
- 物理ポートTLVをポート2に問い合わせおよび書き込むためにシングルポートデバイスに生じる問題を解決しました。
- qkey/pkey違反カウンターをport_info mad経由でリセットしている場合に、デバイスのハングを引き起こす問題が修正されました。
- パケットの喪失シナリオ下のRDMA READ帯域幅が改善されました。
- PFドライバーまたはツール (例えば、 ethtool) がPAOS DOWNコマンド (例えば、 ifconfig downまたはip link set down) を使用している場合、ループバックトラフィックは、このポート (PF <->VFs / VF <->VF) 上のすべての機能をブロックします。
マルチホスト ループバックでは、このトラフィックは、ファームウェアがすべてのPFからPAOS downコマンドを受け取ると、ブロックされます。しかし、ループバックトラフィックは、物理リンクが原因でダウンする場合にはブロックされません(例えば:ケーブルのプラグ外れ、スイッチポートがダウン)。
- memopマシンへ渡されるリザーブlkeyのQP許可を妨げた問題を修正しました。
- WQEのSLがQPのSLと異なっていた際に発生したMLX QP SLの不一致の処理を修正しました。
- 誤ったSM SL2VL構成の実装を修正しました。
- いくつかのケースで不適切な完了が送信されたDC再接続フローを修正しました。
- DCI SQからDCR SQを分離することでDCのパフォーマンス問題を修正しました。
- ibdiagnetを実行するときにファームウェアのハングを引き起こす問題を修正しました。受信されたDiagData MADには以下の数値が含まれていました。
 - Clear_all = 1
 - PageNum = 0
 - Port_select = 0ファームウェアがハングしないようにするためには、ポートチェックをSet()に追加しました。
- ibdumpを実行する時のハードウェアの致命的エラーの原因となる問題点を修正しました。
- ハードウェア速度からPRM速度への2度の変換機能の使用により、誤ったFDR10速度表示が報告された問題を修正しました。
- ポートの次の状態が無効だった時の物理マネージャーPCSイベント処理を修正しました。
- EyeOpening MADにより返された不正なデータの原因となる問題点を解決しました。
- VFに関するVF ICMフットプリントを削減しました。
- 正規のメモリ領域の数を2²¹から2²²へ増やしました。
- 連続する接続パケットの不適切な扱いを修正しました。
- まれなケースにおいて、PXEのブートの後にポートの速度はより速い速度の代わりにSDRとして到着しました。
- 非常にまれなケースにおいて、ファームウェアはボードの温度超過警告を誤って報告しました。
- DCT ポートがダウンしている間に、destroy-DCTコマンド操作は遅延を経験する場合があります。
- 診断カウンターがVS-MADページを誤ったアドレスでスタートするようにオフセットさせるという問題を解決しました。
- no-local-DC-resourcesのイベントにおいて安定性上の問題を解決しました。
- 複数のDCTエラーの不適切な操作の問題を解決しました。
- DC RNR の状態の悪い操作の問題を解決しました。
- DCTのdestroy firmware handling timeを削減しました。
- LLRがアクティブの時に起こったリンクフラップの問題を解決しました。
- 廃止されたコード0x0c0600は0x020700に変更されました (InfiniBandネットワークアダプター)。
- アトミックの応答エンディアンは常にビッグなエンディアンです。
- **[PRM v2.01のドキュメント修正、ファームウェアコードの修正はなし。]**
ポート非同期イベントのドキュメントはPRMとは異なります。全てのポートのイベントは0x9というタイプ値を持っています。
次のサブタイプ値が下記のイベントで使用されています。
 - link down=0x1
 - link up=0x4
 - link initialized=0x5
 - lid change=0x6
 - PKEY change=0x7
 - GUID change=0x8
 - client reregister=0x9

- Alternate Path Migration (APM)は、パスの移行に失敗した場合、1つの関連する非同期エラーイベントだけを起こします。
- 信頼性の高い接続 (RC) QPを作成するときに、0x5のmin_rnr_nak値を使用すると、障害の原因となります。
- まれに、DC Initiator完了が失われる可能性があります。
- 次の署名ルールはサポートされていません。(PRMでの「署名ルールテーブル」に基づく番号付け)
 - Rule #12: T10 DIF
 - Rule #13: T10 DIF CS
 - Rule #14 T10 DIF CS
- VLアービトレーション構成はVLとして構成された最小帯域幅を保証しませんでした。
- ごくまれに、誤ったファームウェア「hanged(停止)」レポートがdmesgに出力されました。
- CQバッファサイズ変更がサポートされていません。
- InfiniScaleファミリースイッチおよび非Mellanox InfiniBandスイッチへ接続する場合、DDRおよびQDR速度が回線エラーを報告することがあり、場合によってはSDR速度にダウングレードすることがあります。

拡張

次のデバイス対応ファームウェアが**10.16.1038**にアップデートされます:

702211-B21 (HP Infiniband FDR 2P 545QSFPアダプター)

702212-B21 (HP Infiniband FDR 2P 545FLR-QSFPアダプター)

次のデバイス対応ファームウェアが**10.16.1058**にアップデートされます:

702213-B21 (HP Infiniband FDR 2P 545Mアダプター)

ファームウェアバージョン**10.16.1038**での新機能:

- PFごとのVFの数を32から64に増やしました。
注:VF数の増加では、以下の制限を考慮する必要があります。
 - $server_total_bar_size \geq (num_pfs) * (2log_pf_uar_bar_size + 2log_vf_uar_bar_size * total_vfs)$
 - $server_total_msix \geq (num_pfs) * (num_pf_msix + num_vfs_msix * total_vfs)$
- VPD読み取り専用タグにv1、v3、v6タグを追加しました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4デバイス - Linux x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.1 (推奨)

ファイル名: firmware-hca-mellanox-vpi-connectx4-1.0.1-1.1.x86_64.compsig; firmware-hca-mellanox-vpi-connectx4-1.0.1-1.1.x86_64.rpm

修正

FWバージョン**12.18.2030**での修正:

- Multihostで双方向トラフィックの10% BW劣化の原因となる問題を修正しました。
- CQEジッピングアグレッシブモードタイマーを9000に増加しました。
- IPoIB強化QPをERRまたはRST状態に移動すると、QPCのservice_typeおよびpm_stateが破損します。
- vport状態がトグル (ダウン/アップ) に設定されているときにRoCE IPv4 QPをMCGに添付すると、そのMCGにリストされているQPがトラフィックを受信するのが妨げられます。
- 制限イベントのSRQをアーミングする場合、デバイスは、context_index=0のイベントを発行する場合があります。
- 時々、UD QPをエラー状態からRTSに移動すると、QPが再度エラー状態に入ります。
- IPoIB強化トラフィックでPkeyチェックを実行する場合、Pkeyメンバーシップビットは無視されます。
- トラフィックの送信中にレートリミッターを停止するとアダプターカードがハングすることがあります。
- Privileged Vport egress信号は、Vport が有効でない場合ブロックされません
- InfiniBandでは、PFダイレクトパススルーはサポートされていません(PF FLRがサポートされていないため)
- Set().pkeyでの無効化がない場合、Pkeyチェックが正しく行われません。

- HCA madレスポンスに一致するPkeyではなく受信パケットPkeyを含む原因となる問題を修正しました。
- PCIe Txコンフィギュレーションを変更しました。
- ソフトウェアがECNパラメーター (min_rate、max_rate、rate_to_set_on_first_cnp) の値を>32768に設定するのを防止する問題を修正しました。
- QDR速度までサポートするデバイスに特定の銅ケーブルで接続されている場合、リンク速度がDDRとして立ち上がる問題を修正しました。
- 物理カウンターがリセットするのを防止する問題を修正しました。物理カウンターは最初のドライバー開始にリセットされるようになりました。
- サードパーティーで可能性のあるネゴシエーション問題を修正しました。
- 56GbEリンクがエラーで立ち上がるまれな問題を修正しました。
- modify_scheduling_contextコマンドを実行する場合、フィールドは予約されていますが検証の実行にscheduling_context.element_typeが考慮される問題を修正しました。
- refカウンターはmax_average_bw != 0 (limited) 毎に増加する設計ですが、eSwitch max_average_bw refカウンターはmax_average_bwの設定値に関わらず、TEARDOWN_HCA/ FLR VFで減少する問題を修正しました。
- UEFI 起動サイクル中に、WinPE がロードされている間、まれにシステムが動かなくなることがあります。(OS WinPE、システムDL160)
- untagged および prio-tagged パケットを取得する Single FTE(match_value.vlan_tag = 0 および match_value.vid = 0 にFTEを与えることで)は現在サポートされていません。
- ファームウェアをフラッシュすると、サーバーの再起動が必要になります。ファームウェアは、最初のフラッシュ後、サーバーを再起動していない限り、二度目のフラッシュはできません。
- vportの状態がDOWNでパケットがローカルループバックに送信された場合、sx_snifferツールは機能しません。
- リンクがFDR 1xを起こすときにシンボルエラーとしてバブルが発生するという問題を修正しました。
- Clause 74 Fire-Code FEC が有効である場合、FC_correctable カウンターおよび FC_uncorrectable カウンターが増加する、エラーが修正されたFCがあります。
- 最新のポートオーナーホストがドライバーを再起動した後、いくつかのPort Control Registerは、デフォルト値に戻りません。
- UDPパケットが予約されたUDP宛先ポートを持つときにRXがハングする原因となる問題を修正しました。
- ホストごとのDMACレポートのマッピングを修正しました。
- ファームウェアがハングする原因となるPCIからのEEHエラーを修正しました。
- リンクcontrol2において、PCIe target_link_speedのデフォルト値をGen3に設定しました。
- トラフィックがリンクスピードの0.1%より小さいときにLEDの点滅を妨げるという問題を修正しました。
- VF_LOG_BAR_SIZEのmlxconfig構成が無視され、5(32MB)に設定される問題を修正しました。
- VLウエイト 0でSMを構成し、その上でトラフィックを実行しているときに、一部のVLでアンロード中にドライバーが時折ハングする原因となる問題を修正しました。
- Packet-Pacingが有効なときにサーバーがスタンバイモードになると、ファームウェアがハングおよびドライバーのコールトレースを引き起こすことがあります。
- 複数の送信元から単一の送信先へのトラフィック送信の場合に予期しないQoS機能の原因となる問題を修正しました。
- WQEフェッチにおけるPCIエラーを受信した時DCにおいてRXトラフィックがしばしば停止する原因に関する問題点を修正しました。
- インテルのITPインジェクションエラーテスト中に発生したOOB接続の問題を修正しました。
- IEEE Auto-Negotiationにおいて、25G FireCode FEC と25G Reed-Solomon FECのビットが逆になっているという問題を解決しました。
- RoCE v2の宛先ポートでUDPパケットが到着して、データがDCトランスポートサービスに一致した時にRXが停止するという問題を解決しました。
- IOPXサーマルダイオードが不安定な状態にならないようにする保護機能を追加し、ConnectX-4 Lx 25GE OCP カード上のUEFIのIPv6 PXEブートの失敗を防止しました。
- 物理ポートTLVをポート2に問い合わせおよび書き込むためにシングルポートデバイスに生じる問題を解決しました。
- PCIe Secondary Bus Resetを使用して動作のために mlxfwreset を有効にします。
- 不適切なリンク設定の結果として、リンクのフラッピングが発生する問題を修正しました。
- 有効な Clause91 FEC で 50 G を実行する場合に、間違った整列マーカが使用される問題を修正しました。
- 5 (32 MB) から1 (2MB) までの VF (SR-IOV) の既定のBARのサイズを減らしました。
- FlexBootにレガシー割り込みサポートを追加しました。
- 16GhzでEMIクロスマージンをサポートするためにTX構成を修正しました。

- ビットエラーレートが10G/40Gリンク上で最適ではないことがあります。
- 100G自動ネゴシエーションの間に発生するリンクトレーニングフローの不安定が修正されました。
- RESETにQPを移動し、RTSに戻すときに、コマンドのハングを引き起こすまれな問題を修正しました。
- パケットの喪失シナリオ下のRDMA READ帯域幅が改善されました。
- ibdiagnetツールで必要とされるpnat = 1 in HCA access_regコマンドに対するサポートを追加しました。
- LLDP OCBB応答の修正: 戻り値が現在はasciiです。
- PXEサイクルの間にまれに生じるNMI問題が修正されました。
- ステアリングハッシュテーブルの静的サイズを、128から最大32Kエントリーまで増加しました。
- 100Gb/sケーブルの使用中に生じるモジュール温度の誤計算を防止しました (OPN:MFA1A00-Cxxx for 100GbEおよびMFA1A00-Exxx for IB EDR)。
- qkey/pkey違反カウンターをport_info mad経由でリセットしている場合に、デバイスのハングを引き起こす問題が修正されました。
- OCBBレポートのMTUサイズが変更されました。 現在MTUサイズは、パケットヘッダーを含んでいません。
- パイプのバランスをステアリングするUnicast RXステアリングをone hop下げました。
- 50倍以上のポートタイプTLVの非揮発性構成はシステムハングの原因となります。
- Clause 91 RS FEC がアクティブな場合の25G および 50G リンク問題を修正しました。
- 次回のドライバーロードの失敗または送信不能をもたらすFLRのSwitchX キャッシュの存在しない無効化を追加しました。
- Vport カウンターがローカルループバックパケットを計算できなかった問題を修正しました。 現在パケットは、セルフループバック防止によりフィルタリングされています
- INTxがPowerKVM上でPFパススルーを可能にすることを未サポートと報告しました。
- SR-IOVイーサネットは、ポートにつき最大18 VFをサポートします。
- VportカウンターはVportを横切るトラフィックのみをカウントする必要があるが、ローカル (内部) ループバックパケットがVportカウンターによりカウントされることを許すことを修正しました。
- 不適切なドライバーアンロードの後、ドライバーのロードまたはリポート時のTXトラフィック送信を妨げる問題を修正しました。
- ステアリング API前のBMC MAC のキャストリングを修正しました。
- PCI MTUを考慮するためにPCI書き込みフローを修正しました。 この修正はフローの中のNOPの必要性を排除し、PPCでのさらに大きなPCI MTUとなります。
この読み取りに対するシングルキュー制限は、与えられた時間内の読み取り要求数のハードウェア限度によるものです。
- Connect-IB または ConnectX-4 HCA上で有効化された「ラジバー」 (4Gデコーディング上)で実行するシステムで期待通りにFlexBoot が動作しないことがあるケースを修正しました。
- 単一ポートNIC用PLDMサポートを修正しました。 現在、ポートの関連センサー/状態は、単一ポートに対してのみ報告されます。

拡張

ファームウェアバージョン12.18.2030:

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1-port 840QSFP28アダプター)

825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2-port 840QSFP28アダプター)

バージョン12.18.2030の新機能および変更:

- SFP内で論理リンクインジケーターをBaseTモジュールを追加し、ピアポートがダウンしている場合は論理リンクを無効にしました。
- 25GbE SFP光学モジュールでの10GbEサポートを追加しました。
- mlxlinkツールがPHYリンクステータスのデータを収集し、リンクダウンの理由とリンクに関連した追加の情報を提供できるようにします。
- イーサネットでのリンクトレーニング中のTXコンフィギュレーションレスポンスおよび動きを有効にしました。
- レーンレート12.89Gbのサポートを追加しました。
- パケットが転送せずにトラフィッククラス (TC) 転送キューの先頭にいる時間を制限します。 古いパケットは破棄されます。 デフォルトでTCはリンクレベルフロー制御に従うようになっています。
- UARページサイズは現在4KBに設定されていて、システムページのサイズが決定するものではありません。
- 以下のパフォーマンスを改善しました:
 - ユーザーアクセスリージョン(UAR)からのドアベル

- ユーザーアクセスリージョン(UAR)からの割り込みのクリア
- 追加のトランスポートカウンターのサポートを追加しました。
- DCでのODPのサポートを追加しました。
- DC用に送信されたパケットでのスキャッター・ツー・CQEを有効にしました。
- CQ modifyコマンドでのモデレーション期間変更を有効にしました。
- SR-IOVにおけるvportごとの最小/最大レート制限に関するサポートを追加しました。
- UEFIシェルとOS間のネットワークトラフィックを有効にしました。
- PFが自身のVFのRoCEを強制無効化できるようにしました。
- 2つの新しいアクセスレジスタを追加しました。
 - 管理機能マスクレジスター
 - ポート機能マスクレジスターフィールド
 詳しくは、PRMを参照してください。
- VNICがそのローカルループバックトラフィックの有効/無効を制御できるようにしました。
- 受信RDMAフローテーブルをオープンし、RoCEトラフィックをある宛先QPに転送するオプションを追加しました。
- マルチホスト LIDベースのルーティングのサポートを追加します。この機能は次の属性を持つ新しいOpenSMを必要とします。(v4.7.1 以上で MLNX_OFED 3.3-2.0.0.0に付随)
 - qos TRUE
 - lmc 2(ファブリックにquadホストがなければ、lmcを1に設定できます)
 - virt_enabled 2 注: マルチホストLIDベースのルーティングはINIのみによって構成されます。デフォルトは0です。
- 耐障害性RoCEとは不可逆なネットワーク(フローコントロールが可能になっていないネットワーク)上でフローコントロールを可能にする必要なくRoCEにトラフィックを送る機能です。この機能はスイッチとホストの両方でECNを可能にすることにより、実現されます。
- L3/L4ヘッダーに基づく、Multi PF Switch layer(MPFS)におけるロードバランシングを可能にします。
- 同じHCAを使用する別々のホスト間の分離を可能にしました。すべてのホストはリブートができ、ドライバーは停止することができ、FLR信号は個別に送ることが可能です。
- PFごとのVFの数を64から95に増やしました。注: VF数を増加させる場合は、次の制限を考慮してください:

$$\text{server_total_bar_size} \geq (\text{num_pfs}) * (2 \log_{\text{pf_uar_bar_size}} - \text{size} + 2 \log_{\text{vf_uar_bar_size}} * \text{total_vfs})$$

$$\text{server_total_msix} \geq (\text{num_pfs}) * (\text{num_pf_msix} + \text{num_vfs_msix} * \text{total_vfs})$$
 注: ドライバーによりサポートされたVFの最大数に関しては、ドライバーのリリースノートかユーザーマニュアルを参照してください。
- [InfiniBand のみ] SR-IOV/マルチホスト環境における複数のVLに関するサポートを追加しました。注: VLの数はNVCONFIGによって構成することができます。デフォルトのVL数は4VLです。
- InfiniBandにおけるQPLレート制限に関するサポートを追加しました。
- ポートフラップカウンターに関するサポートを追加しました。
- パフォーマンスを向上させるためにすべての入力でバッファサイズを制限します。KSMIはKey Length My Virtual Address (KLMs) を固定メモリサイズとするために使用されます。
- この入力(null_mkey) は現存しないKLM/KSMI入力を示すために用いられます。それにアクセスすると、デバイスにページフォールトイベントを発生させます。
- PLDM ファームウェアはDMTF spec DSP0267 (draft 9)に基づきます。この機能はMCTPに関するPLDM protocol (over PCIe)を用いて、ファームウェアや拡張ROMイメージのアップグレードを可能にします。そうすることにより、サポートBMCはOSベースのツールを使用することなくファームウェアの問い合わせとアップグレードを行うことができます。
- 新しい物理レイヤー統計カウンターグループを追加しました。新しいグループはBERカウンター、FECエラーコレクション、クリアタイムそして追加の物理レイヤカウンターを含みます。詳しくは、『イーサネットアダプタープログラミングマニュアル(PRM)』を参照してください。
- ユーザーが時間無制限で特定のリンクをアップした状態に設定することを可能にします。このモードは3つの状態を持ちます。
 - Aux power(スタンバイ)
 - Reboot/boot/driver unloaded -サーバーがアクティブでドライバーがアップされていない
 - Driver is up - 少なくとも1つのドライバーがアップされている(init HCAと終了またはFLRの間の時間)
- ユーザーアクセスリージョン(UAR)からのDoorbellに関するサポートを追加しました。
- [ベータ] SR-IOVにおける機能ごとの最大レート制限に関するサポートを追加しました。
- ユーザーが、受信ポートが利用できないとき(停止状態にある)にアダプターカードにxの後の停止の送信を止めるように構成させることを許可します。
- [ベータ] 新しいパフォーマンスカウンターに関するサポートを追加しました。

- DCBX は、ピアに直接接続される構成情報を交換するDCBデバイスにより使用されます。 DCBX では、2つのリンクピア間のパラメーターを交換するために Link Layer Discovery Protocol (LLDP)を使用します。 詳しくは、PRMを参照してください。
- ドライバーがリスタートしたまたはホストがリブートされた時に、ネットワークポートレジスターがデフォルト値に戻ることを許可します。
- ネットワークリンクアップモードを追加しました。 新しいモードはネットワークリンクをいつ上げるかを決定します。 新しいモード：
 - keep_eth_link_up
 - keep_ib_link_up
 - keep_link_up_on_boot
 - keep_link_up_on_standby
- [Beta] Explicit Congestion Notification(ECN)は、インターネットプロトコルおよび伝送制御プロトコルへの拡張機能です。 ECN では、パケットが低下することなくネットワーク輻輳のエンドツーエンド通知が可能になります。
- PFごとのVFの数を32から64に増やしました。 注: VF数を増加させる場合は、次の制限を考慮してください:

$$\text{server_total_bar_size} \geq (\text{num_pfs}) * (2 \log_{\text{pf_uar_bar_size}} - \text{size} + 2 \log_{\text{vf_uar_bar_size}} * \text{total_vfs})$$

$$\text{server_total_msix} \geq (\text{num_pfs}) * (\text{num_pf_msix} + \text{num_vfs_msix} * \text{total_vfs})$$
- [Beta] RoCE Link Aggregationは、フェイルオーバーおよびリンクの集約機能を提供します。 このモードでは、2つの物理ポートがあり、アプリケーション層に露出している1つのIBポートです。 詳しくは、PRMを参照してください。
- Mellanox Accelerated Switching And Packet Processing(ASAP2)Directテクノロジーにより、修正されていないOVS control-planeを維持しつつ、Mellanox ConnectX-4/ConnectX-4 Lx NICハードウェア (Mellanox Embedded SwitchまたはeSwitch)のOVS data-planeを処理することで、OVSをオフロードできるようになります。 ASAP2 Direct でサポートされる現在のアクションには、VLAN push/pop または VXLAN encap/decap に伴うパッシング、マッチング、フォワード、ドロップ、およびパケット/バイトベースのHW フロー統計が含まれています。
- Virtual Extensible LAN (VXLAN) は、大規模クラウドコンピューティングの設置に関連するスケーラビリティの問題を改善するネットワーク仮想化テクノロジーです。 Ethernet + IP + UDP フレーム内のEthernetフレームをトンネリングします。 Mellanox では、ハードウェアのVXLAN カプセル化および非カプセル化を実装します。
- [Beta] DCBX は、ピアに直接接続される構成情報を交換するDCBデバイスにより使用されます。 DCBX では、2つのリンクピア間のパラメーターを交換するために Link Layer Discovery Protocol (LLDP)を使用します。 詳しくは、PRMを参照してください。
- ユーザーは、Frame Check Sequence (FCS) をスキップするか、またはFCS機能をチェックするかどうか制御できます。
- [Beta] Send Queues (SQ/ Send queue of QP) では、特定のSW定義フローで徐々にレートを管理できるよう、個別にレートを制限できます。 レート制限フローでは、転送レートが評価されたり、次のパケットが転送に合わせて計画される前に、いくつかのパケットを転送できます。
- デバイスがSerDes チューニング目的で異なるPRBS パターンを作成できる新しいPHYテストモード。 詳しくは、PRMレジスタ:PPAOS、PPTT、PPRT を参照してください。
- PCIを介したMCTPホスト管理のサポートを追加しました
- mlxfwreset後のOCBB/OCSDメモリーポインター復元のサポートを追加しました。
- SMBUSおよびPCI間のMCTPメディア移行のサポートを追加しました。
- VPD読み取り専用タグにv1、v3、v6タグを追加しました。
- IPoIBチェックサムおよびLSOオフロードサポートを追加しました。
- ソフトウェアによるRQのFCSを分散またはストリップを可能にします。
- パケットの作成を記録します。 タイムスタンプサービスは、データが特定の時間以前に存在していた証拠のアサーションをサポートします。
- イーサネットリンクの特定クラスのトラフィックに一時停止機能を適用します。
- カスタムポートカウンターは、RDMA 送信/受信の統計およびエラーに関する明確な指示をユーザーに提供します。
- Link Layer Discovery Protocol(LLDP)は、インターネットプロトコルスイートにおけるベンダー中立型のリンクレイヤープロトコルで、ネットワークデバイスがIEEE 802 LAN上でその識別、機能、および近隣ノード情報を伝達するために使用されます。 このプロトコルは、IEEE 802.1ABで正式に定義されています。
- 現在、ConnectX-4アダプターでは、10GigE、25GigE、40GigE、50GigE、100GigEに加えて、1Gb/sおよび56GbEイーサネット接続をサポートしています。
- フローステアリングの統計とエラーの明確な指示を提供します。
- WQEのEth Segment内にインライン化されているパケットヘッダーの最小量です。

- フローテーブルには、すべてのマッチフィールドワイルドカードを表示するテーブルミスフローエントリーが含まれることがあります。パケットとフローテーブル内のフローエントリーが一致しないと、テーブルミスになります。テーブルミスの動作は、テーブル構成によって異なります。フローテーブル内のテーブルミスフローエントリーでは、不一致のパケットを処理する方法を指定できます。
- アダプターPCIeインターフェイスを複数かつ独立したPCIeインターフェイスに分割することにより、複数のコンピュートまたはストレージホストを単一のインターコネクトアダプターに接続することができるようになります。
- Single Root IO Virtualization (SR-IOV) - 物理的なPCIeデバイスがPCIeバスを介してそれ自体を複数回提示することを可能にする技術。
- オフロードにHCAを使用し、コーディング計算を確実に行います。
- アップグレードするファームウェアに管理者がタイムスタンプを追加できるようにし、ひとつのホストがファームウェアのアップグレードを試行し、別のホストがダウングレードを試行する、というような状況を回避します。これは、複数の不要なサーバーリブートが必要になる原因となります。詳細については、MFT ユーザーマニュアルを参照してください。
- 変更に含まれるのは以下：
 1. リンク再トレーニング (スピードなど)に必要なポート構成を変更しました。
 2. PAOS ダウン。
 3. PAOSアップ。この変更は有効にするためのトグルへのリンクと新しい構成を生じます。この変更は有効にするためのトグルへのリンクと新しい構成を生じます。
- Flint ユーティリティでは、ファームウェアイメージの非永続セクションのMD5チェックサムを実行できます。詳細については、MFTユーザーマニュアルを参照してください。
- Electromagnetic Induction (EMI)コンプライアンスのためのTX信号の整合性を改善しました。 Rev. 12
- Large Receive Offload(LRO)
- Large Send Offload(LSO)
- Receive-Side Scaling(RSS)
- Global Pause
- RoCEv1.0/RoCEv2.0
- フローステアリング
- スニファイサネット
- レートリミッター(ベータレベル)
- マルチパケットWQE
- 最小帯域幅保証(ETS)
- Explicit Congestion Notification(ECN)
- Priority Flow Control (PFC)
- PCIe Function Level Reset(FLR)
- 電源管理L2/L3フローサポート
- セルフループバックサポート
- 伝送ドメインサポート
- CQ2EQ再マッピング
- 下記のコマンドのサポートを追加しました：
 - MODIFY/QUERY_ESW_VPORT_CONTEXT
 - QUERY/MODIFY_CONG_STATUS
 - QUERY/MODIFY_CONG_PARAMS
 - QUERY_CONG_STATISTICS
 - ADD/DELETE_VXLAN_UDP_DPORT
- VXLAN/NVGREステートレスオフロード。このリリースでは、この機能はWindows経由でのみサポートされています。
- SR-IOV EN(ベータレベル)
- CQE Zip圧縮
- Dynamically Connected(DC)伝送
- Wake-on-Lane/Standby
- FlexBoot/UEFIサポート
- 光学モジュール熱感知サポート
- PLDMコマンドサポート
- Clause 73(DME)のネゴシエーション中の堅牢性の向上
- 非揮発性構成(NVConfig)。完全なリストについては、
- ポート管理を有効化。現在、ひとつのポートをEthernetとして設定し、ひとつをInfiniBandとして設定できるようになりました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - Linux x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.5 (推奨)

ファイル名: firmware-hca-mellanox-vpi-eth-ib-1.0.5-1.1.x86_64.compsig; firmware-hca-mellanox-vpi-eth-ib-1.0.5-1.1.x86_64.rpm

修正

2.40.5030および2.40.5072での修正:

- 送信の完了をブロックするドライバー開始時におけるファームウェアとハードウェアの競合を修正しました。
- ファームウェアに、Close_port コマンドを実行している時にドライバーにlink_downイベントを送らないようにさせるという問題を解決しました。
- まれなケースでAuto Senseが正しいプロトコルの検出に失敗する問題を修正しました。
- WCS ConnectX4メザニンカードをPikes peak FPGAに接続するときのシグナル整合性の問題を修正しました。
- 破損したDMEページを、オートネゴシエイションフローの開始時に短時間だけ伝送するオプションを追加しました。
- ファームウェアによるPortRcvDataVLExtended / PortXmitDataVLExtendedのカウンターの間違ったレポートを修正しました。
- 送信が混雑しているときに、ファームウェアのパケットインジェクターがパケットを切断する原因となるまれな問題を修正しました。
- IEEE clause 72 Link TrainingにおいてTXリクエストに対する応答が最高10ミリ秒かかる原因となっていた問題を修正しました。
- QPがバースト制御限度状態から抜け出せない原因となる、2つのirisc間の競合を修正しました。
- QPがエラーの状態にあったとき、ファームウェアが一度に多数のエラーCQEを生成して、cmdifの応答性を非常に遅くする原因となります。上記の状態を防ぐために、エラーCQEの数が一度に16個に制限されました。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファに反映されない原因となる問題を修正しました。
- loopbackトラフィックで実行すると破損するibdumpの問題を修正しました。
- ファームウェアがQPをファームウェアの所有者として取ってから、他のファームウェアフローが同じQPを所有しているかどうかを確認せずに、ハードウェア所有者に解放する問題を修正しました。
- ケーブルの接続を解除した後、ポートのリンクタイプがETHであるにも関わらずリンクタイプがIBとして表される問題を修正しました。
- スイッチへの接続に関係なく、カウントが開始して0xFFに達する、port 2 (Switch-IBのport 2に接続されている)のHCA PoerXmitWaitカウンターに関連した問題を修正しました。
- ECN が有効な場合の完了エラーの問題を修正しました。ECNの使用は、完了キュー (CQ)の順序エラーの原因でした。
- UDPの長さの計算を修正しました。CNPパケットの内に誤ったUDPの長さは、ICRCの計算ミスの原因でした。
- ケーブルが接続されていない場合、ケーブル情報MAD内で誤って戻されたステータスを修正しました。
- 物理機能内でFLRを開始する場合の障害インスタンスを修正しました。
- VLANのNC-SIの準拠を有効にするために、INI内のHigh Rate Steeringモードを無効にしました。
- NO-DRAM-NICモードで実行するときに、パフォーマンスの低下を引き起こしたパフォーマンスの問題を修正しました。
- IPv4トラフィックの上のRDPがドロップする原因となったデフォルトのハードウェア構成問題を修正しました。
- ネットワークに対し仮想機能が一時停止フレームを注入するのを回避しました。
- MLNX_OEMコマンドGET_TEMPが、max_tempフィールドに誤った値を返しました。
- メッセージMTUサイズがQP.mtuより大きかったときに、TXトラフィックが停止する原因となった問題を修正しました。
- セクターの数が1に設定され、セクターがゼロにされたときに、NVCONFIGが失敗する原因となった問題を修正しました。
- 重複した"read request from middle"の処理での競合を修正しました。

- SR-IOV VPIでのIBトラフィックの不足の原因となった問題を修正しました。
- TLVに非有効な情報を満たしたときに、NVRAMがスタックする原因となった問題を修正しました。
- APMが、QPのポートマッピングを変更したときに、内部ファームウェアエラーの原因となった問題を修正しました。
- QP代替コンテキストを処理する際に、ファームウェアの内部エラーの原因となった問題を修正しました。
- ソフトウェアが、デバイスのMACアドレスのいずれかに等しいMACアドレスを持つポーズフレームを送信しようとしたときに、パケット送信がスタックする原因となった問題を修正しました。
- NICによりいずれかの種類の0x600により誤ってドロップされたETHパケットを修正しました。
- NC-SIが有効化されている場合に、ポートで高プライオリティブロードキャストルールが検知された後、宛先にブロードキャストトラフィックが到達のを回避するというケースを修正しました。
- ステアリングルールでRSS QPのアップデートに失敗するという問題を修正しました。
- ポートがInfiniScale IV QDR Switchに対してSDRとして使用される問題を修正しました。
- 読み取りリクエストを再送信したときに発生するBad Opcodeシーケンスステータスの完了エラーのレアケースを修正しました。
- 実際の帯域幅がVM QoSのユーザー設定と一致しないという問題を修正しました。
- ドライバーの初期化中に、BMCへの通信が失われるというレアケースを修正しました。
- リンクが開かない原因となるケーブル読み取りに伴う問題を解決しました。
- 最大EQN数を1024に設定しました。
- 読み取り障害の原因となるVPD initフローに伴う問題を修正しました。
- RXサイズ統計カウンターの問題が報告されない問題を修正しました。
- この第1のRead応答は、暗黙ACKとして処理されませんでした。
- Cisco Nexus3064およびArista-7050Sで長くかかっていた40GbEアップタイムを低減しました。
- A0-DMFS設定との無作為検出モードの互換性を修正しました。
- NC-SIが有効化および構成されているときの無作為検出モードの互換性を修正しました。
- チャネルID 0x1f障害に伴うOEM tempコマンド(set/get)の送信/受信を修正しました。
- 他のポートのインターフェイス状態を変更するときにポート上でパケットがドロップする原因となる問題を修正しました。
- 再起動サイクル中に、長くかかっていた管理通信ロスおよびSOLハングを修正しました。
- 通信ロスの原因となるBMCへのインバウンドトラフィックの不正処理を修正しました。
- ドライバーを介してポートインターフェイスを閉じるときの管理リンクロスを修正しました。
- EEPROM読み取り遅延の下人となるエキスパンダープレゼンスのファームウェアにおける障害表示を修正しました。
- 他のポートからケーブルを取り外したときにポート上でリングダウンする原因となる問題を修正しました。
- 長さゼロのパケットがハードウェアキューでスタックするというレアケースを修正しました。
- InfiniBand輻輳制御パケット(CNP)がハードウェアでハングする原因となる問題を修正しました。
- チャネルリセット後にAENが送信される原因となる問題を修正しました。
- QoS設定が既定に復元され、帯域幅の落ち込みの原因となることを回避する問題を修正しました。
- 10GbEベースのデバイスで不定期に長くかかっていたリンクアップタイムを修正しました。
- i2cスレーブアドレス0x51からのケーブル読み取りを回避する問題を修正しました。
- PMオフリクエスト伝送およびack受け入れフローにおけるデッドロックの可能性を修正しました。
- 不定期な幅低下の原因となるアライメントステートマシンに伴う問題を修正しました。
- 輻輳制御が有効化され稼働している間(EQC/QCN)に送信キューがハングする問題を修正しました。
- 再伝送を伴うRDMA SEN/WRITEトラフィックを稼働しているときに受信するベンダーシンドローム0x77での予測外の作業完了シンドロームを修正しました。
- 無効なLinkSpeedEnabled値を受信したときに、SetPortInfoが良好状態に戻す原因となる問題を修正しました。
- デキューアルポートSFPPモジュールカードが自動的にエキスパンダーにマップされる原因となる問題を修正しました。ファームウェアがドライバーにより選択されたステアリングモードを上書きするという問題を修正しました。
- リンクが起動したときに発生する無効な戻り感知結果を修正しました。
- ケーブルを取り外したときに検出が遅延する原因となる問題を修正しました。
- AUTOIに設定したときに、リンクタイプがETHとして遅延する原因となる問題を修正しました。
- Wake Upシグナルの2usグリッチを修正しました。
- IBDumpの稼働時のパフォーマンス低下を修正しました。
- 有効化/無効化テスト中のEQ phase0で不定期に発生するリンクトレーニグタイムアウトです。
- strict帯域幅モードの機能を向上しました。
- PortRcvPktsカウンターが常にゼロ値を表示するという問題を修正しました。
- SecureHostモードでのSETメソッドを用いたGMP MADの処理に伴う問題を修正しました。

- Global Multicastフィルターを構成するときにMCGサイズを不正に使用することによる問題を修正しました。
- 不定期に第2ポートのTX障害の原因となる第1ポートを無効にしています。
- 報告されたリンクステータスの不一致を修正しました。スイッチが起動していることが認識されているにもかかわらず、アダプターでは、リンクがダウンしていると報告されています。
- SCM5 Switchブレードに伴う不定期な40GbEリンク障害を修正しました。
- MADでの不正なFDR10速度報告を修正しました。
- QDRに対してFDR10を設定するときにポートが開くのを回避するという問題を修正しました。
- Aristaスイッチに対する不定期なリンク障害を修正しました。
- 最後に認識されたPSNの代わりに、メッセージの第1のPSNから再電送が開始されました。
- インラインファームウェア書き込み中にGeneralInfoMadを受信したときにファームウェアがハングします。
- L1フローの調整およびしきい値のチューニング。
- PERST_ assertion中にまれに発生するハング問題を郵政しました。
- phase3中に不正な係数が報告されました。
- リセットのタイミングが不正な動作の原因となる問題を修正しました。
- ステアリングオプションの欠落を修正しました。
- 長くかかっていたタイムアウト問題を修正しました。
- driver-lessモードでのNVRAM書き込み問題を修正しました。
- auxモードでの40GbEリンクサポートを修正しました。
- 存在しないチャンネルIDでコマンドをドロップしました。
- 拡張速度報告における問題を修正しました。
- トラップ257/8での不正なQP報告を修正しました。
- 誤った不正なq_keyエラーメッセージの原因となる問題を修正しました。
- Pause Frame opcodeの不一致を修正しました。
- PCIeエラー検知における通信ロスを修正しました。
- SELECT/DESELECT PACKAGEコマンドの不正なチャンネル値を修正しました。
- 応答パケットに余分な4バイトが含まれる原因となる問題を修正しました。
- Set Linkをサポートされていない速度で使用しているときに戻される不正な理由コード値を修正しました。
- BMCにより指定された不正なMACアドレスからの保護を追加しました。PERST_ deassertion後の不正なTXパルスを除きました。
- SR-IOVが有効化されているときのFLR機能ビットの矛盾を修正しました。
- デバイスがPCIe関連エラーを報告しないという問題を修正しました。
- ConnectX-3からSX6036へのセットアップでリンクがDDRに構成されているときに、SDRリンクが代わりに確立されています。
- VXLANが不正な規定UDPポートを使用しました。UDPポート番号が4789に変更されました。
- VXLANのUDP宛先ポートの不正な設定を修正しました。
- IPMI/NC-SIを有効化してDMSモードに移行するときの内部エラーの原因を修正しました。
- 0.5m FDRケーブルを使用して接続されたFDRカードのバックツールバックセットアップでは、リンクがFDRの代わりにFDR10として確立されることがあります。
- PCIレガシー割り込みを伴う作業に関連する問題を修正しました。
- ソフトウェアにより埋め込まれたショートパケットのチェックサム計算が不正です。
- MFTフリントツールを使用した後でPCIe構成スペースを読み取ったため、デバイスがcrashしました。
- IPMIを介した不定期なパケット損失を修正しました。
- MADを開いているEyeで報告された不正な値を修正しました。
- L1状態からのリンクネゴシエーションおよびリンク移行中の不定期なリンク幅低下を修正しました。
- 調整シグナル検知しきい値を修正しました。
- LLRがアクティブの時にPortExtendedSpeedsCounters MADが誤って増加しました。
- TXパラメーターの構成時に、レーンリバーサルが考慮されませんでした。
- Flex- Bootアドレスが指定されたときのROLの工場出荷時MAC使用を修正しました。
- FlexBootアドレスが指定されたときのPauseフレームの工場出荷時MAC使用を修正しました。
- WOL/ROLパケット間でデバイスが違いません。
- 機能しなかったPortInfo MADの一連の拡張フィールドを修正しました。
- theib_128b_llrのMLPNネゴシエーションに準拠してLLRセルサイズを調整しました。
- 最大速度制限がstandbyモードのみでなく完全なpowerモードでもアクティブでした。
- InfiniBand Path移行がGRHで動作しませんでした。
http://webdev01:8080/commit/ConnectX.git/a9c37ee4c31038f2c1179d4d9e79c9337e0ab5c7
- MGM書き込み後に読み取ったため、不正な数値カウントを戻しました。
- ドライバーにより指定されたRSSハッシュキーの破損を修正しました。
- QoSレートリミットBWオフセットを修正しました。

- FDR10 speed_en reportingを修正しました。
- 長くかかっていた管理リンク通信口を修正しました。
- コマンド結果では、両方のリンクタイプが同時にアクティブであることが報告されています。 phyタイプとポート感知間の衝突を修正しました。 QUERY_HCAコマンドの不正なコアクロック周波数報告を修正しました。
- 56GbEが有効化されているときの不定期なリンク障害を修正しました。
- 最大Eyeマージンをプロトコルに従って修正しました。
- perfqueryでは、ConnectX®-3 VPIモードで不正なエラーシンボルが報告されました: IB、ETH。
- ConnectX-3Pro デュアルポートQDRおよびFDR/FDR10スイッチセットアップ環境では、MC2207312-030 AOCでシンボルエラーが発生することがあります。
- MC2207126-004銅ケーブルでFDRスイッチに接続されたポートConnectX-3ProデュアルポートQDRでシンボルエラーが発生しました。
- LLRが有効なInfiniBand FDRリンクからLLRなしのInfiniBandリンクへ切り替えるときおは、ドライバーの再起動が必要です(例: SwitchX® とGD4036との間)。
- まれに、40GbEに平行検出を実行しているときにアダプターカードのリンクアップが失敗することがあります。
- Automatic Path Migration(APM)では、Alternate Pathからの新しいMGIDがアップデートされませんでした。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.40.5030にアップデートされました。

644161-B21
 644160-B21
 649282-B21
 649281-B21
 649283-B21
 764282-B21
 764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.40.5072にアップデートされました。

764283-B21
 764284-B21
 764285-B21

ファームウェアバージョン2.40.5030での新機能:

- MADセンシングやNCSI/IPMI OEMコマンドに関する温度しきい値の高/低デフォルトを追加しました。
- user_mtuのサイズをファームウェアに示す「set port」 コマンドに新しいコマンドを追加しました。
- ファームウェアが内部QPで受信されたパケットを落としたり、WQEプロデューサーフェッチングを使用不可にすることを確認する保護メカニズムを追加しました。
- イーサネットリンクダウンカウンターを追加しました。
- Ethertypeに基づき、キューを受け取るためのステアリングパケットを有効にしました
- 追加のレート値のサポートを追加しました。
- エラーの原因となる送信 WQE キャッシュ検索の繰り返し数を計算するカウンター。
- Flint ユーティリティでは、ファームウェアイメージの非永続セクションのMD5チェックサムを実行できません。
- PRMを介した新しいパフォーマンスとバックプレッシャーカウンターコマンド(詳しくはPRMを参照してください)
- マルチキャスト/ユニキャストのスニファールールのサポート(詳しくはPRMを参照してください)
- VLANカプセル化のVLANのサポート(詳しくはPRMを参照してください)
- ソフトウェアによるCQ作成オフロード
- rst2rtsコマンドのサポート
- ファームウェアブートステージ中にTLVを無効化
- 無受信バッファによるパケットドロップをカウントするdiag_rprt PRMコマンドのための新しいカウンター
- Ethernet TXライフタイムサイクルコントロールのサポート(Head of Queue)

- イングレス外部ループバックコントロールを可能にする新しいレジスター(PPLR)(詳しくはPRMを参照してください)
- フロー制御パケットでネットワークのフラッディングを防止するために、イングレストラフィックストールを追跡するためのウォッチドッグメカニズム
- トラフィックがなくても一定のトラフィックLED表示の原因となったINIにより制御される新しいLEDスキーム。
- 同じポート上での複数のRoCEモード(RoCE v1+v2)サポートを追加: RoCEモードは、現在接続ごとです。
- QP 接続準備時間を強化するために新しいQPコマンド "INIT2RTS_QP" を追加しました。
- FCSチェックを無効化し、FCSをタイムスタンプで置換するスイッチをサポートしました。
- ダイレクトルートパケットのRX ポートの識別子を追加しました。
- 再送信でRDMA書き込み/送信パフォーマンスが改善されました。
- PRM ACCESS_REGコマンドを使用したファームウェア書き込み/クエリーを有効化しました。
- VAM向けのサポートを追加しました。
- 有効な不良ケーブルEEPROMがドライバーに報告されています。
- Platform Level Data Model(PLDM)サイドバンドプロトコルのサポートを追加しました。
- プライオリティベースA0-DMFSモードのサポートを追加しました(詳しくはPRMを参照してください)。
- ドライバーによるUnicast/Multicastループバック無効化のサポートが追加されました。(詳しくはPRMを参照してください)
- ハッシュ計算からソースIPを削除しました(詳しくはPRMを参照してください)
- 最大2KBまでのインライン受信モードのサポートを追加しました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox ConnectX4 VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4デバイス - Windows x86_64 プラットフォーム

バージョン: 1.0.0.1 (推奨)

ファイル名: cp030286.compsig; cp030286.exe

修正

FWバージョン12.18.2030での修正:

- Multihostで双方向トラフィックの10% BW劣化の原因となる問題を修正しました。
- CQEジッピングアグレッシブモードタイマーを9000に増加しました。
- IPoIB強化QPをERRまたはRST状態に移動すると、QPCのservice_typeおよびpm_stateが破損します。
- vport状態がトグル (ダウン/アップ) に設定されているときにRoCE IPv4 QPをMCGに添付すると、そのMCGにリストされているQPがトラフィックを受信するのが妨げられます。
- 制限イベントのSRQをアーミングする場合、デバイスは、context_index=0のイベントを発行する場合があります。
- 時々、UD QPをエラー状態からRTSに移動すると、QPが再度エラー状態に入ります。
- IPoIB強化トラフィックでPkeyチェックを実行する場合、Pkeyメンバーシップビットは無視されます。
- トラフィックの送信中にレートリミッターを停止するとアダプターカードがハングすることがあります。
- Privileged Vport egress信号は、Vport が有効でない場合ブロックされません
- InfiniBandでは、PFダイレクトパススルーはサポートされていません(PF FLRがサポートされていないため)
- Set().pkeyでの無効化がない場合、Pkeyチェックが正しく行われません。
- HCA madレスポンスに一致するPkeyではなく受信パケットPkeyを含む原因となる問題を修正しました。
- PCIe Txコンフィギュレーションを変更しました。
- ソフトウェアがECNパラメーター (min_rate、max_rate、rate_to_set_on_first_cnp) の値を>32768に設定するのを防止する問題を修正しました。
- QDR速度までサポートするデバイスに特定の銅ケーブルで接続されている場合、リンク速度がDDRとして立ち上がる問題を修正しました。
- 物理カウンターがリセットするのを防止する問題を修正しました。物理カウンターは最初のドライバー開始にリセットされるようになりました。
- サードパーティーで可能性のあるネゴシエーション問題を修正しました。
- 56GbEリンクがエラーで立ち上がるまれな問題を修正しました。
- modify_scheduling_contextコマンドを実行する場合、フィールドは予約されていますが検証の実行にscheduling_context.element_typeが考慮される問題を修正しました。

- refカウンターはmax_average_bw != 0 (limited) 毎に増加する設計ですが、eSwitch max_average_bw refカウンターはmax_average_bwの設定値に関わらず、TEARDOWN_HCA/ FLR VFで減少する問題を修正しました。
- UEFI 起動サイクル中に、WinPE がロードされている間、まれにシステムが動かなくなることがあります。(OS WinPE、システムDL160)
- untagged および prio-tagged パケットを取得する Single FTE(match_value.vlan_tag = 0 および match_value.vid = 0 にFTEを与えることで)は現在サポートされていません。
- ファームウェアをフラッシュすると、サーバーの再起動が必要になります。ファームウェアは、最初のフラッシュ後、サーバーを再起動していない限り、二度目のフラッシュはできません。
- vportの状態がDOWNでパケットがローカルループバックに送信された場合、sx_snifferツールは機能しません。
- リンクがFDR 1xを起こすときにシンボルエラーとしてバブルが発生するという問題を修正しました。
- Clause 74 Fire-Code FEC が有効である場合、FC_correctable カウンターおよび FC_uncorrectable カウンターが増加する、エラーが修正されたFCがあります。
- 最新のポートオーナーホストがドライバーを再起動した後、いくつかのPort Control Registerは、デフォルト値に戻りません。
- UDPパケットが予約されたUDP宛先ポートを持つときにRXがハングする原因となる問題を修正しました。
- ホストごとのDMACレポートのマッピングを修正しました。
- ファームウェアがハングする原因となるPCIからのEEHエラーを修正しました。
- リンクcontrol2において、PCIe target_link_speedのデフォルト値をGen3に設定しました。
- トラフィックがリンクスピードの0.1%より小さいときにLEDの点滅を妨げるという問題を修正しました。
- VF_LOG_BAR_SIZEのmlxconfig構成が無視され、5(32MB)に設定される問題を修正しました。
- VLウエイト 0でSMを構成し、その上でトラフィックを実行しているときに、一部のVLでアンロード中にドライバーが時折ハングする原因となる問題を修正しました。
- Packet-Pacingが有効なときにサーバーがスタンバイモードになると、ファームウェアがハングおよびドライバーのコールトレースを引き起こすことがあります。
- 複数の送信元から単一の送信先へのトラフィック送信の場合に予期しないQoS機能の原因となる問題を修正しました。
- WQEフェッチにおけるPCIエラーを受信した時DCにおいてRXトラフィックがしばしば停止する原因に関する問題点を修正しました。
- インテルのITPインジェクションエラーテスト中に発生したOOB接続の問題を修正しました。
- IEEE Auto-Negotiationにおいて、25G FireCode FEC と25G Reed-Solomon FECのビットが逆になっているという問題を解決しました。
- RoCE v2の宛先ポートでUDPパケットが到着して、データがDCトランスポートサービスに一致した時にRXが停止するという問題を解決しました。
- IOPXサーマルダイオードが不安定な状態にならないようにする保護機能を追加し、ConnectX-4 Lx 25GE OCP カード上のUEFIのIPv6 PXEブートの失敗を防止しました。
- 物理ポートTLVをポート2に問い合わせおよび書き込むためにシングルポートデバイスに生じる問題を解決しました。
- PCIe Secondary Bus Resetを使用して動作のために mlxfwreset を有効にします。
- 不適切なリンク設定の結果として、リンクのフラッピングが発生する問題を修正しました。
- 有効な Clause91 FEC で 50 G を実行する場合に、間違った整列マーカが使用される問題を修正しました。
- 5 (32 MB) から1 (2MB) までの VF (SR-IOV) の既定のBARのサイズを減らしました。
- FlexBootにレガシー割り込みサポートを追加しました。
- 16GhzでEMIクロスマージンをサポートするためにTX構成を修正しました。
- ビットエラーレートが10G/40Gリンク上で最適ではないことがあります。
- 100G自動ネゴシエーションの間に発生するリンクトレーニングフローの不安定が修正されました。
- RESETにQPを移動し、RTSに戻すときに、コマンドのハングを引き起こすまれな問題を修正しました。
- パケットの喪失シナリオ下のRDMA READ帯域幅が改善されました。
- ibdiagnetツールで必要とされるpnat = 1 in HCA access_regコマンドに対するサポートを追加しました。
- LLDP OCBP応答の修正: 戻り値が現在はasciiです。
- PXEサイクルの間にまれに生じるNMI問題が修正されました。
- ステアリングハッシュテーブルの静的サイズを、128から最大32Kエントリまで増加しました。
- 100Gb/sケーブルの使用中に生じるモジュール温度の誤計算を防止しました (OPN:MFA1A00-Cxxx for 100GbEおよびMFA1A00-Exxx for IB EDR)。
- qkey/pkey違反カウンターをport_info mad経由でリセットしている場合に、デバイスのハングを引き起こす問題が修正されました。

- OCBBレポートのMTUサイズが変更されました。現在MTUサイズは、パケットヘッダーを含んでいません。
- パイプのバランスをステアリングするUnicast RXステアリングをone hop下げました。
- 50倍以上のポートタイプTLVの非揮発性構成はシステムハングの原因となります。
- Clause 91 RS FEC がアクティブな場合の25G および 50G リンク問題を修正しました。
- 次回のドライバーロードの失敗または送信不能をもたらすFLRのSwitchX キャッシュの存在しない無効化を追加しました。
- Vport カウンターがローカルループバックパケットを計算できなかった問題を修正しました。現在パケットは、セルフループバック防止によりフィルタリングされています
- INTxがPowerKVM上でPFパススルーを可能にすることを未サポートと報告しました。
- SR-IOVイーサネットは、ポートにつき最大18 VFをサポートします。
- VportカウンターはVportを横切るトラフィックのみをカウントする必要があるが、ローカル (内部) ループバックパケットがVportカウンターによりカウントされることを許すことを修正しました。
- 不適切なドライバーアンロードの後、ドライバーのロードまたはレポート時のTXトラフィック送信を妨げる問題を修正しました。
- ステアリング API前のBMC MAC のキャストリングを修正しました。
- PCI MTUを考慮するためにPCI書き込みフローを修正しました。この修正はフローの中のNOPの必要性を排除し、PPCでのさらに大きなPCI MTUとなります。
この読み取りに対するシングルキュー制限は、与えられた時間内の読み取り要求数のハードウェア限度によるものです。
- Connect-IB または ConnectX-4 HCA上で有効化された「ラジバー」(4Gデコーディング上)で実行するシステムで期待通りにFlexBoot が動作しないことがあるケースを修正しました。
- 単一ポートNIC用PLDMサポートを修正しました。現在、ポートの関連センサー/状態は、単一ポートに対してのみ報告されます。

拡張

ファームウェアバージョン12.18.2030:

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1-port 840QSFP28アダプター)

825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2-port 840QSFP28アダプター)

バージョン12.18.2030の新機能および変更:

- SFP内で論理リンクインジケータをBaseTモジュールを追加し、ピアポートがダウンしている場合は論理リンクを無効にしました。
- 25GbE SFP光学モジュールでの10GbEサポートを追加しました。
- mlxlinkツールがPHYリンクステータスのデータを収集し、リンクダウンの理由とリンクに関連した追加の情報を提供できるようにします。
- イーサネットでのリンクトレーニング中のTXコンフィギュレーションレスポンスおよび動きを有効にしました。
- レーンレート12.89Gbのサポートを追加しました。
- パケットが転送せずにトラフィッククラス (TC) 転送キューの先頭にいる時間を制限します。古いパケットは破棄されます。デフォルトでTCはリンクレベルフロー制御に従うようになっています。
- UARページサイズは現在4KBに設定されていて、システムページのサイズが決定するものではありません。
- 以下のパフォーマンスを改善しました:
 - ユーザーアクセスリージョン(UAR)からのドアベル
 - ユーザーアクセスリージョン(UAR)からの割り込みのクリア
- 追加のトランスポートカウンターのサポートを追加しました。
- DCでのODPのサポートを追加しました。
- DC用に送信されたパケットでのスキッター・ツー・CQEを有効にしました。
- CQ modifyコマンドでのモデレーション期間変更を有効にしました。
- SR-IOVにおけるvportごとの最小/最大レート制限に関するサポートを追加しました。
- UEFIシェルとOS間のネットワークトラフィックを有効にしました。
- PFが自身のVFのRoCEを強制無効化できるようにしました。
- 2つの新しいアクセスレジスタを追加しました。
 - 管理機能マスクレジスター
 - ポート機能マスクレジスターフィールド
 詳しくは、PRMを参照してください。

- VNICがそのローカルループバックトラフィックの有効/無効を制御できるようにしました。
- 受信RDMAフローテーブルをオープンし、RoCEトラフィックをある宛先QPIに転送するオプションを追加しました。
- マルチホスト LIDベースのルーティングのサポートを追加します。この機能は次の属性を持つ新しいOpenSMを必要とします。(v4.7.1 以上で MLNX_OFED 3.3-2.0.0.0に付随)
 - qos TRUE
 - lmc 2(ファブリックにquadホストがなければ、lmcを1に設定できます)
 - virt_enabled 2 注: マルチホストLIDベースのルーティングはINIのみによって構成されます。デフォルトは0です。
- 耐障害性RoCEとは不可逆なネットワーク(フローコントロールが可能になっていないネットワーク)上でフローコントロールを可能にする必要なくRoCEにトラフィックを送る機能です。この機能はスイッチとホストの両方でECNを可能にすることにより、実現されます。
- L3/L4ヘッダーに基づく、Multi PF Switch layer(MPPFS)におけるロードバランシングを可能にします。
- 同じHCAを使用する別々のホスト間の分離を可能にしました。すべてのホストはリブートができ、ドライバーは停止することができ、FLR信号は個別に送ることが可能です。
- PFごとのVFの数を64から95に増やしました。注: VF数を増加させる場合は、次の制限を考慮してください:
 $server_total_bar_size \geq (num_pfs) * (2 \log_{10} pf_uar_bar_size + 2 \log_{10} vf_uar_bar_size * total_vfs)$
 $server_total_msix \geq (num_pfs) * (num_pf_msix + num_vfs_msix * total_vfs)$ 注: ドライバーによりサポートされたVFの最大数に関しては、ドライバーのリリースノートかユーザーマニュアルを参照してください。
- [InfiniBand のみ] SR-IOV/マルチホスト環境における複数のVLに関するサポートを追加しました。注: VLの数はNVCONFIGによって構成することができます。デフォルトのVL数は4VLです。
- InfiniBandにおけるQPIレート制限に関するサポートを追加しました。
- ポートフラップカウンターに関するサポートを追加しました。
- パフォーマンスを向上させるためにすべての入力でバッファサイズを制限します。KSMはKey Length My Virtual Address (KLMs) を固定メモリサイズとするために使用されます。
- この入力(null_mkey) は現存しないKLM/KSM入力を示すために用いられます。それにアクセスすると、デバイスにページフォルトイベントを発生させます。
- PLDM ファームウェアはDMTF spec DSP0267 (draft 9)に基づきます。この機能はMCTPに関するPLDM protocol (over PCIe)を用いて、ファームウェアや拡張ROMイメージのアップグレードを可能にします。そうすることにより、サポートBMCはOSベースのツールを使用することなくファームウェアの問い合わせとアップグレードを行うことができます。
- 新しい物理レイヤー統計カウンターグループを追加しました。新しいグループはBERカウンター、FECエラーコレクション、クリアタイムそして追加の物理レイヤカウンターを含みます。詳しくは、『イーサネットアダプタープログラミングマニュアル(PRM)』を参照してください。
- ユーザーが時間無制限で特定のリンクをアップした状態に設定することを可能にします。このモードは3つの状態を持ちます。
 - Aux power(スタンバイ)
 - Reboot/boot/driver unloaded -サーバーがアクティブでドライバーがアップされていない
 - Driver is up - 少なくとも1つのドライバーがアップされている(init HCAと終了またはFLRの間の時間)
- ユーザーアクセスリジョン(UAR)からのDoorbellに関するサポートを追加しました。
- [ベータ] SR-IOVにおける機能ごとの最大レート制限に関するサポートを追加しました。
- ユーザーが、受信ポートが利用できないとき(停止状態にある)にアダプターカードにxの後の停止の送信を止めるように構成させることを許可します。
- [ベータ] 新しいパフォーマンスカウンターに関するサポートを追加しました。
- DCBX は、ピアに直接接続される構成情報を交換するDCBデバイスにより使用されます。DCBX では、2つのリンクピア間のパラメーターを交換するために Link Layer Discovery Protocol (LLDP)を使用します。詳しくは、PRMを参照してください。
- ドライバーがリスタートしたまたはホストがリブートされた時に、ネットワークポートレジスターがデフォルト値に戻ること許可します。
- ネットワークリンクアップモードを追加しました。新しいモードはネットワークリンクをいつ上げるかを決定します。新しいモード:
 - keep_eth_link_up
 - keep_ib_link_up
 - keep_link_up_on_boot
 - keep_link_up_on_standby
- [Beta] Explicit Congestion Notification(ECN)は、インターネットプロトコルおよび伝送制御プロトコルへの拡張機能です。ECN では、パケットが低下することなくネットワーク輻輳のエンドツーエンド通知が可能

になります。

- PFごとのVFの数を32から64に増やしました。注: VF数を増加させる場合は、次の制限を考慮してください:
 $server_total_bar_size \geq (num_pfs) * (2log_pf_uar_bar_size + 2log_vf_uar_bar_size * total_vfs)$
 $server_total_msix \geq (num_pfs) * (num_pf_msix + num_vfs_msix * total_vfs)$
- [Beta] RoCE Link Aggregationは、フェイルオーバーおよびリンクの集約機能を提供します。このモードでは、2つの物理ポートがあり、アプリケーション層に露出している1つのIBポートです。詳しくは、PRMを参照してください。
- Mellanox Accelerated Switching And Packet Processing(ASAP2)Directテクノロジーにより、修正されていないOVS control-planeを維持しつつ、Mellanox ConnectX-4/ConnectX-4 Lx NICハードウェア (Mellanox Embedded SwitchまたはeSwitch)のOVS data-planeを処理することで、OVSをオフロードできるようにになります。ASAP2 Direct でサポートされる現在のアクションには、VLAN push/pop または VXLAN encap/decap に伴うパッシング、マッチング、フォワード、ドロップ、およびパケット/バイトベースのHW フロー統計が含まれています。
- Virtual Extensible LAN (VXLAN) は、大規模クラウドコンピューティングの設置に関連するスケラビリティの問題を改善するネットワーク仮想化テクノロジーです。Ethernet + IP + UDP フレーム内のEthernet フレームをトンネリングします。Mellanox では、ハードウェアのVXLAN カプセル化および非カプセル化を実装します。
- [Beta] DCBX は、ピアに直接接続される構成情報を交換するDCBデバイスにより使用されます。DCBX では、2つのリンクピア間のパラメーターを交換するために Link Layer Discovery Protocol (LLDP)を使用します。詳しくは、PRMを参照してください。
- ユーザーは、Frame Check Sequence (FCS) をスキップするか、またはFCS機能をチェックするかどうか制御できます。
- [Beta] Send Queues (SQ/ Send queue of QP) では、特定のSW定義フローで徐々にレートを管理できるよう、個別にレートを制限できます。レート制限フローでは、転送レートが評価されたり、次のパケットが転送に合わせて計画される前に、いくつかのパケットを転送できます。
- デバイスがSerDes チューニング目的で異なるPRBS パターンを作成できる新しいPHYテストモード。詳しくは、PRMレジスタ:PPAOS、PPTT、PPRT を参照してください。
- PCIを介したMCTPホスト管理のサポートを追加しました
- mlxfwreset後のOCBB/OCSDメモリーポインター復元のサポートを追加しました。
- SMBUSおよびPCI間のMCTPメディア移行のサポートを追加しました。
- VPD読み取り専用タグにv1、v3、v6タグを追加しました。
- IPoIBチェックサムおよびLSOオフロードサポートを追加しました。
- ソフトウェアによるRQのFCSを分散またはストリップを可能にします。
- パケットの作成を記録します。タイムスタンプサービスは、データが特定の時間以前に存在していた証拠のアーシャをサポートします。
- イーサネットリンクの特定クラスのトラフィックに一時停止機能を適用します。
- カスタムポートカウンターは、RDMA 送信/受信の統計およびエラーに関する明確な指示をユーザーに提供します。
- Link Layer Discovery Protocol(LLDP)は、インターネットプロトコルスイートにおけるベンダー中立型のリンクレイヤープロトコルで、ネットワークデバイスがIEEE 802 LAN上でその識別、機能、および近隣ノード情報を伝達するために使用されます。このプロトコルは、IEEE 802.1ABで正式に定義されています。
- 現在、ConnectX-4アダプターでは、10GigE、25GigE、40GigE、50GigE、100GigEに加えて、1Gb/sおよび56GbEイーサネット接続をサポートしています。
- フローステアリングの統計とエラーの明確な指示を提供します。
- WQEのEth Segment内にインライン化されているパケットヘッダーの最小量です。
- フローテーブルには、すべてのマッチフィールドワイルドカードを表示するテーブルミスフローエントリーが含まれることがあります。パケットとフローテーブル内のフローエントリーが一致しないと、テーブルミスになります。テーブルミスの動作は、テーブル構成によって異なります。フローテーブル内のテーブルミスフローエントリーでは、不一致のパケットを処理する方法を指定できます。
- アダプターPCIeインターフェイスを複数かつ独立したPCIeインターフェイスに分割することにより、複数のコンピュータまたはストレージホストを単一のインターコネクトアダプターに接続することができるようになります。
- Single Root IO Virtualization (SR-IOV) - 物理的なPCIeデバイスがPCIeバスを介してそれ自体を複数回提示することを可能にする技術。
- オフロードにHCAを使用し、コーディング計算を確実に実行します。
- アップグレードするファームウェアに管理者がタイムスタンプを追加できるようにし、ひとつのホストがファームウェアのアップグレードを試行し、別のホストがダウングレードを試行する、というような状況を回

避します。これは、複数の不要なサーバーリポートが必要になる原因となります。詳細については、MFT ユーザーマニュアルを参照してください。

- 変更に含まれるのは以下:
 1. リンク再トレーニング (スピードなど)に必要なポート構成を変更しました。
 2. PAOS ダウン。
 3. PAOSアップ。この変更は有効にするためのトグルへのリンクと新しい構成を生じます。
この変更は有効にするためのトグルへのリンクと新しい構成を生じます。
- Flint ユーティリティでは、ファームウェアイメージの非永続セクションのMD5チェックサムを実行できません。詳細については、MFTユーザーマニュアルを参照してください。
- Electromagnetic Induction (EMI)コンプライアンスのためのTX信号の整合性を改善しました。 Rev. 12
- Large Receive Offload(LRO)
- Large Send Offload(LSO)
- Receive-Side Scaling(RSS)
- Global Pause
- RoCEv1.0/RoCEv2.0
- フローステアリング
- スニファイサネット
- レートリミッター(ベータレベル)
- マルチパケットWQE
- 最小帯域幅保証(ETS)
- Explicit Congestion Notification(ECN)
- Priority Flow Control (PFC)
- PCIe Function Level Reset(FLR)
- 電源管理L2/L3フローサポート
- セルフループバックサポート
- 伝送ドメインサポート
- CQ2EQ再マッピング
- 下記のコマンドのサポートを追加しました:
 - MODIFY/QUERY_ESW_VPORT_CONTEXT
 - QUERY/MODIFY_CONG_STATUS
 - QUERY/MODIFY_CONG_PARAMS
 - QUERY_CONG_STATISTICS
 - ADD/DELETE_VXLAN_UDP_DPORT
- VXLAN/NVGREステートレスオフロード。このリリースでは、この機能はWindows経由でのみサポートされています。
- SR-IOV EN(ベータレベル)
- CQE Zip圧縮
- Dynamically Connected(DC)伝送
 - Wake-on-Lane/Standby
- FlexBoot/UEFIサポート
- 光学モジュール熱感知サポート
- PLDMコマンドサポート
- Clause 73(DME)のネゴシエーション中の堅牢性の向上
- 非揮発性構成(NVConfig)。完全なリストについては、
- ポート管理を有効化。現在、ひとつのポートをEthernetとして設定し、ひとつをInfiniBandとして設定できるようになりました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - Windows x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.0.5 (推奨)

ファイル名: cp030128.compsig; cp030128.exe

修正

2.40.5030および2.40.5072の修正:

- 送信の完了をブロックするドライバー開始時におけるファームウェアとハードウェアの競合を修正しました。
- ファームウェアに、Close_port コマンドを実行している時にドライバーにlink_downイベントを送らないようにさせるという問題を解決しました。
- まれなケースでAuto Senseが正しいプロトコルの検出に失敗する問題を修正しました。
- WCS ConnectX4メザニンカードをPikes peak FPGAに接続するときのシグナル整合性の問題を修正しました。
- 破損したDMEページを、オートネゴシエイションフローの開始時に短時間だけ伝送するオプションを追加しました。
- ファームウェアによるPortRcvDataVLExtended / PortXmitDataVLExtendedのカウンターの間違ったレポートを修正しました。
- 送信が混雑しているときに、ファームウェアのパケットインジェクターがパケットを切断する原因となるまれな問題を修正しました。
- IEEE clause 72 Link TrainingにおいてTXリクエストに対する応答が最高10ミリ秒かかる原因となっていた問題を修正しました。
- QPがバースト制御限度状態から抜け出せない原因となる、2つのiris間競合を修正しました。
- QPがエラーの状態にあったとき、ファームウェアが一度に多数のエラーCQEを生成して、cmdifの応答性を非常に遅くする原因となります。上記の状態を防ぐために、エラーCQEの数が一度に16個に制限されました。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファに反映されない原因となる問題を修正しました。
- loopbackトラフィックで実行すると破損するibdumpの問題を修正しました。
- ファームウェアがQPをファームウェアの所有者として取ってから、他のファームウェアフローが同じQPを所有しているかどうかを確認せずに、ハードウェア所有者に解放する問題を修正しました。
- ケーブルの接続を解除した後、ポートのリンクタイプがETHであるにも関わらずリンクタイプがIBとして表される問題を修正しました。
- スイッチへの接続に関係なく、カウントが開始して0xFFに達する、port 2 (Switch-IBのport 2に接続されている)のHCA PoerXmitWaitカウンターに関連した問題を修正しました。
- ECN が有効な場合の完了エラーの問題を修正しました。ECNの使用は、完了キュー (CQ)の順序エラーの原因でした。
- UDPの長さの計算を修正しました。CNPパケットの内に誤ったUDPの長さは、ICRCの計算ミスの原因でした。
- ケーブルが接続されていない場合、ケーブル情報MAD内で誤って戻されたステータスを修正しました。
- 物理機能内でFLRを開始する場合の障害インスタンスを修正しました。
- VLANのNC-SIの準拠を有効にするために、INI内のHigh Rate Steeringモードを無効にしました。
- NO-DRAM-NICモードで実行するときに、パフォーマンスの低下を引き起こしたパフォーマンスの問題を修正しました。
- IPv4トラフィックの上のRDPがドロップする原因となったデフォルトのハードウェア構成問題を修正しました。
- ネットワークに対し仮想機能が一時停止フレームを注入するのを回避しました。
- MLNX_OEMコマンドGET_TEMPが、max_tempフィールドに誤った値を返しました。
- メッセージMTUサイズがQP.mtuより大きかったときに、TXトラフィックが停止する原因となった問題を修正しました。
- セクターの数が1に設定され、セクターがゼロにされたときに、NVCONFIGが失敗する原因となった問題を修正しました。
- 重複した "read request from middle" の処理での競合を修正しました。
- SR-IOV VPIでのIBトラフィックの不足の原因となった問題を修正しました。
- TLVに非有効な情報を満たしたときに、NVRAMがスタックする原因となった問題を修正しました。
- APMが、QPのポートマッピングを変更したときに、内部ファームウェアエラーの原因となった問題を修正しました。
- QP代替コンテキストを処理する際に、ファームウェアの内部エラーの原因となった問題を修正しました。
- ソフトウェアが、デバイスのMACアドレスのいずれかに等しいMACアドレスを持つポーズフレームを送信しようとしたときに、パケット送信がスタックする原因となった問題を修正しました。
- NICによりいずれかの種類の0x600により誤ってドロップされたETHパケットを修正しました。
- NC-SIが有効化されている場合に、ポートで高プライオリティブロードキャストルールが検知された後、宛先にブロードキャストトラフィックが到達のを回避するというケースを修正しました。
- ステアリングルールでRSS QPのアップデートに失敗するという問題を修正しました。
- ポートがInfiniScale IV QDR Switchに対してSDRとして使用される問題を修正しました。

- 読み取りリクエストを再送信したときに発生するBad Opcodeシーケンスステータスの完了エラーのレアケースを修正しました。
- 実際の帯域幅がVM QoSのユーザー設定と一致しないという問題を修正しました。
- ドライバーの初期化中に、BMCへの通信が失われるというレアケースを修正しました。
- リンクが開かない原因となるケーブル読み取りに伴う問題を解決しました。
- 最大EQN数を1024に設定しました。
- 読み取り障害の原因となるVPD initフローに伴う問題を修正しました。
- RXサイズ統計カウンターの問題が報告されない問題を修正しました。
- この第1のRead応答は、暗黙ACKとして処理されませんでした。
- Cisco Nexus3064およびArista-7050Sで長くかかっていた40GbEアップタイムを低減しました。
- A0-DMFS設定との無作為検出モードの互換性を修正しました。
- NC-SIが有効化および構成されているときの無作為検出モードの互換性を修正しました。
- チャネルID 0x1f障害に伴うOEM tempコマンド(set/get)の送信/受信を修正しました。
- 他のポートのインターフェイス状態を変更するときにポート上でパケットがドロップする原因となる問題を修正しました。
- 再起動サイクル中に、長くかかっていた管理通信ロスおよびSOLハングを修正しました。
- 通信ロスの原因となるBMCへのインバウンドトラフィックの不正処理を修正しました。
- ドライバーを介してポートインターフェイスを閉じるときの管理リンクロスを修正しました。
- EEPROM読み取り遅延の下人となるエキスパンダープレゼンスのファームウェアにおける障害表示を修正しました。
- 他のポートからケーブルを取り外したときにポート上でリングダウンする原因となる問題を修正しました。
- 長さゼロのパケットがハードウェアキューでスタックするというレアケースを修正しました。
- InfiniBand輻輳制御パケット(CNP)がハードウェアでハングする原因となる問題を修正しました。
- チャネルリセット後にAENが送信される原因となる問題を修正しました。
- QoS設定が既定に復元され、帯域幅の落ち込みの原因となることを回避する問題を修正しました。
- 10GbEベースのデバイスで不定期に長くかかっていたリンクアップタイムを修正しました。
- i2cスレーブアドレス0x51からのケーブル読み取りを回避する問題を修正しました。
- PMオフリクエスト伝送およびack受け入れフローにおけるデッドロックの可能性を修正しました。
- 不定期な幅低下の原因となるアライメントステートマシンに伴う問題を修正しました。
- 輻輳制御が有効化され稼働している間(EQC/QCN)に送信キューがハングする問題を修正しました。
- 再伝送に伴うRDMA SEN/WRITEトラフィックを稼働しているときに受信するベンダーシンドローム0x77での予測外の作業完了シンドロームを修正しました。
- 無効なLinkSpeedEnabled値を受信したときに、SetPortInfoが良好状態に戻す原因となる問題を修正しました。
- デキューアルポートSFPPモジュールカードが自動的にエキスパンダーにマップされる原因となる問題を修正しました。ファームウェアがドライバーにより選択されたステアリングモードを上書きするという問題を修正しました。
- リンクが起動したときに発生する無効な戻り感知結果を修正しました。
- ケーブルを取り外したときに検出が遅延する原因となる問題を修正しました。
- AUTOIに設定したときに、リンクタイプがETHとして遅延する原因となる問題を修正しました。
- Wake Upシグナルの2 usグリッチを修正しました。
- IBDumpの稼働時のパフォーマンス低下を修正しました。
- 有効化/無効化テスト中のEQ phase0で不定期に発生するリンクトレーニグタイムアウトです。
- strict帯域幅モードの機能を向上しました。
- PortRcvPktsカウンターが常にゼロ値を表示するという問題を修正しました。
- SecureHostモードでのSETメソッドを用いたGMP MADの処理に伴う問題を修正しました。
- Global Multicastフィルターを構成するときにMCGサイズを不正に使用する原因となる問題を修正しました。
- 不定期に第2ポートのTX障害の原因となる第1ポートを無効にしています。
- 報告されたリンクステータスの不一致を修正しました。スイッチが起動していることが認識されているにもかかわらず、アダプターでは、リンクがダウンしていると報告されています。
- SCM5 Switchブレードに伴う不定期な40GbEリンク障害を修正しました。
- MADでの不正なFDR10速度報告を修正しました。
- QDRに対してFDR10を設定するときにポートが開くのを回避するという問題を修正しました。
- Aristaスイッチに対する不定期なリンク障害を修正しました。
- 最後に認識されたPSNの代わりに、メッセージの第1のPSNから再電送が開始されました。
- インラインファームウェア書き込み中にGeneralInfoMadを受信したときにファームウェアがハングします。
- L1フローの調整およびしきい値のチューニング。
- PERST_ assertion中にまれに発生するハング問題を郵政しました。

- phase3中に不正な係数が報告されました。
- リセットのタイミングが不正な動作の原因となる問題を修正しました。
- ステアリングオプションの欠落を修正しました。
- 長くかかっていたタイムアウト問題を修正しました。
- driver-lessモードでのNVRAM書き込み問題を修正しました。
- auxモードでの40GbEリンクサポートを修正しました。
- 存在しないチャンネルIDでコマンドをドロップしました。
- 拡張速度報告における問題を修正しました。
- トラップ257/8での不正なQP報告を修正しました。
- 誤った不正なq_keyエラーメッセージの原因となる問題を修正しました。
- Pause Frame opcodeの不一致を修正しました。
- PCIeエラー検知における通信ロスを修正しました。
- SELECT/DESELECT PACKAGEコマンドの不正なチャンネル値を修正しました。
- 応答パケットに余分な4バイトが含まれる原因となる問題を修正しました。
- Set Linkをサポートされていない速度で使用しているときに戻される不正な理由コード値を修正しました。
- BMCにより指定された不正なMACアドレスからの保護を追加しました。 PERST_ deassertion後の不正なTXパルスを除去しました。
- SR-IOVが有効化されているときのFLR機能ビットの矛盾を修正しました。
- デバイスがPCIe関連エラーを報告しないという問題を修正しました。
- ConnectX-3からSX6036へのセットアップでリンクがDDRに構成されているときに、SDRリンクが代わりに確立されています。
- VXLANが不正な規定UDPポートを使用しました。UDPポート番号が4789に変更されました。
- VXLANのUDP宛先ポートの不正な設定を修正しました。
- IPMI/NC-SIを有効化してDMSモードに移行するときの内部エラーの原因を修正しました。
- 0.5m FDRケーブルを使用して接続されたFDRカードのバックツーバックセットアップでは、リンクがFDRの代わりにFDR10として確立されることがあります。
- PCIレガシー割り込みを伴う作業に関連する問題を修正しました。
- ソフトウェアにより埋め込まれたショートパケットのチェックサム計算が不正です。
- MFTフリントツールを使用した後でPCIe構成スペースを読み取ったため、デバイスがcrashしました。
- IPMIを介した不定期なパケット損失を修正しました。
- MADを開いているEyeで報告された不正な値を修正しました。
- L1状態からのリンクネゴシエーションおよびリンク移行中の不定期なリンク幅低下を修正しました。
- 調整シグナル検知しきい値を修正しました。
- LLRがアクティブの時にPortExtendedSpeedsCounters MADが誤って増加しました。
- TXパラメーターの構成時に、レーンリバーサルが考慮されませんでした。
- Flex- Bootアドレスが指定されたときのROLの工場出荷時MAC使用を修正しました。
- FlexBootアドレスが指定されたときのPauseフレームの工場出荷時MAC使用を修正しました。
- WOL/ROLパケット間でデバイスが違いません。
- 機能しなかったPortInfo MADの一連の拡張フィールドを修正しました。
- theib_128b_llrのMLPNネゴシエーションに準拠してLLRセルサイズを調整しました。
- 最大速度制限がstandbyモードのみでなく完全なpowerモードでもアクティブでした。
- InfiniBand Path移行がGRHで動作しませんでした。 <http://webdev01:8080/commit/ConnectX.git/a9c37ee4c31038f2c1179d4d9e79c9337e0ab5c7>
- MGM書き込み後に読み取ったため、不正な数値カウントを戻しました。
- ドライバーにより指定されたRSSハッシュキーの破損を修正しました。
- QoSレートリミットBWオフセットを修正しました。
- FDR10 speed_en reportingを修正しました。
- 長くかかっていた管理リンク通信ロスを修正しました。
- コマンド結果では、両方のリンクタイプが同時にアクティブであることが報告されています。 phyタイプとポート感知間の衝突を修正しました。 QUERY_HCAコマンドの不正なコアクロック周波数報告を修正しました。
- 56GbEが有効化されているときの不定期なリンク障害を修正しました。
- 最大Eyeマージンをプロトコルに従って修正しました。
- perfqueryでは、ConnectX®-3 VPIモードで不正なエラーシンボルが報告されました: IB、ETH。
- ConnectX-3Pro デュアルポートQDRおよびFDR/FDR10スイッチセットアップ環境では、MC2207312-030 AOCでシンボルエラーが発生することがあります。
- MC2207126-004銅ケーブルでFDRスイッチに接続されたポートConnectX-3ProデュアルポートQDRでシンボルエラーが発生しました。

- LLRが有効なInfiniBand FDRリンクからLLRなしのInfiniBandリンクへ切り替えるときおは、ドライバーの再起動が必要です(例: SwitchX® とGD4036との間)。
- まれに、40GbEに平行検出を実行しているときにアダプターカードのリンクアップが失敗することがあります。
- Automatic Path Migration(APM)では、Alternate Pathからの新しいMGIDがアップデートされませんでした。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.40.5030にアップデートされました。

644161-B21
644160-B21
649282-B21
649281-B21
649283-B21
764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.40.5072にアップデートされました。

764283-B21
764284-B21
764285-B21

ファームウェアバージョン2.40.5030での新機能:

- MADセンシングやNCSI/IPMI OEMコマンドに関する温度しきい値の高/低デフォルトを追加しました。
- user_mtuのサイズをファームウェアに示す「set port」 コマンドに新しいコマンドを追加しました。
- ファームウェアが内部QPで受信されたパケットを落としたり、WQEプロセッサフェッチングを使用不可にすることを確認する保護メカニズムを追加しました。
- イーサネットリンクダウンカウンターを追加しました。
- Ethertypeに基づき、キューを受け取るためのステアリングパケットを有効にしました
- 追加のレート値のサポートを追加しました。
- エラーの原因となる送信 WQE キャッシュ検索の繰り返し数を計算するカウンター。
- Flint ユーティリティでは、ファームウェアイメージの非永続セクションのMD5チェックサムを実行できません。
- PRMを介した新しいパフォーマンスとバックプレッシャーカウンターコマンド(詳しくはPRMを参照してください)
- マルチキャスト/ユニキャストのスニファールールのサポート(詳しくはPRMを参照してください)
- VLANカプセル化のVLANのサポート(詳しくはPRMを参照してください)
- ソフトウェアによるCQ作成オフロード
- rst2rtsコマンドのサポート
- ファームウェアブートステージ中にTLVを無効化
- 無受信バッファによるパケットドロップをカウントするdiag_rprt PRMコマンドのための新しいカウンター
- Ethernet TXライフタイムサイクルコントロールのサポート(Head of Queue)
- イングレス外部ループバックコントロールを可能にする新しいレジスター(PPLR)(詳しくはPRMを参照してください)
- フロー制御パケットでネットワークのフラッディングを防止するために、イングレストラフィックストールを追跡するためのウォッチドッグメカニズム
- トラフィックがなくても一定のトラフィックLED表示の原因となったINIにより制御される新しいLEDスキーム。
- 同じポート上での複数のRoCEモード(RoCE v1+v2)サポートを追加: RoCEモードは、現在接続ごとです。
- QP 接続準備時間を強化するために新しいQPコマンド "INIT2RTS_QP" を追加しました。
- FCSチェックを無効化し、FCSをタイムスタンプで置換するスイッチをサポートしました。
- ダイレクトルートパケットのRX ポートの識別子を追加しました。
- 再送信でRDMA書き込み/送信パフォーマンスが改善されました。
- PRM ACCESS_REGコマンドを使用したファームウェア書き込み/クエリーを有効化しました。
- VAM向けのサポートを追加しました。

- 有効な不良ケーブルEEPROMがドライバーに報告されています。
- Platform Level Data Model(PLDM)サイドバンドプロトコルのサポートを追加しました。
- プライオリティベースA0-DMFSモードのサポートを追加しました(詳しくはPRMを参照してください)。
- ドライバーによるUnicast/Multicastループバック無効化のサポートが追加されました。(詳しくはPRMを参照してください)
- ハッシュ計算からソースIPを削除しました(詳しくはPRMを参照してください)
- 最大2KBまでのインライン受信モードのサポートを追加しました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.0) for HPE Mellanox Ethernet アダプター専用

バージョン: 1.0.5 (A) (推奨)

ファイル名: CP032806.compsig; CP032806.zip

重要な注意!

FWバージョン2.40.7000での既知の問題:

- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリポートが必要です。
回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX@-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります。
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
回避策: 製品版SL230をPCIe Gen3オペレーションのためには使用するべきです
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンスドステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
回避策: BIOSのSR-IOVを有効
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがあります。ロックされたセマフォは、ファームウェアがフラッシュへアクセスすることを妨げ、ファームウェアがハングアップする原因となります。
回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'.
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。
You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n)[n] : y
You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y
- MLNX-_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください。
回避策: MLNX-_OFED-2.1-x.x.x以降にアップグレードしてください。
- VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
回避策: それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40GでVPIモードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。

- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
回避策: デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- PXE (レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
回避策:
 1. スイッチからケーブルを抜きます。
 2. ドライバーを再起動します。
 3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QP では、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリポートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx- 4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします。

FWバージョン14.18.2030での既知の問題 :

- 以下のICをベースにしたプラットフォームのリンクを立ち上げるには、以下のファームウェアバージョン要件を遵守してください。
 - ConnectX®-3 - 2.32.5100
 - SwitchX® - 9.2.7300 (またはMLNX-OS 3.3.5006)
- 10GbE リンクを立ち上げようとした際の、ConnectX-4 または ConnectX-4 Lx アダプターカードおよび ConnectX-2 アダプターカード間の相互運用問題。
- PCIe 機能 "Device S/N" が偽値を返しています。
- リンクがGen2の場合、L1ステートに入るか出るかすると、間違ったCRCまたはDLLPの表示の原因となることがあります。
- 構成スペースパワー管理機能 PME_EN を設定できません。
- サーバーリセット中(電源再投入以外)、non-maskable interrupt (NMI) は、PCIe アクセスによる Option Card Black Box (OCBB) 問題が発生する場合があります。
- PF ダイレクトパススルーはサポートされていません(PF FLR がサポートされていないため)
- 最新のポートオーナーホストがドライバーを再起動した後、いくつかのPort Control Register は、デフォルト値に戻りません。

回避策: ドライバーを再起動またはリセットします。

- 古い MFT バージョン (4.0.0 および 3.8.0) は、最新のGAファームウェアが古い、または既存のファームウェアと比較できないことを示しています。

下記と同様のメッセージが、ファームウェアアップグレードステージに表示されます:

```
# flint -d -i burn
```

```
Current FW version on flash: 12.1100.6630
```

```
New FW version:
```

```
12.0012.0572
```

注記:新しいFWバージョンはフラッシュ上の現在のバージョンよりも古いです。

```
Do you want to continue ? (y/n) [n] : y
```

回避策:ファームウェアをアップグレードするために下記オプションの1つを選択します:

- 最新のMFTバージョン(4.1.0)にアップグレードします
- flintのNoteが、"-force"フラグでflintを実行することを示した後に、"y"を入力します
- QP.force_loopback が1に等しいためにループバックされるトラフィックは、PFへ進みます。

- 最小 200 LFM は、MCX4411A-ACAN アダプターカードを冷却するために必要です。
- mlxfwreset は、ファームウェアイメージをアップグレードした後に、古いMFT バージョンで正しく機能しません
回避策:最新リリースに MFT をアップグレードするか、ファームウェアをアップグレードした後、再起動/電源再投入します。
- Windows Server 2016 Inboxドライバーは、ファームウェアv14.12.0780で動作しません
回避策:WinOF-2 v1.20 out-of-box ドライバーを使用します。
- ファームウェアをフラッシュするにはサーバーの再起動が必要です。ファームウェアを、最初のフラッシュ後、サーバーを再起動しないと2回目のフラッシュができません
回避策:ファームウェアのフラッシュ後にサーバーを再起動します。
- 制限イベントの SRQ をアーミングする場合、デバイスは、context_index=0 のイベントを発行する場合があります。
- set_hca_capコマンドの log_max_ra_res_qp の値は、すべての機能で同一としてください。
- 機能 (PF/VF) TX ポートカウンターはサポートされていません。
- PF ドライバーは、ページイベントキューで動作しなければなりません。
- SR-IOV イーサネットは、1ポートにつき最大18 VF をサポートします。
- Privileged Vport egress信号は、Vport が有効でない場合ブロックされません
- VportカウンターはVportを横切るトラフィックのみをカウントする必要があるが、ローカル (内部)ループバックパケットがVportカウンターによりカウントされます。
- バーチャルトラップの Vport ナンバーは、正しく報告されない場合があります
- untagged および prio-tagged パケットを取得する Single FTE(match_value.vlan_tag = 0 および match_value.vid = 0 にFTEを与えることで)は現在サポートされていません。
- SM with VL weight 0 on some VL を構成し、その信号を実行することで、アップロード中にハングするドライバーの原因となります。
- OCBB は、最新の iLO バージョンで表示されません。
- 10GbE ケーブルが、SFF-8472 に準拠していないものがあります。"SFP+ Cable Technology" ビットはクリアとなっています。
- Clause 74 Fire-Code FEC が有効である場合、FC_correctable カウンターおよび FC_uncorrectable カウンターが増加する、エラーが修正されたFCがあります。
- Windows NMI は、OCBBメモリアクセスランザクシジョンの結果として再起動の繰り返しが発生する場合があります。
- end_padding_mode は、PRMで定義されたINIT_2_RTR コマンドではなく、CREATE_QP 内で必要となります
- LR4 ケーブルイベントは、ポートがアップしても送信されます。
- UEFI 起動サイクル中に、winPE がロードされている間、まれにシステムが動かなくなることがあります。(OS WinPE、システム DL160) **回避策:**電源再投入でシステムを回復させます。
- RoCE LAGが正しく機能するには、両方のポートにQoSを設定する必要があります。
- FTEのencap_idを変更することはサポートされていません。
- フローカウンターがサポートされるのは、flow_tagがないFTE、または送信先がTIRのFTEのみです。
- FDB Flow Tableにフローカウンターを使用すると、送信済みのIBトラフィックvportカウンターが正しく機能しません。
- e-sw FDBのステアリングルールにencap操作が含まれていて送信先が外部ポートの場合、ルールに一致する送信されたマルチキャストパケットはワイヤに送られ、ループバックおよびローカルにループバックされたパケットにもencapヘッダーが付きます。
- 複数のインターフェイス (例、PCIeおよびMTUSB) から並行して同じデバイスにファームウェアを焼き付けることはサポートされません。
- e-switch FDBが作成されない場合、VF機能のループバックトラフィックはvport 0 (PF) に送られます。
- 複数のインターフェイス (例、PCIeおよびMTUSB) から並行して同じデバイスにファームウェアを焼き付けることはサポートされません。
- 50回以上のポートタイプTLVの非揮発性構成はシステムハングの原因となります。 **回避策:**ポートタイプTLVを連続して50回アップデートする毎に、mlxconfig resetを実行してください。
- ConnectX-4 Lxファームウェアv14.16.1006以降を使用して50GbEのリンクを立ち上げるには、以下の状態を満たす必要があります。
 - ConnectX-4ファームウェアのバージョンが最低でも12.16.1006でなければなりません
 - ConnectX-4 Lxファームウェアのバージョンが最低でも14.16.1006でなければなりません
 - MLNX-OSのバージョンが最低でも3.6.1000 (ファームウェアv13.1100.0026)でなければなりません
- IBポートプロトコルで設定されたVPI/IBデバイスにファームウェアイメージを焼き付けている間にワームブートを実行すると、デバイスがPCIeに表示されなくなることがあります。 **回避策:**代わりにデバイスをコール

ドリブートします

- 電源オフボタンを押すとサーバーをリセットしてスタンバイフロー (init 0の動作のように) を開始しません。その結果、keep_link_upによって両方のポートがアップとなり、ファームウェアがロードされるとポートが開きます。 **回避策:**init 0を使用してスタンバイフローを開始します。
- InfiniBandマルチホストおよびSR-IOVセットアップでは、query_hca_vport_contextコマンドの中でgrh_requiredビットが設定されている場合、トラフィックにGRH (GIDインデックス) を含めます。OpenSMを以下のように設定します (opensm.conf):
 - virt_enable should be 2
 - Enable Qos:
 - qos TRUE注記:この場合、GRHのないトラフィックがvport0 ("Host0")に転送されます
- IBポートプロトコルで設定されたVPI/IBデバイスにファームウェアイメージを焼き付けている間にワームブートを実行すると、デバイスがPCIeに表示されなくなることがあります。 **回避策:**サーバーを電源再投入します (コールドリブート)。コールドリブートが実行されると、デバイスはすでに焼き付けられている以前のイメージでリブートされます。
- ファームウェアおよびハードウェアは、CPortState=downで物理リンクをリセットしません。IB仕様によると、マネジメント状態がコマンドを変更します:"CPortState... when phy_link=up and CPortState=down, the state machine will transition to the LinkDown state which will reset other link state machines. Since phy_link=up, this will be followed by a transition to the LinkInitialize state. Thus a command to change link port state to down provides a way to re-initialize the link layer..." **回避策:** 物理リンクを再訓練するには、sendbug PortInfo.physical_port_state = POLLINGが必要です。
- ローカルループバックトラフィックがvportカウンターに影響することがあります。
- トラフィックの送信中にレートリミッターを停止するとアダプターカードがハングすることがあります。 **回避策:**その前にトラフィックを停止します。
 - 最後の非デフォルトレートvportにrate 0を設定します。
 - 非デフォルトレートvportの最後のvport にdestroy_scheduling_elementコマンドを発行します。
- SLをVL 15にマッピングすることは現在サポートされません。それをしようとすると、ヘルスバッファの致命的な内部エラーが報告されます。
- modify_scheduling_contextコマンドの実行が、エレメントのスケジュールが作成されたかどうかの確認を含みません。 **回避策:**存在しないエレメントを変更しないようにします。
- 機能のmax_average_bwレートを設定/変更すると、あるいは速度をサポートされる最高速度(INIに示されるように)以上に設定すると、レートが不正確になりアサートとなります。 **回避策:**scheduling_context コマンドの中で、max_avergae_bwをサポートされるワイヤ速度と同じまたはそれ以下に設定します。
- ただし、refカウンターは max_average_bw != 0 (limited) 毎に増加する設計で、eSwitch max_average_bw refカウンターはmax_average_bwの値に関わらず、TEARDOWN_HCA/ FLR VFで減少します。 **回避策:**TEARDOWN_HCA/ FLR VFを実行する前に、すべてのVFのすべてのレートが "0" に設定されていることを確認します。これは、VFのいずれかにレートが設定されている場合にのみ適用されます。
- FDRリンクは30Mより長い光学EDRケーブル上にシンボルエラーを発生させることがあります。
- modify_scheduling_contextコマンドを実行する場合、フィールドは予約されていますが検証の実行にscheduling_context.element_typeが考慮されます。 **回避策:**modify_scheduling_contextコマンドを発行する際は、正しいelement_typeを使用してください。

修正

Fixes in 2.40.7000:

- Fixed a race between the firmware and the hardware during driver start which blocked outbound completions.
- Fixed an issue which caused the firmware not to send link_down event to the driver when running the close_port command.
- Fixed an issue where in rare cases the Auto Sense failed to detect the right protocol.
- Fixed signal integrity issue when connecting a WCS ConnectX4 mezz card to Pikes peak FPGA..
- Added the option to transmit corrupted DME pages for a very short period of time at the beginning of the Auto-Negotiation flow.
- Fixed an incorrect report of the PortRcvDataVLExtended / PortXmitDataVLExtended counters by the firmware.

- o Fixed a rare issue which caused firmware's packet injector to cut off packets when the TX was congested.
- o Fixed an issue that caused the response to TX requests to take up to 10 milli-seconds in IEEE clause 72 Link Training.
- o Fixed a race between 2 iriscs which caused a QP to get stuck in burst control limit state.
- o When a QP was in error state, the firmware generated too many err CQEs at once, thus causing the cmdif responsiveness to be too slow. To prevent the above, the number of err CQEs was limited to 16 at a time.
- o Fixed an issue that caused the MAC address that was set from the OS using ifconfig to be not reflected in the OCBB buffer.
- o Fixed an issue where the ibdump got broken when running with loopback traffic.
- o Fixed an issue where the firmware took QP to firmware ownership and then released it to the hardware ownership without checking if another firmware flow owns the same QP.
- o Fixed an issue which occurred after disconnecting cable which showed the link type as IB even if the link type of the port is ETH.
- o Fixed an issue related to the HCA PoerXmitWait counter on port 2 (connected to port 2 on Switch-IB) where it started counting and reached 0xFF's regardless of connection to switch.
- o Fixed a completion error issue when ECN was enabled. The ECN usage caused ordering errors in completion queues (CQ).
- o Fixed the length calculation of UDP. The incorrect UDP length in the CNP packet caused miscalculation of the ICRC.
- o Fixed a wrong returned status in cable info MAD when the cable was not connected
- o Fixed failure instances when initiating FLR in the Physical Function.
- o Disabled High Rate Steering mode in the INI to enable its compatibility with NC-SI over VLAN.
- o Fixed a default hardware configuration issue which caused RDP over IPv4 traffic to be dropped.
- o MLNX_OEM command GET_TEMP returned a wrong value in the max_temp field.
- o Fixed an issue which caused TX traffic to stop when the message MTU size was larger than QP.mtu.
- o Fixed an issue which caused NVCONFIG to fail when the number of sector was set to 1 and the sector was zeroed.
- o Fixed a race in handling a duplicated "read request from middle".
- o Fixed an issue which caused lack of IB traffic on SR-IOV VPI.
- o Fixed an issue which caused NVRAM to get stuck when it filled non-valid information in TLV.
- o Fixed an issue which caused an internal firmware error when APM changed the QPs port mapping.
- o Fixed an issue which caused a firmware internal error when handling QP alternative context.
- o Fixed an issue which caused packet transmission to get stuck when the software tried to send pause frames with dmac equal to one of the device's MAC addresses.
- o Fixed a wrong reporting of section 5 event 8 - LSO support.
- o Fixed a mistakenly dropped ETH packet with ethertype 0x600 by the NIC.
- o Fixed a case preventing broadcast traffic from arriving to their destination after detaching high priority broadcast rule on a port where NC-SI was enabled.
- o Fixed an issue where the port raised as SDR vs. InfiniScale IV QDR Switch
- o Fixed a rare case of completion Error with Bad Opcode sequence status which occurred when retransmitting read requests
- o Fixed a case where the actual bandwidth did not match the user settings in VM QoS.
- o Fixed a case where on rare cases, communication to BMC was lost during driver initialization.
- o Fixed an issue with cable reading, which caused the link not to raise.
- o Set the maximum EQN number to 1024.
- o Fixed a rare issue with VPD init flow which caused read failures.
- o Fixed an issue with RX size counter not being reported.
- o Fixed promiscuous mode compatibility with A0-DMFS steering.
- o Fixed promiscuous mode compatibility when NC-SI is enabled and configured.
- o Fixed sending/receiving OEM temp commands (set/get) with channel ID 0x1f failure.
- o Fixed an issue which caused packets to drop on a port when changing the interface state of the other port.
- o Fixed long management communication loss and SOL hang during reboot cycles.
- o Fixed wrong processing of inbound traffic towards BMC which caused communication loss.
- o Fixed management link loss upon closing port interface through the driver.
- o Fixed a false indication in firmware of an expander presence causing delay in EEPROM reading.

- o Fixed an issue which caused a link down on a port when the cable was removed from the other port.
- o Fixed a rare case where packet with length zero got stuck in hardware queues.
- o Fixed an issue which caused InfiniBand congestion control packet (CNP) to hang in hardware.
- o Fixed an issue which caused AEN to be sent after channel reset.
- o Fixed an issue which prevented the restoring of QoS setting to its default consequently causing bandwidth degradation.
- o Fixed an occasional long link up time with 10GbE based devices.
- o Fixed an issue preventing cable readings from i2c slave address 0x51
- o Fixed a wrong parity bit calculation when transmitting PCIe TS1 packets.
- o Fixed a possible deadlock in PM turnoff request transmission and ack acceptance flow.
- o Fixed a rare case with alignments state machines which caused occasional width degradation.
- o Fixed an issue where the transmit queues hanged while congestion control was enabled and operational (EQC/QCN)
- o Fixed an unexpected work completion syndrome with vendor syndrome 0x77 received when running RDMA SEN/WRITE traffic with retransmissions.
- o Fixed an issue which caused SetPortInfo to return a good status when receiving invalid LinkSpeedEnabled value.
- o Fixed an issue which caused dual port SFPP module cards to be automatically mapped with expander.
- o Fixed an issue where firmware overrides the steering mode that was chosen by the driver.
- o Fixed invalid return sensing results occurred when the link was up.
- o Fixed an issue causing the sensing result to be delayed when cable was unplugged.
- o Fixed an issue causing the link type to be displayed as ETH when set to AUTO.
- o Fixed an issue causing ARP not to reply when connected to Hyper-V vSwitch.

Fixes in 14.18.2030 :

- o On rare occasions during UEFI boot cycles system got stuck while WinPE is loaded. (OS WinPE, system DL160).
- o Single FTE that catches both untagged and prio-tagged packets (by giving an FTE with match_value.vlan_tag = 0 and match_value.vid = 0) is currently not supported.
- o Flashing the firmware requires server reboot. Firmware cannot be flashed twice without server reboot after first flashing
- o If the vport state is DOWN and a packet is sent in local loopback, the sx_sniffer tool will not function.
- o Fixed an issue causing bubbles to appear as symbol errors when link raised FDR 1x.
- o When Clause 74 Fire-Code FEC is active, and there are FC corrected errors, both the FC_correctable counter and the FC_uncorrectable counter are increment.
- o Some Port Control Register do not return to the default value after the last port owner host restarts the driver.
- o Fixed an issue which caused RX to hang when the UDP packet had a reserved UDP destination port.
- o Fixed DMAC reporting mapping per host.
- o Fixed an EEH error from PCI which caused firmware to hang.
- o Fixed the default value of the PCIe target_link_speed to Gen3 in link control2.
- o Fixed an issue which prevented LEDs from blinking when the traffic was less than 0.1% of the link speed.
- o Fixed an issue which caused the mlxconfig configuration of VF_LOG_BAR_SIZE to be ignored and to be set to 5 (32MB).
- o A server getting into a Standby mode while Packet-Pacing is enabled might cause firmware to hang and driver call-trace.
- o Fixed an issue which caused unexpected QoS functionality in case of multiple sources to single destination traffic transmission.
- o Fixed an issue which occasionally caused the RX traffic to hang in DC when received a PCI error on WQE fetch.
- o Fixed OOB connection issue during Intel's ITP inject errors test.
- o Fixed an issue which prevented MAC address changes by to driver to be reflected in the OBCC and NC-SI interfaces.

- o Added protection from IOPX thermal diode destabilization to prevent UEFI IPv6 PXE boot failure on ConnectX-4 Lx 25GE cards.
- o Fixed an issue which caused a link down in Port 2 when unplugging the cable from Port 1.
- o In some cases, a Bit Error Rate is not optimal on 10G/40G links.
- o Instability of Link Training Flow occurs during 100G Auto-Negotiation.
- o Fixed a rare issue which caused the command to hang when moved the QP to RESET and back to RTS.
- o Improved RDMA READ bandwidth under packet lost scenario.
- o Added support for pnat = 1 in HCA access_reg command as required by the ibdiagnet tool.
- o Fixed the LLDP OCBB response: return value is now ascii.
- o Fixed a very rare NMI issue during PXE cycles.
- o Increased the steering hash tables static size from 128 to a maximum of 32K entries.
- o Prevented miscalculation of module temperature when using 100Gb/s cables (OPN: MFA1A00-Cxxx for 100GbE).
- o Reduced one hop for Unicast RX steering, steering pipes balancing.
- o Non-volatile configuration of Port Type TLV more than 50 times might cause system hang.
- o Enabled RoCE IPv4 Multicast. This prevents MCG command from failing when an IPv4 is mapped to an IPv6 address.
- o If the PF driver or the tool (e.g. ethtool) use PAOS DOWN command (e.g. by ifconfig down or ip link set down), loopback traffic is blocked for all functions on this port (PF <->VFs / VF <->VF) In Multihost loopback, the traffic will be blocked once the firmware receives the PAOS down command from all PFs. However, the loopback traffic will not be blocked when the port is down due to the physical link (for example: cable plugged out, switch port down).
- o Fixed a 25G and 50G link issue when Clause 91 RS FEC was active.
- o Added a missing invalidation of eSwitch cache upon FLR which caused the upcoming driver load to either fail or not to be able to transmit.
- o Fixed a UEFI IPv6 PXE boot failure on ConnectX-4 Lx 25GbE OCP card.
- o Fixed an issue which prevented Vport counters from counting local loopback packets. Packets now are filter by the self-loopback prevention.
- o Reported INTx as unsupported to allow PFs Passthrough on PowerKVM.
- o SR-IOV Ethernet supports up to 18 VFs per port only.
- o Fixed and incident what allowed local (internal) loopbacked packets to be counted by the Vport counters, although Vport counters should count only traffic that crosses the Vport.
- o Fixed an issue preventing driver loading or TX traffic sending upon reboot, after ungraceful driver unload.
- o Fixed casting of BMC MAC before steering API.
- o Fixed the PCI write flow to take into consideration the PCI MTU. This fix eliminates the need for NOPs in the flow, which resulted from PPC larger PCI MTU.
The single queue limitation for READ is due to a hardware limitation of the number of READ request in a given time.
- o Fixed a case that caused FlexBoot to not work as expected with systems that run with "large bar" enabled (Above 4G Decoding) over Connect-IB or ConnectX-4 HCAs.
- o Fixed an issue which prevented link creation when connected to IXIA 25G.

擴張

Firmware for the following devices are updated to 2.40.7000:

779799-B21 (HP Ethernet 10G 2-port 546FLR-SFP+ Adapter)

779793-B21 (HP Ethernet 10G 2-port 546SFP+ Adapter)

New features and changes in version 2.40.7000:

- o Added Etherent Link down counter.
- o Enables steering packets to receive queues according to Ethertype matching
- o Adds support for additional rate values.
- o Counters that count the number of repeated Send WQE cache lookups that resulted in a miss.

- o Flint utility allows performing an MD5 checksum on the non-persistent sections of the firmware image.
- o New performance and back-pressure counters command via PRM (For further information, please refer to the PRM)
- o Support for Multicast/Unicast sniffer rules (For further information, please refer to the PRM)
- o Support for VLAN in VLAN encapsulation (For further information, please refer to the PRM)
- o CQ creation offload by software
- o Support for rst2rts command
- o Invalidates a TLV during the firmware boot stage
- o A new counter for the diag_rprt PRM command to count packet drops due to noreceive buffer
- o Support for Ethernet TX lifetime cycle control (Head of Queue)
- o A new register (PPLR) that allows egress and external loopback control (For further information, please refer to the PRM)
- o A watchdog mechanism to track ingress traffic stalls to prevent flooding the network with Flow Control packets
- o Inspur LED scheme: A new LED scheme controlled by the INI which causes constant traffic LED indication even without traffic.
- o Added support for multiple RoCE modes (RoCE v1+v2) on the same port: RoCE mode is per connection now.
- o Added a new QP command "INIT2RTS_QP" to enhance QP connection readiness time.
- o Disabled FCS checks to support switches that replace FCS with Timestamp.
- o Added RX Port identification for direct rout packets.
- o Improved RDMA WRITE/SEND performance with retransmissions.
- o Enabled firmware burning/querying using the PRM ACCESS_REG command.
- o Added support for VAM. • Enabled bad cable EEPROM reporting to the driver.
- o Added support for Platform Level Data Model (PLDM) sideband protocol.
- o Added support for priority based A0-DMFS mode (For further information, please refer to the PRM).
- o Added support for Unicast/Multicast loopback disablement by the driver. (For further information, please refer to the PRM)
- o Removed the source IP from the hash calculation (For further information, please refer to the PRM)
- o Added support for Inline Receive mode up to 2KB.
- o Added support for multiple RoCE modes (RoCE v1+v2) on the same port: RoCE mode is per connection now.
- o Added a new QP command "INIT2RTS_QP" to enhance QP connection readiness time.
- o Disabled FCS checks to support switches that replace FCS with Timestamp.
- o Added RX Port identification for direct rout packets.
- o Improved RDMA WRITE/SEND performance with retransmissions.
- o Enabled firmware burning/querying using the PRM ACCESS_REG command.
- o Added support for VAM. • Enabled bad cable EEPROM reporting to the driver.
- o Added support for Platform Level Data Model (PLDM) sideband protocol.
- o Added support for priority based A0-DMFS mode (For further information, please refer to the PRM).
- o Added support for Unicast/Multicast loopback disablement by the driver. (For further information, please refer to the PRM)
- o Removed the source IP from the hash calculation (For further information, please refer to the PRM)
- o Added support for Inline Receive mode up to 2KB.
- o Sideband moved to port 0
- o Added MCTP command support
- o Changed the HP LED scheme for the 779799-B21 adapter.

Firmware for the following devices are updated to 14.18.2030 :

817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2-port 640FLR-SFP28 Adapter)

817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 Adapter)

- o Added logical link indication in SFP to BaseT modules and disabled logical link when peer port is down.
- o Added support for 10GbE in 25GbE SFP optical modules.
- o Enables mlxlink tool to collect data on the PHY link status and provides link down reasons and additional link related information.

- o Enabled TX configuration response and movement during Link Training in Ethernet.
- o Added support at lane rate of 12.89Gb.
- o Limits the amount of time a packet may head a Traffic Class (TC) transmission queue, without being transmitted. Stale packets are discarded. Active by default for TCs adhering to link level flow control.
- o UAR page size currently is set to 4KB and not according to what the system page size determines.
- o Improved performance of:
 - Doorbell from User Access Region (UAR)
 - Clear interrupt from User Access Region (UAR)
- o Added support for additional transport counters.
- o Added ODP support for DC.
- o Enabled scatter-to-CQE for sent packets for DC.
- o Enabled moderation period modification in CQ modify command.
- o Added support for minimum/maximum rate limit per vport in SR-IOV.
- o Enabled network traffic between UEFI-Shell and OS.
- o Enabled the PF to force disable RoCE for its VFs.
- o Added 2 new access registers:
 - Management Capabilities Mask Register
 - Ports Capabilities Mask Register Fields
 For further information, please refer to the PRM.
- o Enabled VNIC the control to enable/disable its local loopback traffic.
- o Added the option to open a receive RDMA Flow Table and to forward RoCE traffic to some destination QP.
- o Added support for Multi-Host LID base routing. This feature requires a new OpenSM (v4.7.1 and above which comes with MLNX_OFED 3.3-2.0.0.0) with the following attributes:
 - qos TRUE
 - lmc 2 (if there is no quad host in the fabric, you can set the lmc to 1)
 - virt_enabled 2 Note: Multi-Host LID base routing can be configured by the INI only. The default is 0
- o Resilient RoCE is the ability to send RoCE traffic over a lossy network (a network without flow control enabled), without the need to enable flow control on the network. The ability is accomplished by enabling ECN on both the Switch and the Host.
- o Enables load balancing in the Multi PF Switch layer (MPFS) based on the L3/L4 headers
- o Increased the number of VFs from 64 to 95 per Physical Function (PF). Note: When increasing the number of VFs, the following limitations must be taken into consideration: $server_total_bar_size \geq (num_pfs) * (2log_pf_uar_bar_size + 2log_vf_uar_bar_size * total_vfs)$ $server_total_msix \geq (num_pfs) * (num_pf_msix + num_vfs_msix * total_vfs)$ Note: For the maximum number of VFs supported by your driver, please refer to your drivers' Release Notes or User Manual.
- o Added support for Port Flap Counter.
- o Limits the buffer size for all entries to improve performance. KSM is used when associating Key Length My Virtual Address (KLMs) with fixed memory size.
- o This entry (null_mkey) is use to indicate non-present KLM/KSM entries. When accessing is, it causes the device to generate page fault event.
- o PLDM firmware burning is based on the DMTF spec DSP0267 (draft 9). The feature enables upgrading firmware and expansion ROM images using the PLDM protocol over MCTP (over PCIe). By doing so, a supporting BMC can query and upgrade the firmware without using OS based tools.
- o Added a new physical layer statistics counters group. The new group includes BER counters, FEC error correction, clear time, and additional physical layer counters. For further information, please refer to the Ethernet Adapters Programming Manual (PRM).
- o Enables the user to set a certain link up state for an unlimited period of time. This mode has 3 states:
 - Aux power (standby)
 - Reboot/boot/driver unloaded - the server is active and no driver is up
 - Driver is up - at least one driver is up (the time between init HCA and teardown or FLR)
- o Added support for Doorbell from User Access Region (UAR).
- o [Beta] Added support for maximum rate limit per function in SR-IOV.
- o Allows the user to configure the adapter card to stop sending pauses after x when the receive port is unavailable (in a hang state).

- o [Beta] Added support for new performance counters.
- o DCBX is used by DCB devices to exchange configuration information with directly connected peers. DCBX uses Link Layer Discovery Protocol (LLDP) to exchange parameters between two link peers. For further information, please refer to the PRM.
- o Allows network port registers to revert to their default values when the driver is restarted or the host is rebooted.
- o Added additional network link up modes. The new modes decide when to keep the network link up. The new modes are:
 - keep_eth_link_up
 - keep_ib_link_up
 - keep_link_up_on_boot
 - keep_link_up_on_standby
- o Added v1, v3, v6 tags to VPD read only tag
- o Enables software to scatter or strip FCS in RQ.
- o Keeps track of the creation of a packet. A time-stamping service supports assertions of proof that a datum existed before a particular time.
- o Applies pause functionality to specific classes of traffic on the Ethernet link.
- o Custom port counters provide the user a clear indication about RDMA send/receive statistics and errors
- o The Link Layer Discovery Protocol (LLDP) is a vendor-neutral Link Layer protocol in the Internet Protocol Suite used by network devices for advertising their identity, capabilities, and neighbors on a IEEE 802 LAN. The protocol is formally defined in IEEE 802.1AB.
- o ConnectX-4 adapters now support 1Gb/s and 56GbE Ethernet connectivity in addition to 10GigE, 25GigE, 40GigE, 50GigE, and 100GigE.
- o Provides a clear indication of Flow Steering statistics and errors.
- o The minimal amount of packet headers inlined in the WQE's Eth Segment.
- o A flow table may include a table-miss flow entry, which renders all Match Fields wildcards. If a packet does not match a flow entry in a flow table, this is a table miss. The behavior on a table miss depends on the table configuration. A table-miss flow entry in the flow table may specify how to process unmatched packets.
- o Single Root IO Virtualization (SR-IOV) is a technology that allows a physical PCIe device to present itself multiple times through the PCIe bus.
- o Uses the HCA for offloading erasure coding calculations.
- o Enables the administrator to add a timestamp to the firmware they want to upgrade to avoid situations where one host tries to upgrade the firmware and another tries to downgrade; which may lead to two or more unnecessary server reboots. For further information, please refer to MFT User Manual.
- o The change includes the following:
 1. Changed port configuration which required link re-training (such as speed)
 2. PAOS down
 3. PAOS up

This change, will cause the link to toggle and new configurations to take effect.
- o Flint utility allows performing an MD5 checksum on the non-persistent sections of the firmware image. For further information, please refer to MFT User Manual.
- o Improved TX signal integrity for Electromagnetic Induction (EMI) compliance.
- o Optic modules thermal sensing - Enables the firmware to read and report the temperature of the module.
- o PLDM for module thermal sensing - Supports platform-level data models and platform functions in a platform management subsystem. PLDM is designed to be an effective interface and data model that provides efficient access to low-level platform inventory, monitoring, control, event, and data/parameters transfer functions.
- o Low power boot state - Enables u-boot to put non-boot CPUs into a low power status. To enable low power boot using iLO debugger use the following commands.
 - #I2c b
 - #I2c a 0x82
 - #I2c w 0x03 0xfe
 - #I2c w 0x01 0xfe

- Port shutdown due to optic thermal event - Enables the firmware to close the power cage in case of high temperature in the module.
- Reduced the port link-up time when negotiating according to Clause 73 (DME)
- Large Receive Offload (LRO) • Large Send Offload (LSO)
- Receive Side Scaling (RSS)
- Global Pause • RoCEv1.0/RoCEv2.0
- Flow Steering
- Sniffer Ethernet
- Rate Limiter (at Beta level)
- Multi packet WQE
- Enhanced Transmission Selection standard (ETS)
- Explicit Congestion Notification (ECN)
- Priority Flow Control (PFC)
- CQE time stamping
- PCIe Function Level Reset (FLR)
- Power Management L2/L3 flow support
- Strided SRQ
- Self Loopback support
- Transport Domain support
- CQ2EQ remapping
- Added support for the following commands:
 - MODIFY/QUERY_ESW_VPORT_CONTEXT
 - QUERY/MODIFY_CONG_STATUS
 - QUERY/MODIFY_CKONG_PARAMS
 - QUERY_CONG_STATISTICS
 - ADD/DELETE_VXLAN_UDP_DPORT

サポートしているデバイスおよび機能

HP部品番号	InfiniBandカードタイプ	PSID
779793-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用

バージョン: 1.0.5 (C) (推奨)

ファイル名: firmware-nic-mellanox-ethernet-only-1.0.5-4.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-ethernet-only-1.0.5-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

FWバージョン2.40.7000での既知の問題:

- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX®-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります。

- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
回避策: 製品版SL230をPCIe Gen3オペレーションのためには使用するべきです
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンスドステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
回避策: BIOSのSR-IOVを有効
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがあります。ロックされたセマフォは、ファームウェアがフラッシュへアクセスすることを妨げ、ファームウェアがハングアップする原因となります。
回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'.
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。
You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n)[n] : y
You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y
- MLNX-_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください。
回避策: MLNX-_OFED-2.1-x.x.x以降にアップグレードしてください。
- VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
回避策: それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40GでVPIモードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
回避策: デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- PXE (レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
回避策:
1. スイッチからケーブルを抜きます。
2. ドライバーを再起動します。
3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- IPv6上でのRDPIは、現在機能しません。
- Sniffer QP では、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリポートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx- 4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします。

FWバージョン14.18.2030での既知の問題 :

- 以下のICをベースにしたプラットフォームのリンクを立ち上げるには、以下のファームウェアバージョン要件を遵守してください。
 - ConnectX®-3 - 2.32.5100
 - SwitchX® - 9.2.7300 (またはMLNX-OS 3.3.5006)
- 10GbE リンクを立ち上げようとした際の、ConnectX-4 または ConnectX-4 Lx アダプターカードおよび ConnectX-2 アダプターカード間の相互運用問題。
- PCIe 機能 "Device S/N" が偽値を返しています。
- リンクがGen2の場合、L1ステートに入るか出るかすると、間違っCRCまたはDLLPの表示の原因となることがあります。
- 構成スペースパワー管理機能 PME_EN を設定できません。
- サーバーリセット中(電源再投入以外)、non-maskable interrupt (NMI) は、PCIe アクセスによる Option Card Black Box (OCBB) 問題が発生する場合があります。
- PF ダイレクトパススルーはサポートされていません(PF FLR がサポートされていないため)
- 最新のポートオーナーホストがドライバーを再起動した後、いくつかのPort Control Register は、デフォルト値に戻りません。

回避策:ドライバーを再起動またはリセットします。
- 古い MFT バージョン (4.0.0 および 3.8.0) は、最新のGAファームウェアが古い、または既存のファームウェアと比較できないことを示しています。

下記と同様のメッセージが、ファームウェアアップグレードステージに表示されます:

```
# flint -d -i burn
Current FW version on flash: 12.1100.6630
New FW version:
12.0012.0572
注記:新しいFWバージョンはフラッシュ上の現在のバージョンよりも古いです。
Do you want to continue ? (y/n) [n] : y
```

回避策:ファームウェアをアップグレードするために下記オプションの1つを選択します:

 - 最新のMFTバージョン(4.1.0)にアップグレードします
 - flintのNoteが、"-force"フラグでflintを実行することを示した後に、"y"を入力します
- QP.force_loopback が1に等しいためにループバックされるトラフィックは、PFへ進みます。
- 最小 200 LFM は、MCX4411A-ACAN アダプターカードを冷却するために必要です。
- mlxfwreset は、ファームウェアイメージをアップグレードした後に、古いMFT バージョンで正しく機能しません

回避策:最新リリースにMFTをアップグレードするか、ファームウェアをアップグレードした後、再起動/電源再投入します。
- Windows Server 2016 Inboxドライバーは、ファームウェアv14.12.0780で動作しません

回避策: WinOF-2 v1.20 out-of-boxドライバーを使用します。
- ファームウェアをフラッシュするにはサーバーの再起動が必要です。ファームウェアを、最初のフラッシュ後、サーバーを再起動しないと2回目のフラッシュができません

回避策:ファームウェアのフラッシュ後、サーバーを再起動します。
- 制限イベントの SRQ をアーミングする場合、デバイスは、context_index=0 のイベントを発行する場合があります。
- set_hca_capコマンドの log_max_ra_res_qp の値は、すべての機能で同一としてください。
- 機能 (PF/VF) TX ポートカウンターはサポートされていません。
- PF ドライバーは、ページイベントキューで動作しなければなりません。
- SR-IOV イーサーネットは、1ポートにつき最大18 VF をサポートします。
- Privileged Vport egress信号は、Vport が有効でない場合ブロックされません
- VportカウンターはVportを横切るトラフィックのみをカウントする必要があるが、ローカル (内部)ループバックパケットがVportカウンターによりカウントされます。
- バーチャルトラップの Vport ナンバーは、正しく報告されない場合があります
- untagged および prio-tagged パケットを取得する Single FTE(match_value.vlan_tag = 0 および match_value.vid = 0 にFTEを与えることで)は現在サポートされていません。
- SM with VL weight 0 on some VL を構成し、その信号を実行することで、アップロード中にハングするドライバーの原因となります。
- OCBB は、最新の iLO バージョンで表示されません。
- 10GbE ケーブルが、SFF-8472 に準拠していないものがあります。"SFP+ Cable Technology" ビットはクリアとなっています。

- Clause 74 Fire-Code FEC が有効である場合、FC_correctable カウンターおよび FC_uncorrectable カウンターが増加する、エラーが修正されたFCがあります。
- Windows NMI は、OCBBメモリアクセストランザクションの結果として再起動の繰り返しが発生する場合があります。
- end_padding_mode は、PRMで定義されたINIT_2_RTR コマンドではなく、CREATE_QP 内で必要となります
- LR4 ケーブルイベントは、ポートがアップしても送信されます。
- UEFI 起動サイクル中に、winPE がロードされている間、まれにシステムが動かなくなることがあります。(OS WinPE、システムDL160) **回避策:** 電源再投入でシステムを回復させます。
- RoCE LAGが正しく機能するには、両方のポートにQoSを設定する必要があります。
- FTEのencap_idを変更することはサポートされていません。
- フローカウンターがサポートされるのは、flow_tagがないFTE、または送信先がTIRのFTEのみです。
- FDB Flow Tableにフローカウンターを使用すると、送信済みのIBトラフィックvportカウンターが正しく機能しません。
- e-sw FDBのステアリングルールにencap操作が含まれていて送信先が外部ポートの場合、ルールに一致する送信されたマルチキャストパケットはワイヤに送られ、ループバックおよびローカルにループバックされたパケットにもencapヘッダーが付きます。
- 複数のインターフェイス (例、PCIeおよびMTUSB) から並行して同じデバイスにファームウェアを焼き付けることはサポートされません。
- e-switch FDBが作成されない場合、VF機能のループバックトラフィックはvport 0 (PF) に送られます。
- 複数のインターフェイス (例、PCIeおよびMTUSB) から並行して同じデバイスにファームウェアを焼き付けることはサポートされません。
- 50回以上のポートタイプTLVの非揮発性構成はシステムハングの原因となります。 **回避策:**ポートタイプTLVを連続して50回アップデートする毎に、mlxconfig resetを実行してください。
- ConnectX-4 Lxファームウェアv14.16.1006以降を使用して50GbEのリンクを立ち上げるには、以下の状態を満たす必要があります。
 - ConnectX-4ファームウェアのバージョンが最低でも12.16.1006でなければなりません
 - ConnectX-4 Lxファームウェアのバージョンが最低でも14.16.1006でなければなりません
 - MLNX-OSのバージョンが最低でも3.6.1000 (ファームウェアv13.1100.0026)でなければなりません
- IBポートプロトコルで設定されたVPI/IBデバイスにファームウェアイメージを焼き付けている間にファームブートを実行すると、デバイスがPCIeに表示されなくなることがあります。 **回避策:**代わりにデバイスをコールドリブートします
- 電源オフボタンを押すとサーバーをリセットしてスタンバイフロー (init 0の動作のように) を開始しません。その結果、keep_link_upによって両方のポートがアップとなり、ファームウェアがロードされるとポートが開きます。 **回避策:**init 0を使用してスタンバイフローを開始します。
- InfiniBandマルチホストおよびSR-IOVセットアップでは、query_hca_vport_contextコマンドの中でgrh_requiredビットが設定されている場合、トラフィックにGRH (GIDインデックス) を含めます。OpenSMを以下のように設定します (opensm.conf):
 - virt_enable should be 2
 - Enable Qos:
 - qos TRUE
 注記:この場合、GRHのないトラフィックがvport0 ("Host0")に転送されます
- IBポートプロトコルで設定されたVPI/IBデバイスにファームウェアイメージを焼き付けている間にファームブートを実行すると、デバイスがPCIeに表示されなくなることがあります。 **回避策:**サーバーを電源再投入します (コールドリブート)。コールドリブートが実行されると、デバイスはすでに焼き付けられている以前のイメージでリブートされます。
- ファームウェアおよびハードウェアは、CPortState=downで物理リンクをリセットしません。IB仕様によると、マネジメント状態がコマンドを変更します:"CPortState... when phy_link=up and CPortState=down, the state machine will transition to the LinkDown state which will reset other link state machines. Since phy_link=up, this will be followed by a transition to the LinkInitialize state. Thus a command to change link port state to down provides a way to re-initialize the link layer..." **回避策:** 物理リンクを再訓練するには、sendbug PortInfo.physical_port_state = POLLINGが必要です。
- ローカルループバックトラフィックがvportカウンターに影響することがあります。
- トラフィックの送信中にレートリミッターを停止するとアダプターカードがハングすることがあります。 **回避策:**その前にトラフィックを停止します。
 - 最後の非デフォルトレートvportにrate 0を設定します。
 - 非デフォルトレートvportの最後のvport にdestroy_scheduling_elementコマンドを発行します。

- SLをVL 15にマッピングすることは現在サポートされません。それをしようとすると、ヘルスバッファアの致命的な内部エラーが報告されます。
- modify_scheduling_contextコマンドの実行が、エレメントのスケジュールが作成されたかどうかの確認を含みません。 **回避策:**存在しないエレメントを変更しないようにします。
- 機能のmax_average_bwレートを設定/変更すると、あるいは速度をサポートされる最高速度(INIに示されるように)以上に設定すると、レートが不正確になりアサートとなります。 **回避策:**scheduling_context コマンドの中で、max_avergae_bwをサポートされるワイヤ速度と同じまたはそれ以下に設定します。
- ただし、refカウンターは max_average_bw != 0 (limited) 毎に増加する設計で、eSwitch max_average_bw refカウンターはmax_average_bwの値に関わらず、TEARDOWN_HCA/ FLR VFで減少します。 **回避策:**TEARDOWN_HCA/ FLR VFを実行する前に、すべてのVFのすべてのレートが "0" に設定されていることを確認します。これは、VFのいずれかにレートが設定されている場合のみ適用されます。
- FDRリンクは30Mより長い光学EDRケーブル上にシンボルエラーを発生させることがあります。
- modify_scheduling_contextコマンドを実行する場合、フィールドは予約されていますが検証の実行にscheduling_context.element_typeが考慮されます。 **回避策:**modify_scheduling_contextコマンドを発行する際は、正しいelement_typeを使用してください。

修正

Fixes in 2.40.7000:

- Fixed a race between the firmware and the hardware during driver start which blocked outbound completions.
- Fixed an issue which caused the firmware not to send link_down event to the driver when running the close_port command.
- Fixed an issue where in rare cases the Auto Sense failed to detect the right protocol.
- Fixed signal integrity issue when connecting a WCS ConnectX4 mezz card to Pikes peak FPGA..
- Added the option to transmit corrupted DME pages for a very short period of time at the beginning of the Auto-Negotiation flow.
- Fixed an incorrect report of the PortRcvDataVLExtended / PortXmitDataVLExtended counters by the firmware.
- Fixed a rare issue which caused firmware's packet injector to cut off packets when the TX was congested.
- Fixed an issue that caused the response to TX requests to take up to 10 mili-seconds in IEEE clause 72 Link Training.
- Fixed a race between 2 iriscs which caused a QP to get stuck in burst control limit state.
- When a QP was in error state, the firmware generated too many err CQEs at once, thus causing the cmdif responsiveness to be too slow. To prevent the above, the number of err CQEs was limited to 16 at a time.
- Fixed an issue that caused the MAC address that was set from the OS using ifconfig to be not reflected in the OCBB buffer.
- Fixed an issue where the ibdump got broken when running with loopback traffic.
- Fixed an issue where the firmware took QP to firmware ownership and then released it to the hardware ownership without checking if another firmware flow owns the same QP.
- Fixed an issue which occurred after disconnecting cable which showed the link type as IB even if the link type of the port is ETH.
- Fixed an issue related to the HCA PoerXmitWait counter on port 2 (connected to port 2 on Switch-IB) where it started counting and reached 0xFF's regardless of connection to switch.
- Fixed a completion error issue when ECN was enabled. The ECN usage caused ordering errors in completion queues (CQ).
- Fixed the length calculation of UDP. The incorrect UDP length in the CNP packet caused miss-calculation of the ICRC.
- Fixed a wrong returned status in cable info MAD when the cable was not connected
- Fixed failure instances when initiating FLR in the Physical Function.
- Disabled High Rate Steering mode in the INI to enable its compatibility with NC-SI over VLAN.
- Fixed a default hardware configuration issue which caused RDP over IPv4 traffic to be dropped.
- MLNX_OEM command GET_TEMP returned a wrong value in the max_temp field.
- Fixed an issue which caused TX traffic to stop when the message MTU size was larger than QP.mtu.

- Fixed an issue which caused NVCONFIG to fail when the number of sector was set to 1 and the sector was zeroed.
- Fixed a race in handling a duplicated "read request from middle".
- Fixed an issue which caused lack of IB traffic on SR-IOV VPI.
- Fixed an issue which caused NVRAM to get stuck when it filled non-valid information in TLV.
- Fixed an issue which caused an internal firmware error when APM changed the QPs port mapping.
- Fixed an issue which caused a firmware internal error when handling QP alternative context.
- Fixed an issue which caused packet transmission to get stuck when the software tried to send pause frames with dmac equal to one of the device's MAC addresses.
- Fixed a wrong reporting of section 5 event 8 - LSO support.
- Fixed a mistakenly dropped ETH packet with ethertype 0x600 by the NIC.
- Fixed a case preventing broadcast traffic from arriving to their destination after detaching high priority broadcast rule on a port where NC-SI was enabled.
- Fixed an issue where the port raised as SDR vs. InfiniScale IV QDR Switch
- Fixed a rare case of completion Error with Bad Opcode sequence status which occurred when retransmitting read requests
- Fixed a case where the actual bandwidth did not match the user settings in VM QoS.
- Fixed a case where on rare cases, communication to BMC was lost during driver initialization.
- Fixed an issue with cable reading, which caused the link not to raise.
- Set the maximum EQN number to 1024.
- Fixed a rare issue with VPD init flow which caused read failures.
- Fixed an issue with RX size counter not being reported.
- Fixed promiscuous mode compatibility with A0-DMFS steering.
- Fixed promiscuous mode compatibility when NC-SI is enabled and configured.
- Fixed sending/receiving OEM temp commands (set/get) with channel ID 0x1f failure.
- Fixed an issue which caused packets to drop on a port when changing the interface state of the other port.
- Fixed long management communication loss and SOL hang during reboot cycles.
- Fixed wrong processing of inbound traffic towards BMC which caused communication loss.
- Fixed management link loss upon closing port interface through the driver.
- Fixed a false indication in firmware of an expander presence causing delay in EEPROM reading.
- Fixed an issue which caused a link down on a port when the cable was removed from the other port.
- Fixed a rare case where packet with length zero got stuck in hardware queues.
- Fixed an issue which caused InfiniBand congestion control packet (CNP) to hang in hardware.
- Fixed an issue which caused AEN to be sent after channel reset.
- Fixed an issue which prevented the restoring of QoS setting to its default consequently causing bandwidth degradation.
- Fixed an occasional long link up time with 10GbE based devices.
- Fixed an issue preventing cable readings from i2c slave address 0x51
- Fixed a wrong parity bit calculation when transmitting PCIe TS1 packets.
- Fixed a possible deadlock in PM turnoff request transmission and ack acceptance flow.
- Fixed a rare case with alignments state machines which caused occasional width degradation.
- Fixed an issue where the transmit queues hanged while congestion control was enabled and operational (EQC/QCN)
- Fixed an unexpected work completion syndrome with vendor syndrome 0x77 received when running RDMA SEN/WRITE traffic with retransmissions.
- Fixed an issue which caused SetPortInfo to return a good status when receiving invalid LinkSpeedEnabled value.
- Fixed an issue which caused dual port SFPP module cards to be automatically mapped with expander.
- Fixed an issue where firmware overrides the steering mode that was chosen by the driver.
- Fixed invalid return sensing results occurred when the link was up.
- Fixed an issue causing the sensing result to be delayed when cable was unplugged.
- Fixed an issue causing the link type to be displayed as ETH when set to AUTO.
- Fixed an issue causing ARP not to reply when connected to Hyper-V vSwitch.

Fixes in 14.18.2030 :

- On rare occasions during UEFI boot cycles system got stuck while WinPE is loaded. (OS WinPE, system DL160).
- Single FTE that catches both untagged and prio-tagged packets (by giving an FTE with `match_value.vlan_tag = 0` and `match_value.vid = 0`) is currently not supported.
- Flashing the firmware requires server reboot. Firmware cannot be flashed twice without server reboot after first flashing
- If the vport state is DOWN and a packet is sent in local loopback, the `sx_sniffer` tool will not function.
- Fixed an issue causing bubbles to appear as symbol errors when link raised FDR 1x.
- When Clause 74 Fire-Code FEC is active, and there are FC corrected errors, both the `FC_correctable` counter and the `FC_uncorrectable` counter are increment.
- Some Port Control Register do not return to the default value after the last port owner host restarts the driver.
- Fixed an issue which caused RX to hang when the UDP packet had a reserved UDP destination port.
- Fixed DMAC reporting mapping per host.
- Fixed an EEH error from PCI which caused firmware to hang.
- Fixed the default value of the PCIe `target_link_speed` to Gen3 in `link control2`.
- Fixed an issue which prevented LEDs from blinking when the traffic was less than 0.1% of the link speed.
- Fixed an issue which caused the `mlxconfig` configuration of `VF_LOG_BAR_SIZE` to be ignored and to be set to 5 (32MB).
- A server getting into a Standby mode while Packet-Pacing is enabled might cause firmware to hang and driver call-trace.
- Fixed an issue which caused unexpected QoS functionality in case of multiple sources to single destination traffic transmission.
- Fixed an issue which occasionally caused the RX traffic to hang in DC when received a PCI error on WQE fetch.
- Fixed OOB connection issue during Intel's ITP inject errors test.
- Fixed an issue which prevented MAC address changes by to driver to be reflected in the OBCC and NC-SI interfaces.
- Added protection from IOPX thermal diode destabilization to prevent UEFI IPv6 PXE boot failure on ConnectX-4 Lx 25GE cards.
- Fixed an issue which caused a link down in Port 2 when unplugging the cable from Port 1.
- In some cases, a Bit Error Rate is not optimal on 10G/40G links.
- Instability of Link Training Flow occurs during 100G Auto-Negotiation.
- Fixed a rare issue which caused the command to hang when moved the QP to RESET and back to RTS.
- Improved RDMA READ bandwidth under packet lost scenario.
- Added support for `pnat = 1` in HCA `access_reg` command as required by the `ibdiagnet` tool.
- Fixed the LLDP OCBB response: return value is now `ascii`.
- Fixed a very rare NMI issue during PXE cycles.
- Increased the steering hash tables static size from 128 to a maximum of 32K entries.
- Prevented miscalculation of module temperature when using 100Gb/s cables (OPN: MFA1A00-Cxxx for 100GbE).
- Reduced one hop for Unicast RX steering, steering pipes balancing.
- Non-volatile configuration of Port Type TLV more than 50 times might cause system hang.
- Enabled RoCE IPv4 Multicast. This prevents MCG command from failing when an IPv4 is mapped to an IPv6 address.
- If the PF driver or the tool (e.g. `ethtool`) use PAOS DOWN command (e.g. by `ifconfig down` or `ip link set down`), loopback traffic is blocked for all functions on this port (PF <-> VFs / VF <-> VF) In Multihost loopback, the traffic will be blocked once the firmware receives the PAOS down command from all PFs. However, the loopback traffic will not be blocked when the port is down due to the physical link (for example: cable plugged out, switch port down).
- Fixed a 25G and 50G link issue when Clause 91 RS FEC was active.
- Added a missing invalidation of eSwitch cache upon FLR which caused the upcoming driver load to either fail or not to be able to transmit.
- Fixed a UEFI IPv6 PXE boot failure on ConnectX-4 Lx 25GbE OCP card.

- Fixed an issue which prevented Vport counters from counting local loopback packets. Packets now are filter by the self-loopback prevention.
- Reported INTx as unsupported to allow PFs Passthrough on PowerKVM.
- SR-IOV Ethernet supports up to 18 VFs per port only.
- Fixed and incident what allowed local (internal) loopbacked packets to be counted by the Vport counters, although Vport counters should count only traffic that crosses the Vport.
- Fixed an issue preventing driver loading or TX traffic sending upon reboot, after ungraceful driver unload.
- Fixed casting of BMC MAC before steering API.
- Fixed the PCI write flow to take into consideration the PCI MTU. This fix eliminates the need for NOPs in the flow, which resulted from PPC larger PCI MTU.
The single queue limitation for READ is due to a hardware limitation of the number of READ request in a given time.
- Fixed a case that caused FlexBoot to not work as expected with systems that run with "large bar" enabled (Above 4G Decoding) over Connect-IB or ConnectX-4 HCAs.
- Fixed an issue which prevented link creation when connected to IXIA 25G.

擴張

Firmware for the following devices are updated to 2.40.7000:

779799-B21 (HP Ethernet 10G 2-port 546FLR-SFP+ Adapter)

779793-B21 (HP Ethernet 10G 2-port 546SFP+ Adapter)

New features and changes in version 2.40.7000:

- Added Etherent Link down counter.
- Enables steering packets to receive queues according to Ethertype matching
- Adds support for additional rate values.
- Counters that count the number of repeated Send WQE cache lookups that resulted in a miss.
- Flint utility allows performing an MD5 checksum on the non-persistent sections of the firmware image.
- New performance and back-pressure counters command via PRM (For further information, please refer to the PRM)
- Support for Multicast/Unicast sniffer rules (For further information, please refer to the PRM)
- Support for VLAN in VLAN encapsulation (For further information, please refer to the PRM)
- CQ creation offload by software
- Support for rst2rts command
- Invalidates a TLV during the firmware boot stage
- A new counter for the diag_rprt PRM command to count packet drops due to noreceive buffer
- Support for Ethernet TX lifetime cycle control (Head of Queue)
- A new register (PPLR) that allows egress and external loopback control (For further information, please refer to the PRM)
- A watchdog mechanism to track ingress traffic stalls to prevent flooding the network with Flow Control packets
- Inspur LED scheme: A new LED scheme controlled by the INI which causes constant traffic LED indication even without traffic.
- Added support for multiple RoCE modes (RoCE v1+v2) on the same port: RoCE mode is per connection now.
- Added a new QP command "INIT2RTS_QP" to enhance QP connection readiness time.
- Disabled FCS checks to support switches that replace FCS with Timestamp.
- Added RX Port identification for direct rout packets.
- Improved RDMA WRITE/SEND performance with retransmissions.
- Enabled firmware burning/querying using the PRM ACCESS_REG command.
- Added support for VAM. • Enabled bad cable EEPROM reporting to the driver.
- Added support for Platform Level Data Model (PLDM) sideband protocol.
- Added support for priority based A0-DMFS mode (For further information, please refer to the PRM).

- Added support for Unicast/Multicast loopback disablement by the driver. (For further information, please refer to the PRM)
- Removed the source IP from the hash calculation (For further information, please refer to the PRM)
- Added support for Inline Receive mode up to 2KB.
- Added support for multiple RoCE modes (RoCE v1+v2) on the same port: RoCE mode is per connection now.
- Added a new QP command "INIT2RTS_QP" to enhance QP connection readiness time.
- Disabled FCS checks to support switches that replace FCS with Timestamp.
- Added RX Port identification for direct rout packets.
- Improved RDMA WRITE/SEND performance with retransmissions.
- Enabled firmware burning/querying using the PRM ACCESS_REG command.
- Added support for VAM. • Enabled bad cable EEPROM reporting to the driver.
- Added support for Platform Level Data Model (PLDM) sideband protocol.
- Added support for priority based A0-DMFS mode (For further information, please refer to the PRM).
- Added support for Unicast/Multicast loopback disablement by the driver. (For further information, please refer to the PRM)
- Removed the source IP from the hash calculation (For further information, please refer to the PRM)
- Added support for Inline Receive mode up to 2KB.
- Sideband moved to port 0
- Added MCTP command support
- Changed the HP LED scheme for the 779799-B21 adapter.

Firmware for the following devices are updated to 14.18.2030 :

817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2-port 640FLR-SFP28 Adapter)

817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 Adapter)

- Added logical link indication in SFP to BaseT modules and disabled logical link when peer port is down.
- Added support for 10GbE in 25GbE SFP optical modules.
- Enables mlxlink tool to collect data on the PHY link status and provides link down reasons and additional link related information.
- Enabled TX configuration response and movement during Link Training in Ethernet.
- Added support at lane rate of 12.89Gb.
- Limits the amount of time a packet may head a Traffic Class (TC) transmission queue, without being transmitted. Stale packets are discarded. Active by default for TCs adhering to link level flow control.
- UAR page size currently is set to 4KB and not according to what the system page size determines.
- Improved performance of:
 - Doorbell from User Access Region (UAR)
 - Clear interrupt from User Access Region (UAR)
- Added support for additional transport counters.
- Added ODP support for DC.
- Enabled scatter-to-CQE for sent packets for DC.
- Enabled moderation period modification in CQ modify command.
- Added support for minimum/maximum rate limit per vport in SR-IOV.
- Enabled network traffic between UEFI-Shell and OS.
- Enabled the PF to force disable RoCE for its VFs.
- Added 2 new access registers:
 - Management Capabilities Mask Register
 - Ports Capabilities Mask Register Fields
For further information, please refer to the PRM.
- Enabled VNIC the control to enable/disable its local loopback traffic.
- Added the option to open a receive RDMA Flow Table and to forward RoCE traffic to some destination QP.
- Added support for Multi-Host LID base routing. This feature requires a new OpenSM (v4.7.1 and above which comes with MLNX_OFED 3.3-2.0.0.0) with the following attributes:
 - qos TRUE
 - lmc 2 (if there is no quad host in the fabric, you can set the lmc to 1)

- virt_enabled 2 Note: Multi-Host LID base routing can be configured by the INI only. The default is 0
- Resilient RoCE is the ability to send RoCE traffic over a lossy network (a network without flow control enabled), without the need to enable flow control on the network. The ability is accomplished by enabling ECN on both the Switch and the Host.
- Enables load balancing in the Multi PF Switch layer (MPFS) based on the L3/L4 headers
- Increased the number of VFs from 64 to 95 per Physical Function (PF). Note: When increasing the number of VFs, the following limitations must be taken into consideration: $server_total_bar_size \geq (num_pfs) * (2log_pf_uar_bar_size + 2log_vf_uar_bar_size * total_vfs)$ $server_total_msix \geq (num_pfs) * (num_pf_msix + num_vfs_msix * total_vfs)$ Note: For the maximum number of VFs supported by your driver, please refer to your drivers' Release Notes or User Manual.
- Added support for Port Flap Counter.
- Limits the buffer size for all entries to improve performance. KSM is used when associating Key Length My Virtual Address (KLMs) with fixed memory size.
- This entry (null_mkey) is use to indicate non-present KLM/KSM entries. When accessing is, it causes the device to generate page fault event.
- PLDM firmware burning is based on the DMTF spec DSP0267 (draft 9). The feature enables upgrading firmware and expansion ROM images using the PLDM protocol over MCTP (over PCIe). By doing so, a supporting BMC can query and upgrade the firmware without using OS based tools.
- Added a new physical layer statistics counters group. The new group includes BER counters, FEC error correction, clear time, and additional physical layer counters. For further information, please refer to the Ethernet Adapters Programming Manual (PRM).
- Enables the user to set a certain link up state for an unlimited period of time. This mode has 3 states:
 - Aux power (standby)
 - Reboot/boot/driver unloaded - the server is active and no driver is up
 - Driver is up - at least one driver is up (the time between init HCA and teardown or FLR)
- Added support for Doorbell from User Access Region (UAR).
- [Beta] Added support for maximum rate limit per function in SR-IOV.
- Allows the user to configure the adapter card to stop sending pauses after x when the receive port is unavailable (in a hang state).
- [Beta] Added support for new performance counters.
- DCBX is used by DCB devices to exchange configuration information with directly connected peers. DCBX uses Link Layer Discovery Protocol (LLDP) to exchange parameters between two link peers. For further information, please refer to the PRM.
- Allows network port registers to revert to their default values when the driver is restarted or the host is rebooted.
- Added additional network link up modes. The new modes decide when to keep the network link up. The new modes are:
 - keep_eth_link_up
 - keep_ib_link_up
 - keep_link_up_on_boot
 - keep_link_up_on_standby
- Added v1, v3, v6 tags to VPD read only tag
- Enables software to scatter or strip FCS in RQ.
- Keeps track of the creation of a packet. A time-stamping service supports assertions of proof that a datum existed before a particular time.
- Applies pause functionality to specific classes of traffic on the Ethernet link.
- Custom port counters provide the user a clear indication about RDMA send/receive statistics and errors
- The Link Layer Discovery Protocol (LLDP) is a vendor-neutral Link Layer protocol in the Internet Protocol Suite used by network devices for advertising their identity, capabilities, and neighbors on a IEEE 802 LAN. The protocol is formally defined in IEEE 802.1AB.
- ConnectX-4 adapters now support 1Gb/s and 56GbE Ethernet connectivity in addition to 10GigE, 25GigE, 40GigE, 50GigE, and 100GigE.
- Provides a clear indication of Flow Steering statistics and errors.
- The minimal amount of packet headers inlined in the WQE's Eth Segment.

- A flow table may include a table-miss flow entry, which renders all Match Fields wildcards. If a packet does not match a flow entry in a flow table, this is a table miss. The behavior on a table miss depends on the table configuration. A table-miss flow entry in the flow table may specify how to process unmatched packets.
- Single Root IO Virtualization (SR-IOV) is a technology that allows a physical PCIe device to present itself multiple times through the PCIe bus.
- Uses the HCA for offloading erasure coding calculations.
- Enables the administrator to add a timestamp to the firmware they want to upgrade to avoid situations where one host tries to upgrade the firmware and another tries to downgrade; which may lead to two or more unnecessary server reboots. For further information, please refer to MFT User Manual.
- The change includes the following:
 1. Changed port configuration which required link re-training (such as speed)
 2. PAOS down
 3. PAOS up
 This change, will cause the link to toggle and new configurations to take effect.
- Flint utility allows performing an MD5 checksum on the non-persistent sections of the firmware image. For further information, please refer to MFT User Manual.
- Improved TX signal integrity for Electromagnetic Induction (EMI) compliance.
- Optic modules thermal sensing - Enables the firmware to read and report the temperature of the module.
- PLDM for module thermal sensing - Supports platform-level data models and platform functions in a platform management subsystem. PLDM is designed to be an effective interface and data model that provides efficient access to low-level platform inventory, monitoring, control, event, and data/parameters transfer functions.
- Low power boot state - Enables u-boot to put non-boot CPUs into a low power status. To enable low power boot using iLO debugger use the following commands.
 - #I2c b
 - #I2c a 0x82
 - #I2c w 0x03 0xfe
 - #I2c w 0x01 0xfe
- Port shutdown due to optic thermal event - Enables the firmware to close the power cage in case of high temperature in the module.
- Reduced the port link-up time when negotiating according to Clause 73 (DME)
- Large Receive Offload (LRO) • Large Send Offload (LSO)
- Receive Side Scaling (RSS)
- Global Pause • RoCEv1.0/RoCEv2.0
- Flow Steering
- Sniffer Ethernet
- Rate Limiter (at Beta level)
- Multi packet WQE
- Enhanced Transmission Selection standard (ETS)
- Explicit Congestion Notification (ECN)
- Priority Flow Control (PFC)
- CQE time stamping
- PCIe Function Level Reset (FLR)
- Power Management L2/L3 flow support
- Strided SRQ
- Self Loopback support
- Transport Domain support
- CQ2EQ remapping
- Added support for the following commands:
 - MODIFY/QUERY_ESW_VPORT_CONTEXT
 - QUERY/MODIFY_CONG_STATUS
 - QUERY/MODIFY_CKONG_PARAMS
 - QUERY_CONG_STATISTICS
 - ADD/DELETE_VXLAN_UDP_DPORT

サポートしているデバイスおよび機能

HP部品番号	InfiniBandカードタイプ	PSID
779793-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用

バージョン: 1.0.0.5 (A) (推奨)

ファイル名: cp032808.compsig; cp032808.exe

重要な注意!

FWバージョン2.40.7000での既知の問題:

- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバユーティリティ (例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバ/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX@-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります。
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
回避策: 製品版SL230をPCIe Gen3オペレーションのためには使用するべきです
- ドライバの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンスドステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
回避策: BIOSのSR-IOVを有効
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがあります。ロックされたセマフォは、ファームウェアがフラッシュへアクセスすることを妨げ、ファームウェアがハングアップする原因となります。
回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします: 'flint -clear_semaphore'.
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。
You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n)[n] : y
You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y
- MLNX-_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください。
回避策: MLNX-_OFED-2.1-x.x.x以降にアップグレードしてください。
- VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
回避策: それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。

- port1 FDRおよびport2 40GでVPIモードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。

回避策: デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。

- PXE (レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。

回避策:

1. スイッチからケーブルを抜きます。
2. ドライバーを再起動します。
3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。

- IPv6上でのRDPIは、現在機能しません。
- Sniffer QP では、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのレポートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx- 4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします。

FWバージョン14.18.2030での既知の問題 :

- 以下のICをベースにしたプラットフォームのリンクを立ち上げるには、以下のファームウェアバージョン要件を遵守してください。
 - ConnectX®-3 - 2.32.5100
 - SwitchX® - 9.2.7300 (またはMLNX-OS 3.3.5006)
- 10GbE リンクを立ち上げようとした際の、ConnectX-4 または ConnectX-4 Lx アダプターカードおよび ConnectX-2 アダプターカード間の相互運用問題。
- PCIe 機能 "Device S/N" が偽値を返しています。
- リンクがGen2の場合、L1ステートに入るか出るかすると、間違ったCRCまたはDLLPの表示の原因となることがあります。
- 構成スペースパワー管理機能 PME_EN を設定できません。
- サーバーリセット中(電源再投入以外)、 non-maskable interrupt (NMI) は、PCIe アクセスによる Option Card Black Box (OCBB) 問題が発生する場合があります。
- PF ダイレクトパススルーはサポートされていません(PF FLR がサポートされていないため)
- 最新のポートオーナーホストがドライバーを再起動した後、いくつかのPort Control Register は、デフォルト値に戻りません。

回避策: ドライバーを再起動またはリセットします。

- 古い MFT バージョン (4.0.0 および 3.8.0) は、最新のGAファームウェアが古い、または既存のファームウェアと比較できないことを示しています。

下記と同様のメッセージが、ファームウェアアップグレードステージに表示されます:

```
# flint -d -i burn
```

```
Current FW version on flash: 12.1100.6630
```

```
New FW version:
```

```
12.0012.0572
```

注記:新しいFWバージョンはフラッシュ上の現在のバージョンよりも古いです。

```
Do you want to continue ? (y/n) [n] : y
```

回避策:ファームウェアをアップグレードするために下記オプションの1つを選択します:

- 最新のMFTバージョン(4.1.0)にアップグレードします
- flintのNoteが、"-force"フラグでflintを実行することを示した後に、"y"を入力します
- QP.force_loopback が1に等しいためにループバックされるトラフィックは、PFへ進みます。
- 最小 200 LFM は、MCX4411A-ACAN アダプターカードを冷却するために必要です。
- mlxfwreset は、ファームウェアイメージをアップグレードした後に、古いMFT バージョンで正しく機能しません
回避策:最新リリースにMFTをアップグレードするか、ファームウェアをアップグレードした後、再起動/電源再投入します。
- Windows Server 2016 Inboxドライバーは、ファームウェアv14.12.0780で動作しません
回避策: WinOF-2 v1.20 out-of-boxドライバーを使用します。
- ファームウェアをフラッシュするにはサーバーの再起動が必要です。ファームウェアを、最初のフラッシュ後、サーバーを再起動しないと2回目のフラッシュができません
回避策:ファームウェアのフラッシュ後、サーバーを再起動します。
- 制限イベントの SRQ をアーミングする場合、デバイスは、context_index=0 のイベントを発行する場合があります。
- set_hca_capコマンドの log_max_ra_res_qp の値は、すべての機能で同一としてください。
- 機能 (PF/VF) TX ポートカウンターはサポートされていません。
- PF ドライバーは、ページイベントキューで動作しなければなりません。
- SR-IOV イーサネットは、1ポートにつき最大18 VF をサポートします。
- Privileged Vport egress信号は、Vport が有効でない場合ブロックされません
- VportカウンターはVportを横切るトラフィックのみをカウントする必要があるが、ローカル (内部)ループバックパケットがVportカウンターによりカウントされます。
- バーチャルトラップの Vport ナンバーは、正しく報告されない場合があります
- untagged および prio-tagged パケットを取得する Single FTE(match_value.vlan_tag = 0 および match_value.vid = 0 にFTEを与えることで)は現在サポートされていません。
- SM with VL weight 0 on some VL を構成し、その信号を実行することで、アップロード中にハングするドライバーの原因となります。
- OCBB は、最新の iLO バージョンで表示されません。
- 10GbE ケーブルが、SFF-8472 に準拠していないものがあります。"SFP+ Cable Technology" ビットはクリアとなっています。
- Clause 74 Fire-Code FEC が有効である場合、FC_correctable カウンターおよび FC_uncorrectable カウンターが増加する、エラーが修正されたFCがあります。
- Windows NMI は、OCBBメモリアクセスランザクションの結果として再起動の繰り返しが発生する場合があります。
- end_padding_mode は、PRMで定義されたINIT_2_RTR コマンドではなく、CREATE_QP 内で必要となります
- LR4 ケーブルイベントは、ポートがアップしても送信されます。
- UEFI 起動サイクル中に、winPE がロードされている間、まれにシステムが動かなくなることがあります。(OS WinPE、システムDL160) **回避策:** 電源再投入でシステムを回復させます。
- RoCE LAGが正しく機能するには、両方のポートにQoSを設定する必要があります。
- FTEのencap_idを変更することはサポートされていません。
- フローカウンターがサポートされるのは、flow_tagがないFTE、または送信先がTIRのFTEのみです。
- FDB Flow Tableにフローカウンターを使用すると、送信済みのIBトラフィックvportカウンターが正しく機能しません。
- e-sw FDBのステアリングルールにencap操作が含まれていて送信先が外部ポートの場合、ルールに一致する送信されたマルチキャストパケットはワイヤに送られ、ループバックおよびローカルにループバックされたパケットにもencapヘッダーが付きます。
- 複数のインターフェイス (例、PCIeおよびMTUSB) から並行して同じデバイスにファームウェアを焼き付けることはサポートされません。
- e-switch FDBが作成されない場合、VF機能のループバックトラフィックはvport 0 (PF) に送られます。
- 複数のインターフェイス (例、PCIeおよびMTUSB) から並行して同じデバイスにファームウェアを焼き付けることはサポートされません。
- 50回以上のポートタイプTLVの非揮発性構成はシステムハングの原因となります。 **回避策:**ポートタイプTLVを連続して50回アップデートする毎に、mlxconfig resetを実行してください。
- ConnectX-4 Lxファームウェアv14.16.1006以降を使用して50GbEのリンクを立ち上げるには、以下の状態を満たす必要があります。
 - ConnectX-4ファームウェアのバージョンが最低でも12.16.1006でなければなりません

- ConnectX-4 Lxファームウェアのバージョンが最低でも14.16.1006でなければなりません
- MLNX-OSのバージョンが最低でも3.6.1000 (ファームウェアv13.1100.0026)でなければなりません
- IBポートプロトコルで設定されたVPI/IBデバイスにファームウェアイメージを焼き付けている間にワームブートを実行すると、デバイスがPCIeに表示されなくなることがあります。 **回避策:**代わりにデバイスをコールドリブートします
- 電源オフボタンを押すとサーバーをリセットしてスタンバイフロー (init 0の動作のように) を開始しません。その結果、keep_link_upによって両方のポートがアップとなり、ファームウェアがロードされるとポートが開きます。 **回避策:**init 0を使用してスタンバイフローを開始します。
- InfiniBandマルチホストおよびSR-IOVセットアップでは、query_hca_vport_contextコマンドの中でgrh_requiredビットが設定されている場合、トラフィックにGRH (GIDインデックス) を含めます。OpenSMを以下のように設定します (opensm.conf):
 - virt_enable should be 2
 - Enable Qos:
 - qos TRUE
 注記:この場合、GRHのないトラフィックがvport0 ("Host0")に転送されます
- IBポートプロトコルで設定されたVPI/IBデバイスにファームウェアイメージを焼き付けている間にワームブートを実行すると、デバイスがPCIeに表示されなくなることがあります。 **回避策:**サーバーを電源再投入します (コールドリブート)。コールドリブートが実行されると、デバイスはすでに焼き付けられている以前のイメージでリブートされます。
- ファームウェアおよびハードウェアは、CPortState=downで物理リンクをリセットしません。IB仕様によると、マネジメント状態がコマンドを変更します:"CPortState... when phy_link=up and CPortState=down, the state machine will transition to the LinkDown state which will reset other link state machines. Since phy_link=up, this will be followed by a transition to the LinkInitialize state. Thus a command to change link port state to down provides a way to re-initialize the link layer..." **回避策:** 物理リンクを再訓練するには、sendbug PortInfo.physical_port_state = POLLINGが必要です。
- ローカルループバックトラフィックがvportカウンターに影響することがあります。
- トラフィックの送信中にレートリミッターを停止するとアダプターカードがハングすることがあります。 **回避策:**その前にトラフィックを停止します。
 - 最後の非デフォルトレートvportにrate 0を設定します。
 - 非デフォルトレートvportの最後のvport にdestroy_scheduling_elementコマンドを発行します。
- SLをVL 15にマッピングすることは現在サポートされません。それをしようとすると、ヘルスバッファの致命的な内部エラーが報告されます。
- modify_scheduling_contextコマンドの実行が、エレメントのスケジュールが作成されたかどうかの確認を含みません。 **回避策:**存在しないエレメントを変更しないようにします。
- 機能のmax_average_bwレートを設定/変更すると、あるいは速度をサポートされる最高速度(INIに示されるように)以上に設定すると、レートが不正確になりアサートとなります。 **回避策:**scheduling_context コマンドの中で、max_avergae_bwをサポートされるワイヤ速度と同じまたはそれ以下に設定します。
- ただし、refカウンターは max_average_bw != 0 (limited) 毎に増加する設計で、eSwitch max_average_bw refカウンターはmax_average_bwの値に関わらず、TEARDOWN_HCA/ FLR VFで減少します。 **回避策:**TEARDOWN_HCA/ FLR VFを実行する前に、すべてのVFのすべてのレートが "0" に設定されていることを確認します。これは、VFのいずれかにレートが設定されている場合のみ適用されます。
- FDRリンクは30Mより長い光学EDRケーブル上にシンボルエラーを発生させることがあります。
- modify_scheduling_contextコマンドを実行する場合、フィールドは予約されていますが検証の実行にscheduling_context.element_typeが考慮されます。 **回避策:**modify_scheduling_contextコマンドを発行する際は、正しいelement_typeを使用してください。

修正

Fixes in 2.40.7000:

- Fixed a race between the firmware and the hardware during driver start which blocked outbound completions.
- Fixed an issue which caused the firmware not to send link_down event to the driver when running the close_port command.
- Fixed an issue where in rare cases the Auto Sense failed to detect the right protocol.
- Fixed signal integrity issue when connecting a WCS ConnectX4 mezz card to Pikes peak FPGA..
- Added the option to transmit corrupted DME pages for a very short period of time at the beginning of the Auto-Negotiation flow.

- Fixed an incorrect report of the PortRcvDataVLExtended / PortXmitDataVLExtended counters by the firmware.
- Fixed a rare issue which caused firmware's packet injector to cut off packets when the TX was congested.
- Fixed an issue that caused the response to TX requests to take up to 10 milli-seconds in IEEE clause 72 Link Training.
- Fixed a race between 2 iriscs which caused a QP to get stuck in burst control limit state.
- When a QP was in error state, the firmware generated too many err CQEs at once, thus causing the cmdif responsiveness to be too slow. To prevent the above, the number of err CQEs was limited to 16 at a time.
- Fixed an issue that caused the MAC address that was set from the OS using ifconfig to be not reflected in the OCBB buffer.
- Fixed an issue where the ibdump got broken when running with loopback traffic.
- Fixed an issue where the firmware took QP to firmware ownership and then released it to the hardware ownership without checking if another firmware flow owns the same QP.
- Fixed an issue which occurred after disconnecting cable which showed the link type as IB even if the link type of the port is ETH.
- Fixed an issue related to the HCA PoerXmitWait counter on port 2 (connected to port 2 on Switch-IB) where it started counting and reached 0xFF's regardless of connection to switch.
- Fixed a completion error issue when ECN was enabled. The ECN usage caused ordering errors in completion queues (CQ).
- Fixed the length calculation of UDP. The incorrect UDP length in the CNP packet caused miscalculation of the ICRC.
- Fixed a wrong returned status in cable info MAD when the cable was not connected
- Fixed failure instances when initiating FLR in the Physical Function.
- Disabled High Rate Steering mode in the INI to enable its compatibility with NC-SI over VLAN.
- Fixed a default hardware configuration issue which caused RDP over IPv4 traffic to be dropped.
- MLNX_OEM command GET_TEMP returned a wrong value in the max_temp field.
- Fixed an issue which caused TX traffic to stop when the message MTU size was larger than QP.mtu.
- Fixed an issue which caused NVCONFIG to fail when the number of sector was set to 1 and the sector was zeroed.
- Fixed a race in handling a duplicated "read request from middle".
- Fixed an issue which caused lack of IB traffic on SR-IOV VPI.
- Fixed an issue which caused NVRAM to get stuck when it filled non-valid information in TLV.
- Fixed an issue which caused an internal firmware error when APM changed the QPs port mapping.
- Fixed an issue which caused a firmware internal error when handling QP alternative context.
- Fixed an issue which caused packet transmission to get stuck when the software tried to send pause frames with dmac equal to one of the device's MAC addresses.
- Fixed a wrong reporting of section 5 event 8 - LSO support.
- Fixed a mistakenly dropped ETH packet with ethertype 0x600 by the NIC.
- Fixed a case preventing broadcast traffic from arriving to their destination after detaching high priority broadcast rule on a port where NC-SI was enabled.
- Fixed an issue where the port raised as SDR vs. InfiniScale IV QDR Switch
- Fixed a rare case of completion Error with Bad Opcode sequence status which occurred when retransmitting read requests
- Fixed a case where the actual bandwidth did not match the user settings in VM QoS.
- Fixed a case where on rare cases, communication to BMC was lost during driver initialization.
- Fixed an issue with cable reading, which caused the link not to raise.
- Set the maximum EQN number to 1024.
- Fixed a rare issue with VPD init flow which caused read failures.
- Fixed an issue with RX size counter not being reported.
- Fixed promiscuous mode compatibility with A0-DMFS steering.
- Fixed promiscuous mode compatibility when NC-SI is enabled and configured.
- Fixed sending/receiving OEM temp commands (set/get) with channel ID 0x1f failure.
- Fixed an issue which caused packets to drop on a port when changing the interface state of the other port.
- Fixed long management communication loss and SOL hang during reboot cycles.
- Fixed wrong processing of inbound traffic towards BMC which caused communication loss.

- Fixed management link loss upon closing port interface through the driver.
- Fixed a false indication in firmware of an expander presence causing delay in EEPROM reading.
- Fixed an issue which caused a link down on a port when the cable was removed from the other port.
- Fixed a rare case where packet with length zero got stuck in hardware queues.
- Fixed an issue which caused InfiniBand congestion control packet (CNP) to hang in hardware.
- Fixed an issue which caused AEN to be sent after channel reset.
- Fixed an issue which prevented the restoring of QoS setting to its default consequently causing bandwidth degradation.
- Fixed an occasional long link up time with 10GbE based devices.
- Fixed an issue preventing cable readings from i2c slave address 0x51
- Fixed a wrong parity bit calculation when transmitting PCIe TS1 packets.
- Fixed a possible deadlock in PM turnoff request transmission and ack acceptance flow.
- Fixed a rare case with alignments state machines which caused occasional width degradation.
- Fixed an issue where the transmit queues hanged while congestion control was enabled and operational (EQC/QCN)
- Fixed an unexpected work completion syndrome with vendor syndrome 0x77 received when running RDMA SEN/WRITE traffic with retransmissions.
- Fixed an issue which caused SetPortInfo to return a good status when receiving invalid LinkSpeedEnabled value.
- Fixed an issue which caused dual port SFPP module cards to be automatically mapped with expander.
- Fixed an issue where firmware overrides the steering mode that was chosen by the driver.
- Fixed invalid return sensing results occurred when the link was up.
- Fixed an issue causing the sensing result to be delayed when cable was unplugged.
- Fixed an issue causing the link type to be displayed as ETH when set to AUTO.
- Fixed an issue causing ARP not to reply when connected to Hyper-V vSwitch.

Fixes in 14.18.2030 :

- On rare occasions during UEFI boot cycles system got stuck while WinPE is loaded. (OS WinPE, system DL160).
- Single FTE that catches both untagged and prio-tagged packets (by giving an FTE with match_value.vlan_tag = 0 and match_value.vid = 0) is currently not supported.
- Flashing the firmware requires server reboot. Firmware cannot be flashed twice without server reboot after first flashing
- If the vport state is DOWN and a packet is sent in local loopback, the sx_sniffer tool will not function.
- Fixed an issue causing bubbles to appear as symbol errors when link raised FDR 1x.
- When Clause 74 Fire-Code FEC is active, and there are FC corrected errors, both the FC_correctable counter and the FC_uncorrectable counter are increment.
- Some Port Control Register do not return to the default value after the last port owner host restarts the driver.
- Fixed an issue which caused RX to hang when the UDP packet had a reserved UDP destination port.
- Fixed DMAC reporting mapping per host.
- Fixed an EEH error from PCI which caused firmware to hang.
- Fixed the default value of the PCIe target_link_speed to Gen3 in link control2.
- Fixed an issue which prevented LEDs from blinking when the traffic was less than 0.1% of the link speed.
- Fixed an issue which caused the mlxconfig configuration of VF_LOG_BAR_SIZE to be ignored and to be set to 5 (32MB).
- A server getting into a Standby mode while Packet-Pacing is enabled might cause firmware to hang and driver call-trace.
- Fixed an issue which caused unexpected QoS functionality in case of multiple sources to single destination traffic transmission.
- Fixed an issue which occasionally caused the RX traffic to hang in DC when received a PCI error on WQE fetch.
- Fixed OOB connection issue during Intel's ITP inject errors test.

- Fixed an issue which prevented MAC address changes by to driver to be reflected in the OBCC and NC-SI interfaces.
- Added protection from IOPX thermal diode destabilization to prevent UEFI IPv6 PXE boot failure on ConnectX-4 Lx 25GE cards.
- Fixed an issue which caused a link down in Port 2 when unplugging the cable from Port 1.
- In some cases, a Bit Error Rate is not optimal on 10G/40G links.
- Instability of Link Training Flow occurs during 100G Auto-Negotiation.
- Fixed a rare issue which caused the command to hang when moved the QP to RESET and back to RTS.
- Improved RDMA READ bandwidth under packet lost scenario.
- Added support for pnat = 1 in HCA access_reg command as required by the ibdiagnet tool.
- Fixed the LLDP OCBB response: return value is now ascii.
- Fixed a very rare NMI issue during PXE cycles.
- Increased the steering hash tables static size from 128 to a maximum of 32K entries.
- Prevented miscalculation of module temperature when using 100Gb/s cables (OPN: MFA1A00-Cxxx for 100GbE).
- Reduced one hop for Unicast RX steering, steering pipes balancing.
- Non-volatile configuration of Port Type TLV more than 50 times might cause system hang.
- Enabled RoCE IPv4 Multicast. This prevents MCG command from failing when an IPv4 is mapped to an IPv6 address.
- If the PF driver or the tool (e.g. ethtool) use PAOS DOWN command (e.g. by ifconfig down or ip link set down), loopback traffic is blocked for all functions on this port (PF <->VFs / VF <->VF). In Multihost loopback, the traffic will be blocked once the firmware receives the PAOS down command from all PFs. However, the loopback traffic will not be blocked when the port is down due to the physical link (for example: cable plugged out, switch port down).
- Fixed a 25G and 50G link issue when Clause 91 RS FEC was active.
- Added a missing invalidation of eSwitch cache upon FLR which caused the upcoming driver load to either fail or not to be able to transmit.
- Fixed a UEFI IPv6 PXE boot failure on ConnectX-4 Lx 25GbE OCP card.
- Fixed an issue which prevented Vport counters from counting local loopback packets. Packets now are filter by the self-loopback prevention.
- Reported INTx as unsupported to allow PFs Passthrough on PowerKVM.
- SR-IOV Ethernet supports up to 18 VFs per port only.
- Fixed and incident what allowed local (internal) loopbacked packets to be counted by the Vport counters, although Vport counters should count only traffic that crosses the Vport.
- Fixed an issue preventing driver loading or TX traffic sending upon reboot, after ungraceful driver unload.
- Fixed casting of BMC MAC before steering API.
- Fixed the PCI write flow to take into consideration the PCI MTU. This fix eliminates the need for NOPs in the flow, which resulted from PPC larger PCI MTU.
The single queue limitation for READ is due to a hardware limitation of the number of READ request in a given time.
- Fixed a case that caused FlexBoot to not work as expected with systems that run with "large bar" enabled (Above 4G Decoding) over Connect-IB or ConnectX-4 HCAs.
- Fixed an issue which prevented link creation when connected to IXIA 25G.

擴張

Firmware for the following devices are updated to 2.40.7000:

779799-B21 (HP Ethernet 10G 2-port 546FLR-SFP+ Adapter)

779793-B21 (HP Ethernet 10G 2-port 546SFP+ Adapter)

New features and changes in version 2.40.7000:

- Added Etherent Link down counter.
- Enables steering packets to receive queues according to Ethertype matching
- Adds support for additional rate values.

- Counters that count the number of repeated Send WQE cache lookups that resulted in a miss.
- Flint utility allows performing an MD5 checksum on the non-persistent sections of the firmware image.
- New performance and back-pressure counters command via PRM (For further information, please refer to the PRM)
- Support for Multicast/Unicast sniffer rules (For further information, please refer to the PRM)
- Support for VLAN in VLAN encapsulation (For further information, please refer to the PRM)
- CQ creation offload by software
- Support for rst2rts command
- Invalidates a TLV during the firmware boot stage
- A new counter for the diag_rprt PRM command to count packet drops due to noreceive buffer
- Support for Ethernet TX lifetime cycle control (Head of Queue)
- A new register (PPLR) that allows egress and external loopback control (For further information, please refer to the PRM)
- A watchdog mechanism to track ingress traffic stalls to prevent flooding the network with Flow Control packets
- Inspur LED scheme: A new LED scheme controlled by the INI which causes constant traffic LED indication even without traffic.
- Added support for multiple RoCE modes (RoCE v1+v2) on the same port: RoCE mode is per connection now.
- Added a new QP command "INIT2RTS_QP" to enhance QP connection readiness time.
- Disabled FCS checks to support switches that replace FCS with Timestamp.
- Added RX Port identification for direct rout packets.
- Improved RDMA WRITE/SEND performance with retransmissions.
- Enabled firmware burning/querying using the PRM ACCESS_REG command.
- Added support for VAM. • Enabled bad cable EEPROM reporting to the driver.
- Added support for Platform Level Data Model (PLDM) sideband protocol.
- Added support for priority based A0-DMFS mode (For further information, please refer to the PRM).
- Added support for Unicast/Multicast loopback disablement by the driver. (For further information, please refer to the PRM)
- Removed the source IP from the hash calculation (For further information, please refer to the PRM)
- Added support for Inline Receive mode up to 2KB.
- Added support for multiple RoCE modes (RoCE v1+v2) on the same port: RoCE mode is per connection now.
- Added a new QP command "INIT2RTS_QP" to enhance QP connection readiness time.
- Disabled FCS checks to support switches that replace FCS with Timestamp.
- Added RX Port identification for direct rout packets.
- Improved RDMA WRITE/SEND performance with retransmissions.
- Enabled firmware burning/querying using the PRM ACCESS_REG command.
- Added support for VAM. • Enabled bad cable EEPROM reporting to the driver.
- Added support for Platform Level Data Model (PLDM) sideband protocol.
- Added support for priority based A0-DMFS mode (For further information, please refer to the PRM).
- Added support for Unicast/Multicast loopback disablement by the driver. (For further information, please refer to the PRM)
- Removed the source IP from the hash calculation (For further information, please refer to the PRM)
- Added support for Inline Receive mode up to 2KB.
- Sideband moved to port 0
- Added MCTP command support
- Changed the HP LED scheme for the 779799-B21 adapter.

Firmware for the following devices are updated to 14.18.2030 :

817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2-port 640FLR-SFP28 Adapter)

817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 Adapter)

- Added logical link indication in SFP to BaseT modules and disabled logical link when peer port is down.
- Added support for 10GbE in 25GbE SFP optical modules.

- Enables mlxlink tool to collect data on the PHY link status and provides link down reasons and additional link related information.
- Enabled TX configuration response and movement during Link Training in Ethernet.
- Added support at lane rate of 12.89Gb.
- Limits the amount of time a packet may head a Traffic Class (TC) transmission queue, without being transmitted. Stale packets are discarded. Active by default for TCs adhering to link level flow control.
- UAR page size currently is set to 4KB and not according to what the system page size determines.
- Improved performance of:
 - Doorbell from User Access Region (UAR)
 - Clear interrupt from User Access Region (UAR)
- Added support for additional transport counters.
- Added ODP support for DC.
- Enabled scatter-to-CQE for sent packets for DC.
- Enabled moderation period modification in CQ modify command.
- Added support for minimum/maximum rate limit per vport in SR-IOV.
- Enabled network traffic between UEFI-Shell and OS.
- Enabled the PF to force disable RoCE for its VFs.
- Added 2 new access registers:
 - Management Capabilities Mask Register
 - Ports Capabilities Mask Register Fields
 For further information, please refer to the PRM.
- Enabled VNIC the control to enable/disable its local loopback traffic.
- Added the option to open a receive RDMA Flow Table and to forward RoCE traffic to some destination QP.
- Added support for Multi-Host LID base routing. This feature requires a new OpenSM (v4.7.1 and above which comes with MLNX_OFED 3.3-2.0.0.0) with the following attributes:
 - qos TRUE
 - lmc 2 (if there is no quad host in the fabric, you can set the lmc to 1)
 - virt_enabled 2 Note: Multi-Host LID base routing can be configured by the INI only. The default is 0
- Resilient RoCE is the ability to send RoCE traffic over a lossy network (a network without flow control enabled), without the need to enable flow control on the network. The ability is accomplished by enabling ECN on both the Switch and the Host.
- Enables load balancing in the Multi PF Switch layer (MPFS) based on the L3/L4 headers
- Increased the number of VFs from 64 to 95 per Physical Function (PF). Note: When increasing the number of VFs, the following limitations must be taken into consideration: $server_total_bar_size \geq (num_pfs) * (2log_pf_uar_bar_size + 2log_vf_uar_bar_size * total_vfs)$ $server_total_msix \geq (num_pfs) * (num_pf_msix + num_vfs_msix * total_vfs)$ Note: For the maximum number of VFs supported by your driver, please refer to your drivers' Release Notes or User Manual.
- Added support for Port Flap Counter.
- Limits the buffer size for all entries to improve performance. KSM is used when associating Key Length My Virtual Address (KLMs) with fixed memory size.
- This entry (null_mkey) is use to indicate non-present KLM/KSM entries. When accessing is, it causes the device to generate page fault event.
- PLDM firmware burning is based on the DMTF spec DSP0267 (draft 9). The feature enables upgrading firmware and expansion ROM images using the PLDM protocol over MCTP (over PCIe). By doing so, a supporting BMC can query and upgrade the firmware without using OS based tools.
- Added a new physical layer statistics counters group. The new group includes BER counters, FEC error correction, clear time, and additional physical layer counters. For further information, please refer to the Ethernet Adapters Programming Manual (PRM).
- Enables the user to set a certain link up state for an unlimited period of time. This mode has 3 states:
 - Aux power (standby)
 - Reboot/boot/driver unloaded - the server is active and no driver is up
 - Driver is up - at least one driver is up (the time between init HCA and teardown or FLR)
- Added support for Doorbell from User Access Region (UAR).
- [Beta] Added support for maximum rate limit per function in SR-IOV.

- Allows the user to configure the adapter card to stop sending pauses after x when the receive port is unavailable (in a hang state).
- [Beta] Added support for new performance counters.
- DCBX is used by DCB devices to exchange configuration information with directly connected peers. DCBX uses Link Layer Discovery Protocol (LLDP) to exchange parameters between two link peers. For further information, please refer to the PRM.
- Allows network port registers to revert to their default values when the driver is restarted or the host is rebooted.
- Added additional network link up modes. The new modes decide when to keep the network link up. The new modes are:
 - keep_eth_link_up
 - keep_ib_link_up
 - keep_link_up_on_boot
 - keep_link_up_on_standby
- Added v1, v3, v6 tags to VPD read only tag
- Enables software to scatter or strip FCS in RQ.
- Keeps track of the creation of a packet. A time-stamping service supports assertions of proof that a datum existed before a particular time.
- Applies pause functionality to specific classes of traffic on the Ethernet link.
- Custom port counters provide the user a clear indication about RDMA send/receive statistics and errors
- The Link Layer Discovery Protocol (LLDP) is a vendor-neutral Link Layer protocol in the Internet Protocol Suite used by network devices for advertising their identity, capabilities, and neighbors on a IEEE 802 LAN. The protocol is formally defined in IEEE 802.1AB.
- ConnectX-4 adapters now support 1Gb/s and 56GbE Ethernet connectivity in addition to 10GigE, 25GigE, 40GigE, 50GigE, and 100GigE.
- Provides a clear indication of Flow Steering statistics and errors.
- The minimal amount of packet headers inlined in the WQE's Eth Segment.
- A flow table may include a table-miss flow entry, which renders all Match Fields wildcards. If a packet does not match a flow entry in a flow table, this is a table miss. The behavior on a table miss depends on the table configuration. A table-miss flow entry in the flow table may specify how to process unmatched packets.
- Single Root IO Virtualization (SR-IOV) is a technology that allows a physical PCIe device to present itself multiple times through the PCIe bus.
- Uses the HCA for offloading erasure coding calculations.
- Enables the administrator to add a timestamp to the firmware they want to upgrade to avoid situations where one host tries to upgrade the firmware and another tries to downgrade; which may lead to two or more unnecessary server reboots. For further information, please refer to MFT User Manual.
- The change includes the following:
 1. Changed port configuration which required link re-training (such as speed)
 2. PAOS down
 3. PAOS up
 This change, will cause the link to toggle and new configurations to take effect.
- Flint utility allows performing an MD5 checksum on the non-persistent sections of the firmware image. For further information, please refer to MFT User Manual.
- Improved TX signal integrity for Electromagnetic Induction (EMI) compliance.
- Optic modules thermal sensing - Enables the firmware to read and report the temperature of the module.
- PLDM for module thermal sensing - Supports platform-level data models and platform functions in a platform management subsystem. PLDM is designed to be an effective interface and data model that provides efficient access to low-level platform inventory, monitoring, control, event, and data/parameters transfer functions.
- Low power boot state - Enables u-boot to put non-boot CPUs into a low power status. To enable low power boot using iLO debugger use the following commands.
 - #I2c b
 - #I2c a 0x82

- #I2c w 0x03 0xfe
- #I2c w 0x01 0xfe
- Port shutdown due to optic thermal event - Enables the firmware to close the power cage in case of high temperature in the module.
- Reduced the port link-up time when negotiating according to Clause 73 (DME)
- Large Receive Offload (LRO) • Large Send Offload (LSO)
- Receive Side Scaling (RSS)
- Global Pause • RoCEv1.0/RoCEv2.0
- Flow Steering
- Sniffer Ethernet
- Rate Limiter (at Beta level)
- Multi packet WQE
- Enhanced Transmission Selection standard (ETS)
- Explicit Congestion Notification (ECN)
- Priority Flow Control (PFC)
- CQE time stamping
- PCIe Function Level Reset (FLR)
- Power Management L2/L3 flow support
- Strided SRQ
- Self Loopback support
- Transport Domain support
- CQ2EQ remapping
- Added support for the following commands:
 - MODIFY/QUERY_ESW_VPORT_CONTEXT
 - QUERY/MODIFY_CONG_STATUS
 - QUERY/MODIFY_CKONG_PARAMS
 - QUERY_CONG_STATISTICS
 - ADD/DELETE_VXLAN_UDP_DPORT

サポートしているデバイスおよび機能

HP部品番号	InfiniBandカードタイプ	PSID
779793-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64) for HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポートアダプター (HPE 部品番号:843400-B21) on Linux x86_64 platform

バージョン: 1.0.0 (A) (推奨)

ファイル名: firmware-nic-mellanox-nic-1.0.0-2.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-nic-1.0.0-2.1.x86_64.rpm

修正

12.18.1000での修正:

- HCA madレスポンスに一致するPkeyではなく受信パケットPkeyを含む原因となる問題を修正しました。
- PCIe Txコンフィギュレーションを変更しました。
- ソフトウェアがECNパラメーター (min_rate、max_rate、rate_to_set_on_first_cnp) の値を>32768に設定するのを防止する問題を修正しました。
- QDR速度までサポートするデバイスに特定の銅ケーブルで接続されている場合、リンク速度がDDRとして立ち上がる問題を修正しました。

- 物理カウンターがリセットするのを防止する問題を修正しました。物理カウンターは最初のドライバー開始にリセットされるようになりました。
- サードパーティで可能性のあるネゴシエーション問題を修正しました。
- 56GbEリンクがエラーで立ち上がるまれな問題を修正しました。
- modify_scheduling_contextコマンドを実行する場合、フィールドは予約されていますが検証の実行にscheduling_context.element_typeが考慮される問題を修正しました。
- refカウンターはmax_average_bw != 0 (limited) 毎に増加する設計ですが、eSwitch max_average_bw refカウンターはmax_average_bwの設定値に関わらず、TEARDOWN_HCA/ FLR VFで減少する問題を修正しました。

拡張

ファームウェアバージョン12.18.1000:

843400-B21 (HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2-port アダプター)

バージョン12.18.1000の新機能および変更:

- 環境センサーの警告温度しきい値をアップデートしました。
- SFP内で論理リンクインジケータをBaseTモジュールを追加し、ピアポートがダウンしている場合は論理リンクを無効にしました。
- 25GbE SFP光学モジュールでの10GbEサポートを追加しました。
- mlxlinkツールがPHYリンクステータスのデータを収集し、リンクダウンの理由とリンクに関連した追加の情報を提供できるようにします。
- イーサネットでのリンクトレーニング中のTXコンフィギュレーションレスポンスおよび動きを有効にしました。
- レーンレート12.89Gbのサポートを追加しました。
- パケットが転送せずにトラフィッククラス (TC) 転送キューの先頭にいる時間を制限します。古いパケットは破棄されます。
デフォルトでTCはリンクレベルフロー制御に従うようになっています。
- UARページサイズは現在4KBに設定されていて、システムページのサイズが決定するものではありません。
- 以下のパフォーマンスを改善しました:
 - ユーザーアクセスリージョン (UAR) からのドアベル
 - ユーザーアクセスリージョン (UAR) からの割り込みのクリア
- 追加のトランスポートカウンターのサポートを追加しました。
- DCでのODPのサポートを追加しました。
- DC用に送信されたパケットでのスキッター・ツー・CQEを有効にしました。
- CQ modifyコマンドでのモデレーション期間変更を有効にしました。
- [ベータ] SR-IOVにおけるvportごとの最小/最大レート制限に関するサポートを追加しました。
- UEFIシェルとOS間のネットワークトラフィックを有効にしました。
- PFが自身のVFのRoCEを強制無効化できるようにしました。
- 2つの新しいアクセスレジスタを追加しました。
 - 管理機能マスキレジスタ
 - ポート機能マスキレジスタフィールド
 詳しくは、PRMを参照してください。
- VNICがそのローカルループバックトラフィックの有効/無効を制御できるようにしました。
- 受信RDMAフローテーブルをオープンし、RoCEトラフィックをある宛先QPIに転送するオプションを追加しました。

Emulexコンバードネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Linux (x64)

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-cna-emulex-2017.09.01-1.10.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-cna-emulex-2017.09.01-1.10.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

OOB NICドライバーは、<http://www.hpe.com/servers/spp/download>のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

追加の要件:

ファームウェアアップデートキットのインストール前にターゲット環境にlibsysfsまたはsysfsutilsパッケージをインストールしておく必要があります。存在していない場合、libsysfsまたはsysfsutilsパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。

コンポーネントがEmulex HBA/CNAを検出できるようにするために32-bit netlink library (libnl.so) がインストールされている環境が必要です

フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です

注記:FCoE/iSCSIプロトコルをサポートするデバイス上でプロトコルを有効にするには、適切なEmulex FCoE/iSCSIドライバーをインストールしてください。また、FCoEプロトコルは、HPE Emulexイネーブルメントキットがインストールされている必要があります。また、ドライバーおよびイネーブルメントキットは、<http://www.hpe.com/servers/spp/download>のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

FCoEドライバーキットをインストールし、再起動してからイネーブルメントキットをインストールします。

修正

以下を修正しました。

- 650FLBおよびMアダプターで"PCIe Link Bandwidth Reduction"イベントが発生するという予想外の動作を解決しました。
- 11.1.183ビルド32のOSポストホットフィックスFWフラッシュから650Mアダプターが欠落するという予想外の動作を解決しました。
- 11.2.1223.0ファームウェアをフラッシュした後にHP BL460c Gen10システムの電源が切断され、650FLBアダプターの温度が過熱状態の122CであることがiLO5の温度タブでレポートされるという予想外の動作を修正しました。

- ネットワークアダプターのActive Health System (AHS)ログにネットワーク情報がないという予想外の動作を解決しました。

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、コンバージドネットワークアダプターアップデートコンポーネントです。

CNA (XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

ファームウェア

含まれるもの:

CNA (XE100シリーズ)ファームウェア11.2.1263.19

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 シリーズ:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

Emulexコンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Windows (x64)

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

ファイル名: cp032466.compsig; cp032466.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulex NICドライバーをインストールする必要があります。最新のドライバーは、HPE.com Webサイト: <http://www.hpe.com/>から入手できます。

CoE/iSCSI OOBドライバーおよびFCoEイネーブルメントキットは、<http://www.hpe.com/servers/spp/download>のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- 650FLBおよびMアダプターで"PCIe Link Bandwidth Reduction"イベントが発生するという予想外の動作を解決しました。
- 11.1.183ビルド32のOSポストホットフィックスFWフラッシュから650Mアダプターが欠落するという予想外の動作を解決しました。
- 11.2.1223.0ファームウェアをフラッシュした後にHP BL460c Gen10システムの電源が切断され、650FLBアダプターの温度が過熱状態の122CであることがiLO5の温度タブでレポートされるという予想外の動作を修正しました。
- ネットワークアダプターのActive Health System (AHS)ログにネットワーク情報がないという予想外の動作を解決しました。

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、コンバージドネットワークアダプターアップデートコンポーネントです。

CNA (XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

含まれるもの:

CNA (XE100シリーズ)ファームウェア11.2.1263.19

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 シリーズ:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 1.1.7 (オプション)

ファイル名: firmware-nic-bcm-nxe-1.1.7-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-bcm-nxe-1.1.7-1.1.x86_64.rpm

修正

この製品は、アダプターの構成メニューから変更を加えていないのに、構成の変更を保存するよう求めるプロンプトが表示されるという問題を修正します。

この製品は、VLAN IDが有効になっているとアダプターがPXEブートに失敗するという問題に対処します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

HPE Broadcom NetXtreme-Eオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.1.1.0 (オプション)

ファイル名: cp032627.compsig; cp032627.exe

修正

この製品は、アダプターの構成メニューから変更を加えていないのに、構成の変更を保存するよう求めるプロンプトが表示されるという問題を修正します。

この製品は、VLAN IDが有効になっているとアダプターがPXEブートに失敗するという問題に対処します。

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.19.5 (オプション)

ファイル名: CP032621.compsig; CP032621.zip

重要な注意!

HPは、このファームウェア用に *HP Broadcom tg3 Ethernet* ドライバー for VMware、バージョン2015.10.01をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にご使用のデバイスのための適切な HP Broadcom ドライバー for VMware がインストールされている必要があります。

修正

この製品は、アダプターの負の温度がIntegrated Lights Out (iLO)に正しく表示されないという問題に対処します。

この製品は、アダプターに間違ったファームウェアイメージが組み込まれるという問題に対処します。

この製品は、リブートが必要な変更が行われた後、アダプタの設定メニューでリブートのプロンプトが正しく表示されないという問題に対処します。

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 2.19.6 (オプション)

ファイル名: firmware-nic-broadcom-2.19.6-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-broadcom-2.19.6-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPは、このファームウェア用に *HP Broadcom tg3 Ethernet* ドライバー、バージョン3.137k-6をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、HP Smart Update Manager (HPSUM)バージョン7.0.0.0以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

このパッケージには、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアを更新する前にすべてのEthernetポートがアップ(*ifup ethX* または *ifconfig ethX up*)している必要があります。

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にHP Broadcom tg3 Ethernetドライバー RPMのインストールを必要とします。

修正

この製品は、アダプターの負の温度がIntegrated Lights Out (iLO)に正しく表示されないという問題に対処します。

この製品は、アダプターに間違ったファームウェアイメージが組み込まれるという問題に対処します。

この製品は、リポートが必要な変更が行われた後、アダプタの設定メニューでリポートのプロンプトが正しく表示されないという問題に対処します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.1.1.0 (オプション)

ファイル名: cp032626.compsig; cp032626.exe

重要な注意!

HPEは、このファームウェアでの使用に、*HPE Broadcom 1Gbドライバー for Windows Server x64 Edition*、バージョン17.4.0.0をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前に、*HPE Broadcom 1Gbドライバー for Windows Server x64 Edition*のインストールを必要とします。

修正

この製品は、アダプターの負の温度がIntegrated Lights Out (iLO)に正しく表示されないという問題に対処します。

この製品は、アダプターに間違ったファームウェアイメージが組み込まれるという問題に対処します。

この製品は、リポートが必要な変更が行われた後、アダプタの設定メニューでリポートのプロンプトが正しく表示されないという問題に対処します。

HPE Intelオンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 3.5.12 (オプション)

ファイル名: CP031570.compsig; CP031570.zip

拡張

This product now supports the following network adapters:

- HPE Ethernet 1Gb 2-port 368i Adapter
- HPE Ethernet 1Gb 2-port 368FLR-MMT Adapter
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 369i Adapter
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-T Adapter
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562T Adapter
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+ Adapter
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMT Adapter

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 1.13.12 (オプション)

ファイル名: firmware-nic-intel-1.13.12-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-intel-1.13.12-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをおすすめします:

- Linux用HPE Intel igbドライバー、バージョン5.3.5以降
- Linux用HPE Intel ixgbeドライバー、バージョン4.3.13以降
- Linux用HPE Intel i40eドライバー、バージョン1.3.46以降

事前要件

この製品は、ファームウェアをアップデートする前にターゲットデバイス用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

このパッケージは、HP Smart Update Manager (HPSUM)バージョン7.0.0.0以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLBアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361T アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366T アダプター

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 367i アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb デュアルポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFLR-FP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.1.1.0 (オプション)

ファイル名: cp032236.compsig; cp032236.exe

重要な注意!

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次の少なくとも1つをおすすめします:

- *HP Intel E1R* ドライバー for Windows Server 2008 x64 Edition、バージョン12.7.29.0(C)
- *HPE Intel E1R* ドライバー for Windows Server 2008 R2、バージョン12.14.7.0
- *HPE Intel E1R* ドライバー for Windows Server 2012、バージョン12.14.7.0
- *HPE Intel E1R* ドライバー for Windows Server 2012 R2、バージョン12.14.7.0
- *HP Intel ixn/ixt* ドライバー for Windows Server 2008 x64 Edition、バージョン3.5.22.0(D)
- *HP Intel ixn/ixt* ドライバー for Windows Server 2008 R2、バージョン3.9.58.9101(B)
- *HP Intel ixn/ixt* ドライバー for Windows Server 2012、バージョン3.9.58.9101(B)
- *HP Intel ixn/ixt* ドライバー for Windows Server 2012 R2、バージョン3.9.58.9101(B)
- *HPE Intel i40ea* ドライバー、バージョン1.2.130.0

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にネットワークアダプター用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLB アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361T アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 1ポート 364i アダプター

- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLR アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366T アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 367i アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFLR-FP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Mellanox Ethernetアダプター専用のオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5)

バージョン: 1.0.0 (A) (推奨)

ファイル名: CP032807.compsig; CP032807.zip

重要な注意!

FWバージョン2.40.7000での既知の問題

- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバユーティリティ (例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX@-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります。
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
回避策: 製品版SL230をPCIe Gen3オペレーションのためには使用するべきです
- ドライバの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンスドステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
回避策: BIOSのSR-IOVを有効
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。ロックされたセマフォは、ファームウェアがフラッシュへアクセスすることを妨げ、ファームウェアがハングアップする原因となります。
回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします: 'flint -clear_semaphore'.
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。

You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW

configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n)[n] : y

You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y

- MLNX-_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください。
回避策: MLNX-_OFED-2.1-x.x.x以降にアップグレードしてください。
- VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
回避策: それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40GでVPIモードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
回避策: デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- PXE (レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
回避策:
 1. スイッチからケーブルを抜きます。
 2. ドライバーを再起動します。
 3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QP では、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリポートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx- 4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします。

FWバージョン14.18.2030での既知の問題 :

- 以下のICをベースにしたプラットフォームのリンクを立ち上げるには、以下のファームウェアバージョン要件を遵守してください。
 - ConnectX®-3 - 2.32.5100
 - SwitchX® - 9.2.7300 (またはMLNX-OS 3.3.5006)
- 10GbE リンクを立ち上げようとした際の、ConnectX-4 または ConnectX-4 Lx アダプターカードおよび ConnectX-2 アダプターカード間の相互運用問題。
- PCIe 機能 "Device S/N" が偽値を返しています。
- リンクがGen2の場合、L1ステートに入るか出るかすると、間違ったCRCまたはDLLPの表示の原因となることがあります。
- 構成スペースパワー管理機能 PME_EN を設定できません。
- サーバーリセット中(電源再投入以外)、non-maskable interrupt (NMI) は、PCIe アクセスによる Option Card Black Box (OCBB) 問題が発生する場合があります。
- PF ダイレクトパススルーはサポートされていません(PF FLR がサポートされていないため)
- 最新のポートオーナーホストがドライバーを再起動した後、いくつかのPort Control Register は、デフォルト値に戻りません。
回避策: ドライバーを再起動またはリセットします。
- 古い MFT バージョン (4.0.0 および 3.8.0) は、最新のGAファームウェアが古い、または既存のファームウェアと比較できないことを示しています。
下記と同様のメッセージが、ファームウェアアップグレードステージに表示されます:
flint -d -i burn
Current FW version on flash: 12.1100.6630
New FW version:

12.0012.0572

注記:新しいFWバージョンはフラッシュ上の現在のバージョンよりも古いです。

Do you want to continue ? (y/n) [n] : y

回避策:ファームウェアをアップグレードするために下記オプションの1つを選択します:

- 最新のMFTバージョン(4.1.0)にアップグレードします
- flintのNoteが、"-force"フラグでflintを実行することを示した後に、"y"を入力します
- QP.force_loopback が1に等しいためにループバックされるトラフィックは、PFへ進みます。
- 最小 200 LFM は、MCX4411A-ACAN アダプターカードを冷却するために必要です。
- mlxfwreset は、ファームウェアイメージをアップグレードした後に、古いMFT バージョンで正しく機能しません
回避策:最新リリースにMFTをアップグレードするか、ファームウェアをアップグレードした後、再起動/電源再投入します。
- Windows Server 2016 Inboxドライバーは、ファームウェアv14.12.0780で動作しません
回避策: WinOF-2 v1.20 out-of-boxドライバーを使用します。
- ファームウェアをフラッシュするにはサーバーの再起動が必要です。ファームウェアを、最初のフラッシュ後、サーバーを再起動しないと2回目のフラッシュができません
回避策:ファームウェアのフラッシュ後、サーバーを再起動します。
- 制限イベントの SRQ をアーミングする場合、デバイスは、context_index=0 のイベントを発行する場合があります。
- set_hca_capコマンドの log_max_ra_res_qp の値は、すべての機能で同一としてください。
- 機能 (PF/VF) TX ポートカウンターはサポートされていません。
- PF ドライバーは、ページイベントキューで動作しなければなりません。
- SR-IOV イーサネットは、1ポートにつき最大18 VF をサポートします。
- Privileged Vport egress信号は、Vport が有効でない場合ブロックされません
- VportカウンターはVportを横切るトラフィックのみをカウントする必要があるが、ローカル (内部)ループバックパケットがVportカウンターによりカウントされます。
- バーチャルトラップの Vport ナンバーは、正しく報告されない場合があります
- untagged および prio-tagged パケットを取得する Single FTE(match_value.vlan_tag = 0 および match_value.vid = 0 にFTEを与えることで)は現在サポートされていません。
- SM with VL weight 0 on some VL を構成し、その信号を実行することで、アップロード中にハングするドライバーの原因となります。
- OCBB は、最新の iLO バージョンで表示されません。
- 10GbE ケーブルが、SFF-8472 に準拠していないものがあります。"SFP+ Cable Technology" ビットはクリアとなっています。
- Clause 74 Fire-Code FEC が有効である場合、FC_correctable カウンターおよび FC_uncorectable カウンターが増加する、エラーが修正されたFCがあります。
- Windows NMI は、OCBBメモリアクセストランザクションの結果として再起動の繰り返しが発生する場合があります。
- end_padding_mode は、PRMで定義されたINIT_2_RTR コマンドではなく、CREATE_QP 内で必要となります
- LR4 ケーブルイベントは、ポートがアップしても送信されます。
- UEFI 起動サイクル中に、winPE がロードされている間、まれにシステムが動かなくなることがあります。(OS WinPE、システムDL160) **回避策:** 電源再投入でシステムを回復させます。
- RoCE LAGが正しく機能するには、両方のポートにQoSを設定する必要があります。
- FTEのencap_idを変更することはサポートされていません。
- フローカウンターがサポートされるのは、flow_tagがないFTE、または送信先がTIRのFTEのみです。
- FDB Flow Tableにフローカウンターを使用すると、送信済みのIBトラフィックvportカウンターが正しく機能しません。
- e-sw FDBのステアリングルールにencap操作が含まれていて送信先が外部ポートの場合、ルールに一致する送信されたマルチキャストパケットはワイヤに送られ、ループバックおよびローカルにループバックされたパケットにもencapヘッダーが付きます。
- 複数のインターフェイス (例、PCIeおよびMTUSB) から並行して同じデバイスにファームウェアを焼き付けることはサポートされません。
- e-switch FDBが作成されない場合、VF機能のループバックトラフィックはvport 0 (PF) に送られます。
- 複数のインターフェイス (例、PCIeおよびMTUSB) から並行して同じデバイスにファームウェアを焼き付けることはサポートされません。

- 50回以上のポートタイプTLVの非揮発性構成はシステムハングの原因となります。 **回避策:**ポートタイプTLVを連続して50回アップデートする毎に、mlxconfig resetを実行してください。
- ConnectX-4 Lxファームウェアv14.16.1006以降を使用して50GbEのリンクを立ち上げるには、以下の状態を満たす必要があります。
 - ConnectX-4ファームウェアのバージョンが最低でも12.16.1006でなければなりません
 - ConnectX-4 Lxファームウェアのバージョンが最低でも14.16.1006でなければなりません
 - MLNX-OSのバージョンが最低でも3.6.1000 (ファームウェアv13.1100.0026)でなければなりません
- IBポートプロトコルで設定されたVPI/IBデバイスにファームウェアイメージを焼き付けている間にファームブートを実行すると、デバイスがPCIeに表示されなくなることがあります。 **回避策:**代わりにデバイスをコールドリブートします
- 電源オフボタンを押すとサーバーをリセットしてスタンバイフロー (init 0の動作のように) を開始させません。その結果、keep_link_upによって両方のポートがアップとなり、ファームウェアがロードされるとポートが開きます。 **回避策:**init 0を使用してスタンバイフローを開始します。
- InfiniBandマルチホストおよびSR-IOVセットアップでは、query_hca_vport_contextコマンドの中でgrh_requiredビットが設定されている場合、トラフィックにGRH (GIDインデックス) を含めます。OpenSMを以下のように設定します (opensm.conf):
 - virt_enable should be 2
 - Enable Qos:
 - qos TRUE
 注記:この場合、GRHのないトラフィックがvport0 ("Host0")に転送されます
- IBポートプロトコルで設定されたVPI/IBデバイスにファームウェアイメージを焼き付けている間にファームブートを実行すると、デバイスがPCIeに表示されなくなることがあります。 **回避策:**サーバーを電源再投入します (コールドリブート)。コールドリブートが実行されると、デバイスはすでに焼き付けられている以前のイメージでリブートされます。
- ファームウェアおよびハードウェアは、CPortState=downで物理リンクをリセットしません。IB仕様によると、マネジメント状態がコマンドを変更します:"CPortState... when phy_link=up and CPortState=down, the state machine will transition to the LinkDown state which will reset other link state machines. Since phy_link=up, this will be followed by a transition to the LinkInitialize state. Thus a command to change link port state to down provides a way to re-initialize the link layer..." **回避策:** 物理リンクを再訓練するには、sendbug PortInfo.physical_port_state = POLLINGが必要です。
- ローカルループバックトラフィックがvportカウンターに影響することがあります。
- トラフィックの送信中にレートリミッターを停止するとアダプターカードがハングすることがあります。 **回避策:**その前にトラフィックを停止します。
 - 最後の非デフォルトレートvportにrate 0を設定します。
 - 非デフォルトレートvportの最後のvport にdestroy_scheduling_elementコマンドを発行します。
- SLをVL 15にマッピングすることは現在サポートされません。それをしようとすると、ヘルスバッファの致命的な内部エラーが報告されます。
- modify_scheduling_contextコマンドの実行が、エレメントのスケジュールが作成されたかどうかの確認を含みません。 **回避策:**存在しないエレメントを変更しないようにします。
- 機能のmax_average_bwレートを設定/変更すると、あるいは速度をサポートされる最高速度(INIに示されるように)以上に設定すると、レートが不正確になりアサートとなります。 **回避策:**scheduling_context コマンドの中で、max_avergae_bwをサポートされるワイヤ速度と同じまたはそれ以下に設定します。
- ただし、refカウンターは max_average_bw != 0 (limited) 毎に増加する設計で、eSwitch max_average_bw refカウンターはmax_average_bwの値に関わらず、TEARDOWN_HCA/ FLR VFで減少します。 **回避策:**TEARDOWN_HCA/ FLR VFを実行する前に、すべてのVFのすべてのレートが "0" に設定されていることを確認します。これは、VFのいずれかにレートが設定されている場合のみ適用されます。
- FDRリンクは30Mより長い光学EDRケーブル上にシンボルエラーを発生させることがあります。
- modify_scheduling_contextコマンドを実行する場合、フィールドは予約されていますが検証の実行にscheduling_context.element_typeが考慮されます。 **回避策:**modify_scheduling_contextコマンドを発行する際は、正しいelement_typeを使用してください。

修正

Fixes in 2.40.7000:

- Fixed a race between the firmware and the hardware during driver start which blocked outbound completions.

- Fixed an issue which caused the firmware not to send link_down event to the driver when running the close_port command.
- Fixed an issue where in rare cases the Auto Sense failed to detect the right protocol.
- Fixed signal integrity issue when connecting a WCS ConnectX4 mezz card to Pikes peak FPGA..
- Added the option to transmit corrupted DME pages for a very short period of time at the beginning of the Auto-Negotiation flow.
- Fixed an incorrect report of the PortRcvDataVLExtended / PortXmitDataVLExtended counters by the firmware.
- Fixed a rare issue which caused firmware's packet injector to cut off packets when the TX was congested.
- Fixed an issue that caused the response to TX requests to take up to 10 mili-seconds in IEEE clause 72 Link Training.
- Fixed a race between 2 iriscs which caused a QP to get stuck in burst control limit state.
- When a QP was in error state, the firmware generated too many err CQEs at once, thus causing the cmdif responsiveness to be too slow. To prevent the above, the number of err CQEs was limited to 16 at a time.
- Fixed an issue that caused the MAC address that was set from the OS using ifconfig to be not reflected in the OCBB buffer.
- Fixed an issue where the ibdump got broken when running with loopback traffic.
- Fixed an issue where the firmware took QP to firmware ownership and then released it to the hardware ownership without checking if another firmware flow owns the same QP.
- Fixed an issue which occurred after disconnecting cable which showed the link type as IB even if the link type of the port is ETH.
- Fixed an issue related to the HCA PoerXmitWait counter on port 2 (connected to port 2 on Switch-IB) where it started counting and reached 0xFF's regardless of connection to switch.
- Fixed a completion error issue when ECN was enabled. The ECN usage caused ordering errors in completion queues (CQ).
- Fixed the length calculation of UDP. The incorrect UDP length in the CNP packet caused miscalculation of the ICRC.
- Fixed a wrong returned status in cable info MAD when the cable was not connected
- Fixed failure instances when initiating FLR in the Physical Function.
- Disabled High Rate Steering mode in the INI to enable its compatibility with NC-SI over VLAN.
- Fixed a default hardware configuration issue which caused RDP over IPv4 traffic to be dropped.
- MLNX_OEM command GET_TEMP returned a wrong value in the max_temp field.
- Fixed an issue which caused TX traffic to stop when the message MTU size was larger than QP.mtu.
- Fixed an issue which caused NVCONFIG to fail when the number of sector was set to 1 and the sector was zeroed.
- Fixed a race in handling a duplicated "read request from middle".
- Fixed an issue which caused lack of IB traffic on SR-IOV VPI.
- Fixed an issue which caused NVRAM to get stuck when it filled non-valid information in TLV.
- Fixed an issue which caused an internal firmware error when APM changed the QPs port mapping.
- Fixed an issue which caused a firmware internal error when handling QP alternative context.
- Fixed an issue which caused packet transmission to get stuck when the software tried to send pause frames with dmac equal to one of the device's MAC addresses.
- Fixed a wrong reporting of section 5 event 8 - LSO support.
- Fixed a mistakenly dropped ETH packet with ethertype 0x600 by the NIC.
- Fixed a case preventing broadcast traffic from arriving to their destination after detaching high priority broadcast rule on a port where NC-SI was enabled.
- Fixed an issue where the port raised as SDR vs. InfiniScale IV QDR Switch
- Fixed a rare case of completion Error with Bad Opcode sequence status which occurred when retransmitting read requests
- Fixed a case where the actual bandwidth did not match the user settings in VM QoS.
- Fixed a case where on rare cases, communication to BMC was lost during driver initialization.
- Fixed an issue with cable reading, which caused the link not to raise.
- Set the maximum EQN number to 1024.
- Fixed a rare issue with VPD init flow which caused read failures.
- Fixed an issue with RX size counter not being reported.
- Fixed promiscuous mode compatibility with A0-DMFS steering.

- Fixed promiscuous mode compatibility when NC-SI is enabled and configured.
- Fixed sending/receiving OEM temp commands (set/get) with channel ID 0x1f failure.
- Fixed an issue which caused packets to drop on a port when changing the interface state of the other port.
- Fixed long management communication loss and SOL hang during reboot cycles.
- Fixed wrong processing of inbound traffic towards BMC which caused communication loss.
- Fixed management link loss upon closing port interface through the driver.
- Fixed a false indication in firmware of an expander presence causing delay in EEPROM reading.
- Fixed an issue which caused a link down on a port when the cable was removed from the other port.
- Fixed a rare case where packet with length zero got stuck in hardware queues.
- Fixed an issue which caused InfiniBand congestion control packet (CNP) to hang in hardware.
- Fixed an issue which caused AEN to be sent after channel reset.
- Fixed an issue which prevented the restoring of QoS setting to its default consequently causing bandwidth degradation.
- Fixed an occasional long link up time with 10GbE based devices.
- Fixed an issue preventing cable readings from i2c slave address 0x51
- Fixed a wrong parity bit calculation when transmitting PCIe TS1 packets.
- Fixed a possible deadlock in PM turnoff request transmission and ack acceptance flow.
- Fixed a rare case with alignments state machines which caused occasional width degradation.
- Fixed an issue where the transmit queues hanged while congestion control was enabled and operational (EQC/QCN)
- Fixed an unexpected work completion syndrome with vendor syndrome 0x77 received when running RDMA SEND/WRITE traffic with retransmissions.
- Fixed an issue which caused SetPortInfo to return a good status when receiving invalid LinkSpeedEnabled value.
- Fixed an issue which caused dual port SFPP module cards to be automatically mapped with expander.
- Fixed an issue where firmware overrides the steering mode that was chosen by the driver.
- Fixed invalid return sensing results occurred when the link was up.
- Fixed an issue causing the sensing result to be delayed when cable was unplugged.
- Fixed an issue causing the link type to be displayed as ETH when set to AUTO.
- Fixed an issue causing ARP not to reply when connected to Hyper-V vSwitch.

Fixes in 14.18.2030 :

- On rare occasions during UEFI boot cycles system got stuck while WinPE is loaded. (OS WinPE, system DL160).
- Single FTE that catches both untagged and prio-tagged packets (by giving an FTE with match_value.vlan_tag = 0 and match_value.vid = 0) is currently not supported.
- Flashing the firmware requires server reboot. Firmware cannot be flashed twice without server reboot after first flashing
- If the vport state is DOWN and a packet is sent in local loopback, the sx_sniffer tool will not function.
- Fixed an issue causing bubbles to appear as symbol errors when link raised FDR 1x.
- When Clause 74 Fire-Code FEC is active, and there are FC corrected errors, both the FC_correctable counter and the FC_uncorrectable counter are increment.
- Some Port Control Register do not return to the default value after the last port owner host restarts the driver.
- Fixed an issue which caused RX to hang when the UDP packet had a reserved UDP destination port.
- Fixed DMAC reporting mapping per host.
- Fixed an EEH error from PCI which caused firmware to hang.
- Fixed the default value of the PCIe target_link_speed to Gen3 in link control2.
- Fixed an issue which prevented LEDs from blinking when the traffic was less than 0.1% of the link speed.
- Fixed an issue which caused the mlxconfig configuration of VF_LOG_BAR_SIZE to be ignored and to be set to 5 (32MB).

- A server getting into a Standby mode while Packet-Pacing is enabled might cause firmware to hang and driver call-trace.
- Fixed an issue which caused unexpected QoS functionality in case of multiple sources to single destination traffic transmission.
- Fixed an issue which occasionally caused the RX traffic to hang in DC when received a PCI error on WQE fetch.
- Fixed OOB connection issue during Intel's ITP inject errors test.
- Fixed an issue which prevented MAC address changes by to driver to be reflected in the OBCC and NC-SI interfaces.
- Added protection from IOPX thermal diode destabilization to prevent UEFI IPv6 PXE boot failure on ConnectX-4 Lx 25GE cards.
- Fixed an issue which caused a link down in Port 2 when unplugging the cable from Port 1.
- In some cases, a Bit Error Rate is not optimal on 10G/40G links.
- Instability of Link Training Flow occurs during 100G Auto-Negotiation.
- Fixed a rare issue which caused the command to hang when moved the QP to RESET and back to RTS.
- Improved RDMA READ bandwidth under packet lost scenario.
- Added support for pnat = 1 in HCA access_reg command as required by the ibdiagnet tool.
- Fixed the LLDP OCBB response: return value is now ascii.
- Fixed a very rare NMI issue during PXE cycles.
- Increased the steering hash tables static size from 128 to a maximum of 32K entries.
- Prevented miscalculation of module temperature when using 100Gb/s cables (OPN: MFA1A00-Cxxx for 100GbE).
- Reduced one hop for Unicast RX steering, steering pipes balancing.
- Non-volatile configuration of Port Type TLV more than 50 times might cause system hang.
- Enabled RoCE IPv4 Multicast. This prevents MCG command from failing when an IPv4 is mapped to an IPv6 address.
- If the PF driver or the tool (e.g. ethtool) use PAOS DOWN command (e.g. by ifconfig down or ip link set down), loopback traffic is blocked for all functions on this port (PF <->VFs / VF <->VF). In Multihost loopback, the traffic will be blocked once the firmware receives the PAOS down command from all PFs. However, the loopback traffic will not be blocked when the port is down due to the physical link (for example: cable plugged out, switch port down).
- Fixed a 25G and 50G link issue when Clause 91 RS FEC was active.
- Added a missing invalidation of eSwitch cache upon FLR which caused the upcoming driver load to either fail or not to be able to transmit.
- Fixed a UEFI IPv6 PXE boot failure on ConnectX-4 Lx 25GbE OCP card.
- Fixed an issue which prevented Vport counters from counting local loopback packets. Packets now are filter by the self-loopback prevention.
- Reported INTx as unsupported to allow PFs Passthrough on PowerKVM.
- SR-IOV Ethernet supports up to 18 VFs per port only.
- Fixed and incident what allowed local (internal) loopbacked packets to be counted by the Vport counters, although Vport counters should count only traffic that crosses the Vport.
- Fixed an issue preventing driver loading or TX traffic sending upon reboot, after ungraceful driver unload.
- Fixed casting of BMC MAC before steering API.
- Fixed the PCI write flow to take into consideration the PCI MTU. This fix eliminates the need for NOPs in the flow, which resulted from PPC larger PCI MTU.
The single queue limitation for READ is due to a hardware limitation of the number of READ request in a given time.
- Fixed a case that caused FlexBoot to not work as expected with systems that run with "large bar" enabled (Above 4G Decoding) over Connect-IB or ConnectX-4 HCAs.
- Fixed an issue which prevented link creation when connected to IXIA 25G.

擴張

Firmware for the following devices are updated to 2.40.7000:

779799-B21 (HP Ethernet 10G 2-port 546FLR-SFP+ Adapter)

779793-B21 (HP Ethernet 10G 2-port 546SFP+ Adapter)

New features and changes in version 2.40.7000:

- Added Etherent Link down counter.
- Enables steering packets to receive queues according to Ethertype matching
- Adds support for additional rate values.
- Counters that count the number of repeated Send WQE cache lookups that resulted in a miss.
- Flint utility allows performing an MD5 checksum on the non-persistent sections of the firmware image.
- New performance and back-pressure counters command via PRM (For further information, please refer to the PRM)
- Support for Multicast/Unicast sniffer rules (For further information, please refer to the PRM)
- Support for VLAN in VLAN encapsulation (For further information, please refer to the PRM)
- CQ creation offload by software
- Support for rst2rts command
- Invalidates a TLV during the firmware boot stage
- A new counter for the diag_rprt PRM command to count packet drops due to noreceive buffer
- Support for Ethernet TX lifetime cycle control (Head of Queue)
- A new register (PPLR) that allows egress and external loopback control (For further information, please refer to the PRM)
- A watchdog mechanism to track ingress traffic stalls to prevent flooding the network with Flow Control packets
- Inspur LED scheme: A new LED scheme controlled by the INI which causes constant traffic LED indication even without traffic.
- Added support for multiple RoCE modes (RoCE v1+v2) on the same port: RoCE mode is per connection now.
- Added a new QP command "INIT2RTS_QP" to enhance QP connection readiness time.
- Disabled FCS checks to support switches that replace FCS with Timestamp.
- Added RX Port identification for direct rout packets.
- Improved RDMA WRITE/SEND performance with retransmissions.
- Enabled firmware burning/querying using the PRM ACCESS_REG command.
- Added support for VAM. • Enabled bad cable EEPROM reporting to the driver.
- Added support for Platform Level Data Model (PLDM) sideband protocol.
- Added support for priority based A0-DMFS mode (For further information, please refer to the PRM).
- Added support for Unicast/Multicast loopback disablement by the driver. (For further information, please refer to the PRM)
- Removed the source IP from the hash calculation (For further information, please refer to the PRM)
- Added support for Inline Receive mode up to 2KB.
- Added support for multiple RoCE modes (RoCE v1+v2) on the same port: RoCE mode is per connection now.
- Added a new QP command "INIT2RTS_QP" to enhance QP connection readiness time.
- Disabled FCS checks to support switches that replace FCS with Timestamp.
- Added RX Port identification for direct rout packets.
- Improved RDMA WRITE/SEND performance with retransmissions.
- Enabled firmware burning/querying using the PRM ACCESS_REG command.
- Added support for VAM. • Enabled bad cable EEPROM reporting to the driver.
- Added support for Platform Level Data Model (PLDM) sideband protocol.
- Added support for priority based A0-DMFS mode (For further information, please refer to the PRM).
- Added support for Unicast/Multicast loopback disablement by the driver. (For further information, please refer to the PRM)
- Removed the source IP from the hash calculation (For further information, please refer to the PRM)
- Added support for Inline Receive mode up to 2KB.
- Sideband moved to port 0
- Added MCTP command support
- Changed the HP LED scheme for the 779799-B21 adapter.

Firmware for the following devices are updated to 14.18.2030 :

817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2-port 640FLR-SFP28 Adapter)

817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 Adapter)

- Added logical link indication in SFP to BaseT modules and disabled logical link when peer port is down.
- Added support for 10GbE in 25GbE SFP optical modules.
- Enables mlxlink tool to collect data on the PHY link status and provides link down reasons and additional link related information.
- Enabled TX configuration response and movement during Link Training in Ethernet.
- Added support at lane rate of 12.89Gb.
- Limits the amount of time a packet may head a Traffic Class (TC) transmission queue, without being transmitted. Stale packets are discarded. Active by default for TCs adhering to link level flow control.
- UAR page size currently is set to 4KB and not according to what the system page size determines.
- Improved performance of:
 - Doorbell from User Access Region (UAR)
 - Clear interrupt from User Access Region (UAR)
- Added support for additional transport counters.
- Added ODP support for DC.
- Enabled scatter-to-CQE for sent packets for DC.
- Enabled moderation period modification in CQ modify command.
- Added support for minimum/maximum rate limit per vport in SR-IOV.
- Enabled network traffic between UEFI-Shell and OS.
- Enabled the PF to force disable RoCE for its VFs.
- Added 2 new access registers:
 - Management Capabilities Mask Register
 - Ports Capabilities Mask Register FieldsFor further information, please refer to the PRM.
- Enabled VNIC the control to enable/disable its local loopback traffic.
- Added the option to open a receive RDMA Flow Table and to forward RoCE traffic to some destination QP.
- Added support for Multi-Host LID base routing. This feature requires a new OpenSM (v4.7.1 and above which comes with MLNX_OFED 3.3-2.0.0.0) with the following attributes:
 - qos TRUE
 - lmc 2 (if there is no quad host in the fabric, you can set the lmc to 1)
 - virt_enabled 2 Note: Multi-Host LID base routing can be configured by the INI only. The default is 0
- Resilient RoCE is the ability to send RoCE traffic over a lossy network (a network without flow control enabled), without the need to enable flow control on the network. The ability is accomplished by enabling ECN on both the Switch and the Host.
- Enables load balancing in the Multi PF Switch layer (MPFS) based on the L3/L4 headers
- Increased the number of VFs from 64 to 95 per Physical Function (PF). Note: When increasing the number of VFs, the following limitations must be taken into consideration: $server_total_bar_size \geq (num_pfs) * (2 \log_{pf_uar_bar_size} + 2 \log_{vf_uar_bar_size} * total_vfs)$ $server_total_msix \geq (num_pfs) * (num_pf_msix + num_vfs_msix * total_vfs)$ Note: For the maximum number of VFs supported by your driver, please refer to your drivers' Release Notes or User Manual.
- Added support for Port Flap Counter.
- Limits the buffer size for all entries to improve performance. KSM is used when associating Key Length My Virtual Address (KLMs) with fixed memory size.
- This entry (null_mkey) is use to indicate non-present KLM/KSM entries. When accessing is, it causes the device to generate page fault event.
- PLDM firmware burning is based on the DMTF spec DSP0267 (draft 9). The feature enables upgrading firmware and expansion ROM images using the PLDM protocol over MCTP (over PCIe). By doing so, a supporting BMC can query and upgrade the firmware without using OS based tools.
- Added a new physical layer statistics counters group. The new group includes BER counters, FEC error correction, clear time, and additional physical layer counters. For further information, please refer to the Ethernet Adapters Programming Manual (PRM).

- Enables the user to set a certain link up state for an unlimited period of time. This mode has 3 states:
 - Aux power (standby)
 - Reboot/boot/driver unloaded - the server is active and no driver is up
 - Driver is up - at least one driver is up (the time between init HCA and teardown or FLR)
- Added support for Doorbell from User Access Region (UAR).
- [Beta] Added support for maximum rate limit per function in SR-IOV.
- Allows the user to configure the adapter card to stop sending pauses after x when the receive port is unavailable (in a hang state).
- [Beta] Added support for new performance counters.
- DCBX is used by DCB devices to exchange configuration information with directly connected peers. DCBX uses Link Layer Discovery Protocol (LLDP) to exchange parameters between two link peers. For further information, please refer to the PRM.
- Allows network port registers to revert to their default values when the driver is restarted or the host is rebooted.
- Added additional network link up modes. The new modes decide when to keep the network link up. The new modes are:
 - keep_eth_link_up
 - keep_ib_link_up
 - keep_link_up_on_boot
 - keep_link_up_on_standby
- Added v1, v3, v6 tags to VPD read only tag
- Enables software to scatter or strip FCS in RQ.
- Keeps track of the creation of a packet. A time-stamping service supports assertions of proof that a datum existed before a particular time.
- Applies pause functionality to specific classes of traffic on the Ethernet link.
- Custom port counters provide the user a clear indication about RDMA send/receive statistics and errors
- The Link Layer Discovery Protocol (LLDP) is a vendor-neutral Link Layer protocol in the Internet Protocol Suite used by network devices for advertising their identity, capabilities, and neighbors on a IEEE 802 LAN. The protocol is formally defined in IEEE 802.1AB.
- ConnectX-4 adapters now support 1Gb/s and 56GbE Ethernet connectivity in addition to 10GigE, 25GigE, 40GigE, 50GigE, and 100GigE.
- Provides a clear indication of Flow Steering statistics and errors.
- The minimal amount of packet headers inlined in the WQE's Eth Segment.
- A flow table may include a table-miss flow entry, which renders all Match Fields wildcards. If a packet does not match a flow entry in a flow table, this is a table miss. The behavior on a table miss depends on the table configuration. A table-miss flow entry in the flow table may specify how to process unmatched packets.
- Single Root IO Virtualization (SR-IOV) is a technology that allows a physical PCIe device to present itself multiple times through the PCIe bus.
- Uses the HCA for offloading erasure coding calculations.
- Enables the administrator to add a timestamp to the firmware they want to upgrade to avoid situations where one host tries to upgrade the firmware and another tries to downgrade; which may lead to two or more unnecessary server reboots. For further information, please refer to MFT User Manual.
- The change includes the following:
 1. Changed port configuration which required link re-training (such as speed)
 2. PAOS down
 3. PAOS up
 This change, will cause the link to toggle and new configurations to take effect.
- Flint utility allows performing an MD5 checksum on the non-persistent sections of the firmware image. For further information, please refer to MFT User Manual.
- Improved TX signal integrity for Electromagnetic Induction (EMI) compliance.
- Optic modules thermal sensing - Enables the firmware to read and report the temperature of the module.
- PLDM for module thermal sensing - Supports platform-level data models and platform functions in a platform management subsystem. PLDM is designed to be an effective interface and data model

that provides efficient access to low-level platform inventory, monitoring, control, event, and data/parameters transfer functions.

- Low power boot state - Enables u-boot to put non-boot CPUs into a low power status. To enable low power boot using iLO debugger use the following commands.
 - #I2c b
 - #I2c a 0x82
 - #I2c w 0x03 0xfe
 - #I2c w 0x01 0xfe
- Port shutdown due to optic thermal event - Enables the firmware to close the power cage in case of high temperature in the module.
- Reduced the port link-up time when negotiating according to Clause 73 (DME)
- Large Receive Offload (LRO) • Large Send Offload (LSO)
- Receive Side Scaling (RSS)
- Global Pause • RoCEv1.0/RoCEv2.0
- Flow Steering
- Sniffer Ethernet
- Rate Limiter (at Beta level)
- Multi packet WQE
- Enhanced Transmission Selection standard (ETS)
- Explicit Congestion Notification (ECN)
- Priority Flow Control (PFC)
- CQE time stamping
- PCIe Function Level Reset (FLR)
- Power Management L2/L3 flow support
- Strided SRQ
- Self Loopback support
- Transport Domain support
- CQ2EQ remapping
- Added support for the following commands:
 - MODIFY/QUERY_ESW_VPORT_CONTEXT
 - QUERY/MODIFY_CONG_STATUS
 - QUERY/MODIFY_CKONG_PARAMS
 - QUERY_CONG_STATISTICS
 - ADD/DELETE_VXLAN_UDP_DPORT

サポートしているデバイスおよび機能

HP部品番号	InfiniBandカードタイプ	PSID
779793-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 1.2.14 (オプション)

ファイル名: firmware-nic-qlogic-flq-1.2.14-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-flq-1.2.14-1.1.x86_64.rpm

修正

この製品は、'システム設定'メニューの'システムユーティリティ' (POSTで[F9])でネットワークアダプターの構成設定がデフォルトに復元されたときに、2番目のポートでのWake-On-Lan設定が正しく有効になっていないという問題に対処します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 4.4.14 (オプション)

ファイル名: CP031575.compsig; CP031575.zip

修正

この製品は、'システム設定'メニューの'システムユーティリティ' (POSTで[F9])でネットワークアダプターの構成設定がデフォルトに復元されたときに、2番目のポートでのWake-On-Lan設定が正しく有効になっていないという問題に対処します。

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions

バージョン: 5.1.1.0 (オプション)

ファイル名: cp032442.compsig; cp032442.exe

修正

この製品は、'システム設定'メニューの'システムユーティリティ' (POSTで[F9])でネットワークアダプターの構成設定がデフォルトに復元されたときに、2番目のポートでのWake-On-Lan設定が正しく有効になっていないという問題に対処します。

HPE QLogic NC382i/NC532xオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 2.18.1 (オプション)

ファイル名: CP028811.scexe; CP028811.txt; hp-firmware-nic-qlogic-57xx-2.18.1-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、このファームウェアでの使用に、*HPE QLogic NX2 1/10/20 GbE*マルチファンクションドライバ、バージョン7.13.59-1以降をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、HP Smart Update Manager (HPSUM)バージョン7.0.0.0またはそれ以降で使用することができます。以前のバージョンのHPSUMは、このパッケージを正しくインストールすることはできません。

このパッケージには、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバがインストールされ、ファームウェアを更新する前にすべてのEthernetポートがアップ(*ifup ethX* または *ifconfig ethX up*)している必要があります。

拡張

最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC532i デュアルポート 10GbE マルチファンクション BL-cアダプター(3654)
- HP NC532i デュアルポート 10GbE マルチファンクション BL-cアダプター(7058)
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター

HPE QLogic NC382i/NC532xオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.15.1 (オプション)

ファイル名: CP028840.zip

重要な注意!

HPEは、このパッケージのファームウェアでの使用に、HPE QLogic NX2 1/10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware、バージョン2016.10.07またはそれ以降をおすすめします。

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にインストールされるご使用のデバイス向けに、適切なHPE QLogic NX2ドライバー for VMwareが必要です。

拡張

最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC532iデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター

HPE QLogic NC382i/NC532xオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions

バージョン: 4.1.0.25 (オプション)

ファイル名: cp028813.exe

重要な注意!

HPEは、この製品のファームウェアで使用するために、適用可能な次のドライバーをおすすめします:

- HP Broadcom 1Gbマルチファンクションドライバー for Windows Server x64 Editions、バージョン7.8.50.0(E)以降
- HPE QLogic NX2 10/20GbEマルチファンクションドライバー for Windows Server x64 Edition、バージョン7.13.3.0以降

事前要件

このパッケージは、ファームウェアをアップデートする前にネットワークアダプター用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP NC382i内蔵デュアルポート マルチファンクションGigabitサーバーアダプター
- HP NC532iデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター
- HP NC532mデュアルポート10GbEマルチファンクションBL-cアダプター

HPE QLogic NX2オンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.19.5 (オプション)

ファイル名: CP032533.compsig; CP032533.zip

修正

この製品は、ネットワークアダプターが、NICボンドから削除された後でそのボンドに再度追加できないという問題に対処します。

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 2.20.4 (オプション)

ファイル名: firmware-nic-qlogic-nx2-2.20.4-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-nx2-2.20.4-1.1.x86_64.rpm

修正

この製品は、ネットワークアダプターが、NICボンドから削除された後でそのボンドに再度追加できないという問題に対処します。

この製品は、アダプターの温度がIntegrated Lights Out (iLO)のWebページで正しくレポートされないという問題に対処します。

この製品は、最大転送ユニット(MTU)の設定値が維持されず、システムのリブート時にデフォルト値に戻されるという問題に対処します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4をサポートしています。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3をサポートしています。

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.1.1.0 (オプション)

ファイル名: cp032570.compsig; cp032570.exe

修正

この製品は、ネットワークアダプターが、NICボンドから削除された後でそのボンドに再度追加できないという問題に対処します。

HPEファームウェアフラッシュfor VMware vSphere 6.0用Emulexコンバージドネットワークアダプター

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

以下を修正しました。

- 650FLBおよびMアダプターで"PCIe Link Bandwidth Reduction"イベントが発生するという予想外の動作を解決しました。
- 11.1.183ビルド32のOSポストホットフィックスFWフラッシュから650Mアダプターが欠落するという予想外の動作を解決しました。
- 11.2.1223.0ファームウェアをフラッシュした後にHP BL460c Gen10システムの電源が切断され、650FLBアダプターの温度が過熱状態の122CであることがiLO5の温度タブでレポートされるという予想外の動作を修正しました。
- ネットワークアダプターの Active Health System (AHS)ログにネットワーク情報がないという予想外の動作を解決しました。

拡張

CNA (XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

含まれるもの:

CNA (XE100シリーズ)ファームウェア11.2.1263.19

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 シリーズ:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor VMware vSphere 6.5用Emulexコンバージドネットワークアダプター

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

ファイル名: CP032464.compsig; CP032464.zip

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

以下を修正しました。

- 650FLBおよびMアダプターで"PCIe Link Bandwidth Reduction"イベントが発生するという予想外の動作を解決しました。
- 11.1.183ビルド32のOSポストホットフィックスFWフラッシュから650Mアダプターが欠落するという予想外の動作を解決しました。
- 11.2.1223.0ファームウェアをフラッシュした後にHP BL460c Gen10システムの電源が切断され、650FLBアダプターの温度が過熱状態の122CであることがiLO5の温度タブでレポートされるという予想外の動作を修正しました。
- ネットワークアダプターのActive Health System (AHS)ログにネットワーク情報がないという予想外の動作を解決しました。

拡張

CNA (XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

ファームウェア

含まれるもの:

CNA (XE100シリーズ)ファームウェア11.2.1263.19

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 シリーズ:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

Online Firmware Upgrade Utility (Windows x64) for HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2-port Adapter (HPE Part number: 843400-B21) on Windows x86_64 platform

バージョン: 1.0.0.1 (推奨)

ファイル名: cp032585.compsig; cp032585.exe

修正

Fixes in 12.18.1000:

- Fixed an issue which caused the HCA mad response to contain the incoming packet Pkey and not the matched Pkey.
- Modified PCIe Tx configuration..
- Fixed an issue that prevented the software to set ECN parameters (min_rate, max_rate, rate_to_set_on_first_cnp) to values >32768.
- Fixed an issue which caused the link speed to raise as DDR when connected with certain copper cables to devices supporting up to QDR speed.
- Fixed an issue which prevented physical counters from resetting. Now the physical counters are reset on first driver start.
- Fixed possible negotiation issues with 3rd parties.
- Fixed a rare issue which caused 56GbE link to raise with errors.
- Fixed an issue which caused scheduling_context.element_type to be taken into consideration with performing verifications, when running the modify_scheduling_context command, although the field is reserved.
- Fixed an issue which caused the eSwitch max_average_bw ref counter to decrement in TEARDOWN_HCA/ FLR VF regardless of the max_average_bw value set, although the ref counter design was to increment on every max_average_bw != 0 (limited).

拡張

Firmware for the following device has been updated to 12.18.1000:

843400-B21 (HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2-port Adapter)

New features and changes in version 12.18.1000:

- Updated the ambient sensor warning thermal threshold.
- Added logical link indication in SFP to BaseT modules and disabled logical link when peer port is down.
- Added support for 10GbE in 25GbE SFP optical modules.
- Enables mlxlink tool to collect data on the PHY link status and provides link down reasons and additional link related information.
- Enabled TX configuration response and movement during Link Training in Ethernet.
- Added support at lane rate of 12.89Gb.
- Limits the amount of time a packet may head a Traffic Class (TC) transmission queue, without being transmitted. Stale packets are discarded.
Active by default for TCs adhering to link level flow control.
- UAR page size currently is set to 4KB and not according to what the system page size determines.
- Improved performance of:
 - Doorbell from User Access Region (UAR)
 - Clear interrupt from User Access Region (UAR)
- Added support for additional transport counters.
- Added ODP support for DC.
- Enabled scatter-to-CQE for sent packets for DC.
- Enabled moderation period modification in CQ modify command.
- [Beta] Added support for minimum/maximum rate limit per vport in SR-IOV.
- Enabled network traffic between UEFI-Shell and OS.
- Enabled the PF to force disable RoCE for its VFs.
- Added 2 new access registers:
 - Management Capabilities Mask Register
 - Ports Capabilities Mask Register FieldsFor further information, please refer to the PRM.
- Enabled VNIC the control to enable/disable its local loopback traffic.
- Added the option to open a receive RDMA Flow Table and to forward RoCE traffic to some destination QP.

ファームウェア - NVDIMM

[先頭](#)

Linux用オンラインフラッシュコンポーネント - 16GB NVDIMM-N DDR4-2666

バージョン: 1.04 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-nvdimm-16gb-1.04-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-nvdimm-16gb-1.04-1.1.x86_64.rpm

修正

最初のリリース。

拡張

最初のリリース。

Windows x64用オンラインフラッシュコンポーネント - 16GB NVDIMM-N DDR4-2666

バージョン: 1.04 (推奨)

ファイル名: cp032705.compsig; cp032705.exe

修正

最初のリリース。

拡張

最初のリリース。

ファームウェア - パワーマネジメント

[先頭](#)

オンラインROMフラッシュ for Linux - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen10サーバー

バージョン: 1.0.4 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-powerpic-gen10-1.0.4-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-powerpic-gen10-1.0.4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10サーバー用アドバンストパワーキャッピングマイクロコントローラーファームウェア

リリースバージョン:

1.0.4

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.4

以前のリビジョン:

1.0.2

ファームウェアの依存関係:

Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.15およびシステムROMバージョン1.20以降

改善点/新しい機能:

動的消費電力上限のサポートの追加 適切に動作するために、Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.15およびシステムROMバージョン1.20以降がサーバー上で更新されていることを確認してください。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.15およびシステムROMバージョン1.20以降

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.15およびシステムROMバージョン1.20以降

改善点/新しい機能:

動的消費電力上限のサポートの追加 適切に動作するために、Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.15およびシステムROMバージョン1.20以降がサーバー上で更新されていることを確認してください。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for Linux - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー

バージョン: 1.0.9 (F) (オプション)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-powerpic-gen9-1.0.9-6.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

Ver. 1.0.9 (F) には新しいサーバー製品のサポートが含まれます。機能的にVer. 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリースFにアップグレードする必要はありません。

提供名:

アドバンストパワーキャッピングマイクロコントローラーファームウェア(HPE Gen9サーバー)

リリースバージョン:

1.0.9

最新の推奨またはクリティカルリリース:

1.0.7

以前のリリース:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

「The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

修正

重要な注意:

Ver. 1.0.9 (F) には新しいサーバー製品のサポートが含まれます。機能的にVer. 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンFにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for Linux - Power Management Controller

バージョン: 4.1 (E) (推奨)

ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-powerpic-dl580-4.1-5.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

Ver. 4.1 (E)はファームウェアRPMインストールコマンド名の"cpqsetup"から"hpsetup"への変更を含んでいて、機能的にVer. 4.1と同等です。ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

提供名:

Power Management Controller

リリースバージョン:

4.1 (E)

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの関連性:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されません。

「The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

拡張**重要な注意:**

バージョン4.1 (E)は、"cpqsetup"から"hpsetup"へのファームウェアRPMインストールコマンド名の変更を含んでいて、機能的にバージョン4.1と同じです。ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

オンラインROMフラッシュ for VMware ESXi - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー

バージョン: 1.0.9 (F) (オプション)

ファイル名: CP031168.zip

重要な注意!**重要な注意:**

Ver. 1.0.9 (F) には新しいサーバー製品のサポートが含まれます。機能的にVer. 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンFにアップグレードする必要はありません。

提供名:

アドバンストパワーキャッピングマイクロコントローラーファームウェア(HPE Gen9サーバー)

リリースバージョン:

1.0.9

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.7

以前のリリース:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.1、5.5およびESXi 6.0、6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼働している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

Ver. 1.0.9 (F) には新しいサーバー製品のサポートが含まれます。機能的にVer. 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリリースのコンポーネントが使われた場合は、リリースFにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

拡張

なし

オンラインROMフラッシュ for VMware ESXi - Power Management Controller

バージョン: 4.1 (E) (推奨)

ファイル名: CP026094.zip

重要な注意!**重要な注意:**

Ver. 4.1 (E)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 4.1と同等です。ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

提供名:

Power Management Controller

リリースバージョン:

4.1(E)

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの関連性:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

「The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

拡張

重要な注意:

Ver. 4.1 (E)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 4.1と同等です。ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

オンラインROMフラッシュ for Windows x64 - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー

バージョン: 1.0.9 (F) (オプション)

ファイル名: cp031162.exe

重要な注意!

重要な注意:

Ver. 1.0.9 (F) には新しいサーバー製品のサポートが含まれます。機能的にVer. 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンFにアップグレードする必要はありません。

提供名:

アドバンストパワーキャッピングマイクロコントローラーファームウェア(HPE Gen9サーバー)

リリースバージョン:

1.0.9

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.7

以前のリビジョン:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"Windows向けHPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

「The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

修正**重要な注意:**

Ver. 1.0.9 (F) には新しいサーバー製品のサポートが含まれます。機能的にVer. 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンFにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for Windows x64 - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen10サーバー

バージョン: 1.0.4 (推奨)

ファイル名: cp032953.compsig; cp032953.exe

重要な注意!**重要な注意:**

なし

提供名:

HPE Gen10サーバー用アドバンストパワーキャッピングマイクロコントローラーファームウェア

リリースバージョン:

1.0.4

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.4

以前のリビジョン:

1.0.2

ファームウェアの依存関係:

Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.15およびシステムROMバージョン1.20以降

改善点/新しい機能:

動的消費電力上限のサポートの追加 適切に動作するために、Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.15およびシステムROMバージョン1.20以降がサーバー上で更新されていることを確認してください。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.15およびシステムROMバージョン1.20以降。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.15およびシステムROMバージョン1.20以降

改善点/新しい機能:

動的消費電力上限のサポートの追加 適切に動作するために、Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.15およびシステムROMバージョン1.20以降がサーバー上で更新されていることを確認してください。

既知の問題点:

なし

ファームウェア - SASストレージディスク

先頭

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン: HPD3 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-31f91b8622-HPD3-3.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-31f91b8622-HPD3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD3を既にインストールしている場合、HPD3(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD3 (B)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

HPD3 (C)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン: HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac3fda26eb-HPD6-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac3fda26eb-HPD6-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。
- ファームウェアバージョンHPD6をすでにインストールしている場合は、HPD6(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間のホスト非アクティビティ状態に陥ったときに、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD6より前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、修復された記録のセクターのステータスを誤って再割り当てされることを防ぐための変更も含まれます。
- このファームウェアは、パワーオンシーケンス中にStopコマンドを受信したときに、間違ったセンスコードが出されるのを防ぐ変更を含みます。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG1800JEHMDドライブ

バージョン: HPD4 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a2c06af48-HPD4-4.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a2c06af48-HPD4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD4 (B)に対して修正された問題:

- Linux Smartコンポーネントは、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

HPD4 (C)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

HPD4 (D)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。
-

サブプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG1800JEMDBドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a38b25661-HPD3-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a38b25661-HPD3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- 4Kのアラインされていないセクターへの書き込みの間にホストエラーが発生するというまれに起こる状況で、書き込み操作が古いデータとなることがあります。ファームウェアHPD3は、このような状況で起こる古いデータの可能性を防止します。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTL ドライブ

バージョン: HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b9340d29be-HPD4-3.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b9340d29be-HPD4-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。

- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD4 (B)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

HPD4 (C)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHEドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8c4a212ff9-HPD4-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8c4a212ff9-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD4以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなる可能性があります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

拡張

HPD4 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-326de7c0f2-HPD5-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-326de7c0f2-HPD5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サプリメントアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン: HPD9 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-af802bb412-HPD9-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-af802bb412-HPD9-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアには、パフォーマンスに影響を与える可能性のあるドライブリセットの問題を回避するための変更が含まれています。

サプリメントアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン: HPD7 (C) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2cfaac41db-HPD7-3.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2cfaac41db-HPD7-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD7を既にインストールしている場合、HPD7(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、予約コマンドが使用される、書き込みキャッシュされたマルチイニシエーター非整列書き込みが有効な環境での潜在的な不正データ問題を修正します。

HPD7 (B)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

HPD7 (C)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB6000JEQUVおよびMB8000JEQVAドライブ

バージョン: HPDB (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-df22f7effd-HPDB-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-df22f7effd-HPDB-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Online firmware flashing of drives attached to a Smart Array controller running in Zero Memory (ZM) mode or a ProLiant host bus adapter (HBA) is NOT supported. Only offline firmware flashing of drives is supported for these configurations.
- Online drive firmware update available for Smart Array Controllers configured in systems running supported Linux, Microsoft Windows, and VMware environments. All other OSes would require an offline update using the Service Pack for ProLiant and Smart Update Manager.

修正

Problems Fixed:

- This firmware improves potential timeouts that could occur during the write error recovery process (causing the drive to internally reset), and corrects possible data mismanagement issues.

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ

バージョン: HPD7 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b04257b77b-HPD7-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b04257b77b-HPD7-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD7以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、修復された記録のセクターのステータスを誤って再割り当てされることを防ぐための変更も含まれます。
- このファームウェアは、デバイスが構成中に失われることがある順次書き込みのアサーションを回避します。また、ダウンロードを通じた永続的な予約を保持するため、パフォーマンスの損失を回避します。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPFドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-71af849f3b-HPD3-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-71af849f3b-HPD3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポート

されていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHPD3は、NDU(非中断アップデート)ファームウェアアップデートを提供します。

サプリメントアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - VO1920JEUQQドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5d9e841607-HPD3-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5d9e841607-HPD3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHPD3は、NDU(非中断アップデート)ファームウェアアップデートを提供します。

サプリメントアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG000600JWEBHおよびEG000300JWEBFドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aa9e289524-HPD3-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aa9e289524-HPD3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、ファームウェアセキュリティログページを実装します。

サブメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG001800JWFVCドライブ

バージョン: HPD2 (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-693b9a2853-HPD2-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-693b9a2853-HPD2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Online firmware flashing of drives attached to a Smart Array controller running in Zero Memory (ZM) mode or a ProLiant host bus adapter (HBA) is NOT supported. Only offline firmware flashing of drives is supported for these configurations.
- Online drive firmware update available for Smart Array Controllers configured in systems running supported Linux, Microsoft Windows, and VMware environments. All other OSes would require an offline update using the Service Pack for ProLiant and Smart Update Manager.

修正

Problems Fixed:

- This firmware update eliminates a data integrity risk when an unaligned WRITE and VERIFY command is sent to a bad sector. During these conditions there is a potential for data intended to be written to disk to fail to be written.

サブメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-46fc43ab26-HPD3-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-46fc43ab26-HPD3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。
 - 書き込みパフォーマンスの向上。
 - トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。
-

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ

バージョン: HPD8 (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0f923833e9-HPD8-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0f923833e9-HPD8-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Online firmware flashing of drives attached to a Smart Array controller running in Zero Memory (ZM) mode or a ProLiant host bus adapter (HBA) is NOT supported. Only offline firmware flashing of drives is supported for these configurations.
- Online drive firmware update available for Smart Array Controllers configured in systems running supported Linux, Microsoft Windows, and VMware environments. All other OSes would require an offline update using the Service Pack for ProLiant and Smart Update Manager.

修正

Problems Fixed:

- Fixes a data integrity risk which could occur during 4k or greater unaligned writes while the device incurs a smart trip event. During these conditions there is a potential for data intended to be written directly to disk to fail to be written.
- Eliminates a data integrity risk when an unaligned Write and Verify command is sent to a bad sector. During these conditions there is a potential for data intended to be written to disk to fail to be written.

拡張

Enhancements/New Features:

- Improves Sequential Write and Random Write Performance under certain workloads.

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MM1000JFJTHドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fa46c607d6-HPD2-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fa46c607d6-HPD2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、デバイスが構成中に失われることがある順次書き込みのアサーションを回避します。また、ダウンロードを通じた永続的な予約を保持するため、パフォーマンスの損失を回避します。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ

バージョン: HPD8 (クリティカル)

ファイル名: cp033139.compsig; cp033139.exe; cp033139.md5

重要な注意!

- Online firmware flashing of drives attached to a Smart Array controller running in Zero Memory (ZM) mode or a ProLiant host bus adapter (HBA) is NOT supported. Only offline firmware flashing of drives is supported for these configurations.
- Online drive firmware update available for Smart Array Controllers configured in systems running supported Linux, Microsoft Windows, and VMware environments. All other OSes would require an offline update using the Service Pack for ProLiant and Smart Update Manager.

修正

Problems Fixed:

- Fixes a data integrity risk which could occur during 4k or greater unaligned writes while the device incurs a smart trip event. During these conditions there is a potential for data intended to be written directly to disk to fail to be written.
- Eliminates a data integrity risk when an unaligned Write and Verify command is sent to a bad sector. During these conditions there is a potential for data intended to be written to disk to fail to be written.

拡張

Enhancements/New Features:

- Improves Sequential Write and Random Write Performance under certain workloads.

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- EG000300JWBHRドライブ

バージョン: HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e4c61fc63-HPD3-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e4c61fc63-HPD3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

修正された問題点:

- HPEドライブキャリア上のLEDの動作をアクティブに修正します。

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHPD3は、NDU(非中断アップデート)ファームウェアアップデートを提供します。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)-EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ

バージョン: HPD6 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7505dfb5ae-HPD6-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7505dfb5ae-HPD6-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

修正された問題点:

- HPEドライブキャリア上のLEDの動作をアクティブに修正します。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)-EG1800JFHMHドライブ

バージョン: HPD5 (B) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7fc5497116-HPD5-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7fc5497116-HPD5-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiant と Smart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD5(B)へアップデートする必要はありません。

修正

Problems Fixed:

- Fixes a data integrity risk which could occur during 4k or greater unaligned writes while the device incurs a smart trip or smart warning event. During these conditions there is a potential for data intended to be written directly to disk to fail to be written.

拡張

改善点/新しい機能:

- Hewlett Packard Enterprise仕様に一致するように発光ダイオード(LED)動作を変更します。
- リンク獲得アルゴリズムを強化します。
- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)-EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1cbab97ff0-HPD5-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1cbab97ff0-HPD5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiant と Smart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- HPEドライブキャリア上のLEDの動作をアクティブに修正します。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)-MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b85516c7d2-HPD2-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b85516c7d2-HPD2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)-MB6000JVYYVドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0595c2a887-HPD2-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0595c2a887-HPD2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)-MB8000JFECQドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-252770cdda-HPD4-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-252770cdda-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- 4Kのアラインされていないセクターへの書き込みの間にホストエラーが発生するというまれに起こる状況で、書き込み操作が古いデータとなることがあります。ファームウェアHPD4は、このような状況で起こる古いデータの可能性を防止します。
- 強制電源移行または活動なしに続いて2秒以上のアイドル時間があつた後、必要なランダムシークが起りません。デバイスが強制電源状態になった後、ファームウェアHPD4がランダムシークを開始します。デバイスの信頼性と寿命を維持するために、ランダムシークが必要です。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)-MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD4 (B) (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-edf6dcd906-HPD4-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-edf6dcd906-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアには、バッファ読み取りを通してのデバッグデータ回収など低水準メンテナンスの修正がいくつか含まれます。この修正には特殊なテスト環境で観測されたイベントが記載されており、顧客の使用は想定されていません。

拡張

HPD4 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux(x64)-VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD4 (B) (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8ed8893abd-HPD4-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8ed8893abd-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアには、バッファ読み取りを通してのデバッグデータ回収など低水準メンテナンスの修正がいくつか含まれます。この修正には特殊なテスト環境で観測されたイベントが記載されており、顧客の使用は想定されていません。

拡張

HPD4 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPFドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: CP032993.compsig; CP032993.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHPD3は、NDU(非中断アップデート)ファームウェアアップデートを提供します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG000600JWEBHおよびEG000300JWEBFドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: CP032363.compsig; CP032363.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、ファームウェアセキュリティログページを実装します。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン: HPD3 (C) (推奨)

ファイル名: CP031933.compsig; CP031933.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD3を既にインストールしている場合、HPD3(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD3 (B)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

HPD3 (C)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン: HPD6 (推奨)

ファイル名: CP032287.compsig; CP032287.zip

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間のホスト非アクティビティ状態に陥ったときに、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD6より前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、修復された記録のセクターのステータスを誤って再割り当てされることを防ぐための変更も含まれます。
- このファームウェアは、パワーオンシーケンス中にStopコマンドを受信したときに、間違ったセンスコードが出されるのを防ぐ変更を含みます。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG1800JEHMDドライブ

バージョン: HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: CP031935.compsig; CP031935.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサ

ポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD4 (B)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

HPD4 (C)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG1800JEMDBドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: CP032295.compsig; CP032295.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- 4Kのアラインされていないセクターへの書き込みの間にホストエラーが発生するというまれに起こる状況で、書き込み操作が古いデータとなることがあります。ファームウェアHPD3は、このような状況で起こる古いデータの可能性を防止します。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH000300JWCPK、EH000600JWCPL、およびEH000900JWCPNドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: CP032356.compsig; CP032356.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、ファームウェアセキュリティログページを実装します。
- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTLドライブ

バージョン: HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: CP031938.compsig; CP031938.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD4 (B)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

HPD4 (C)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHEドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: CP031939.compsig; CP031939.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD4以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

拡張

HPD4 (B)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン: HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: CP033061.compsig; CP033061.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPD3を既にインストールしている場合、HPD3 (B) へアップデートする必要はありません。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。
- 書き込みパフォーマンスの向上。
- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

HPD3 (B)の改善点/新しい機能:

- セキュリティを改善するために署名ファイルを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: CP032376.compsig; CP032376.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiant と Smart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。
-

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン: HPD9 (推奨)

ファイル名: CP033039.compsig; CP033039.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアには、パフォーマンスに影響を与える可能性のあるドライブリセットの問題を回避するための変更が含まれています。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン: HPD7 (C) (クリティカル)

ファイル名: CP031950.compsig; CP031950.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD7を既にインストールしている場合、HPD7(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、予約コマンドが使用される、書き込みキャッシュされたマルチユニシエーター非整列書き込みが有効な環境での潜在的な不正データ問題を修正します。

HPD7 (B)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

拡張

HPD7 (C)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB6000JEQUVおよびMB8000JEQVAドライブ

バージョン: HPDB (クリティカル)

ファイル名: CP032682.compsig; CP032682.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、書き込みエラー回復プロセス中に発生する潜在的なタイムアウトを改善し(ドライブを内部的にリセットさせる)、可能性のあるデータ管理上の問題を修正します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ

バージョン: HPD7 (推奨)

ファイル名: CP032289.compsig; CP032289.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD7以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、修復された記録のセクターのステータスを誤って再割り当てされることを防ぐための変更も含まれます。

- このファームウェアは、デバイスが構成中に失われることがある順次書き込みのアサーションを回避します。また、ダウンロードを通じた永続的な予約を保持するため、パフォーマンスの損失を回避します。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM1000JFJTHドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: CP032338.compsig; CP032338.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、デバイスが構成中に失われることがある順次書き込みのアサーションを回避します。また、ダウンロードを通じた永続的な予約を保持するため、パフォーマンスの損失を回避します。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VO1920JEUQQドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: CP033043.compsig; CP033043.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHPD3は、NDU(非中断アップデート)ファームウェアアップデートを提供します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEPFドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: cp032995.compsig; cp032995.exe; cp032995.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHPD3は、NDU(非中断アップデート)ファームウェアアップデートを提供します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG000600JWEBHおよびEG000300JWEBFドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: cp032365.compsig; cp032365.exe; cp032365.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、ファームウェアセキュリティログページを実装します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン: HPD3 (D) (推奨)

ファイル名: cp031896.compsig; cp031896.exe; cp031896.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD3を既にインストールしている場合、HPD3(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD3 (B)に対して修正された問題:

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD3 (C)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPD3 (D)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン: HPD6 (推奨)

ファイル名: cp032288.compsig; cp032288.exe; cp032288.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間のホスト非アクティビティ状態に陥ったときに、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD6より前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、修復された記録のセクターのステータスを誤って再割り当てされることを防ぐための変更も含まれます。
- このファームウェアは、パワーオンシーケンス中にStopコマンドを受信したときに、間違ったセンスコードが出されるのを防ぐ変更を含みます。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG1800JEHMDドライブ

バージョン: HPD4 (D) (推奨)

ファイル名: cp031898.compsig; cp031898.exe; cp031898.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD4 (B)に対して修正された問題:

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD4 (C)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPD4 (D)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EG1800JEMDB ドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: cp032293.compsig; cp032293.exe; cp032293.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- 4Kのアラインされていないセクターへの書き込みの間にホストエラーが発生するというまれに起こる状況で、書き込み操作が古いデータとなることがあります。ファームウェアHPD3は、このような状況で起こる古いデータの可能性を防止します。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: cp032355.compsig; cp032355.exe; cp032355.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSは

ProLiant と Smart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、ファームウェアセキュリティログページを実装します。
- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTL ドライブ

バージョン: HPD4 (D) (推奨)

ファイル名: cp031901.compsig; cp031901.exe; cp031901.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiant と Smart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- ドライブがコントローラーへ06/29/04 (自主リセット)を報告した、ATI (Adjacent Track Interference)緩和時の自主リセット問題。コントローラーはドライブとのリンクを再確立し、コマンドを再送信します。
- ドライブパフォーマンスの劣化をもたらすサーボの計算ミス。

HPD4 (B)に対して修正された問題:

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD4 (C)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPD4 (D)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHEドライブ

バージョン: HPD4 (C) (推奨)

ファイル名: cp031902.compsig; cp031902.exe; cp031902.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD4以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

拡張

HPD4 (B)の改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPD4 (C)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: cp032346.compsig; cp032346.exe; cp032346.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。
- 書き込みパフォーマンスの向上。
- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: cp032378.compsig; cp032378.exe; cp032378.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン: HPD9 (推奨)

ファイル名: cp033040.compsig; cp033040.exe; cp033040.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアには、パフォーマンスに影響を与える可能性のあるドライブリセットの問題を回避するための変更が含まれています。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン: HPD7 (D) (クリティカル)

ファイル名: cp031913.compsig; cp031913.exe; cp031913.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD7を既にインストールしている場合、HPD7(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、予約コマンドが使用される、書き込みキャッシュされたマルチイニシエーター非整列書き込みが有効な環境での潜在的な不正データ問題を修正します。

HPD7 (B)に対して修正された問題:

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPD7 (C)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPD7 (D)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。
-

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB6000JEQUVおよびMB8000JEQVAドライブ

バージョン: HPDB (クリティカル)

ファイル名: cp032683.compsig; cp032683.exe; cp032683.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、書き込みエラー回復プロセス中に発生する潜在的なタイムアウトを改善し(ドライブを内部的にリセットさせる)、可能性のあるデータ管理上の問題を修正します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ

バージョン: HPD7 (推奨)

ファイル名: cp032291.compsig; cp032291.exe; cp032291.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPD7以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、修復された記録のセクターのステータスを誤って再割り当てされることを防ぐための変更も含まれます。
- このファームウェアは、デバイスが構成中に失われることがある順次書き込みのアサーションを回避します。また、ダウンロードを通じた永続的な予約を保持するため、パフォーマンスの損失を回避します。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MM1000JFJTHドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: cp032340.compsig; cp032340.exe; cp032340.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、デバイスが構成中に失われることがある順次書き込みのアサーションを回避します。また、ダウンロードを通じた永続的な予約を保持するため、パフォーマンスの損失を回避します。

拡張

改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。
- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - V01920JEUQQドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: cp033041.compsig; cp033041.exe; cp033041.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHPD3は、NDU(非中断アップデート)ファームウェアアップデートを提供します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWBHRドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: CP032282.compsig; CP032282.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- HPEドライブキャリア上のLEDの動作をアクティブに修正します。

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHPD3は、NDU(非中断アップデート)ファームウェアアップデートを提供します。
- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPH、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: CP032299.compsig; CP032299.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。
-

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ

バージョン: HPD6 (推奨)

ファイル名: CP032366.compsig; CP032366.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- HPEドライブキャリア上のLEDの動作をアクティブに修正します。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JFHMHドライブ

バージョン: HPD5 (B) (クリティカル)

ファイル名: CP032546.compsig; CP032546.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD5(B)へアップデートする必要はありません。

修正

Problems Fixed:

- Fixes a data integrity risk which could occur during 4k or greater unaligned writes while the device incurs a smart trip or smart warning event. During these conditions there is a potential for data intended to be written directly to disk to fail to be written.

拡張

改善点/新しい機能:

- Hewlett Packard Enterprise仕様に一致するように発光ダイオード(LED)動作を変更します。
- リンク獲得アルゴリズムを強化します。
- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: CP032369.compsig; CP032369.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- HPEドライブキャリア上のLEDの動作をアクティブに修正します。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: CP032347.compsig; CP032347.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000JVYYVドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: CP032350.compsig; CP032350.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB8000JFECQドライブ

バージョン: HPD4 (推奨)

ファイル名: CP031790.compsig; CP031790.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- 4Kのアラインされていないセクターへの書き込みの間にホストエラーが発生するというまれに起こる状況で、書き込み操作が古いデータとなることがあります。ファームウェアHPD4は、このような状況で起こる古

いデータの可能性を防止します。

- 強制電源移行または活動なしに続いて2秒以上のアイドル時間があつた後、必要なランダムシークが起こりません。デバイスが強制電源状態になった後、ファームウェアHPD4がランダムシークを開始します。デバイスの信頼性と寿命を維持するために、ランダムシークが必要です。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD4 (B) (オプション)

ファイル名: CP031958.compsig; CP031958.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアには、バッファ読み取りを通してのデバッグデータ回収など低水準メンテナンスの修正がいくつか含まれます。この修正には特殊なテスト環境で観測されたイベントが記載されており、顧客の使用は想定されていません。

拡張

HPD4 (B)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGVおよびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD4 (B) (オプション)

ファイル名: CP031959.compsig; CP031959.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiant と Smart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアには、バッファ読み取りを通してのデバッグデータ回収など低水準メンテナンスの修正がいくつか含まれます。この修正には特殊なテスト環境で観測されたイベントが記載されており、顧客の使用は想定されていません。

拡張

HPD4 (B)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EG000300JWBHRドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: cp032283.compsig; cp032283.exe; cp032283.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiant と Smart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- HPEドライブキャリア上のLEDの動作をアクティブに修正します。

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHPD3は、NDU(非中断アップデート)ファームウェアアップデートを提供します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FC SPL、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: cp032300.compsig; cp032300.exe; cp032300.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiant と Smart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ

バージョン: HPD6 (推奨)

ファイル名: cp032368.compsig; cp032368.exe; cp032368.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiant と Smart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- HPEドライブキャリア上のLEDの動作をアクティブに修正します。

拡張

改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。
- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EG1800JFHMHドライブ

バージョン: HPD5 (B) (クリティカル)

ファイル名: cp032548.compsig; cp032548.exe; cp032548.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD5を既にインストールしている場合、HPD5(B)へアップデートする必要はありません。

修正

Problems Fixed:

- Fixes a data integrity risk which could occur during 4k or greater unaligned writes while the device incurs a smart trip or smart warning event. During these conditions there is a potential for data intended to be written directly to disk to fail to be written.

拡張

改善点/新しい機能:

- Hewlett Packard Enterprise仕様に一致するように発光ダイオード(LED)動作を変更します。
- リンク獲得アルゴリズムを強化します。
- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: cp032371.compsig; cp032371.exe; cp032371.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- HPEドライブキャリア上のLEDの動作をアクティブに修正します。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。
-

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MB1000JVYZL、 MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: cp032349.compsig; cp032349.exe; cp032349.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MB6000JVYYVドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: cp032352.compsig; cp032352.exe; cp032352.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MB8000JFECQドライブ

バージョン: HPD4 (推奨)

ファイル名: cp031789.compsig; cp031789.exe; cp031789.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- 4Kのアラインされていないセクターへの書き込みの間にホストエラーが発生するというまれに起こる状況で、書き込み操作が古いデータとなることがあります。ファームウェアHPD4は、このような状況で起こる古いデータの可能性を防止します。
- 強制電源移行または活動なしに続いて2秒以上のアイドル時間があつた後、必要なランダムシークが起こりません。デバイスが強制電源状態になった後、ファームウェアHPD4がランダムシークを開始します。デバイスの信頼性と寿命を維持するために、ランダムシークが必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD4 (C) (オプション)

ファイル名: cp031921.compsig; cp031921.exe; cp031921.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアには、バッファ読み取りを通してのデバッグデータ回収など低水準メンテナンスの修正がいくつか含まれます。この修正には特殊なテスト環境で観測されたイベントが記載されており、顧客の使用は想定されていません。

拡張

HPD4 (B)の改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPD4 (C)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD4 (C) (オプション)

ファイル名: cp031922.compsig; cp031922.exe; cp031922.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPD4を既にインストールしている場合、HPD4(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアには、バッファ読み取りを通してのデバッグデータ回収など低水準メンテナンスの修正がいくつか含まれます。この修正には特殊なテスト環境で観測されたイベントが記載されており、顧客の使用は想定されていません。

拡張

HPD4 (B)の改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPD4 (C)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

Linux (x64) - EH000300JWCPK、EH000600JWCPL、およびEH000900JWCPNドライブ用サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3d97759111-HPD3-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3d97759111-HPD3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、ファームウェアセキュリティログページを実装します。

- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

Linux (x64)用サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント - EH000600JWCPFおよび EH000900JWCPHドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a05f29cef3-HPD3-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a05f29cef3-HPD3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、ファームウェアセキュリティログページを実装します。
- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

Linux(x64)用サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント - EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPH、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7c1a1734f9-HPD2-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7c1a1734f9-HPD2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

VMware ESXi用オンラインROMフラッシュコンポーネント - EG001800JWFVCドライブ

バージョン: HPD2 (クリティカル)

ファイル名: CP033068.compsig; CP033068.zip

重要な注意!

- Online firmware flashing of drives attached to a Smart Array controller running in Zero Memory (ZM) mode or a ProLiant host bus adapter (HBA) is NOT supported. Only offline firmware flashing of drives is supported for these configurations.
- Online drive firmware update available for Smart Array Controllers configured in systems running supported Linux, Microsoft Windows, and VMware environments. All other OSes would require an offline update using the Service Pack for ProLiant and Smart Update Manager.

修正

Problems Fixed:

- This firmware update eliminates a data integrity risk when an unaligned WRITE and VERIFY command is sent to a bad sector. During these conditions there is a potential for data intended to be written to disk to fail to be written.

VMware ESXi用オンラインROMフラッシュコンポーネント - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: CP032353.compsig; CP032353.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、ファームウェアセキュリティログページを実装します。
- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

VMware ESXi用オンラインROMフラッシュコンポーネント - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ

バージョン: HPD8 (クリティカル)

ファイル名: CP033137.compsig; CP033137.zip

重要な注意!

- Online firmware flashing of drives attached to a Smart Array controller running in Zero Memory (ZM) mode or a ProLiant host bus adapter (HBA) is NOT supported. Only offline firmware flashing of drives is supported for these configurations.
- Online drive firmware update available for Smart Array Controllers configured in systems running supported Linux, Microsoft Windows, and VMware environments. All other OSes would require an offline update using the Service Pack for ProLiant and Smart Update Manager.

修正

Problems Fixed:

- Fixes a data integrity risk which could occur during 4k or greater unaligned writes while the device incurs a smart trip event. During these conditions there is a potential for data intended to be written directly to disk to fail to be written.
- Eliminates a data integrity risk when an unaligned Write and Verify command is sent to a bad sector. During these conditions there is a potential for data intended to be written to disk to fail to be written.

拡張

Enhancements/New Features:

- Improves Sequential Write and Random Write Performance under certain workloads.

Windows (x64)用オンラインROMフラッシュコンポーネント EH000300JWCPK、EH000600JWCPL、およびEH000900JWCPNドライブ

バージョン: HPD3 (推奨)

ファイル名: cp032358.compsig; cp032358.exe; cp032358.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、ファームウェアセキュリティログページを実装します。
- ファームウェアには、ドライブがアクティブからアイドルAに移行する時にコマンドを受け取った場合に、Windowsでの通常コマンド完了時間が4~5秒になるのを防ぐための変更が含まれます。

Windows(64)用オンラインROMフラッシュコンポーネント - EG001800JWFVCドライブ

バージョン: HPD2 (クリティカル)

ファイル名: cp033070.compsig; cp033070.exe; cp033070.md5

重要な注意!

- Online firmware flashing of drives attached to a Smart Array controller running in Zero Memory (ZM) mode or a ProLiant host bus adapter (HBA) is NOT supported. Only offline firmware flashing of drives is supported for these configurations.
- Online drive firmware update available for Smart Array Controllers configured in systems running supported Linux, Microsoft Windows, and VMware environments. All other OSes would require an offline update using the Service Pack for ProLiant and Smart Update Manager.

修正

Problems Fixed:

- This firmware update eliminates a data integrity risk when an unaligned WRITE and VERIFY command is sent to a bad sector. During these conditions there is a potential for data intended to be written to disk to fail to be written.

ファームウェア - SATAストレージディスク

[先頭](#)

サブリメンタル アップ デート/オンラインLinux用ROM フラッシュ コンポーネント(x64)-MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMD、MR000960GWFMA、VR000960GWFME、MR001920GWFMB、および VR001920GWFMC ドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9196d4f720-HPG4-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9196d4f720-HPG4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

拡張

改善点/新しい機能:

- プロダクション署名キーがコードに適用されます。
- TX 差動電圧およびデエンファシスレベルの シグナル仕様に対応するようにコードを拡張しました。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - MB1000GDUNU, MB2000GDUNV, MB3000GDUPA, およびMB4000GDUPBドライブ

バージョン: HPG4 (C) (推奨)

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4 (C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

HPG4 (C)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

既知の問題点:

- ファームウェアは、HPG4へのアップグレード後、HPG3へダウングレードすることはできません。

拡張

HPG4 (B)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB2000GCVBR、MB3000GCVBT、およびMB4000GCVBUドライブ

バージョン: HPG5 (C) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e4f5b5c9a7-HPG5-3.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e4f5b5c9a7-HPG5-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG5を既にインストールしている場合、HPG5(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- データが誤ったセクターに書かれる可能性があった、低い5v駆動電圧と特定の順次データストリーミング状態の間のまれではあるが潜在的なデータ整合性エラーを修正します。

HPG5 (B)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能:

- UEFI(Universal Extensible Firmware Interface)ベースのサーバーのサポートを追加しました。
- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

HPG5 (C)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB0500GCEHF、MB1000GCEHH、およびMB2000GCEHKドライブ

バージョン: HPGD (E) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b583d96f94-HPGD-5.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b583d96f94-HPGD-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPGDを既にインストールしている場合、HPGD (E) へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPGDは、この状態を防ぐことができます。
- HP H2xx ホストバスアダプター(HBA)に接続されるドライブのフラッシュで、ドライブファームウェアのインストール障害を引き起こす割り込みが発生しなくなりました。
- ドライブモデルMB2000GCEHKが検出されるが、フラッシュに失敗するコンポーネントのインストール問題を解決しました。

- Linux Smartコンポーネントは、SATA HBAコントローラーに接続されたSATAドライブのファームウェアアップデートに失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

HPGD (D)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

改善点/新しい機能:

- UEFI(Universal Extensible Firmware Interface)ベースのサーバーのサポートを追加しました。

HPGD (C)の改善点/新しい機能:

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。

HPGD (E)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB1000GCWCV、MB2000GCWDA、MB3000GCWDB および MB4000GCWDCドライブ

バージョン: HPGI (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a1b08f8a6b-HPGI-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a1b08f8a6b-HPGI-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPGIを既にインストールしている場合、HPGI (B) へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、ホストが100ミリ秒の非アクティブ状態になった後、ランダムシークを実行する機能を実装します。

拡張

HPGI (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB1000GDUNU, MB2000GDUNV, MB3000GDUPA, およびMB4000GDUPBドライブ

バージョン: HPG4 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3ab4c70e64-HPG4-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3ab4c70e64-HPG4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

既知の問題点:

- ファームウェアは、HPG4へのアップグレード後、HPG3へダウングレードすることはできません。

拡張

HPG4 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ

バージョン: HPG6 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-40277d55d3-HPG6-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-40277d55d3-HPG6-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- HPG6ファームウェアは、ディスクドライブが1秒を超える長時間のホスト非アクティビティ状態に陥ったときに、ドライブの信頼性を改善します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン: HPG7 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc95f0628-HPG7-3.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc95f0628-HPG7-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG7を既にインストールしている場合、HPG7(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、トラックリフレッシュアルゴリズムが正しく動作しないことによって引き起こされることがありえる回復不能エラーを修正します。

HPG7 (B)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

HPG7 (C)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB6000GEBTPドライブ

バージョン: HPG3 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3243fce9a0-HPG3-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3243fce9a0-HPG3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、内部リセット、ファームウェアダウンロードの機能性、およびパフォーマンスの問題を含む複数のドライブの問題を解決します。このファームウェアは、ドライブ内で考えられるこれらの問題を排除することで、システムの堅牢性を向上させることができます。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MK0960GECQKドライブ

バージョン: HPG3 (C) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3e34285be7-HPG3-3.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3e34285be7-HPG3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG3を既にインストールしている場合、HPG3(C)へ更新する必要はありません。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連するデータ管理ミスの問題を解決します。

HPG3 (B)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HP Host Bus Adapter H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- コンポーネントが、HP Smart Array P431の後ろに接続されたドライブのファームウェア更新に失敗します。コンポーネントは、ファームウェア更新が成功したことを報告します。しかし、電源再投入後、ファームウェアバージョンは変更されません。

拡張

HPG3 (C)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ

バージョン: HPG5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ec908c3650-HPG5-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ec908c3650-HPG5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間のホスト非アクティビティ状態に陥ったときに、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG5以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、記録した修復されたセクターのステータスを誤って再割り当てされることを防ぐための変更も含まれます。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG1 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95af9a555e-HPG1-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95af9a555e-HPG1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

- ファームウェアバージョンHPG1を既にインストールしている場合、HPG1(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG1以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

拡張

HPG1(B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - XP0032GEFEN、XP0032GDZME、XP0064GEFEP、およびXP0064GDZMFドライブ

バージョン: HPS8 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f286f98973-HPS8-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f286f98973-HPS8-2.1.x86_64.rpm

事前要件

ドライブモデルXP0032GEFEN、XP0032GDZME、XP0064GDZMF、およびXP0064GEFEPでは、ファームウェアバージョンHPS8にアップデートする前に、ファームウェアバージョンHPS5がインストールされていることが必要です。

サブリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSN ドライブ

バージョン: HPS4 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d355375539-HPS4-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d355375539-HPS4-2.1.x86_64.rpm

修正

修正された問題点:

- HPS4 のファームウェアリリースは、ドライブの長いセルフテスト中にドライブがシステムにより認識されなくなるタイムアウト状態を起こすというファームウェアのタイミングの問題を解決しました。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン: HPG4 (クリティカル)

ファイル名: CP032591.compsig; CP032591.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポート

されていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、保管した追跡のデータが適切にアップデートされていない潜在的問題を作り、ドライブが電源を入れるときのブートプロセスを終了させない危険を消去します。
- その他のメンテナンスの修正とアップデートは、新しいファームウェアに含まれています。

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHGP4は、ドライブがHPG4ファームウェアにアップデートした後、ファームウェアの以前のバージョンがドライブにロードされることを防ぐように設定されています。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン: HPG4 (クリティカル)

ファイル名: CP032597.compsig; CP032597.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、保管した追跡のデータが適切にアップデートされていない潜在的問題を作り、ドライブが電源を入れるときのブートプロセスを終了させない危険を消去します。
- その他のメンテナンスの修正とアップデートは、新しいファームウェアに含まれています。

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHGP4は、ドライブがHPG4ファームウェアにアップデートした後、ファームウェアの以前のバージョンがドライブにロードされることを防ぐように設定されています。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi -

MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ

バージョン: HPG6 (推奨)

ファイル名: CP033044.compsig; CP033044.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- HPG6ファームウェアは、ディスクドライブが1秒を超える長時間のホスト非アクティビティ状態に陥ったときに、ドライブの信頼性を改善します。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - MB6000GEBTPドライブ

バージョン: HPG3 (推奨)

ファイル名: CP033030.compsig; CP033030.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、内部リセット、ファームウェアダウンロードの機能性、およびパフォーマンスの問題を含む複数のドライブの問題を解決します。このファームウェアは、ドライブ内で考えられるこれらの問題を排除することで、システムの堅牢性を向上させることができます。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - MB6000GEXXVドライブ

バージョン: HPG2 (C) (推奨)

ファイル名: CP033012.compsig; CP033012.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポート

されていません。これらの構成では、ドライブヘオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG2を既にインストールしている場合、HPG2 (C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

HPG2 (C)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

拡張

HPG2 (B)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG4 (B) (推奨)

ファイル名: CP033013.compsig; CP033013.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブヘオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブヘオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- 4Kのアラインされていないセクターへの書き込みの間にホストエラーが発生するというまれに起こる状況で、書き込み操作が古いデータとなることがあります。ファームウェアHPx4は、このような状況で起発生する古いデータの可能性を防止します。

HPG4 (B)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for ESXi - VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン: HPG1 (B) (オプション)

ファイル名: CP033018.compsig; CP033018.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG1を既にインストールしている場合、HPG1(B)へアップデートする必要はありません。

修正

HPG1 (B)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPG1は、2.5" SSD 6Gb SATAドライブモデルVK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQ用のマイナーパフォーマンス強化を伴うメンテナンスファームウェアリリースです。
- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン: HPG4 (B) (クリティカル)

ファイル名: cp033049.compsig; cp033049.exe; cp033049.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

Problems Fixed:

- This firmware corrects a potential issue where the data in the reserved tracks is not properly updated, eliminating the risk of a drive not finishing the boot process on power up.
- Other maintenance fixes and updates are also included with the new firmware.

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHGP4は、ドライブがHPG4ファームウェアにアップデートした後、ファームウェアの以前のバージョンがドライブにロードされることを防ぐように設定されています。

HPG4 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBYLドライブ

バージョン: HPG5 (推奨)

ファイル名: cp032395.compsig; cp032395.exe; cp032395.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- 使用を用いた一部の設定、機能、および内部ログの調製とともに、SANITIZE機能の完了時間における不定期および潜在的に重大な遅延を修正しました。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor ESXi - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ

バージョン: HPG1 (B) (推奨)

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG1を既にインストールしている場合、HPG1(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアが、Power-On Self-Testのデバイス検出の間にデバイスが見つからない問題を修正します。

HPG1 (B)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ

バージョン: HPG1 (B) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a2d4b5c742-HPG1-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a2d4b5c742-HPG1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアが、Power-On Self-Testのデバイス検出の間にデバイスが見つからない問題を修正します。
-

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG4 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7010918e-HPG4-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7010918e-HPG4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

Problems Fixed:

- Firmware version HPG4 prevents the occurrence of a rare issue which could lead to slow drive performance. This issue has the potential to impact all drives in configurations where the drives might be allowed to be idle for greater than 1 second.

拡張

HPG4 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MB2000GCWLT、MB3000GCWLU、およびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e70ce7412-HPG4-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e70ce7412-HPG4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- 長時間のトラックドウェルタイムを削減することによってドライブ不使用時間の動作を改善します。実行されない場合は、メディア潤滑油の消費を増進し、ドライブの故障率を上昇させる可能性があります。

拡張

HPG4 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)-MB6000GEXXVドライブ

バージョン: HPG2 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a629fcea59-HPG2-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a629fcea59-HPG2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG2を既にインストールしている場合、HPG2(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

拡張

HPG2 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)-MB6000GVYYUドライブ

バージョン: HPG2 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdc37cb37f-HPG2-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdc37cb37f-HPG2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアバージョンHPG2は、ドライブパフォーマンスの低下につながる可能性のあるまれな問題の発生を防止します。この問題は、ドライブが1秒以上のアイドルを許可される可能性のある構成のすべてのドライブに影響を与える可能性があります。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux(x64)-MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG4 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6d922fc9a8-HPG4-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6d922fc9a8-HPG4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- 4Kのアラインされていないセクターへの書き込みの間にホストエラーが発生するというまれに起こる状況で、書き込み操作が古いデータとなることがあります。ファームウェアHPx4は、このような状況で起発生する古いデータの可能性を防止します。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB0500GCEHF、MB1000GCEHH、およびMB2000GCEHKドライブ

バージョン: HPGD (J) (クリティカル)

ファイル名: CP033005.compsig; CP033005.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPGDを既にインストールしている場合、HPGD (J)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPGDは、この状態を防ぐことができます。

HPGD (G)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内に含まれるドライブのドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では観察されませんでした。

HPGD (J)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 5.5のサポートを追加。
- UEFI(Universal Extensible Firmware Interface)ベースのサーバーのサポートを追加しました。
- HP Dynamic SmartアレイB140iコントローラーに関するサポートを追加しました。

HPGD (F)の改善点/新しい機能:

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- VMwareファームウェアSmartコンポーネントパッケージは*.scexeパッケージから *.zip パッケージに変更され、インストール中の改良されたセキュリティを提供する実行可能なバイナリを含んでいます。VMware Smartコンポーネントの機能に変更はありません。

HPGD (H)の改善された/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB1000GCWCV、MB2000GCWDA、MB3000GCWDB および MB4000GCWDC ドライブ

バージョン: HPGI (B) (推奨)

ファイル名: CP033006.compsig; CP033006.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPGIを既にインストールしている場合、HPGI (B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、ホストが100ミリ秒の非アクティブ状態になった後、ランダムシークを実行する機能を実装します。

HPGI (B)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000GCVBR、MB3000GCVBT、およびMB4000GCVBUドライブ

バージョン: HPG5 (E) (クリティカル)

ファイル名: CP033008.compsig; CP033008.zip

重要な注意!

- **Online firmware flashing of drives attached to a Smart Array controller running in Zero Memory (ZM) mode or a ProLiant host bus adapter (HBA) is NOT supported. Only offline firmware flashing of drives is supported for these configurations.**
- **Online drive firmware update available for Smart Array Controllers configured in systems running supported Linux, Microsoft Windows, and VMware environments. All other OSes would require an offline update using the Service Pack for ProLiant and Smart Update Manager.**
- **Customers who already installed firmware version HPG5 do not need to update to HPG5 (E).**

修正

Problem Fixed:

- Fixes a rare but potential data integrity error during low 5v drive voltage and specific sequential data streaming conditions, which could result in data written to incorrect sectors.

Problems Fixed for HPG5 (C):

- Component would fail to install drive firmware for drives present in a system configured with two or more external drive enclosures attached to an HP Host Bus Adapter H22x. The following message would be reported in the component log file - "Device appears more than once in tree". The drive

firmware installation failure was not observed in configurations having only one external drive enclosure attached to an HP Host Bus Adapter H22x.

Problems Fixed for HPG5 (E):

- When attempting to update drive firmware in a VMware vSphere 6.5 environment, the update would fail and the event was logged as a segmentation fault error.

拡張

HPG5 (B)の改善点/新しい機能:

- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- VMwareファームウェアSmartコンポーネントパッケージは*.scexeパッケージから *.zip パッケージに変更され、インストール中の改良されたセキュリティを提供する実行可能なバイナリを含んでいます。VMware Smartコンポーネントの機能に変更はありません。

HPG5 (D)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000GCWLT, MB3000GCWLUおよびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (C) (**推奨**)

ファイル名: CP033009.compsig; CP033009.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4 (C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- 長時間のトラック滞留時間を削減することでドライブのアイドル時の動作を改善します。実装されていない場合は、メディア潤滑油の消費が増加し、ドライブの信頼性が低下する可能性があります。

HPG4 (C)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

拡張

HPG4 (B)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン: HPG7 (D) (推奨)

ファイル名: CP033011.compsig; CP033011.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG7を既にインストールしている場合、HPG7 (D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、トラックリフレッシュアルゴリズムが正しく動作しないことによって引き起こされることがありえる回復不能エラーを修正します。

HPG7 (B)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内に含まれるドライブのドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では観察されませんでした。

HPG7 (D)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

拡張

HPG7 (C)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MK0960GECQKドライブ

バージョン: HPG3 (D) (クリティカル)

ファイル名: CP033014.compsig; CP033014.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

- ファームウェアバージョンHPG3を既にインストールしている場合、HPG3(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアは、アライメントされていないシーケンシャル書き込み操作に関連するデータ管理ミスの問題を解決します。

HPG3 (B)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内に含まれるドライブのドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では観察されませんでした。

HPG3 (D)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

拡張

HPG3 (C)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ

バージョン: HPG5 (B) (推奨)

ファイル名: CP033015.compsig; CP033015.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG5を既にインストールしている場合、HPG5 (B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG5以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、記録した修復されたセクターのステータスを誤って再割り当てされることを防ぐための変更も含まれます。

HPG5 (B)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG1 (C) (推奨)

ファイル名: CP033016.compsig; CP033016.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG1を既にインストールしている場合、HPG1 (C)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG1以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、記録した修復されたセクターのステータスを誤って再割り当てされることを防ぐための変更も含まれます。

HPG1 (C)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

拡張

HPG1(B)の改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB0500GCEHF、MB1000GCEHH、およびMB2000GCEHKドライブ

バージョン: HPGD (E) (クリティカル)

ファイル名: cp031903.compsig; cp031903.exe; cp031903.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPGDを既にインストールしている場合、HPGD (E) へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- HDDの長期使用後に電源の再投入後、ごくまれにデータを含むディスクの領域にドライブのヘッドが接触して、データの損失や機械的損傷を引き起こすことがあります。ファームウェアバージョンHPGDは、この状態を防ぐことができます。

HPGD (C)に対して修正された問題:

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPGD (D)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能:

- 新しいHP ProLiant Smartアレイ HPCISS3コントローラードライバー(**hpciss3.sys**)がアップデートされているシステム上で実行されている場合、ファームウェアコンポーネントインストーラーは正常にドライブのファームウェアをインストールすることができるようになりました。
- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPGD (E)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB1000GCWCV、MB2000GCWDA、MB3000GCWDB および MB4000GCWDCドライブ

バージョン: HPGI (推奨)

ファイル名: cp031904.compsig; cp031904.exe; cp031904.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、ホストが100ミリ秒の非アクティブ状態になった後、ランダムシークを実行する機能を実装します。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB1000GDUNU, MB2000GDUNV, MB3000GDUPA, およびMB4000GDUPBドライブ

バージョン: HPG4 (B) (推奨)

ファイル名: cp031905.compsig; cp031905.exe; cp031905.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

既知の問題点:

- ファームウェアは、HPG4へのアップグレード後、HPG3へダウングレードすることはできません。

拡張

改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPG4 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB2000GCVBR、MB3000GCVBT、およびMB4000GCVBUドライブ

バージョン: HPG5 (D) (クリティカル)

ファイル名: cp031906.compsig; cp031906.exe; cp031906.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG5を既にインストールしている場合、HPG5(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- データが誤ったセクターに書かれる可能性があった、低い5v駆動電圧と特定の順次データストリーミング状態の間のまれではあるが潜在的なデータ整合性エラーを修正します。

HPG5 (B)に対して修正された問題:

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG5 (C)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能:

- 改善は、ドライブの信頼性、性能を向上し、突発的な衝撃状況に対応する処理のために行われました。
- すべてのSATAドライブコンポーネント全体でログを標準化するようにフラッシュエンジンを更新しました。
- コンポーネントログファイルで提供される詳細を改善するためにログ機能を拡張しました。
- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPG5 (D)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB4000GEFNAおよび

MB6000GEFNBドライブ

バージョン: HPG6 (推奨)

ファイル名: cp033046.compsig; cp033046.exe; cp033046.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- HPG6ファームウェアは、ディスクドライブが1秒を超える長時間のホスト非アクティビティ状態に陥ったときに、ドライブの信頼性を改善します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン: HPG7 (D) (推奨)

ファイル名: cp031911.compsig; cp031911.exe; cp031911.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG7を既にインストールしている場合、HPG7(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、トラックリフレッシュアルゴリズムが正しく動作しないことによって引き起こされることがありえる回復不能エラーを修正します。

HPG7 (B)に対して修正された問題:

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG7 (C)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに

報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。

- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPG7 (D)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MK0960GECQKドライブ

バージョン: HPG3 (D) (クリティカル)

ファイル名: cp031916.compsig; cp031916.exe; cp031916.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG3を既にインストールしている場合、HPG3(D)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連するデータ管理ミスの問題を解決します。

HPG3 (B)に対して修正された問題:

- Trusted Platform Module (TPM)が有効なサーバー上で、コンポーネントは/tpmbypassスイッチを使用している場合、ドライブファームウェアのフラッシュに失敗します。

HPG3 (C)に対して修正された問題:

- コンポーネントが、HP ホストバスアダプター H22xへ取り付けられている2つ以上の外部ドライブエンクロージャーで構成されるシステム内で、ドライブ表示用のドライブファームウェアのインストールに失敗しました。「ドライブがツリー内に数回表示されています」というメッセージがコンポーネントログファイルに報告されました。ドライブファームウェアインストールの失敗は、HPホストバスアダプター H22xへ取り付けられている1つの外部ドライブエンクロージャーがある構成内では見られませんでした。
- 長さ40文字を超える完全修飾ドメイン名を持つコンピューターで展開したとき、コンポーネントが例外エラーを引き起こします。

拡張

改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPG3 (D)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ

バージョン: HPG5 (推奨)

ファイル名: cp031319.compsig; cp031319.exe; cp031319.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間のホスト非アクティビティ状態に陥ったときに、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG5以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。このファームウェアは、記録した修復されたセクターのステータスを誤って再割り当てされることを防ぐための変更も含まれます。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG1 (B) (推奨)

ファイル名: cp031918.compsig; cp031918.exe; cp031918.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG1を既にインストールしている場合、HPG1(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、HDDが、1秒を超える長時間ホストが作動していない状態にさらされる場合、HDDの信頼性を改善します。バージョンHPG1以前のHDDのファームウェアを使用している場合、HDDが応答しなくなることがあります。
- このファームウェアは、また、記録された後、修理されたセクターのステータスが誤って再割り当てされることを防ぐための変更が含まれます。

拡張

改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPG1(B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: CP032611.compsig; CP032611.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアバージョンHPG4は、ドライブパフォーマンスの低下につながる可能性のあるまれな問題の発生を防止します。この問題は、ドライブが1秒以上のアイドルを許可される可能性のある構成のすべてのドライブに影響を与える可能性があります。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GVYYUドライブ

バージョン: HPG2 (推奨)

ファイル名: CP033033.compsig; CP033033.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアバージョンHPG2は、ドライブパフォーマンスの低下につながる可能性のあるまれな問題の発生を防止します。この問題は、ドライブが1秒以上のアイドルを許可される可能性のある構成のすべてのドライブに影響を与える可能性があります。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - XP0032GEFEN、XP0032GDZME、XP0064GEFEP、およびXP0064GDZMFドライブ

バージョン: HPS8 (B) (推奨)

ファイル名: CP033019.compsig; CP033019.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPS8を既にインストールしている場合、HPS8 (B)へアップデートする必要はありません。

事前要件

ドライブモデルXP0032GEFEN、XP0032GDZME、XP0064GDZMF、およびXP0064GEFEPでは、ファームウェアバージョンHPS8にアップデートする前に、ファームウェアバージョンHPS6がインストールされていることが必要です。

修正

ファームウェアの関連性:

- ドライブモデルXP0032GEFEN、XP0032GDZME、XP0064GDZMF、およびXP0064GEFEPでは、ファームウェアバージョンHPS8にアップデートする前に、ファームウェアバージョンHPS6がインストールされていることが必要です。

修正された問題点:

- HPS8 のファームウェアリリースは、ドライブの長いセルフテスト中にドライブがシステムにより認識されなくなるタイムアウト状態を起こすというファームウェアのタイミングの問題を解決しました。

HPS8 (B)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。
-

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ

バージョン: HPS4 (B) (推奨)

ファイル名: CP033020.compsig; CP033020.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPS4を既にインストールしている場合、HPS4 (B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- HPS4 のファームウェアリリースは、ドライブの長いセルフテスト中にドライブがシステムにより認識されなくするタイムアウト状態を起こすというファームウェアのタイミングの問題を解決しました。

HPS4 (B)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ

バージョン: HPG1 (推奨)

ファイル名: cp031374.compsig; cp031374.exe; cp031374.md5

重要な注意!

- Zero Memory (ZM) モードで動作しているHPE SmartアレイコントローラーあるいはHPE ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSでは、SPPおよびHP SUMを使用したオフライン更新が必要です。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアが、Power-On Self-Testのデバイス検出の間にデバイスが見つからない問題を修正します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - XP0032GEFEN、XP0032GDZME、XP0064GEFEP、およびXP0064GDZMFドライブ

バージョン: HPS8 (推奨)

ファイル名: cp031996.compsig; cp031996.exe; cp031996.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

事前要件

ドライブモデルXP0032GEFEN、XP0032GDZME、XP0064GDZMF、およびXP0064GEFEPでは、ファームウェアバージョンHPS8にアップデートする前に、ファームウェアバージョンHPS6がインストールされていることが必要です。

修正

ファームウェアの依存関係:

- ドライブモデルXP0032GEFEN、XP0032GDZME、XP0064GDZMF、およびXP0064GEFEPでは、ファームウェアバージョンHPS8にアップデートする前に、ファームウェアバージョンHPS6がインストールされていることが必要です。

修正された問題点:

- HPS8 のファームウェアリリースは、ドライブの長いセルフテスト中にドライブがシステムにより認識されなくなるタイムアウト状態を起こすというファームウェアのタイミングの問題を解決しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ

バージョン: HPS4 (推奨)

ファイル名: cp031999.compsig; cp031999.exe; cp031999.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- HPS4 のファームウェアリリースは、ドライブの長いセルフテスト中にドライブがシステムにより認識されなくするタイムアウト状態を起こすというファームウェアのタイミングの問題を解決しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG4 (B) (推奨)

ファイル名: cp033037.compsig; cp033037.exe; cp033037.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

Problems Fixed:

- Firmware version HPG4 prevents the occurrence of a rare issue which could lead to slow drive performance. This issue has the potential to impact all drives in configurations where the drives might be allowed to be idle for greater than 1 second.

拡張

HPG4 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MB2000GCWLT、MB3000GCWLU、およびMB4000GCWLVDライブ

バージョン: HPG4 (B) (推奨)

ファイル名: cp031907.compsig; cp031907.exe; cp031907.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiant と Smart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- 長時間のトラックドウェルタイムを削減することによってドライブ不使用時間の動作を改善します。実行されない場合は、メディア潤滑油の消耗を増進し、ドライブの故障率を上昇させる可能性があります。

拡張

改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPG4 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MB6000GEBTPドライブ

バージョン: HPG3 (推奨)

ファイル名: cp033032.compsig; cp033032.exe; cp033032.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- このファームウェアは、内部リセット、ファームウェアダウンロードの機能性、およびパフォーマンスの問題を含む複数のドライブの問題を解決します。このファームウェアは、ドライブ内で考えられるこれらの問題を排除することで、システムの堅牢性を向上させることができます。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MB6000GEXXVドライブ

バージョン: HPG2 (B) (推奨)

ファイル名: cp031914.compsig; cp031914.exe; cp031914.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

- ファームウェアバージョンHPG2を既にインストールしている場合、HPG2(B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- トラックの狭い範囲にデータを書き込むアプリケーションの信頼性の向上。

拡張

改善点/新しい機能:

- Microsoft Windows Server 2016のサポートを追加しました。

HPG2 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MB6000GVYYUドライブ

バージョン: HPG2 (推奨)

ファイル名: cp033035.compsig; cp033035.exe; cp033035.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。

修正

修正された問題点:

- ファームウェアバージョンHPG2は、ドライブパフォーマンスの低下につながる可能性のあるまれな問題の発生を防止します。この問題は、ドライブが1秒以上のアイドルを許可される可能性のある構成のすべてのドライブに影響を与える可能性があります。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: cp032307.compsig; cp032307.exe; cp032307.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- 4Kのアラインされていないセクターへの書き込みの間にホストエラーが発生するというまれに起こる状況で、書き込み操作が古いデータとなることがあります。ファームウェアHPx4は、このような状況で発生する古いデータの可能性を防止します。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

Linux(x64)サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント - VK000240GWEZB、VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK、およびMK001920GWHRUドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3db7640485-HPG4-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3db7640485-HPG4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

拡張

改善点/新しい機能:

- プロダクション署名キーがコードに適用されます。
- TX 差動電圧およびデエンファシスレベルのシグナル仕様に対応するようにコードを拡張しました。

Linux(x64)用サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン: HPG4 (B) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-68b12e54d2-HPG4-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-68b12e54d2-HPG4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

Problems Fixed:

- This firmware corrects a potential issue where the data in the reserved tracks is not properly updated, eliminating the risk of a drive not finishing the boot process on power up.
- Other maintenance fixes and updates are also included with the new firmware.

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHGP4は、ドライブがHPG4ファームウェアにアップデートした後、ファームウェアの以前のバージョンがドライブにロードされることを防ぐように設定されています。

HPG4 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

Linux(x64)用サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBXLドライブ

バージョン: HPG5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a1fd19f9ca-HPG5-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a1fd19f9ca-HPG5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

修正

修正された問題点:

- 使用を用いた一部の設定、機能、および内部ログの調製とともに、SANITIZE機能の完了時間における不定期および潜在的に重大な遅延を修正しました。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。
-

Linux(x64)用サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント - VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン: HPG1 (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1a516522d1-HPG1-1.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1a516522d1-HPG1-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPG1は、2.5" SSD 6Gb SATAドライブモデルVK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQ用のマイナーパフォーマンス強化を伴うメンテナンスファームウェアリリースです。
- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

Online ROM Flash Component for Windows (x64) - MB001000GFWFK and MB002000GFWFL Drives

バージョン: HPG4 (B) (クリティカル)

ファイル名: cp033051.compsig; cp033051.exe; cp033051.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

Problems Fixed:

- This firmware corrects a potential issue where the data in the reserved tracks is not properly updated, eliminating the risk of a drive not finishing the boot process on power up.
- Other maintenance fixes and updates are also included with the new firmware.

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHGP4は、ドライブがHPG4ファームウェアにアップデートした後、ファームウェアの以前のバージョンがドライブにロードされることを防ぐように設定されています。

HPG4 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - MB001000GFWFK and MB002000GFWFL Drives

バージョン: HPG4 (B) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc4af697b-HPG4-2.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc4af697b-HPG4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG4を既にインストールしている場合、HPG4(B)へアップデートする必要はありません。

修正

Problems Fixed:

- This firmware corrects a potential issue where the data in the reserved tracks is not properly updated, eliminating the risk of a drive not finishing the boot process on power up.
- Other maintenance fixes and updates are also included with the new firmware.

拡張

改善点/新しい機能:

- ファームウェアバージョンHGP4は、ドライブがHPG4ファームウェアにアップデートした後、ファームウェアの以前のバージョンがドライブにロードされることを防ぐように設定されています。

HPG4 (B)の改善点/新しい機能:

- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

VMware ESXi用オンラインROMフラッシュコンポーネント - VK000240GWEZB、VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK、およびMK001920GWHRUドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: CP032691.compsig; CP032691.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサ

ポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

拡張

改善点/新しい機能:

- プロダクション署名キーがコードに適用されます。
- TX 差動電圧およびデエンファシスレベルのシグナル仕様に対応するようにコードを拡張しました。

VMware ESXi用オンラインROMフラッシュコンポーネント -MB006000GWBXQおよびMB008000GWBYLドライブ

バージョン: HPG5 (B) (**推奨**)

ファイル名: CP033004.compsig; CP033004.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインで更新する必要があります。
- ファームウェアバージョンHPG5を既にインストールしている場合、HPG5 (B)へアップデートする必要はありません。

修正

修正された問題点:

- 使用を用いた一部の設定、機能、および内部ログの調製とともに、SANITIZE機能の完了時間における不定期および潜在的に重大な遅延を修正しました。

HPG5 (B)に対して修正された問題:

- VMware vSphere 6.5環境でドライブファームウェアをアップデートしようとする、アップデートに失敗し、イベントがセグメント障害エラーとして記録されます。

拡張

改善点/新しい機能:

- VMware vSphere 6.5のサポートを追加します。

VMware ESXi用オンラインROMフラッシュコンポーネント—MR000240GWFLU, MR000480GWFLV, VR000480GWFMD, MR000960GWFMA, VR000960GWFME, MR001920GWFMB, およびVR001920GWFMCドライブ

バージョン: HPG4 (**推奨**)

ファイル名: CP032693.compsig; CP032693.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

拡張

改善点/新しい機能:

- プロダクション署名キーがコードに適用されます。
- TX 差動電圧およびデエンファシスレベルのシグナル仕様に対応するようにコードを拡張しました。

Windows(x64)用オンラインROMフラッシュコンポーネント - VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン: HPG1 (オプション)

ファイル名: cp032333.compsig; cp032333.exe; cp032333.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiantとSmart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

拡張

改善点/新しい機能:

- HPG1は、2.5" SSD 6Gb SATAドライブモデルVK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQ用のマイナーパフォーマンス強化を伴うメンテナンスファームウェアリリースです。
- HPE ProLiant Gen10サーバーのサポートを追加します。

Windows用オンラインROMフラッシュコンポーネント(x64) - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFM D、MR000960GWFMA、VR000960GWFME、MR001920GWFMB、およびVR001920GWFMCドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: cp032695.compsig; cp032695.exe; cp032695.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiant と Smart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

拡張

改善点/新しい機能:

- プロダクション署名キーがコードに適用されます。
- TX 差動電圧およびデエンファシスレベルの シグナル仕様に対応するようにコードを拡張しました。

Windows用オンラインROMフラッシュコンポーネント(x64) - VK000240GWEZB, VK000480GWEZC, VK000960GWEZD, VK001920GWEZE, MK000240GWEZF, MK000480GWEZH, MK000960GWEZK, およびMK001920GWHRUドライブ

バージョン: HPG4 (推奨)

ファイル名: cp032692.compsig; cp032692.exe; cp032692.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているHP SmartアレイコントローラーあるいはHP ProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアの更新。他の全てのOSはProLiant と Smart Update Manager用のサービスパックを使用してオフラインでアップデートすることが必要です。

拡張

改善点/新しい機能:

- プロダクション署名キーがコードに適用されます。
- TX 差動電圧およびデエンファシスレベルの シグナル仕様に対応するようにコードを拡張しました。

ファームウェア - ストレージコントローラー

先頭

HP D6000 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64)

バージョン: 2.98 (クリティカル)

ファイル名: cp029908.exe; cp029908.md5

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

重要: 電源入/切シーケンスには、構成の完全性を維持することが重要です。詳細は、"HP D6000 ディスクエンクロージャーユーザーガイド"の文書を参照してください。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

以下の問題がこのファームウェアのバージョンで修正されます:

12GB SAS HDDがエンクロージャー内に搭載されている場合、ディスクディスクバリエーションをサポートするために、SASエキスパンダーの設定を変更しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HP D6000 ディスクエンクロージャーは、以下のデバイスの後部で接続できます:

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H241 Smart ホストバスアダプター
- HP SmartアレイP731mコントローラー
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HP SmartアレイP721mコントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー

サブプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE Apollo 45xx Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 2.08 (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-7bdfcd246b-2.08-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- バージョン1.03以前からのファームウェアアップグレードを有効にするために、サーバーの電源コードを1度抜いて、再度挿してください。

拡張

- デバッグ機能を強化しました。
- Smart Update Managerとの統合を強化しました。

サブプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - Smartアレイ H240ar、H240、H240nr、H241、H244br、P240nr、P244br、P246br、

P440ar、P440、P441、P542D、P741m、P840、P840arおよびP841

バージョン: 6.06 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-ea3138d8e8-6.06-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 正しく検出されるために、いくつかのコントローラーは、コントローラーファームウェアをアップグレードする前にSmartアレイドライバーの新しいバージョンのインストールが必要な場合があります。インストールされていない場合、コンポーネントはリターンコード3で失敗します。
- Red Hat Enterprise Linux 7.1オペレーティングシステムを実行するシステムを起動すると、HP Smartアレイコントローラーが認識されないことがあります。この問題は、sgドライバーをシステムブート時にロードしないOSでの変更で起因します。この問題を回避するには、sgドライバーをロードする" **modprobe sg**"コマンドを手動で発行します。sgドライバーがロードされた後、/dev/sg* デバイスが存在するようになり、sgドライバーがSCSIデバイスにアクセスするために使用可能になります。

修正

- Under the following conditions, the controller might stop responding:
 - During POST following an unexpected power event if there was data in the controller cache.
 - When running I/O to SATA drives. (POST Lockup 0x13)
 - When using a RAID configuration with strip size of 1024KiB. (POST Lockup 0x13)
 - When a WRITE SAME command is sent with a buffer size greater than 512 bytes. (POST Lockup 0x13)
- In a multi-path environment with nested expanders, the active path to a device might be incorrect following a path failure or restoration.

サプリメンタルアップデート / Linux (x64)用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE SmartアレイP408i-p、P408e-p、P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P408e-m、P204i-c、P204i-b、P816i-a、およびP416ie-m SR Gen10

バージョン: 1.04 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f7c07bdbbd-1.04-2.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f7c07bdbbd-1.04-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- すでにファームウェアバージョン1.04をインストールしている場合、1.04 (B)にアップデートする必要はありません。

拡張

バージョン1.04 (B)

- 新しいHPE ProLiantサーバーのモデルを追加しました。
 - DL120 Gen10

バージョン1.04

- HPE P/E-Class SR Gen10コントローラー用の初期ファームウェアリリースです。

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE 12 Gb/s SASエクスパンダーファームウェア for HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン: 3.17 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-2de15b6882-3.17-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-2de15b6882-3.17-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

修正

- HPE 12Gb/s SAS Expanderカードに接続されているSATAハードディスクドライブは、HPE Smartアレイ SR Gen10コントローラーが備わったHPE ProLiantサーバーをコールドブートするときに検出されないことがあります。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE Apollo 45xx Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.00 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-815b1ae26d-1.00-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-815b1ae26d-1.00-1.1.x86_64.rpm

拡張

最初のリリース

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE Express Bay Enablement Switch Card

バージョン: 1.73 (D) (オプション)

ファイル名: firmware-smartarray-94189dca85-1.73-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- アップデートを有効にするには、インストール後に電源再投入/コールドリブートが必要です。

事前要件

- HPE Express Bay Enablement Switch CardファームウェアSmartコンポーネントの前回リリースでは、iLO 3/4チャンネルインターフェイスドライバーへの依存が記録されました。このドライバーは、以下のLinux OSに含まれるようになりました。

Red Hat Enterprise Linux 7 Server

Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64)

SUSE Linux Enterprise Server 12

- HP ProLiant iLOファームウェアバージョン2.20以降が必要。HP ProLiant iLOファームウェアがv2.20以前の場合、次のエラーメッセージを受信します。

依存性の確認に失敗しました。

現在のバージョン:iLOx x.xx

必要な最小バージョン:iLO4 2.20

必要なハードウェアがシステムに存在しないかソフトウェア/ファームウェアがこのシステムに適用しないため、ソフトウェアはこのシステムにインストールされません。

修正

拡張

- Service Pack for ProLiantバージョン2017.07.0をサポートするためにアップデートされました

注:システムが以前にバージョン1.73にアップデートされている場合、1.73 (D)にアップデートする必要はありません。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - Smart Array D2220sbストレージブレード

バージョン: 8.00 (C) (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-46a4d957a7-8.00-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Red Hat Enterprise Linux 7.1オペレーティングシステムを実行するシステムを起動すると、HP Smartアレイコントローラーが認識されないことがあります。この問題は、sgドライバーをシステムブート時にロードしないOSでの変更起因します。この問題を回避するには、sgドライバーをロードする"**modprobe sg**"コマンドを手動で発行します。sgドライバーがロードされた後、/dev/sg* デバイスが存在する必要があり、sgドライバーがSCSIデバイスにアクセスするために使用することができます。

拡張

- Service Pack for ProLiantバージョン2017.07.1をサポートするためにアップデートされました

注記:システムが以前にバージョン8.00にアップデートされている場合、8.00 (C)にアップデートする必要はありません。

サブリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - Smart アレイP230i、P430、P431、P731m、P830i および P830

バージョン: 4.10 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-smartarray-112204add8-4.10-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Red Hat Enterprise Linux 7.1オペレーティングシステムを実行するシステムを起動すると、HP Smartアレイコントローラーが認識されないことがあります。この問題は、sgドライバーをシステムブート時にロードしないOSでの変更起因します。この問題を回避するには、sgドライバーをロードする"**modprobe sg**"コマンドを手動で発行します。sgドライバーがロードされた後、/dev/sg* デバイスが存在する必要があり、sgドライバーがSCSIデバイスにアクセスするために使用することができます。

修正

ファームウェアバージョン4.10で、以下の問題が解決されました:

- 予期しない電源障害が発生した場合、システムがPower-On Self Test (POST)中に動作を停止することがあります。
- スマートキャッシュが読み取り操作を実行中にコントローラーが応答を停止する可能性があります

拡張

ファームウェアバージョン4.10(B) - HPE ProLiant DL580 Gen9サーバーのサポートが追加されました。

ファームウェアバージョン4.10が既にコントローラーにインストールされている場合は、ファームウェアバージョン4.10(B)にアップグレードする必要はありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE Apollo 2000 System - SAS エキスパンダー

バージョン: 1.00 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-3bf7ece88e-1.00-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- ファームウェアバージョン1.00を既にインストールしている場合、1.00 (B)へアップデートする必要はありません。

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました。

注記:Apollo 2000 SAS Expanderが以前にバージョン1.00にアップデートされている場合、バージョン1.00(B)にアップグレードする必要はありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPEホストバスアダプターH221

バージョン: 15.10.10.00 (A) **(オプション)**

ファイル名: rpm/RPMS/i386/firmware-43d7eff89e-15.10.10.00-1.1.i386.rpm

重要な注意!

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

拡張

- Gen9サーバー上でH221をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE Apollo 2000 System - SASエキスパンダー

バージョン: 1.00 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP031314.compsig; CP031314.zip

重要な注意!

- ファームウェアバージョン1.00を既にインストールしている場合、1.00 (B)へアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware vSphere 2016 OSのサポートを追加しました。
- Smart Update Managerとの統合を強化しました。
注記: Apollo 2000 SAS Expanderが以前にバージョン1.00にアップデートされている場合、バージョン1.00(B)にアップグレードする必要はありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE 12 Gb/s SASエキスパンダーファームウェア for HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン: 3.17 (推奨)

ファイル名: CP032984.compsig; CP032984.zip

重要な注意!

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

修正

- HPE 12Gb/s SAS Expanderカードに接続されているSATAハードディスクドライブは、HPE SmartアレイSR Gen10コントローラーが備わったHPE ProLiantサーバーをコールドブートするときに検出されないことがあります。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE Apollo 4200 Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.26 (B) (オプション)

ファイル名: CP031315.zip

重要な注意!

- ファームウェアバージョン1.26を既にインストールしている場合、1.26 (B)へアップデートする必要はありません。
- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

拡張

- Service Pack for ProLiantバージョン2017.07.0をサポートするためにアップデートされました

注: システムが以前にバージョン1.26にアップデートされている場合、1.26 (B)にアップデートする必要はありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE Express Bay Enablement Switchカード

バージョン: 1.73 (C) (オプション)

ファイル名: CP031368.zip

重要な注意!

- ファームウェアバージョン1.73を既にインストールしている場合、1.73 (C)へアップデートする必要はありません。
- アップデートを有効にするには、インストール後に電源再投入/コールドリブートが必要です。

事前要件

- HP ProLiant iLOファームウェアバージョンは、v2.20以降である必要があります。 HP ProLiant iLOファームウェアがv2.20より古い場合、以下のエラーメッセージを受け取ります。

Check dependency failed.

Current version: iLOx x.xx

Minimum version required: iLO4 2.20

The software will not be installed on this system because the required hardware is not present in the system or the software/firmware doesn't apply to this system

拡張

- Service Pack for ProLiantバージョン2017.07.0をサポートするためにアップデートされました

注:システムが以前にバージョン1.73にアップデートされている場合、1.73 (C)にアップデートする必要はありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPEデュアル 8GB MicroSD USB

バージョン: 1.3.2.212 (推奨)

ファイル名: CP032103.compsig; CP032103.zip

修正

修正された問題点:

- システムROMバージョン2.40_02-17-2017にアップグレードしたHPE ProLiant Gen9サーバーは、コントローラーファームウェアバージョンFW 1.3.2.202を組み込んだHPE Dual 8GB microSD Enterprise Midline USBキット(741279-B21)でシステムが構成されている場合、ウォームブートの実行時に、Power-On Self-Test (POST)中に応答を停止します。詳細については、[HPEカスタマーアドバイザリ a00016609en_us](mailto:a00016609en_us)を参照してください

拡張

改善点/新しい機能:

- HPE Dual 8GB microSD USBが、デバイスで設定されたHPE ProLiant Gen9サーバーのウォームブート後に発生する可能性のあるSDデバイスエラーを報告できるようにします。この新しい機能を使用するには、サーバーシステムROMバージョン2.40_02-17-2017以降がサーバーにインストールされている必要があります。
- 電源投入ロジックをアップデートして静電気放電耐性を向上させることで、信頼性を改善しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - Smartアレイ H240ar、H240、H240nr、H241、H244br、P240nr、P244br、P246br、P440ar、P440、P441、P542D、P741m、P840、P840arおよびP841

バージョン: 6.06 (推奨)

ファイル名: CP032780.compsig; CP032780.zip

修正

- Under the following conditions, the controller might stop responding:
 - During POST following an unexpected power event if there was data in the controller cache.
 - When running I/O to SATA drives. (POST Lockup 0x13)
 - When using a RAID configuration with strip size of 1024KiB. (POST Lockup 0x13)

- When a WRITE SAME command is sent with a buffer size greater than 512 bytes. (POST Lockup 0x13)
- In a multi-path environment with nested expanders, the active path to a device might be incorrect following a path failure or restoration.

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - SmartアレイP230i、P430、P431、P731m、P830i および P830

バージョン: 4.10 (B) (推奨)

ファイル名: CP033237.compsig; CP033237.zip

修正

ファームウェアバージョン4.10で、以下の問題が解決されました:

- 予期しない電源障害が発生した場合、システムがPower-On Self Test (POST)中に動作を停止することがあります。
- スマートキャッシュが読み取り操作を実行中にコントローラーが応答を停止する可能性があります

拡張

ファームウェアバージョン4.10(B) - HPE ProLiant DL580 Gen9サーバーのサポートが追加されました。

ファームウェアバージョン4.10が既にコントローラーにインストールされている場合は、ファームウェアバージョン4.10(B)にアップグレードする必要はありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HP Apollo 4200 Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.26 (B) (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f18fdefd0b-1.26-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- ファームウェアバージョン1.26を既にインストールしている場合、1.26 (B)へアップデートする必要はありません。
- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

拡張

- Service Pack for ProLiantバージョン2017.07.0をサポートするためにアップデートされました

注: システムが以前にバージョン1.26にアップデートされている場合、1.26 (B)にアップデートする必要はありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE 12Gb/s SASエキスパンダーファームウェア for HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン: 3.17 (推奨)

ファイル名: cp032986.compsig; cp032986.exe; cp032986.md5

重要な注意!

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

修正

- HPE 12Gb/s SAS Expanderカードに接続されているSATAハードディスクドライブは、HPE SmartアレイSR Gen10コントローラーが備わったHPE ProLiantサーバーをコールドブートするときに検出されないことがあります。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Apollo 4200 Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.26 (B) (オプション)

ファイル名: cp031610.exe; cp031610.md5

重要な注意!

- **ファームウェアバージョン1.26を既にインストールしている場合、1.26 (B)へアップデートする必要はありません。**
- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

拡張

- Service Pack for ProLiantバージョン2017.07.0をサポートするためにアップデートされました

注: システムが以前にバージョン1.26にアップデートされている場合、1.26 (B)にアップデートする必要はありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Apollo 45xx Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.00 (推奨)

ファイル名: cp033150.compsig; cp033150.exe; cp033150.md5

拡張

最初のリリース

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Apollo 45xx Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 2.08 (オプション)

ファイル名: cp031612.exe; cp031612.md5

重要な注意!

- バージョン1.03以前からのファームウェアアップグレードを有効にするために、サーバーの電源コードを1度抜いて、再度挿してください。

拡張

- デバッグ機能を強化しました。
- Smart Update Managerとの統合を強化しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Express Bay Enablement Switch Card

バージョン: 1.73 (D) (オプション)

ファイル名: cp032259.exe; cp032259.md5

重要な注意!

- アップデートを有効にするには、インストール後に電源再投入/コールドリブートが必要です。

事前要件

- このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interfaceドライバー"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

"Setup is unable to load a setup DLL"

- HP ProLiant iLOファームウェアバージョンは、v2.20以降である必要があります。HP ProLiant iLOファームウェアがv2.20より古い場合、以下のエラーメッセージを受け取ります。

Check dependency failed.

Current version: iLOx x.xx

Minimum version required: iLO4 2.20

The software will not be installed on this system because the required hardware is not present in the system or the software/firmware doesn't apply to this system.

修正

拡張

- Service Pack for ProLiantバージョン2017.07.0をサポートするためにアップデートされました

注:システムが以前にバージョン1.73にアップデートされている場合、1.73 (D)にアップデートする必要はありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - Smartアレイ H240ar、H240、H240nr、H241、H244br、P240nr、P244br、P246br、P440ar、P440、P441、P542D、P741m、P840、P840arおよびP841

バージョン: 6.06 (推奨)

ファイル名: cp032781.exe; cp032781.md5

修正

- Under the following conditions, the controller might stop responding:
 - During POST following an unexpected power event if there was data in the controller cache.
 - When running I/O to SATA drives. (POST Lockup 0x13)
 - When using a RAID configuration with strip size of 1024KiB. (POST Lockup 0x13)
 - When a WRITE SAME command is sent with a buffer size greater than 512 bytes. (POST Lockup 0x13)

- In a multi-path environment with nested expanders, the active path to a device might be incorrect following a path failure or restoration.

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - SmartアレイP230i、P430、P431、P731m、P830i および P830

バージョン: 4.10 (B) (推奨)

ファイル名: cp033236.exe; cp033236.md5

修正

ファームウェアバージョン4.10で、以下の問題が解決されました:

- 予期しない電源障害が発生した場合、システムがPower-On Self Test (POST)中に動作を停止することがあります。
- スマートキャッシュが読み取り操作を実行中にコントローラーが応答を停止する可能性があります

拡張

ファームウェアバージョン4.10(B) - HPE ProLiant DL580 Gen9サーバーのサポートが追加されました。

ファームウェアバージョン4.10が既にコントローラーにインストールされている場合は、ファームウェアバージョン4.10(B)にアップグレードする必要はありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPEホストバスアダプターH221

バージョン: 15.10.10.00 (A) (オプション)

ファイル名: cp032389.exe; cp032389.md5

重要な注意!

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

拡張

- Gen9サーバー上でH221をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 45xx Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 2.08 (オプション)

ファイル名: CP031316.zip

重要な注意!

- バージョン1.03以前からのファームウェアアップグレードを有効にするために、サーバーの電源コードを1度抜いて、再度挿してください。

拡張

- デバッグ機能を強化しました。
- VMware vSphere 2016 OSのサポートを追加しました。
- Smart Update Managerとの統合を強化しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Apollo 2000 System - SASエキスパンダー

バージョン: 1.00 (C) (推奨)

ファイル名: cp031608.exe; cp031608.md5

重要な注意!

- ファームウェアバージョン1.00を既にインストールしている場合、1.00 (B)へアップデートする必要はありません。

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました。
注記:Apollo 2000 SAS Expanderが以前にバージョン1.00にアップデートされている場合、バージョン1.00(C)にアップグレードする必要はありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- Smart Array D2220sbストレージブレード

バージョン: 8.00 (C) (オプション)

ファイル名: cp032992.exe; cp032992.md5

拡張

- Service Pack for ProLiantバージョン2017.07.1をサポートするためにアップデートされました

注記:システムが以前にバージョン8.00にアップデートされている場合、8.00 (C)にアップデートする必要はありません。

HP D2600/D2700 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64)

バージョン: 0150 (B) (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/hp-firmware-d2600-d2700-0150-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

現在デバイスが150ファームウェアを実行している場合、150(B)へファームウェアをアップグレードする必要はありません

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュの進捗メッセージは、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュの進捗メッセージは、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

このバージョンでは、次の修正が追加されています。

誤ったアルゴリズムによるFAULT_SENSEDビットに関するアクションを削除しました。

サポートしているデバイスおよび機能

D2600 / D2700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます。

- HP H222 ホストバスアダプター
- HP H221 ホストバスアダプター
- HP H241 Smartホストバスアダプター
- HP SmartアレイP812コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP411コントローラー
- HP SmartアレイP212コントローラー
- HP SmartアレイP222コントローラー

HP D2600/D2700 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64)

バージョン: 0150 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp028806.exe

重要な注意!

現在デバイスが150ファームウェアを実行している場合、150(B)へファームウェアをアップグレードする必要はありません

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D2000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D2000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

このバージョンでは、次の修正が追加されています。

誤ったアルゴリズムによるFAULT_SENSEDビットに関するアクションを削除しました。

サポートしているデバイスおよび機能

D2600 / D2700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます。

- HP H222 ホストバスアダプター
- HP H221 ホストバスアダプター
- HP H241 Smartホストバスアダプター
- HP SmartアレイP812コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP411コントローラー
- HP SmartアレイP212コントローラー
- HP SmartアレイP222コントローラー

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

重要: 電源入/切シーケンスには、構成の完全性を維持することが重要です。詳細は、"HP D6000 ディスクエンクロージャーユーザーガイド"の文書を参照してください。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/Verbose.log に記録され、フラッシュの概要は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の問題がこのファームウェアのバージョンで修正されます:

12GB SAS HDDがエンクロージャー内に搭載されている場合、ディスクディスカバリをサポートするために、SAS エキスパンダーの設定を変更しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HP D6000 ディスクエンクロージャーは、以下のデバイスの後部で接続できます:

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H241 Smart ホストバスアダプター
- HP SmartアレイP731mコントローラー
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HP SmartアレイP721mコントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー

HP D6000 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for VMware (esxi)

バージョン: 2.98 (クリティカル)

ファイル名: CP029051.md5; CP029051.zip

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

重要: 電源入/切シーケンスには、構成の完全性を維持することが重要です。詳細は、"HP D6000 ディスクエンクロージャーユーザーガイド"の文書を参照してください。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の問題がこのファームウェアのバージョンで修正されます:

12GB SAS HDDがエンクロージャー内に搭載されている場合、ディスクディスクバリエーションをサポートするために、SAS エキスパンダーの設定を変更しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HP D6000 ディスクエンクロージャーは、以下のデバイスの後部で接続できます:

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H241 Smart ホストバスアダプター
- HP SmartアレイP731mコントローラー
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HP SmartアレイP721mコントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー

HPE D6020 12 Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64)

バージョン: 2.53 (推奨)

ファイル名: CP032634.md5; RPMS/x86_64/firmware-d6020-2.53-1.1.x86_64.compsig;

RPMS/x86_64/firmware-d6020-2.53-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD6020(または任意のストレージボックス)でOS

をホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

このバージョンでは、次の修正が追加されています:

- 予期しないステータスでのエンクロージャー: エンクロージャーIDの復元後に非クリティカル。

サポートしているデバイスおよび機能

D6020エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP731mコントローラー
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- SmartアレイP721m
- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-mコントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- SmartアレイP421
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー
- HP Smart HBA H241

HPE D6020 12 Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)

バージョン: 2.53 (推奨)

ファイル名: cp032635.compsig; cp032635.exe

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD6020(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセット

するため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%%CPQSYSTEM%Log\D6020.logに記録され、フラッシュの概要は、%systemdrive%%CPQSYSTEM%Log\cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%%CPQSYSTEM%Log\D6020.logに記録され、フラッシュの概要は、%systemdrive%%CPQSYSTEM%Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

このバージョンでは、次の修正が追加されています:

- 予期しないステータスでのエンクロージャー: エンクロージャーIDの復元後に非クリティカル。

サポートしているデバイスおよび機能

D6020エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP731mコントローラー
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- SmartアレイP721m
- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-mコントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- SmartアレイP421
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー
- HP Smart HBA H241

Linux (x64)向けHP D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント

バージョン: 3.64 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-d3000-3.64-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-d3000-3.64-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要:システムメンテナンス時間中に、システムへのすべてのI/Oを停止して、ファームウェアアップデートを行う必要があります。シングルドメイン構成で、ユーザーがD3000 (または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- NVRAM CRCエラーを修正しました

拡張

以下の機能改善がこのリリースに含まれました:

- 3610および3710ディスクエンクロージャーへのサポートが追加

サポートしているデバイスおよび機能

D3600 / D3700 / D3610 / D3710エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます。

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HPE Smart Array P408e-p SR Gen10コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- SmartアレイP421
- HPE Smart Array E208e-p SR Gen10コントローラー
- HP Smart HBA H241

VMware (esxi)向けHP D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャー ROMフラッシュコンポーネント

バージョン: 3.64 (推奨)

ファイル名: CP032252.compsig; CP032252.md5; CP032252.zip

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- NVRAM CRCエラーを修正しました

拡張

以下の機能改善がこのリリースに含まれました:

- 3610および3710ディスクエンクロージャーへのサポートが追加

サポートしているデバイスおよび機能

D3600 / D3700 / D3610 / D3710 エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます。

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H241 Smart ホストバスアダプター
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- SmartアレイP421
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー

VMware ESXi用オンラインROMフラッシュコンポーネント - Smart Array D2220sbストレージブレード

バージョン: 8.00 (C) (オプション)

ファイル名: CP032990.compsig; CP032990.zip

拡張

- Service Pack for ProLiantバージョン2017.07.1をサポートするためにアップデートされました

注記:システムが以前にバージョン8.00にアップデートされている場合、8.00 (C)にアップデートする必要はありません。

Windows (x64)向けHPE D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント

バージョン: 3.64 (推奨)

ファイル名: cp032250.compsig; cp032250.exe

重要な注意!

重要: システムメンテナンス時間中に、システムへのすべてのI/Oを停止して、ファームウェアアップデートを行う必要があります。シングルドメイン構成で、ユーザーがD3000 (または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注意: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- NVRAM CRCエラーを修正しました

拡張

以下の機能改善がこのリリースに含まれました:

- 3610および3710ディスクエンクロージャーへのサポートが追加

サポートしているデバイスおよび機能

D3600 / D3700 / D3610 / D3710エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます。

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HPE Smart Array P408e-p SR Gen10コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- SmartアレイP421
- HPE Smart Array E208e-p SR Gen10コントローラー
- HP Smart HBA H241

Windows(x64)用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE SmartアレイP408i-p、P408e-p、P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P408e-m、P204i-c、P204i-b、P816i-a、およびP416ie-m SR Gen10

バージョン: 1.04 (B) (推奨)

ファイル名: cp032842.compsig; cp032842.exe; cp032842.md5

重要な注意!

- すでにファームウェアバージョン1.04をインストールしている場合、1.04 (B)にアップデートする必要はありません。

拡張

バージョン1.04 (B)

- 新しいHPE ProLiantサーバーのモデルを追加しました。
 - DL120 Gen10

バージョン1.04

- HPE P/E-Class SR Gen10コントローラー用の初期ファームウェアリリースです。

ファームウェア - ストレージファイバーチャネル

[先頭](#)

Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 6.5用HPEファームウェアフラッシュ

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

ファイル名: CP032468.compsig; CP032468.zip

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

8Gファームウェア:

以下を修正しました。

- 81E、82E、84E、LPe1205a上でトラフィックが高くなるとリンクダウンが発生する

UEFI:

- デバイスブート順序メニューにHPEサーバー上のターゲットが表示されない

16Gファームウェア:

以下を修正しました。

- ダッシュボードおよび静的ネットワークのPCIスロット1にアダプターが誤って表示される

16G/32Gファームウェア:

以下を修正しました。

- ダッシュボードおよび静的ネットワークのPCIスロット1にアダプターが誤って表示される

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、ファイバーチャネルアップデートコンポーネントです。

16/32 Gb HBA/メザニンユニバーサルブートをアップデートしました

16 Gb HBA/メザニンユニバーサルブートをアップデートしました。

8Gb HBA/メザニンユニバーサルブートをアップデートしました。

含まれるもの:

16/32 Gb HBA/メザニンユニバーサルブート11.2.307.16

16 Gb HBA/メザニンユニバーサルブート 11.2.307.16

8Gb スタンドアップ/メザニンファームウェア 2.03x14

8 Gbスタンドアップ/メザニンユニバーサルブートイメージ11.20a7(11.2.241.0 BIOS, 11.2.283.0 UEFI)

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000(16Gb/32Gb)FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Linux (x64)

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-emulex-2017.09.01-1.10.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-emulex-2017.09.01-1.10.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているイネーブルメントキットをインストールする必要があります。

OOBドライバーおよびイネーブルメントキットは、<http://www.hpe.com/servers/spp/download>のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

FCドライバーキットをインストールし、再起動してからイネーブルメントキットをインストールしてください。

追加の要件:

フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です
コンポーネントでEmulex HBAを検出できるようにするには、32-bit netlink library(libnl.so)がインストールされている環境が必要です

修正

8Gファームウェア:

以下を修正しました。

- 81E、82E、84E、LPe1205a上でトラフィックが高くなるとリンクダウンが発生する

UEFI:

- デバイスブート順序メニューにHPEサーバー上のターゲットが表示されない

16Gファームウェア:

以下を修正しました。

- ダッシュボードおよび静的ネットワークのPCIスロット1にアダプターが誤って表示される

16G/32Gファームウェア:

以下を修正しました。

- ダッシュボードおよび静的ネットワークのPCIスロット1にアダプターが誤って表示される

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、ファイバーチャネルアップデートコンポーネントです。

16 Gb HBA/メザンユニバーサルブートをアップデートしました。

32 Gb HBAユニバーサルブートをアップデートしました。

8Gb HBA/メザンブートBIOSをアップデートしました。

含まれるもの:

16 Gb HBA/メザンユニバーサルブート 11.2.307.16

16/32 Gb HBAユニバーサルブート11.2.307.16

8 Gb Gen8メザン (LPe1205A) ファームウェア2.03X14

8 Gb スタンドアップファームウェア 2.03x14

8 Gb メザンファームウェア 2.03x14

8 Gb HBA/メザンブートイメージ11.20A7(11.2.241.0 BIOS, 11.2.283.0 UEFI)

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000(16Gb/32Gb)FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアオンラインフラッシュ - Windows 2012/2012 R2/2016 x64

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

ファイル名: cp032470.compsig; cp032470.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulexアダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulexドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、[http://www.hpe.com/servers/spp/download /](http://www.hpe.com/servers/spp/download/) の Service Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

8Gファームウェア:

以下を修正しました。

- 81E、82E、84E、LPe1205a上でトラフィックが高くなるとリンクダウンが発生する

UEFI:

- デバイスブート順序メニューにHPEサーバー上のターゲットが表示されない

16Gファームウェア:

以下を修正しました。

- ダッシュボードおよび静的ネットワークのPCIスロット1にアダプターが誤って表示される

16G/32Gファームウェア:

以下を修正しました。

- ダッシュボードおよび静的ネットワークのPCIスロット1にアダプターが誤って表示される

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、ファイバーチャネルアップデートコンポーネントです。

16 Gb HBA/メザンユニバーサルブートをアップデートしました。

32 Gb HBAユニバーサルブートをアップデートしました。

8Gb HBA/メザンブートBIOSをアップデートしました。

含まれるもの:

16 Gb HBA/メザンユニバーサルブート 11.2.307.16

16/32 Gb HBAユニバーサルブート11.2.307.16

8 Gb Gen8メザン (LPe1205A) ファームウェア2.03x14

8 Gb スタンドアップファームウェア 2.03x14

8 Gb メザンファームウェア 2.03x14

8 Gb HBA/メザンブートイメージ11.20A7(11.2.241.0 BIOS, 11.2.283.0 UEFI)

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザン
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000(16Gb/32Gb)FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPEファームウェアフラッシュ for Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 6.0

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

ファイル名: CP032467.compsig; CP032467.zip

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric Emulex アダプターリリースノート](#)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

8Gファームウェア:

以下を修正しました。

- 81E、82E、84E、LPe1205a上でトラフィックが高くなるとリンクダウンが発生する

UEFI:

- デバイスブート順序メニューにHPEサーバー上のターゲットが表示されない

16Gファームウェア:

以下を修正しました。

- ダッシュボードおよび静的ネットワークのPCIスロット1にアダプターが誤って表示される

16G/32Gファームウェア:

以下を修正しました。

- ダッシュボードおよび静的ネットワークのPCIスロット1にアダプターが誤って表示される

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、ファイバーチャネルアップデートコンポーネントです。

16/32 Gb HBA/メザンユニバーサルブートをアップデートしました

16 Gb HBA/メザンユニバーサルブートをアップデートしました。

8Gb HBA/メザンユニバーサルブートをアップデートしました。

含まれるもの:

16/32 Gb HBA/メザンユニバーサルブート11.2.307.16

16 Gb HBA/メザンユニバーサルブート 11.2.307.16

8Gb スタンドアップ/メザンファームウェア 2.03x14

8 Gbスタンドアップ/メザンユニバーサルブートイメージ11.20a7(11.2.241.0 BIOS、 11.2.283.0 UEFI)

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザン
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000(16Gb/32Gb)FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

ファイル名: CP032433.compsig; CP032433.zip

重要な注意!

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

デプロイメントのためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、[http://www.hpe.com/servers/spp/download /](http://www.hpe.com/servers/spp/download/) のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

8Gbスタンドアップ &8Gbメザニン

BIOS

- コマンドラインプロセッサ(CLP)'set netport'の処理が正しくない
- コマンドラインプロセッサ(CLP)論理ユニット番号(LUN)の表示が不適切

UEFI

- 動作モードのヒューマンインターフェイスインフラストラクチャ(HII)文字列を変更しました。新しい文字列はFastUTIL文字列と一致します。
- 自己証明テスト(SCT)2.4B BlockIO2プロトコルのバグ。
- 自己証明テスト(SCT)2.4B BlockIO2プロトコルのテスト中に応答がない。
- 自己証明テスト(SCT)2.4B AdapterInfoプロトコルのバグ。

16Gbスタンドアップ &16Gbメザニン

UEFI

- ヘルスサマリーページにアダプターが表示されない。
- リンクがダウンしたときはドライバーが無効になったときのヘルスメッセージが無効である。
- ヒューマンインターフェイスインフラストラクチャ(HII)リンク速度フィールドが変更されるとアダプター接続モードが変更される(OSインストールが関連)。

32Gbスタンドアップ &16Gbメザニン

UEFI

- ヘルスサマリーページにアダプターが表示されない。
- リンクがダウンしたときはドライバーが無効になったときのヘルスメッセージが無効である。
- 使用可能なファームウェアを初期段階で起動するためのコードを追加しました。

拡張

8 Gb、16 Gbおよび32 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ3.76.06
 - ファームウェア8.05.00

- UEFI 6.52
- BIOS 3.56
- 16 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ6.01.41
 - ファームウェア 8.05.63
 - UEFI 6.54
 - BIOS 3.43
- 16/32 Gb
 - パッケージ01.70.51
 - ファームウェア8.05.61
 - UEFI 6.36
 - BIOS 3.54

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 6.5用HPEファームウェアフラッシュ

バージョン: 2017.09.01 (**推奨**)

ファイル名: CP032434.compsig; CP032434.zip

重要な注意!

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

デプロイメントのためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、

<http://www.hpe.com/servers/spp/download/> のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

8Gbスタンドアップ &8Gbメザニン

BIOS

- コマンドラインプロセッサ(CLP)'set netport'の処理が正しくない
- コマンドラインプロセッサ(CLP)論理ユニット番号(LUN)の表示が不適切

UEFI

- 動作モードのヒューマンインターフェイスインフラストラクチャ(HII)文字列を変更しました。新しい文字列はFastUTIL文字列と一致します。
- 自己証明テスト(SCT)2.4B BlockIO2プロトコルのバグ。
- 自己証明テスト(SCT)2.4B BlockIO2プロトコルのテスト中に応答がない。
- 自己証明テスト(SCT)2.4B AdapterInfoプロトコルのバグ。

16Gbスタンドアップ &16Gbメザニン

UEFI

- ヘルスサマリーページにアダプターが表示されない。
- リンクがダウンしたときはドライバーが無効になったときのヘルスメッセージが無効である。
- ヒューマンインターフェイスインフラストラクチャ(HII)リンク速度フィールドが変更されるとアダプター接続モードが変更される(OSインストールが関連)。

32Gbスタンドアップ &16Gbメザニン

UEFI

- ヘルスサマリーページにアダプターが表示されない。
- リンクがダウンしたときはドライバーが無効になったときのヘルスメッセージが無効である。
- 使用可能なファームウェアを初期段階で起動するためのコードを追加しました。

拡張

8 Gb、16 Gbおよび32 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ3.76.06
 - ファームウェア8.05.00
 - UEFI 6.52
 - BIOS 3.56
- 16 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ6.01.41
 - ファームウェア 8.05.63
 - UEFI 6.54
 - BIOS 3.43
- 16/32 Gb
 - パッケージ01.70.51
 - ファームウェア8.05.61
 - UEFI 6.36
 - BIOS 3.54

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Linux (x86_64)

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-qlogic-2017.09.01-1.5.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-qlogic-2017.09.01-1.5.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているイネーブルメントキットをインストールする必要があります。

OOBドライバーおよびイネーブルメントキットは、<http://www.hpe.com/servers/spp/download>のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

8Gbスタンドアップ &8Gbメザニン

BIOS

- コマンドラインプロセッサ(CLP)'set netport'の処理が正しくない
- コマンドラインプロセッサ(CLP)論理ユニット番号(LUN)の表示が不適切

UEFI

- 動作モードのヒューマンインターフェイスインフラストラクチャ(HII)文字列を変更しました。新しい文字列はFastUTIL文字列と一致します。
- 自己証明テスト(SCT)2.4B BlockIO2プロトコルのバグ。

- 自己証明テスト(SCT)2.4B BlockIO2プロトコルのテスト中に応答がない。
- 自己証明テスト(SCT)2.4B AdapterInfoプロトコルのバグ。

16Gbスタンドアップ &16Gbメザニン

UEFI

- ヘルスサマリーページにアダプターが表示されない。
- リンクがダウンしたときはドライバーが無効になったときのヘルスメッセージが無効である。
- ヒューマンインターフェイスインフラストラクチャ(HII)リンク速度フィールドが変更されるとアダプター接続モードが変更される(OSインストールが関連)。

32Gbスタンドアップ &16Gbメザニン

UEFI

- ヘルスサマリーページにアダプターが表示されない。
- リンクがダウンしたときはドライバーが無効になったときのヘルスメッセージが無効である。
- 使用可能なファームウェアを初期段階で起動するためのコードを追加しました。

拡張

8 Gb、16 Gbおよび32 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ3.76.06
 - ファームウェア8.05.00
 - UEFI 6.52
 - BIOS 3.56
- 16 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ6.01.41
 - ファームウェア 8.05.63
 - UEFI 6.54
 - BIOS 3.43
- 16/32 Gb
 - パッケージ01.70.51
 - ファームウェア8.05.61
 - UEFI 6.36
 - BIOS 3.54

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアオンラインフラッシュ - Windows 2012/2012R2/2016 (x64)

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

ファイル名: cp032435.compsig; cp032435.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

OOBドライバーは、<http://www.hpe.com/servers/spp/download>のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

8Gbスタンドアップ &8Gbメザニン

BIOS

- コマンドラインプロセッサ(CLP)'set netport'の処理が正しくない
- コマンドラインプロセッサ(CLP)論理ユニット番号(LUN)の表示が不適切

UEFI

- 動作モードのヒューマンインターフェイスインフラストラクチャ(HII)文字列を変更しました。新しい文字列はFastUTIL文字列と一致します。
- 自己証明テスト(SCT)2.4B BlockIO2プロトコルのバグ。
- 自己証明テスト(SCT)2.4B BlockIO2プロトコルのテスト中に応答がない。
- 自己証明テスト(SCT)2.4B AdapterInfoプロトコルのバグ。

16Gbスタンドアップ &16Gbメザニン

UEFI

- ヘルスサマリーページにアダプターが表示されない。
- リンクがダウンしたときはドライバーが無効になったときのヘルスメッセージが無効である。
- ヒューマンインターフェイスインフラストラクチャ(HII)リンク速度フィールドが変更されるとアダプター接続モードが変更される(OSインストールが関連)。

32Gbスタンドアップ &16Gbメザニン

UEFI

- ヘルスサマリーページにアダプターが表示されない。
- リンクがダウンしたときはドライバーが無効になったときのヘルスメッセージが無効である。
- 使用可能なファームウェアを初期段階で起動するためのコードを追加しました。

拡張

8 Gb、16 Gbおよび32 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ3.76.06
 - ファームウェア8.05.00
 - UEFI 6.52
 - BIOS 3.56
- 16 Gb HBA/メザニン
 - パッケージ6.01.41
 - ファームウェア 8.05.63
 - UEFI 6.54
 - BIOS 3.43
- 16/32 Gb
 - パッケージ01.70.51
 - ファームウェア8.05.61
 - UEFI 6.36
 - BIOS 3.54

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

ファームウェア - ストレージテープ

[先頭](#)

HPE StoreEverテープファームウェア for Microsoft Windows

バージョン: 4.2.0.0 (オプション)

ファイル名: cp031432.exe

修正

以下にリストされるファームウェアリビジョンで、次の問題を解決済み。

StoreEver LTO-6 Ultrium 6250 SASテープドライブ

ドライブファームウェアバージョン35GD

Supersedes 35BD

- サポートされないまたはLTO-4 WORMメディアがロードされると、ドライブが間違っ

StoreEver LTO-6 Ultrium 6650 SASテープドライブ

ドライブファームウェアバージョンO5ID

Supersedes O5DD

- サポートされないまたはLTO-4 WORMメディアがロードされると、ドライブが間違っ

拡張

以下の機能強化は、次のファームウェアリビジョンおよびデバイスに対してのみ適用されます。

StoreEver LTO-6 Ultrium 6250 SASテープドライブ

ドライブファームウェアバージョン35GD

Supersedes 35BD

- 内蔵ドライブロギングを強化することによりサポート性を改善しました。

StoreEver LTO-6 Ultrium 6650 SASテープドライブ

ドライブファームウェアバージョンO5ID

Supersedes O5DD

- 内蔵ドライブロギングを強化することによりサポート性を改善しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージに含まれているサポートされるテープドライブおよびファームウェアリビジョン

テープドライブ	ファームウェアリビジョン
HP DAT 72 USB	ZUD4
HP DAT160 USB	WU8B
HP DAT160 SAS	WSB8
HP DAT320 USB	VUA8
HP DAT320 SAS	VSA6
HP Ultrium 232 SCSI	P61D
HP Ultrium 448 SCSI	S65D

HP Ultrium 448 SAS T65D
HP Ultrium 460 SCSI F63D
HP Ultrium 920 SCSI D26D
HP Ultrium 920 SAS C26D
HP Ultrium 920 SAS Q51D
HP Ultrium 960 SCSI G66D
HP Ultrium 1760 SAS U64D
HP Ultrium 1760 SCSI W62D
HP Ultrium 1840 SAS A63D
HP Ultrium 1840 SCSI B63D
HP Ultrium 3000 SAS Z6ED
HP Ultrium 3280 SAS X6ED
HP Ultrium 6250 SAS 35GD
HP Ultrium 6650 SAS O5ID

ファームウェア - スイッチ

[先頭](#)

Synergy 10/20 Gb インターコネクトリンクモジュールファームウェア

バージョン: 1.08 (推奨)

ファイル名: icmlm_package.xml; icmlm_r108.pkg; InstallNote.sh

拡張

この製品には、以下のファームウェアバージョンが含まれています:

- 10 Gb インターコネクトリンクモジュール バージョン 1.08
- 20 Gb インターコネクトリンクモジュール バージョン 1.08

Synergy 10Gb Pass-Thru モジュール

バージョン: 1.08 (推奨)

ファイル名: icmpt_package.xml; icmpt_r108.pkg; InstallNote.sh

修正

リリースノート参照

Synergy用バーチャルコネクト SE 16Gb FC モジュール

バージョン: 1.05.24 (推奨)

ファイル名: icmvc16gbfc_compatible.xml; pininstall.sh; v7.4.0_CBN3_GA_Release_Notes.docx; vcfc2.img

修正

ERRATA_README.txtファイルを参照してください。

ファームウェア - システム

[先頭](#)

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10 NVMeバックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.20 (オプション)

ファイル名: cp032700.compsig; cp032700.exe

重要な注意!

注記:このコンポーネントを実行してNVMe Backplane PICファームウェアをアップデートしたら、iLOのファームウェア情報ページ上に新しいNVMe Backplane PICファームウェアバージョンを表示するために、サーバーの再起動が必要です。

事前要件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

拡張

次のGen10サーバーのサポートを追加しました。

- HPE ProLiant XL190r Gen10サーバー
- HPE ProLiant XL170r Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL180 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL160 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL580 Gen10サーバー
- HPE ProLiant ML350 Gen10サーバー
- HPE ProLiant XL450 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL120 Gen10サーバー

Linux用オンラインフラッシュコンポーネント - Gen10 NVMeバックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.20 (B) (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-nvmebackplane-gen10-1.20-2.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-nvmebackplane-gen10-1.20-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

注:このコンポーネントを実行してNVMe Backplane PICファームウェアをアップデートしたら、iLOのファームウェア情報ページ上に新しいNVMe Backplane PICファームウェアバージョンを表示するために、サーバーの再起動が必要です。

拡張

次のGen10サーバーのサポートを追加しました。

- HPE ProLiant XL190r Gen10サーバー
- HPE ProLiant XL170r Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL180 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL160 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL580 Gen10サーバー
- HPE ProLiant ML350 Gen10サーバー
- HPE ProLiant XL450 Gen10サーバー
- HPE ProLiant DL120 Gen10サーバー

ソフトウェア - Lights-Outマネジメント

[先頭](#)

HP Lights-Outオンライン設定ユーティリティ for Linux (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.0.0-0 (オプション)

ファイル名: hponcfg-5.0.0-0.x86_64.compsig; hponcfg-5.0.0-0.x86_64.rpm

事前要件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 5ファームウェアバージョン1.10以降

マネジメントインターフェイスドライバーおよびマネジメントエージェントはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

iLO 5の場合は、上記のパッケージに加え、openssl v1.0.x以降が必要です。

opensslを手動でコンパイルおよびインストールしたり、意図的に/usr/bin/opensslに再配置している場合は、PATH環境変数を設定し、正しい/意図したopensslにHPONCFGをダイレクトする必要があります。

拡張

- iLO 5のサポートを開始しました。
- iLOがいずれかの高セキュリティ状態に設定された場合、HPONCFGで高セキュリティ状態が有効になります。
- iLOが高セキュリティ状態の場合は、-uおよび-pコマンドライン引数を使用します。

注:コマンドライン ユーザー名およびパスワードは、スクリプトファイルに上書きされます。

HP Lights-Outオンライン設定ユーティリティ for Linux (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.1.0-0 (推奨)

ファイル名: hponcfg-5.1.0-0.x86_64.compsig; hponcfg-5.1.0-0.x86_64.rpm

事前要件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 5ファームウェアバージョン1.10以降

マネジメントインターフェイスドライバーおよびマネジメントエージェントはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

iLO 5の場合は、上記のパッケージに加え、openssl v1.0.x以降が必要です。

opensslを手動でコンパイルおよびインストールしたり、意図的に/usr/bin/opensslに再配置している場合は、PATH環境変数を設定し、正しい/意図したopensslにHPONCFGをダイレクトする必要があります。

拡張

iLO 5 v1.15のサポートを開始しました。

HP Lights-Outオンライン構成ユーティリティ for Windows x64 Editions

バージョン: 5.1.0.0 (オプション)

ファイル名: cp033261.compsig; cp033261.exe

事前要件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 2ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降

マネジメントインターフェイスドライバーはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

HPONCFG GUIを起動するために、Microsoft .Net Framework 2.0以降が必要です。

PFAサーバーレジストリアップデート for Windows Server 2016

バージョン: 1.5.0.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp030640.exe

拡張

現在、この改訂は、iLO 4マネージメントコントローラーをサポートするサーバーのみにインストールされます。

Window Server 2012 R2 および Server 2012 R2向けPFAサーバーレジストリアップデート

バージョン: 1.0.0.0 (H) (オプション)

ファイル名: cp030441.exe

拡張

現在、この改訂は、iLO 4マネージメントコントローラーをサポートするサーバーのみにインストールされます。

ソフトウェア - マネジメント

[先頭](#)

HPE SDK Pythonモジュール

バージョン: 2.0.0 (オプション)

ファイル名: python-ilorest-library-2.0.0.zip

拡張

Gen10サーバーのサポート。

ソフトウェア - ネットワーク

[先頭](#)

HPE Intel esx-provider for VMware

バージョン: 2017.09.25 (オプション)

ファイル名: cp032726.compsig; cp032726.zip

ドライバー名およびバージョン:

intelcim-provider:0.5-3.3

拡張

この製品は、Active Health Systemに情報をもたらすようにアップデートされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361FLB アダプター

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361T アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLR アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLB アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 561T アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE ProLiant Converged Network Utility for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.3.1 (オプション)

ファイル名: cp030269.exe

拡張

この製品は、Windows Server 2016をサポートします。

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530T ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート557SFP+アダプター
- HPE Ethernet 4x25Gb 1ポート 620QSFP28 アダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C Ethernet アダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター

この製品は現在、以下のネットワークアダプターについて、 Fibre-Channel over Ethernet N-port ID Virtualization (FCoE NPIV) 構成を提供しています。

- HP Flex-10 10Gb 2ポート 530Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 630Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2ポート 2820C コンバージドネットワークアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプター

この製品は現在、IPv4 Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)を完全にサポートしてます。

この製品は現在、 OneView 検出メカニズムを提供しています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Flex-10 10Gb 2-port 530Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 530T ネットワークアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534FLR-SFP+アダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4-port 536FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLBアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 557SFP+アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 4-port 620SFP28アダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 630Mアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1100R-T Dual Port Converged Network Adapter
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE Synergy 10Gb 2820C Ethernetアダプター
- HPE Synergy 3820C 10/20Gb Converged Network Adapter

HPE ProLiantネットワークアダプター for Linux x86_64用Broadcom Active Health System エージェント

バージョン: 1.0.20-1 (オプション)

ファイル名: hp-tg3sd-1.0.20-1.x86_64.rpm; hp-tg3sd-1.0.20-1.x86_64.txt

修正

この製品は、tg3sdデーモンがprnインストール後に開始されなければならない問題に対処しています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のBroadcomネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(182D)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(3372)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(2133)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE ProLiantネットワークアダプター for Linux x86_64用Intel Active Health System エージェント

バージョン: 1.1.83.0-1 (オプション)

ファイル名: hp-ocsbbd-1.1.83.0-1.x86_64.compsig; hp-ocsbbd-1.1.83.0-1.x86_64.rpm; hp-ocsbbd-1.1.83.0-1.x86_64.txt

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9をサポートします。

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3をサポートします。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2をサポートしています。

この製品は、ハードウェアモニタリング(hwmon)APIの累積変更に対し央してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のIntel ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2-port 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 364i アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366M アダプター
- HP Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561FLR-Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 561Tアダプター

ソフトウェア - ストレージコントローラー

[先頭](#)

64-bit Windows Server Editions用HPE ProLiant Smartアレイ SAS/SATA Event Notification Service

バージョン: 6.46.0.64 (C) (オプション)

ファイル名: cp032820.exe

修正

機能上の変更はありません。

SHA256署名をcissesrv.exeに追加しました

Windows Server 64ビットEditions向けHPE SmartアレイSRイベント通知サービス

バージョン: 1.0.0.64 (A) (推奨)

ファイル名: cp032821.compsig; cp032821.exe

修正

機能上の変更はありません。

HPEPQIESRV.exeファイルにSHA256署名を追加しました

ソフトウェア - ストレージファイバーチャネル

[先頭](#)

VMware vSphere 6.0用のEmulexファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

ファイル名: cp032473.compsig; cp032473.zip

ドライバー名およびバージョン:

lpfc:11.2.266.0-10EM.600.0.0.2768847

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsddepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

次の問題を解決します:

- LUN上でExpressLaneを有効にすると、LUNにアクセスできなくなる

拡張

ドライバーバージョン11.2.266.0

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000(16Gb/32Gb)FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

VMware vSphere 6.0用のQLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

ファイル名: cp032431.compsig; cp032431.zip

ドライバー名およびバージョン:

qlnativefc:2.1.57.1-1OEM.600.0.0.2768847

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

このドライバーバージョンでは、以下が解決しました。

- 複数のスキャッター収集要素の可能性を考慮していなかった照会応答のスヌーピング。

拡張

ドライバーバージョン2.1.57.1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 6.0用Emulex(RCM)Fibre Channel Over Ethernetドライバーコンポーネント

バージョン: 2017.09.01 (**推奨**)

ファイル名: cp032458.compsig; cp032458.zip

ドライバー名およびバージョン:

brcmfcoe:11.2.1213.0-10EM.600.0.0.2768847

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vib depot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- esxcfg-scsidevs -aで2つのiSCSIイニシエーターに対して同じIQN名が表示されるという予想外の動作を解決しました。
- 650FLBと650Mでカード読み込みのデフォルトが反映されないという予想外の動作を解決しました。

拡張

ドライバーバージョンを11.2.1213.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 シリーズ:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

VMware vSphere 6.5用のEmulexファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

ファイル名: cp032474.compsig; cp032474.zip

ドライバー名およびバージョン:

lpfc:11.2.266.0-1OEM.650.0.0.4598673

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibspot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

次の問題を解決します:

- LUN上でExpressLaneを有効にすると、LUNにアクセスできなくなる

拡張

ドライバーバージョン11.2.266.0

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP LPe1205A 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

- HP StoreFabric 84E 4-portファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000(16Gb/32Gb)FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

VMware vSphere 6.5用のQLogicファイバーチャネルドライバコンポーネント

バージョン: 2017.09.01 (**推奨**)

ファイル名: cp032432.compsig; cp032432.zip

ドライバ名およびバージョン:

qlnativefc:2.1.57.1-10EM.600.0.0.2768847

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

このドライババージョンでは、以下が解決しました。

- 複数のスキャッター収集要素の可能性を考慮していなかった照会応答のスヌーピング。

拡張

ドライババージョン2.1.57.1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 6.5用Emulex(BRCM)Fibre Channel over Ethernetドライバーコンポーネント

バージョン: 2017.09.01 (推奨)

ファイル名: cp032459.compsig; cp032459.zip

ドライバー名およびバージョン:

brcmfcoe:11.2.1213.0-10EM.650.0.0.4240417

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibstdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび Converged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更の詳細については、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをおすすめします。

ガイドを入手するには:

1. 次にアクセスします: <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- esxcfg-scsidevs -aで2つのiSCSIイニシエーターに対して同じIQN名が表示されるという予想外の動作を解決しました。
- 650FLBと650Mでカード読み込みのデフォルトが反映されないという予想外の動作を解決しました。

拡張

ドライバーバージョンを11.2.1213.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 シリーズ:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650Mアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

ソフトウェア - ストレージファイバーチャネルHBA

[先頭](#)

Fibreutils for HPE Storageファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux(x86_64)

バージョン: 3.3-5 (オプション)

ファイル名: fibreutils-3.3-5.x86_64.compsig; fibreutils-3.3-5.x86_64.rpm

事前要件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります:glibc libgcc libstdc++ bash perl

拡張

一般的なアップデート。

HPE Emulex Smart SAN イネーブルメントキット(Linux)

バージョン: 1.0.0.0-4 (オプション)

ファイル名: hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.compsig; hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.rpm

重要な注意！

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください：

[Storage Information Library](#)

(<http://www.hpe.com/info/storage/docs/>)

デフォルトでは、 **HP 3PAR Storage** が選択されます

製品およびソリューション

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください：

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネル ドライバーをインストールしなければなりません。 ドライバーは、HPE.comのウェブサイト www.hpe.com で利用できます。

Linux FCドライバーキットfor HPE Branded Emulex FC HBAおよびメザニンカード、バージョン11.1.183.21、for RedHat 6、RedHat 7、Novell SUSE 11およびSUSE 12

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

以下のデバイスへのサポートを追加しました。

- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-Portファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000 (16Gb/32Gb) FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA

- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPE Emulex Smart SAN イネーブルメントキット(Windows 64 ビットオペレーティングシステム)

バージョン: 1.0.0.1 (e) (オプション)

ファイル名: cp031443.compsig; cp031443.exe

重要な注意!

オペレーティング システムに受信トレイ ファイバー チャネル ドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。ボックス (OOB) ファイバー チャネルドライバー以外では、Smart SAN 機能を利用する必要があります。OOB ドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN 機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件参照)、再起動後に有効になります。

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください:

[Storage Information Library](#)

(<http://www.hpe.com/info/storage/docs/>)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が選択されます

製品およびソリューション

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネル ドライバーをインストールしなければなりません。 ドライバーは、HPE.comのウェブサイト www.hpe.com で利用できます。

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーv11.1.145.16
cp030886.exe

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

以下のデバイスへのサポートを追加しました。

- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric 84E 4-Portファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1000E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP ファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン
- HP SN1100E 16Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP SN1100E 16Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3530C 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

LPe31000/32000 (16Gb/32Gb) FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1P FC HBA

HPE QLogic Smart SAN イネーブルメントキット (Windows) 64 ビットオペレーティングシステム

バージョン: 1.0.0.1 (d) (オプション)

ファイル名: cp031440.compsig; cp031440.exe

重要な注意!

オペレーティング システムに受信トレイ ファイバーチャネル ドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。ボックス (OOB) ファイバーチャネルドライバ以外では、Smart SAN 機能を利用する必要があります。OOB ドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN 機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件参照)、再起動後に有効になります。

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください:

[Storage Information Library](#)

(<http://www.hpe.com/info/storage/docs/>)

デフォルトでは、 **HP 3PAR Storage** が選択されます

製品およびソリューション

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネル ドライバーをインストールしなければなりません。 ドライバーは、HPE.comのウェブサイト www.hpe.com で利用できます。

- x64 QLogic Storport Driver v9.2.2.20用HPE Storage Fibre Channelアダプターキット、cp031252.exe
- QLogic Storport Driver for Windows Server 2012および2012 R2 v9.2.2.20用HPE Storage Fibre Channelアダプターキット、cp031253.exe
- HPE Storage Fibre Channelアダプターキット for QLogic Storportドライバー for Windows Server 2016 v9.2.2.20、cp031251.exe

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

以下のデバイスのサポートを追加しました。

- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic Smart SAN イネーブルメントキット(Linux)

バージョン: 3.3-3 (オプション)

ファイル名: hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.compsig; hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.rpm

重要な注意!

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください:

[Storage Information Library](#)

(<http://www.hpe.com/info/storage/docs/>)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が選択されます

製品およびソリューション

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。ドライバーは、HPE.comのウェブサイト www.hpe.comで利用できます。

- Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64) FCoE/FCドライバーキットfor HPE Qlogic CNA、HBAおよびメザニンHBA、バージョン8.07.00.42.06.0-k1
- Red Hat Enterprise Linux 7 Server FCoE/FCドライバーキットfor HPE QLogic CNA、HBAおよびメザニンHBAおよびCNAバージョン8.07.00.42.07.0-k1
- SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) FCoE/FCドライバーキットfor HPE Qlogic CNA、HBAおよびメザニンHBA、バージョン8.07.00.42.11.3-k
- SUSE Linux Enterprise Server 12 FCoE/FCドライバーキットfor HPE QLogic CNA、HBAおよびメザニンHBAおよびCNAバージョン 8.07.00.42.12.0-k1

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

以下のデバイスのサポートを追加しました。

- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファイバーチャネルイネーブルメントキット for Red Hat Enterprise Linux 6 Server - Emulex

バージョン: 11.2.307.3 (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.307.3-1.rhel6.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Emulex-

重要な注意！

Release Notes:

[HPE StoreFabric Emulex Adapters Release Notes](#)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

事前要件

The target environment must have the libHBAAPI Package installed prior to the installation of the enablement kit. (If not already present, the libHBAAPI Package can be obtained from the operating system installation media.)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

拡張

バージョン11.2.307.3にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIe Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIe Fibre Channel Host Bus Adapter

- HP LPe1205A 8Gb Fibre Channel Host Bus Adapter for BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-Port Fibre Channel Host Bus Adapter

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP SN1000E 16Gb Single Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP SN1100E 16Gb Dual Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP SN1100E 16Gb Single Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP Fibre Channel 16Gb LPe1605 Mezz
- HPE Synergy 3530C 16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter

LPe31000/32000 (16Gb/32Gb) FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2p FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1p FC HBA

HPEファイバーチャネルイネーブルメントキット for Red Hat Enterprise Linux 7 Server - Emulex

バージョン: 11.2.307.3 (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.307.3-1.rhel7.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.307.3-1.rhel7.x86_64.rpm

重要な注意!

Release Notes:

[HPE StoreFabric Emulex Adapters Release Notes](#)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

事前要件

The target environment must have the libHBAAPI Package installed prior to the installation of the enablement kit. (If not already present, the libHBAAPI Package can be obtained from the operating system installation media.)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

拡張

バージョン11.2.307.3にアップデートしました

Rhel7u4のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIe Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIe Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP LPe1205A 8Gb Fibre Channel Host Bus Adapter for BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-Port Fibre Channel Host Bus Adapter

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP SN1000E 16Gb Single Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP SN1100E 16Gb Dual Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP SN1100E 16Gb Single Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP Fibre Channel 16Gb LPe1605 Mezz
- HPE Synergy 3530C 16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter

LPe31000/32000 (16Gb/32Gb) FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2p FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1p FC HBA

HPEファイバーチャネルイネーブルメントキット for SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) - Emulex

バージョン: 11.2.307.3 (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.307.3-1.sles11sp3.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.307.3-1.sles11sp3.x86_64.rpm; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.307.3-1.sles11sp4.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.307.3-1.sles11sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

Release Notes:

[HPE StoreFabric Adapters Release Notes](#)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

事前要件

The target environment must have the libHBAAPI Package installed prior to the installation of the enablement kit. (If not already present, the libHBAAPI Package can be obtained from the operating system installation media.)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

拡張

バージョン11.2.307.3にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIe Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIe Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP LPe1205A 8Gb Fibre Channel Host Bus Adapter for BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-Port Fibre Channel Host Bus Adapter

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP SN1000E 16Gb Single Port Fibre Channel Host Bus Adapter

- HP SN1100E 16Gb Dual Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP SN1100E 16Gb Single Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP Fibre Channel 16Gb LPe1605 Mezz
- HPE Synergy 3530C 16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter

LPe31000/32000 (16Gb/32Gb) FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2p FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1p FC HBA

HPEファイバーチャネルイネーブルメントキット for SUSE Linux Enterprise Server 12 - Emulex

バージョン: 11.2.254.6 (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.254.6-1.sles12sp1.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.254.6-1.sles12sp1.x86_64.rpm; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.254.6-1.sles12sp2.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.254.6-1.sles12sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

Release Notes:

[HPE StoreFabric Emulex Adapters Release Notes](#)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

事前要件

The target environment must have the libHBAAPI Package installed prior to the installation of the enablement kit. (If not already present, the libHBAAPI Package can be obtained from the operating system installation media.)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>

2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

拡張

バージョン11.2.254.6にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIe Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIe Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP LPe1205A 8Gb Fibre Channel Host Bus Adapter for BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-Port Fibre Channel Host Bus Adapter

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP SN1000E 16Gb Single Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP SN1100E 16Gb Dual Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP SN1100E 16Gb Single Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP Fibre Channel 16Gb LPe1605 Mezz
- HPE Synergy 3530C 16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter

LPe31000/32000 (16Gb/32Gb) FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2p FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1p FC HBA

HPEファイバーチャネルイネーブルメントキット for SUSE Linux Enterprise Server 12 - Emulex

バージョン: 11.2.307.3 (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.307.3-1.sles12sp2.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.307.3-1.sles12sp2.x86_64.rpm; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.307.3-1.sles12sp3.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-11.2.307.3-1.sles12sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

Release Notes:

[HPE StoreFabric Emulex Adapters Release Notes](#)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

事前要件

The target environment must have the libHBAAPI Package installed prior to the installation of the enablement kit. (If not already present, the libHBAAPI Package can be obtained from the operating system installation media.)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

拡張

バージョン11.2.307.3にアップデートしました

Sles12sp3のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

8Gb FC:

- HP 81E 8Gb Single Port PCIe Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP 82E 8Gb Dual Port PCIe Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP LPe1205A 8Gb Fibre Channel Host Bus Adapter for BladeSystem c-Class
- HP StoreFabric 84E 4-Port Fibre Channel Host Bus Adapter

LPe16000 (16Gb) FC:

- HP SN1000E 16Gb Dual Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP SN1000E 16Gb Single Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP SN1100E 16Gb Dual Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP SN1100E 16Gb Single Port Fibre Channel Host Bus Adapter
- HPE StoreFabric SN1100E 4P 16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter
- HP Fibre Channel 16Gb LPe1605 Mezz
- HPE Synergy 3530C 16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter

LPe31000/32000 (16Gb/32Gb) FC:

- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 2P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1200E 16Gb 1P FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 2p FC HBA
- HPE StoreFabric SN1600E 32Gb 1p FC HBA

HPEファイバーチャネルEnablementキット for Linux - QLogic

バージョン: 6.0.0.0-4 (b) (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-4.noarch.compsig; HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-4.noarch.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

バージョン6.0.0.0-4にキットをアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのインーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファイバーチャネルEnablementキット for Linux - QLogic

バージョン: 6.0.0.0-4 (c) (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-4.noarch.compsig; HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-4.noarch.rpm

重要な注意！

リリースノート:

[HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

バージョン6.0.0.0-4にキットをアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター for BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16G ファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 6 Server - Emulex(BRCM)用HPE Fibre Channel Over Ethernet イネーブルメントキット

バージョン: 11.2.1263.2 (**推奨**)

ファイル名: HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1263.2-1.rhel6.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1263.2-1.rhel6.x86_64.rpm

重要な注意！

Release Notes:

[HPE StoreFabric Emulex Adapters Release Notes](#)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

事前要件

The target environment must have the libHBAAPI Package installed prior to the installation of the enablement kit. (If not already present, the libHBAAPI Package can be obtained from the operating system installation media.)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

拡張

アップデートしたバージョン: 11.2.1263.2

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 Series:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLB Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650M Adapter
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+ Adapter
- HPE StoreFabric CN1200E-T Adapter
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-T Adapter

Red Hat Enterprise Linux 7 Server - Emulex(BRCM)用HPE Fibre Channel Over Ethernet イネーブルメントキット

バージョン: 11.2.1263.2 (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1263.2-1.rhel7.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1263.2-1.rhel7.x86_64.rpm

重要な注意！

Release Notes:

[HPE StoreFabric Emulex Adapters Release Notes](#)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

事前要件

The target environment must have the libHBAAPI Package installed prior to the installation of the enablement kit. (If not already present, the libHBAAPI Package can be obtained from the operating system installation media.)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

拡張

アップデートしたバージョン: 11.2.1263.2

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 Series:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLB Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650M Adapter

- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+ Adapter
- HPE StoreFabric CN1200E-T Adapter
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-T Adapter

SUSE Linux Enterprise Server 11(AMD64/EM64T)用HPE Fibre Channel Over Ethernet インストールキット - Emulex(BRCM)

バージョン: 11.2.1263.2 (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1263.2-1.sles11sp3.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1263.2-1.sles11sp3.x86_64.rpm; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1263.2-1.sles11sp4.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1263.2-1.sles11sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

Release Notes:

[HPE StoreFabric Adapters Release Notes](#)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

事前要件

The target environment must have the libHBAAPI Package installed prior to the installation of the enablement kit. (If not already present, the libHBAAPI Package can be obtained from the operating system installation media.)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

拡張

アップデートしたバージョン: 11.2.1263.2

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 Series:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLB Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650M Adapter
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+ Adapter
- HPE StoreFabric CN1200E-T Adapter
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-T Adapter

SUSE Linux Enterprise Server 12- Emulex(BRCM)用HPE Fibre Channel Over Ethernet Enablement Kit

バージョン: 11.2.1224.0 (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1224.0-1.sles12sp1.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1224.0-1.sles12sp1.x86_64.rpm; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1224.0-1.sles12sp2.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1224.0-1.sles12sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

Release Notes:

[HPE StoreFabric Emulex Adapters Release Notes](#)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

事前要件

The target environment must have the libHBAAPI Package installed prior to the installation of the enablement kit. (If not already present, the libHBAAPI Package can be obtained from the operating system installation media.)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

拡張

FCoE単独の最初のイネーブルメントキット バージョン11.2.1185.0

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 Series:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLB Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650M Adapter
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+ Adapter
- HPE StoreFabric CN1200E-T Adapter
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-T Adapter

SUSE Linux Enterprise Server 12- Emulex(BRCM)用HPE Fibre Channel Over Ethernet Enablement Kit

バージョン: 11.2.1263.2 (推奨)

ファイル名: HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1263.2-1.sles12sp2.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1263.2-1.sles12sp2.x86_64.rpm; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1263.2-1.sles12sp3.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-11.2.1263.2-1.sles12sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

Release Notes:

[HPE StoreFabric Emulex Adapters Release Notes](#)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>

2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

事前要件

The target environment must have the libHBAAPI Package installed prior to the installation of the enablement kit. (If not already present, the libHBAAPI Package can be obtained from the operating system installation media.)

Beginning with software release 11.2, Fibre Channel (LightPulse) adapters and Converged Network adapters (OneConnect) have independent software kits.

It is highly recommended that you review the Broadcom Software Kit Migration User Guide for more detailed information regarding this change.

To obtain the guide:

1. Go to <http://www.hpe.com/support/manuals>
2. Using the HPE model number as your guide, enter the adapter model number in the Search products box, and then click >>.

This document provides special instructions and considerations for using the driver kits for FC and CNA adapters.

Special cases include those in which pre-11.2 (original) drivers and applications are replaced by the new 11.2 drivers and applications, and cases in which inbox drivers are replaced by the new 11.2 out-of-box (OOB) drivers.

拡張

アップデートしたバージョン: 11.2.1263.2

Sles12sp3のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

XE100 Series:

- HP StoreFabric CN1200E Dual Port Converged Network Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650FLB Adapter
- HP FlexFabric 20Gb 2-port 650M Adapter
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+ Adapter
- HPE StoreFabric CN1200E-T Adapter
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-T Adapter

ソフトウェア - システムマネジメント

[先頭](#)

インテグレートドマネジメントログビューアー for Windows Server x64 Editions

バージョン: 7.8.0.0 (オプション)

ファイル名: cp029435.exe

重要な注意!

バージョン7.0.0.0以降、このアプリケーションは、iLO2、iLO3、またはiLO4マネジメントコントローラーをサポートするHP ProLiantシステムにのみインストールします。仮想マシンへのインストールはサポートされなくなりました。

バージョン6.5.0.0以降、このアプリケーションは、Windowsユーザーアカウント制御により、管理者権限が必要です。

このアプリケーションの6.2.0.0は、Windows Server 2003 x64 Editionでインストールをサポートする最後のバージョンです。

バージョン6.0.0.0から、HP ProLiantリモートモニターサービスおよびHP ProLiantリモートIMLサービスの依存性を削除しました。このアプリケーションは、リモートシステム上でのインテグレートドマネジメントログへのアクセスを提供しなくなりました。

バージョン5.22.0.0以降から、このアプリケーションを32ビットと64ビットに分割したリリースが利用可能になりました。バージョン5.21.0.0以前にダウングレードする場合は、以前の32ビットバージョンをインストールする前に、Windowsのプログラムの追加と削除を使用して64ビットリリースをアンインストールしてください。

拡張

Windows Server 2016のサポートを追加しました。

Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 6 Server

バージョン: 1.1.0 (オプション)

ファイル名: amsd-1.1.0-2576.21.rhel6.x86_64.compsig; amsd-1.1.0-2576.21.rhel6.x86_64.rpm

修正

以下を修正しました。

- IPV6アドレスの処理を改善しました
- SATAドライブの温度の処理を改善しました

Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 1.1.0 (オプション)

ファイル名: amsd-1.1.0-2576.20.rhel7.x86_64.compsig; amsd-1.1.0-2576.20.rhel7.x86_64.rpm

修正

以下を修正しました。

- IPV6アドレスの処理を改善しました
- RHEL 7.4のサポートをアップデートしました
- SATAドライブの温度の処理を改善しました

Agentless Management Service (iLO 5) for SUSE Linux Enterprise Server 11

バージョン: 1.1.0 (オプション)

ファイル名: amsd-1.1.0-2576.23.sles11.x86_64.compsig; amsd-1.1.0-2576.23.sles11.x86_64.rpm

修正

以下を修正しました。

- IPV6アドレスの処理を改善しました
- SATAドライブの温度の処理を改善しました

Agentless Management Service (iLO 5) for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 1.1.0 (オプション)

ファイル名: amsd-1.1.0-2576.20.sles12.x86_64.compsig; amsd-1.1.0-2576.20.sles12.x86_64.rpm

修正

以下を修正しました。

- IPV6アドレスの処理を改善しました
- SLES12 SP3 をサポートします
- SATAドライブの温度の処理を改善しました

Agentless Managementサービス for Windows X64

バージョン: 1.15.0.0 (オプション)

ファイル名: cp032256.compsig; cp032256.exe

修正

1. FC/FCoEポートが接続されていないときに、ネットワーク全体およびコントローラーのステータスがiLO GUIに劣化状態と表示されることはなくなりました。
2. サービスがNVMeドライブを備えたシステムで起動した後、AMSが断続的に終了することはなくなりました。
3. KB2919355を含まないWindows Server 2012 R2のシステムでAMSが終了することはなくなりました。

拡張

1. AMSはデフォルトデータポーリング間隔を30秒から2分に拡張し、この結果、CPU使用率の増加は少なくなります。

HPE Apollo、ProLiantおよびSynergy Gen9サーバーのHPE ProLiant Agentless Managementサービス

バージョン: 10.75.0.0 (オプション)

ファイル名: cp032257.exe

事前要件

このコンポーネントの前に *HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows X64*(バージョン 3.4.0.0以降)をインストールする必要があります。

修正

1. FC/FCoEポートが接続されていないときに、ネットワーク全体およびコントローラーのステータスがiLO GUIに劣化状態と表示されることはなくなりました。
2. サービスがNVMeドライブを備えたシステムで起動した後、AMSが断続的に終了することはなくなりました。

3. KB2919355を含まないWindows Server 2012 R2のシステムでAMSが終了することはなくなりました。

拡張

1. AMSはデフォルトデータポーリング間隔を30秒から2分に拡張し、この結果、CPU使用率の増加は少なくなります。

HPE Insight Management WBEM Provider for Windows Server x64 Edition

バージョン: 10.65.0.0 (オプション)

ファイル名: cp031895.exe

重要な注意!

バージョン10.65.0.0がGen9サーバーをサポートする最後のHPE Insight Management WBEM Providersリリースです。HPE Insight Management WBEM Providers 10.65.0.0がGen10 SPPで利用できますが、Gen 9サーバーのみをサポートします。

事前要件

HPE Insight Management WBEM ProviderはHPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface とManagement Controller Drivers (バージョン3.4.0.0以降) for Windows X64がこのコンポーネントに予めインストールされていることを要求します。

また、シングル サーバーWebベースユーザーインターフェイスのためにSystem Management Homepage (SMH) コンポーネント (バージョン7.2.2.9以降) が必要です。

修正

なし

拡張

1. SHA-256のデジタル署名をWBEM プロバイダー MSI ファイルに、それに含まれているすベネオバイナリーファイルと同様に適用しました。
2. Windowsのリモートレジストリサービスを使用不可にしてシステムへのインストレーションの進行を許可しました。

HPE Insightマネジメントエージェント for Windows Server x64 Edition

バージョン: 10.70.0.0 (オプション)

ファイル名: cp031262.exe

事前要件

HPE Insightマネジメントエージェントでは、このコンポーネントの前にWindows x64用のSNMPサービス、HPE ProLiant iLO 3/4チャネルインターフェイス、およびマネジメントコントローラードライバーがインストールされている必要があります。

また、シングル サーバーWebベースユーザーインターフェイスのためにSystem Management Homepage(SMH) コンポーネントが必要です。

修正

エージェントスマートコンポーネントにパッケージ化されているすべてのバイナリーファイルおよびMSIインストーラーファイルにSHA-256デジタル署名を適用しました。

HPE ProLiant Agentless Management Service for Red Hat Enterprise Linux 6(AMD64/EM64T)

バージョン: 2.6.2 (オプション)

ファイル名: hp-ams-2.6.2-2530.13.rhel6.x86_64.rpm

事前要件

- hp-amsは、HP ProLiant Gen8サーバー上でだけサポートされています。
- hp-amsは、SNMPサポートを提供しているiLO 4サービスに情報を提供します。
- HP iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHP iLO 4上で構成されている必要があります。HP iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。
- 要件:
 - 最低限必要なHP iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
 - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、SuSE Linux Enterprise Server 10 SP4、SuSE Linux Enterprise Server 11 SP1

修正

以下を修正しました。

- IPV6アドレスの処理を改善しました
- RHEL 7.4のサポートをアップデートしました
- SLES12 SP3 をサポートします
- SATAドライブの温度の処理を改善しました

HPE ProLiant Agentless Management Service for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 2.6.2 (オプション)

ファイル名: hp-ams-2.6.2-2530.13.rhel7.x86_64.rpm

修正

以下を修正しました。

- IPV6アドレスの処理を改善しました
- RHEL 7.4のサポートをアップデートしました
- SLES12 SP3 をサポートします
- SATAドライブの温度の処理を改善しました

HPE ProLiant Agentless Management Service for SUSE LINUX Enterprise Server 11(AMD64/EM64T)

バージョン: 2.6.2 (オプション)

ファイル名: hp-ams-2.6.2-2530.13.sles11.x86_64.rpm

事前要件

- hp-amsは、HP ProLiant Gen8サーバー上でだけサポートされています。
- hp-amsは、SNMPサポートを提供しているiLO 4サービスに情報を提供します。
- HP iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHP iLO 4上で構成されている必要があります。HP iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。
- 要件:
 - 最低限必要なHP iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
 - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、SuSE Linux Enterprise Server 10 SP4、SuSE Linux Enterprise Server 11 SP1

修正

以下を修正しました。

- IPV6アドレスの処理を改善しました
- RHEL 7.4のサポートをアップデートしました
- SLES12 SP3 をサポートします
- SATAドライブの温度の処理を改善しました

HPE ProLiant Agentless Management Service for SUSE LINUX Enterprise Server 12

バージョン: 2.6.1 (オプション)

ファイル名: hp-ams-2.6.1-2457.5.sles12.x86_64.rpm

事前要件

- hp-amsは、HP ProLiant Gen8およびGen9サーバーでサポートされています。
- hp-amsは、SNMPサポートを提供しているHP iLO 4サービスに情報を提供します。
- HP iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHP iLO 4上で構成されている必要があります。HP iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。
- 要件:
 - 最低限必要なHP iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
 - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、SuSE Linux Enterprise Server 10 SP4、SuSE Linux Enterprise Server 11 SP1

修正

以下を修正しました。

- AMSは、より多くの非distroベンダー向けのRPMを記載するようになりました
- CPQNICiflogmapphysicaladアダプターは、ループバックインターフェイス向けにNullになっています
- CPQNICiflogadapterokcountは、リンクがない場合はゼロと等しくなります
- 10個以上のIPv6アドレスがインターフェイス上で構成されている場合のsegfaultを修正しました。

HPE ProLiant Agentless Management Service for SUSE LINUX Enterprise Server 12

バージョン: 2.6.2 (オプション)

ファイル名: hp-ams-2.6.2-2530.13.sles12.x86_64.rpm

修正

以下を修正しました。

- IPV6アドレスの処理を改善しました

- RHEL 7.4のサポートをアップデートしました
- SLES12 SP3 をサポートします
- SATAドライブの温度の処理を改善しました

HPE ProLiant Agentless Management Service for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 1.0.0 (オプション)

ファイル名: amsd-1.0.0-2459.112.sles12.x86_64.compsig; amsd-1.0.0-2459.112.sles12.x86_64.rpm

事前要件

- amsdは、HP ProLiant Gen10サーバー上のみでサポートされています。
- amsdは、SNMPサポートを提供しているHP iLO 5サービスに情報を提供します。
- HP iLO 5上でSNMP PASS-THRUを無効にし、SNMPがHP iLO 5上で構成されている必要があります。これらの設定を変更した後に、HP iLO 5のリセットが必要になることがあります。
- 要件:
 - Minimum HP iLO 5 Firmware Version = ?
最小サポートOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 6.9、Red Hat Enterprise Linux 7.3、SuSE Linux Enterprise Server 10 SP4、SuSE Linux Enterprise Server 12 SP12

修正

Gen10サーバーをサポートするための初回リリース

HPE ProLiant Agentless Management Service for Windows X64

バージョン: 10.60.0.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp031439.exe

事前要件

このコンポーネントの前に *HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows X64*(バージョン 3.4.0.0以降)をインストールする必要があります。

修正

なし

拡張

Windows Server 2012-R2およびWindows Server 2016に対するサポートを削除しました。これは、Gen9サーバー上のWindows Server 2012独自のソフトウェアバージョンです。

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) CLI for Linux 64ビット

バージョン: 3.10-3.0 (オプション)

ファイル名: ssacli-3.10-3.0.x86_64.compsig; ssacli-3.10-3.0.x86_64.rpm; ssacli-3.10-3.0.x86_64.txt

重要な注意!

HPE SSACLIは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存のACUCLIスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

拡張

- HPE P/E-Class SR Gen10コントローラー用の初期ファームウェアリリースです。

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) CLI for Windows 64ビット

バージョン: 3.10.3.0 (オプション)

ファイル名: cp031013.compsig; cp031013.exe

重要な注意!

HPE SSACLIは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存のACUCLIスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

拡張

- HPE P/E-Class SR Gen10コントローラー用の初期ファームウェアリリースです。

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) for Linux 64ビット

バージョン: 3.10-3.0 (オプション)

ファイル名: ssa-3.10-3.0.x86_64.compsig; ssa-3.10-3.0.x86_64.rpm; ssa-3.10-3.0.x86_64.txt

重要な注意!

HPE SSAは既存のHPアレイコンフィギュレーションユーティリティ、またはACUのデザインをアップデートして、それらがオンラインになるのに応じて、様々なSmart Storageイニシアチブのために新機能と機能性を提供します。HPE Smart Array Advanced Pack 1.0および2.0の機能は、適切なファームウェア(の使用)によりHPE SSAのベースライン機能の一部となりました。

HPE SSAは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存のACUスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

事前要件

HPE Smart Storage Administrator for Linuxは、サーバーにHPE System Management Homepageソフトウェアがインストールされている必要があります。サーバーにHPE System Management Homepageソフトウェアがインストールされていない場合、HPE Smart Storage Administrator for Linuxをインストールする前に、HPE.comからダウンロードしてインストールしてください。

重要なアップデート: HPE SSA (GUI) for Linuxは、HPE System Management Homepageを必要とせず、実行することができます。HPE SSAはLinux用にローカルアプリケーションモードをサポートします。HPE System Management Homepageはサポートされていますが、HPE SSA GUIの実行には必要ありません。

起動するには、コマンドプロンプトで以下を入力してください。

```
ssa -local
```

コマンドは新しいFirefoxブラウザーウィンドウでHP SSAを開始します。ブラウザーウィンドウを閉じると、HP

SSAは自動的に終了します。これは、ループバックインタフェースだけに有効であって、外部のネットワーク接続には当てはまりません。

拡張

- HPE P/E-Class SR Gen10コントローラー用の初期ファームウェアリリースです。

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) for Windows 64ビット

バージョン: 3.10.3.0 (オプション)

ファイル名: cp031012.compsig; cp031012.exe

重要な注意!

HPE SSAは既存のHPアレイコンフィギュレーションユーティリティ、またはACUのデザインをアップデートして、それらがオンラインになるのに応じて、様々なSmart Storageイニシアチブのために新機能と機能性を提供します。HPE Smart Array Advanced Pack 1.0および2.0の機能は、適切なファームウェア(の使用)によりHPE SSAのベースライン機能の一部となりました。

HPE SSAは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存のACUスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

拡張

- HPE P/E-Class SR Gen10コントローラー用の初期ファームウェアリリースです。

HPE Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (HPE SSADU) CLI for Linux 64ビット

バージョン: 3.10-3.0 (オプション)

ファイル名: ssaduccli-3.10-3.0.x86_64.compsig; ssaduccli-3.10-3.0.x86_64.rpm; ssaduccli-3.10-3.0.x86_64.txt

重要な注意!

HPE Smart Storage Administratorの診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLIからのみ利用できます。診断レポートのGUIバージョンは、HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA)を使用してください。

拡張

- HPE P/E-Class SR Gen10コントローラー用の初期ファームウェアリリースです。

HPE Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (HPE SSADU) CLI for Windows 64ビット

バージョン: 3.10.3.0 (オプション)

ファイル名: cp031014.compsig; cp031014.exe

重要な注意!

HPE Smart Storage Administratorの診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLIからのみ利用できます。診断レポートのGUIバージョンは、HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA)を使用してください。

拡張

- HPE P/E-Class SR Gen10コントローラー用の初期ファームウェアリリースです。

HPE SNMPエージェント for Red Hat Enterprise Linux 6(AMD64/EM64T)

バージョン: 10.6.1 (オプション)

ファイル名: hp-snmp-agents-10.61-2939.2.rhel6.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびhp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-snmp-agents-<version>.rpm
```

HPE SNMPエージェント for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 10.6.1 (オプション)

ファイル名: hp-snmp-agents-10.61-2939.2.rhel7.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびhp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-snmp-agents-<version>.rpm
```

HPE SNMPエージェント for SUSE LINUX Enterprise Server 11(AMD64/EM64T)

バージョン: 10.6.1 (オプション)

ファイル名: hp-snmp-agents-10.61-2939.2.sles11.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびhp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-snmp-agents-<version>.rpm
```

HPE SNMPエージェント for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 10.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-snmp-agents-10.60-2936.33.sles12.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびHP SNMPエージェント(hp-snmp-agents)は、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のように入力します。

```
rpm -qp --requires hp-snmp-agents- .rpm
```

修正

以下を修正しました。

- ネットワークボンディングの変更がトラップを生成しています。
- cpqSeTotalMemMBが正しい値を表示しています

拡張

- Cpqnicdの安定性が改善されました。

HPE SNMPエージェント for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 10.6.1 (オプション)

ファイル名: hp-snmp-agents-10.61-2939.2.sles12.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびhp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-snmp-agents-<version>.rpm
```

HPE System Management Homepage for Linux(AMD64/EM64T)

バージョン: 7.6.1-9 (推奨)

ファイル名: hpsmh-7.6.1-9.x86_64.rpm

重要な注意!

SMH 7.6.0 &以降のバージョンはGen 8およびGen 9サーバーのみをサポートします。将来の全てのパッチリリースはSMH webページ上でのみ行われます。HPE SMH [リリースノート](#)を参照してください。

Linux OSのユーザー用のご注意

- パスワードファイルの編集またはその他の方法により、"hpsmh"ユーザー(インストーレーション中に作成)にログインアクセスを提供しないでください。
- "hpsmh"グループ(インストーレーション中に作成)にユーザーを追加しないでください。

事前要件

SMHソフトウェアをインストールする前に、RPMが必要なバージョンのLinuxライブラリの依存関係が存在するかどうかを確認します。依存関係が見つからない場合、欠落した依存関係のリストが提供されます。ユーザーはRPMをインストールする前に、すべての必要な依存関係を手動でインストールして、前提条件を満たす必要があります。

拡張

- 次のコンポーネントをアップデートしました。

- PHPをバージョン5.6.27へ
- OpenSSLをバージョン1.0.2kへ
- Apacheのバージョンが2.4.25に更新されました。
- セキュリティ機能の改善 [Security Bulletin の詳細を確認してください(ID: HPESBMU03753)]
- RHEL 6.9, RHEL 7.3およびSLES 12.2 OSへのサポートを有効にしました

HPE System Management Homepage for Windows x64

バージョン: 7.6.2.1 (オプション)

ファイル名: cp032867.exe

重要な注意!

すべてのSMHバイナリが現在コード署名されています。

SMH 7.6.0 &以降のバージョンはGen 8およびGen 9サーバーのみをサポートします。将来の全てのパッチリリースはSMH webページ上でのみ行われます。HPE SMH [リリースノート](#)を参照してください。

拡張

- 次のコンポーネントをアップデートしました。
 - PHPをバージョン5.6.27へ
 - OpenSSLをバージョン1.0.2kへ
 - Apacheのバージョンが2.4.25に更新されました。
- SMHバイナリがコード署名されています
- セキュリティ機能の改善 [Security Bulletin の詳細を確認してください(ID: HPESBMU03753)]

HPE System Management Homepageテンプレート for Linux

バージョン: 10.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-smh-templates-10.6.0-1479.39.noarch.rpm

重要な注意!

HPシステムヘルスアプリケーションおよびInsightマネジメントエージェント(hpsm)バージョン8.0.0は、別々のrpmパッケージに分割されました。

- HPシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ(hp-health)バージョン8.1.0
- HP SNMPエージェント(hp-snmp-agents)バージョン8.1.0
- HP System Management Homepageテンプレート(hp-smh-templates)バージョン8.1.0

これらの3つのパッケージは、hpsm v8.0.0と同等の機能を持っており、モジュール形式でのインストールを選択することも可能です。

事前要件

すべての依存関係がインストールされていないと、**hp-smh-templates** RPMインストールが失敗します。管理者は、このコマンドを実行することにより、必要な依存関係の一覧を検証できます。yumまたはzypperにより使用されているリポジトリにこれらの依存関係が含まれている場合は、インストールツールにより自動的に取得されます。ただし、存在しない場合は、RPMのインストールに進む前に、ユーザーが主導でインストールする必要があります。

hp-smh-templatesに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-smh-templates- .rpm
```

修正

- SLES11 SP4インストール用の依存性を修正しました。

HPE System Management Homepageテンプレート for Linux

バージョン: 10.6.1 (オプション)

ファイル名: hp-smh-templates-10.6.1-1481.4.noarch.rpm

重要な注意!

HPシステムヘルスアプリケーションおよびInsightマネジメントエージェント(hpsasm)バージョン8.0.0は、別々のrpmパッケージに分割されました。

- HPシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ(hp-health)バージョン8.1.0
- HP SNMPエージェント(hp-snmp-agents)バージョン8.1.0
- HP System Management Homepageテンプレート(hp-smh-templates)バージョン8.1.0

これらの3つのパッケージは、hpsasm v8.0.0と同等の機能を持っており、モジュール形式でのインストールを選択することも可能です。

事前要件

hp-smh-templatesに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-smh-templates-<version>.rpm
```

修正

以下を修正しました。

- データソースをsnmpに設定した後、SMHホームページにNICタブが表示されます
- HPSUM検出はG7プラットフォームで動作します。

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for Red Hat Enterprise Linux 6(AMD64/EM64T)

バージョン: 10.6.0 (a) (オプション)

ファイル名: hp-health-10.60-1838.1.rhel6.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびhp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-health-< version >.rpm
```

修正

以下を修正しました。

- hp-healthサービスのためのファイルパーミッション
- HPSUM検出はG7プラットフォームで動作します。

拡張

- hp-healthがLinuxカーネルバージョン4.Xで動作するように修正しました

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 10.6.0 (a) (オプション)

ファイル名: hp-health-10.60-1838.1.rhel7.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびHP SNMPエージェント(hp-snmp-agents)は、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-health-*.rpm
```

修正

以下を修正しました。

- hp-healthサービスのためのファイルパーミッション
- HPSUM検出はG7プラットフォームで動作します。

拡張

- hp-healthがLinuxカーネルバージョン4.Xで動作するように修正しました

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for SUSE LINUX Enterprise Server 11(AMD64/EM64T)

バージョン: 10.6.0 (a) (オプション)

ファイル名: hp-health-10.60-1838.1.sles11.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびhp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-health-.rpm
```

修正

以下を修正しました。

- hp-healthサービスのためのファイルパーミッション
- HPSUM検出はG7プラットフォームで動作します。

拡張

- hp-healthがLinuxカーネルバージョン4.Xで動作するように修正しました

HPESystemヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for SUSE LINUX Enterprise Server 12

バージョン: 10.6.0 (オプション)

ファイル名: hp-health-10.60-1833.31.sles12.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびHP SNMPエージェント(hp-snmp-agents)は、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-health-*.rpm
```

修正

- hp-healthサービスのためのファイルパーミッションを修正しました。

拡張

- hp-healthがLinuxカーネルバージョン4.Xで動作するように修正しました

HPESystemヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for SUSE LINUX Enterprise Server 12

バージョン: 10.6.0 (a) (オプション)

ファイル名: hp-health-10.60-1838.1.sles12.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびHP SNMPエージェント(hp-snmp-agents)は、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-health-*.rpm
```

修正

以下を修正しました。

- hp-healthサービスのためのファイルパーミッション
- HPSUM検出はG7プラットフォームで動作します。

拡張

- hp-healthがLinuxカーネルバージョン4.Xで動作するように修正しました

バージョン: 10.60.2109 (A) (推奨)

ファイル名: hpdiags-10.60.2109-2176.linux.x86_64.rpm

事前要件

HP Insight Diagnostics オンライン版 for Linuxには、以下のコンポーネントが必要です。

- HP System Management Homepage バージョン7.0.0-12以降

HP Insight Diagnostics オンライン版 for Linuxの機能を最大限に利用するために、以下のコンポーネントを推奨します。

- HP System Health Application、バージョン9.0.0以降

修正

- Gen10サポートはありません。
- 翻訳の修正。
- LUNが124以上のシステムのSurveyの保存に失敗する問題を修正しました。
- Insight Diagnosticをアンインストールした際に、crontabエントリにそのスケジュールが削除されない問題を修正しました。

拡張

P542D ストレージコントローラーのサポートを追加しました。

NVIDIA Tesla K40 XL 12Gb モジュールのサポートを追加しました。

Wellsburg 6-Port SATA Controllerのサポート

新しいGen9システムのサポート。

詳しくは、 [Service Pack for ProLiant リリースノート](#) を参照してください。

サポートされているサーバーの情報については、 [ProLiant Service Pack for ProLiant Server Support Guide](#) を参照してください。

Insight Diagnosticsオンライン版 for Linux(x86-64)

バージョン: 10.60.2199 (推奨)

ファイル名: hpdiags-10.60.2199-2188.linux.x86_64.rpm

事前要件

HP Insight Diagnostics オンライン版 for Linuxには、以下のコンポーネントが必要です。

- HP System Management Homepage バージョン7.0.0-12以降

HP Insight Diagnostics オンライン版 for Linuxの機能を最大限に利用するために、以下のコンポーネントを推奨します。

- HP System Health Application、バージョン9.0.0以降

修正

- オンラインページのXSSの脆弱性
- libsgutils symlinkの修正

拡張

詳しくは、 [Service Pack for ProLiant リリースノート](#) を参照してください。

サポートされているサーバーの情報については、 [ProLiant Service Pack for ProLiant Server Support Guide](#) を参照してください。

Insight Diagnosticsオンライン版 for Windows x64 Editions

バージョン: 10.60.2116.0 (A) (推奨)

ファイル名: cp031590.exe

重要な注意!

既知の制限事項:

HP Insight Diagnosticsオンライン版 for Windowsでは、Survey機能は、直接あるいはエンクロージャー経由で特定のSmartアレイコントローラー(HP Modular Smart Arrayなど)に接続されている論理ドライブのプロパティの表示をサポートしなくなりました。影響のあるコントローラー:

- Smartアレイ6iコントローラー
- Smartアレイ641コントローラー
- Smartアレイ642コントローラー
- Smartアレイ6402コントローラー
- Smartアレイ6404コントローラー

これらのコントローラーは、論理ドライブのプロパティを入手するために使用されるコマンドをサポートしません。現在、コントローラーにこのようなサポートとHP Insight Diagnosticsの将来のバージョンにレガシーサポートを追加する予定はありません。

回避策として、Surveyで論理ドライブのプロパティを表示するために、HP Insight Diagnosticsオンライン版 for Windowsの **8.5以前**のバージョンを使用することです。hp.comから入手可能なHP アレイ コンフィギュレーションユーティリティは、これらのコントローラーに接続されている論理ドライブについての情報を表示することができます。

事前要件

HP Insight Diagnostics オンライン版 for Linuxには、以下のコンポーネントが必要です。

- HP System Management Homepage バージョン7.0.0-12以降

HP Insight Diagnostics オンライン版 for Linuxの機能を最大限に利用するために、以下のコンポーネントを推奨します。

- HP ProLiant Agentless Management Serviceバージョン9.0.0.0以降
- HP ProLiant Integrated Lights-Outマネジメントインターフェイスドライバーバージョン1.15.0.0以降

修正

- Gen10サポートはありません。
- 翻訳の修正。
- LUNが124以上のシステムのSurveyの保存に失敗する問題を修正しました。

拡張

P542D ストレージコントローラーのサポートを追加しました。

NVIDIA Tesla K40 XL 12Gb モジュールのサポートを追加しました。

Wellsburg 6-Port SATA Controllerのサポート

新しいGen9システムのサポート。

詳しくは、[Service Pack for ProLiant リリースノート](#) を参照してください。

サポートされているサーバーの情報については、[ProLiant Service Pack for ProLiant Server Support Guide](#) を参照してください。

Integrated Smart Update Tools for Windows x64

バージョン: 2.0.1.0 (推奨)

ファイル名: sut-2.0.1-3.linux.x86_64.compsig; sut-2.0.1-3.linux.x86_64.rpm

重要な注意!

次の点に注意してください:

iSUTには、SUM 7.6.0以降を含むSPPベースのISOが必要です。以前のバージョンのHP SUMが使用されている場合は、iSUTによりSUM 7.6.0以降が必要である旨が通知されます。

iSUTでは、iLOの通信にRESTfulインターフェイスツールを使用します。RESTfulインターフェイスツールは、SUTコンポーネントに含まれており、SUTのインストーションプロセスの一部としてインストールされ、通信に使用されます。

iSUTは、HPE ProLiant Gen9のみへサービスを提供し、iLO 4ファームウェアのバージョン2.50以降を必要とします。

iSUTは、Gen 10サーバー用iLO 5と統合し、アップデートを実行します。

iSUTには、iLO Advanced Packライセンスが必要です。

事前要件

前提条件の詳細については、『[iSUTリリースノート](#)』をご覧ください。

修正

- iLO Amplifier PackからのオンラインアップデートがSUM展開の障害により失敗しました
- 1.6.5から2.0.0へのアップグレード後にSUT設定がOVに復元されませんでした

Integrated Smart Update Tools for Windows x64

バージョン: 2.0.1.0 (推奨)

ファイル名: cp032917.compsig; cp032917.exe

重要な注意!

次の点に注意してください:

iSUTには、SUM 7.6.0以降を含むSPPベースのISOが必要です。以前のバージョンのHP SUMが使用されている場合は、iSUTによりSUM 7.6.0以降が必要である旨が通知されます。

iSUTでは、iLOの通信にRESTfulインターフェイスツールを使用します。RESTfulインターフェイスツールは、SUTコンポーネントに含まれており、SUTのインストーションプロセスの一部としてインストールされ、通信に使用されます。

iSUTは、HPE ProLiant Gen9のみへサービスを提供し、iLO 4ファームウェアのバージョン2.50以降を必要とします。

iSUTは、Gen 10サーバー用iLO 5と統合し、アップデートを実行します。

iSUTには、iLO Advanced Packライセンスが必要です。

事前要件

前提条件の詳細については、『[iSUTリリースノート](#)』をご覧ください。

修正

- iLO Amplifier PackからのオンラインアップデートがSUM展開の障害により失敗しました
- 1.6.5から2.0.0へのアップグレード後にSUT設定がOVに復元されませんでした

Windows Server 2012 R2およびServer 2016用Intel Xeon v3およびXeon v4プロセッサでのNVMeドライブイジェクトNMIの修正

バージョン: 1.0.5.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp030432.exe

拡張

サポートされるプロセッサを示すために、コンポーネント名を変更しました。既にバージョン1.0.5.0がインストールされたシステムはこのバージョンをインストールする必要はありません。

Windows用NVMe Drive Eject NMI Fix for Intel Xeon Processor Scalable Family

バージョン: 1.1.0.0 (オプション)

ファイル名: cp031375.compsig; cp031375.exe

拡張

最初のリリース。
